

姫路市まちづくりのためのアンケート報告書

平成 31 年 3 月

姫路市

<目 次>

【市民アンケート】

I. 本調査の目的と実施概要.....	1
1. 本調査の目的.....	1
2. 調査実施概要.....	1
II. 回答者の属性.....	3
1. 性別(F1).....	3
2. 年齢(F2).....	3
3. 世帯構成(F3).....	4
4. 職業(F4).....	4
5. 姫路市に居住したきっかけ(F5).....	5
6. 姫路市での通算居住年数(F6).....	5
7. お住まいの住居形態(F7).....	6
8. お住まいの小学校区と、地域ブロック(F8).....	7
III. 調査結果.....	9
1. 姫路への愛着などについて.....	9
2. 日常生活の範囲について.....	11
3. 暮らしなどについて.....	37
4. 姫路市の施策に対する現状の満足度などについて.....	51
5. 地域における「他者とのつながり」や「地域活動」について.....	71
6. 人口減少の緩和と姫路市の活力を維持していくために必要な取組等について.....	83
7. 行政サービスの水準と市民負担について.....	97
IV. 調査結果（属性・項目間クロス集計）.....	99
1. 姫路に対する愛着や住みやすさ、居留意向について.....	99
2. 居住地選択について.....	105
3. 市外在住者へ姫路を勧めるか.....	115
4. 地域活動について.....	117
5. 若者への魅力向上のための取組について.....	133
6. 高齢者に対する取組について.....	143
7. 子育てしやすい環境に対する取組について.....	151
8. 姫路の魅力について.....	159
9. 行政サービスについて.....	161
V. 調査結果（自由記述）.....	165

【有識者アンケート】

I. 本調査の目的と実施概要.....	169
1. 本調査の目的.....	169
2. 調査実施概要.....	169
II. 回答者の属性（学識者）.....	171
1. 居住地(F1).....	171
2. 性別(F2).....	171
3. 年齢(F3).....	172

4. 専門分野(F4).....	172
III. 調査結果（学識者）	174
1. 現在の居住地域と姫路市との違いについて.....	174
2. 姫路市の課題について.....	175
3. 人口減少の緩和と姫路市の活力を維持していくために必要な取組等について.....	183
4. 行政サービスの水準と市民負担について.....	197
5. 自由記述.....	199
IV. 回答者の属性（地域団体）	219
1. 居住地(F1).....	219
2. 性別(F2).....	219
3. 年齢(F3).....	220
V. 調査結果（地域団体）	221
1. あなたの暮らしなどについて ※市内在住の方のみ.....	221
2. あなたが所属する団体の地域における活動等について.....	225
3. 人口減少の緩和と姫路市の活力を維持していくために必要な取組等について.....	229
4. 行政サービスの水準と市民負担について.....	234
5. 自由記述.....	235

【職員アンケート】

I. 本調査の目的と実施概要.....	239
1. 本調査の目的.....	239
2. 調査実施概要.....	239
II. 回答者の属性.....	240
1. 居住地域(F1).....	240
2. 性別(F2).....	240
3. 年齢(F3).....	241
4. 所属(F4).....	242
5. 職種(F5).....	243
6. 身分(F6).....	243
III. 調査結果.....	245
1. 姫路市の施策について.....	245
2. 業務を取り巻く状況に対する意識について.....	255
3. 地域ブロックについて.....	259
4. 総合計画(ふるさと・ひめじプラン2020)について.....	262
5. 次期総合計画策定に向けて.....	265
6. 自由記述.....	269

【調査票】

I. 市民アンケート調査票.....	275
II. 有識者アンケート調査票（学識者）	286
III. 有識者アンケート調査票（地域団体）	291
IV. 職員アンケート調査票.....	296

I. 本調査の目的と実施概要

1. 本調査の目的

姫路市まちづくりのための市民アンケート調査は、新たな総合計画の策定にあたり、幅広い市民からまちづくりの意向について意見を収集し、当該計画に反映するとともに、市民満足度を把握するなど、現行総合計画の総括に資する情報収集を行うために実施した。

2. 調査実施概要

(1) 調査対象者

層化無作為抽出法によって選ばれた 15 歳以上の市民 10,000 名（外国人含む）

(2) 調査票配布・回収方法

郵送により調査票を配布・回収（希望者は web から調査票をダウンロード）。なお、督促葉書を送付することにより回収率の向上を図った。

(3) 調査期間

平成 30 年 8 月 28 日（火）発送～9 月 21 日（金）〆切

(4) 調査内容

1. 回答者の属性

（性別、年齢、世帯構成、職業、居住のきっかけ、居住年数、住居形態、居住地）

2. 姫路への愛着、姫路のイメージについて

3. 日常生活の範囲について

（食料品・日用品を購入する地域・かかりつけの医療機関がある地域等、ネット通販の利用）

4. 住みやすさや定住意向について

（住みやすさ、定住意向、引っ越したい場所・理由）

5. 姫路市の施策に対する満足度・重要性について

6. 地域活動について

7. 今後の姫路のまちづくりにとって必要な取組について

8. 行政サービスの水準と市民負担について

9. 将来像やまちづくりのあり方などに関する自由意見

(5) 回収率

	今回 (H30.8)	前回 (H18.9)	市民満足度調査		
			(H24.2)	(H25.12)	(H28.2)
発送数	10,000 票	10,000 票	3,000 票	3,000 票	3,000 票
回収数	4,984 票	5,518 票	—	—	—
無効票	4 票	15 票	—	—	—
有効回収数	4,980 票	5,503 票	1,159 票	1,203 票	1,022 票
有効回収率	49.8%	55.0%	38.6%	40.1%	34.1%

(6) 集計結果の記載について

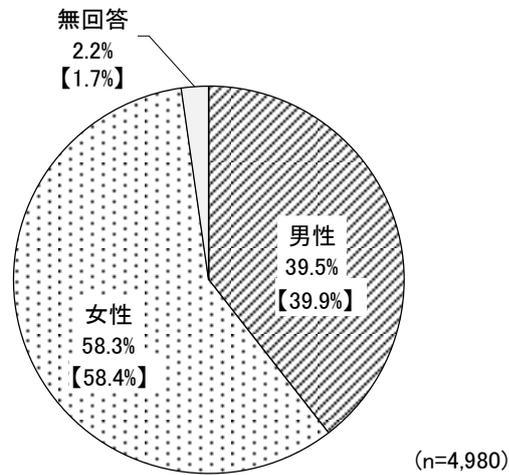
本調査において算出した割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。また、問3以降の属性別集計表の2行目の「全体」の調査数については、列方向の項目では、無回答数が除外されているため、行方向の合計を示している。なお、複数回答の設問に関しては、属性別集計表の2行目の「全体」の調査数はアンケート回答者総数（4980）となっている。

グラフ中の【】内の数値は前回（平成18年度実施）、《》内の数値は市民満足度調査（平成23年度実施分）を示している。

II. 回答者の属性

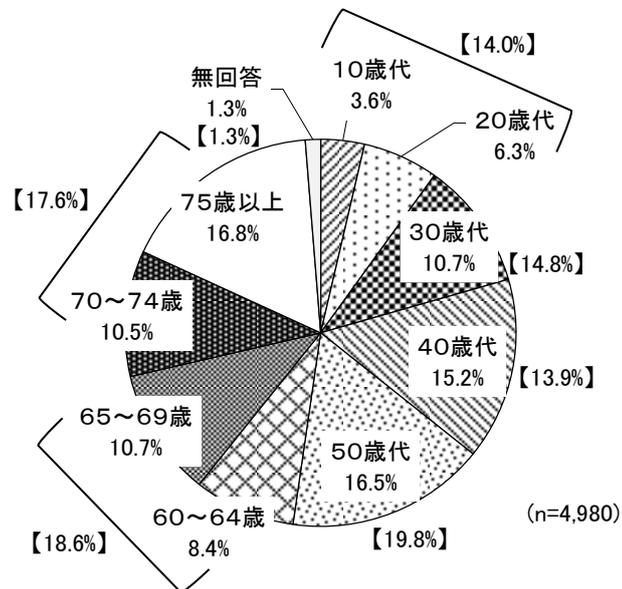
1. 性別(F1)

図表Ⅱ－1 性別



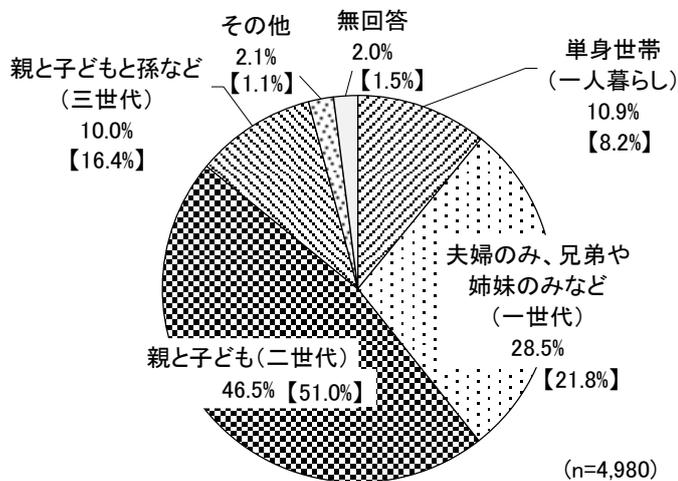
2. 年齢(F2)

図表Ⅱ－2 年齢



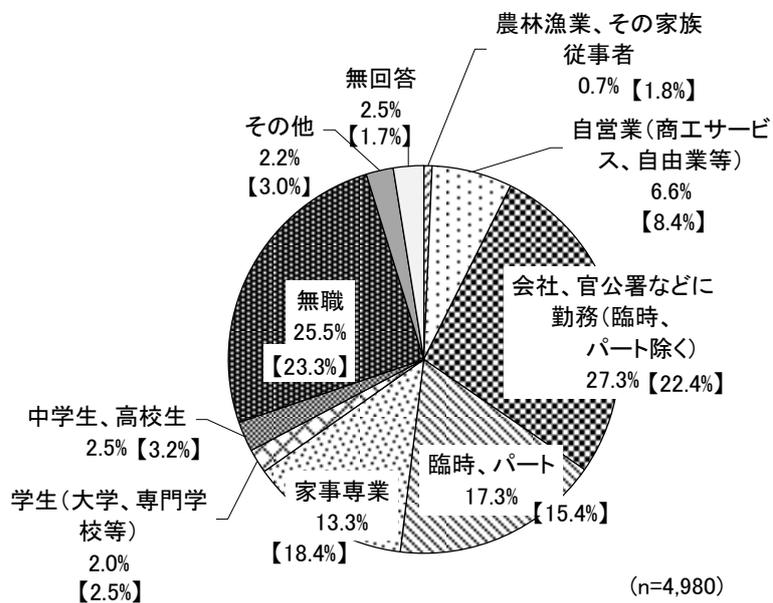
3. 世帯構成(F3)

図表Ⅱ－3 世帯構成



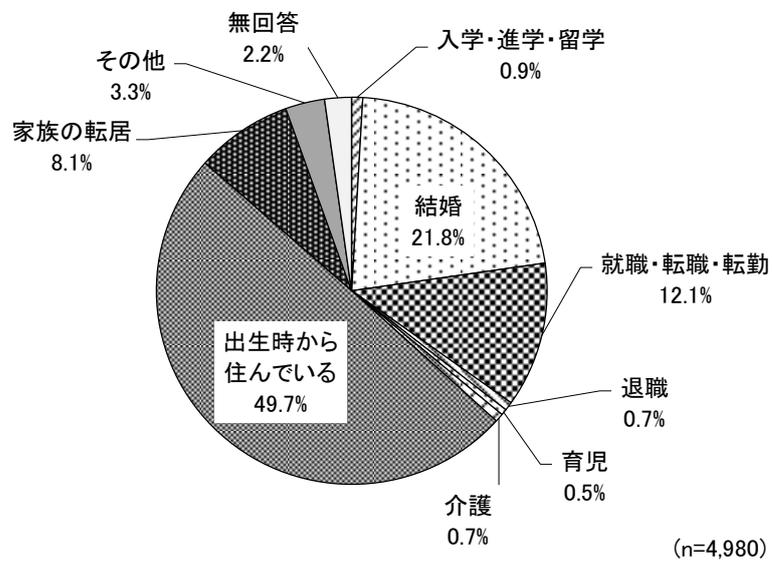
4. 職業(F4)

図表Ⅱ－4 職業



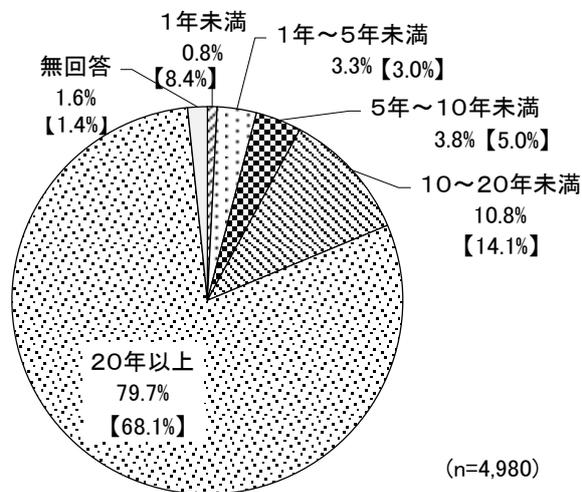
5. 姫路市に居住したきっかけ(F5)

図表Ⅱ－5 姫路市に居住したきっかけ



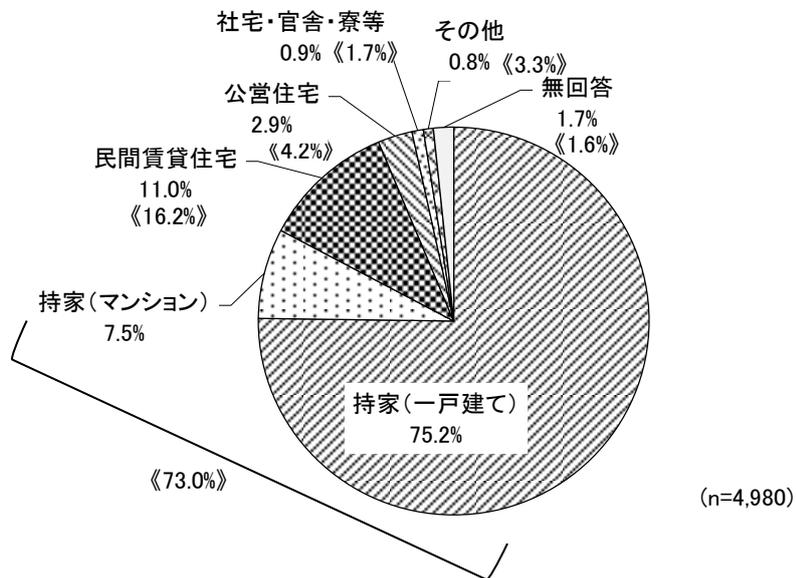
6. 姫路市での通算居住年数(F6)

図表Ⅱ－6 姫路市での通算居住年数



7. お住まいの住居形態(F7)

図表Ⅱ－7 お住まいの住居形態

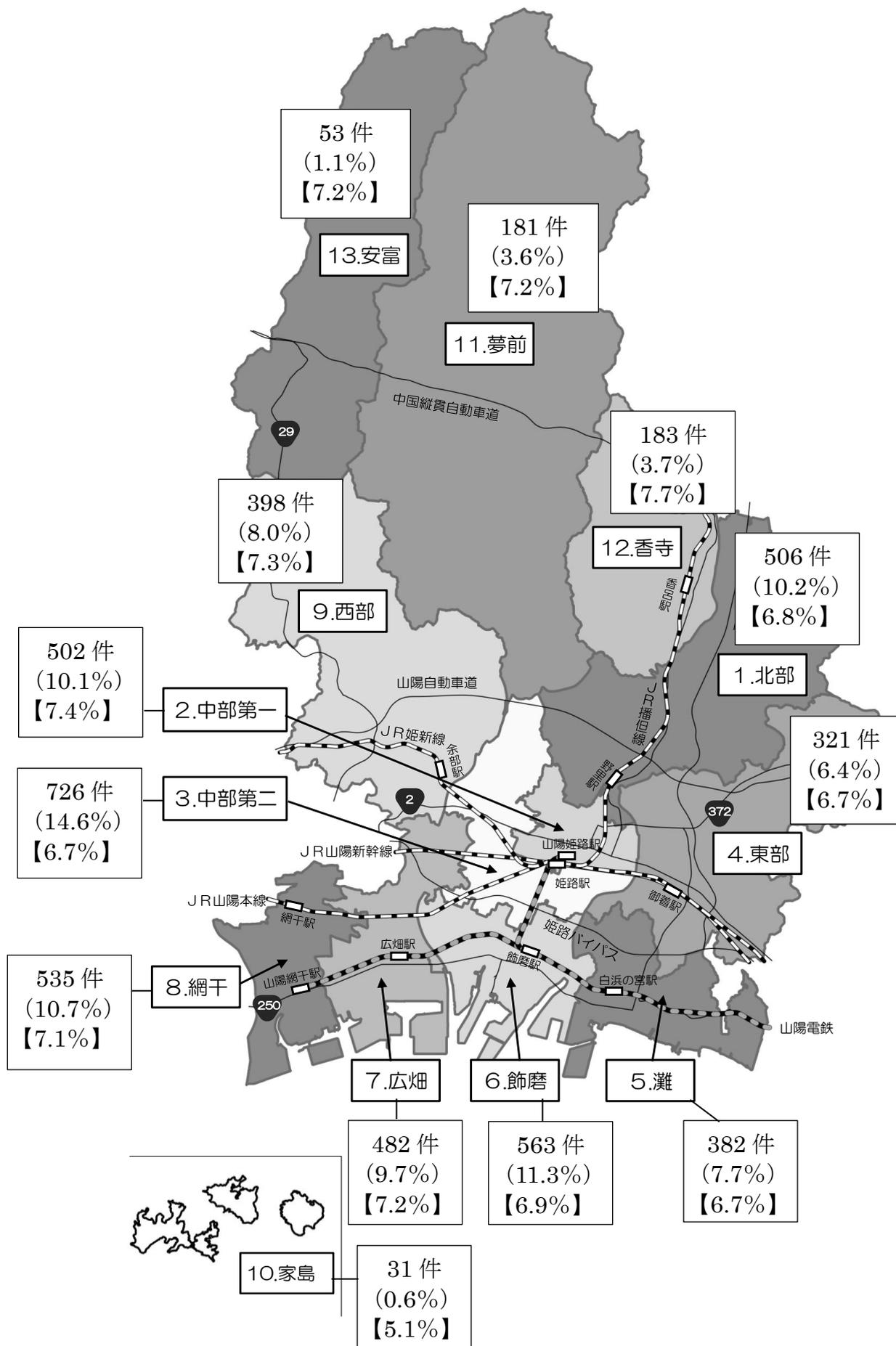


8. お住まいの小学校区と、地域ブロック(F8)

図表Ⅱ－8 お住まいの小学校区

	地域ブロック	回答者			地域ブロック	回答者	
		件数	割合(%)			件数	割合(%)
砥堀	1. 北部	53	1.1	妻鹿	6. 飾磨	40	0.8
水上		87	1.7	高浜		104	2.1
増位		57	1.1	飾磨		175	3.5
広峰		86	1.7	津田		116	2.3
城北		59	1.2	英賀保		128	2.6
船津		45	0.9	八幡	136	2.7	
山田		30	0.6	広畑	95	1.9	
豊富		89	1.8	広畑第二	92	1.8	
野里		62	1.2	大津	122	2.4	
城乾	2. 中部第一	68	1.4	南大津	37	0.7	
城西		84	1.7	大津茂	80	1.6	
東		80	1.6	網干	102	2.0	
城東		63	1.3	網干西	58	1.2	
白鷺		67	1.3	勝原	157	3.2	
船場		78	1.6	旭陽	92	1.8	
安室東		99	2.0	余部	46	0.9	
安室	112	2.2	曾左	96	1.9		
高岡	3. 中部第二	128	2.6	峰相	55	1.1	
高岡西		70	1.4	白鳥	62	1.2	
城陽		79	1.6	青山	96	1.9	
手柄		106	2.1	太市	28	0.6	
荒川		132	2.7	林田	51	1.0	
谷内		23	0.5	伊勢	10	0.2	
谷外	55	1.1	家島	20	0.4		
花田	4. 東部	60	1.2	坊勢	11	0.2	
御国野		73	1.5	置塩	36	0.7	
四郷		41	0.8	古知	22	0.4	
別所		69	1.4	前之庄	49	1.0	
八木		21	0.4	苜野	8	0.2	
糸引		107	2.1	上菅	13	0.3	
白浜	5. 灘	143	2.9	菅生	53	1.1	
的形		52	1.0	香呂	80	1.6	
大塩		59	1.2	香呂南	25	0.5	
				中寺	78	1.6	
				安富南	45	0.9	
				安富北	8	0.2	
			無回答	117	2.3		
			合計	4,980	100.0		

図表Ⅱ－9 お住まいの地域ブロック(地域ブロック別回答件数及び割合)



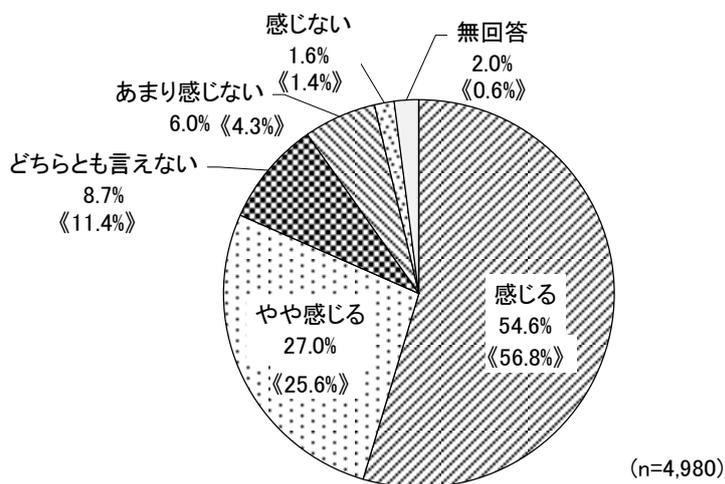
III. 調査結果

1. 姫路への愛着などについて

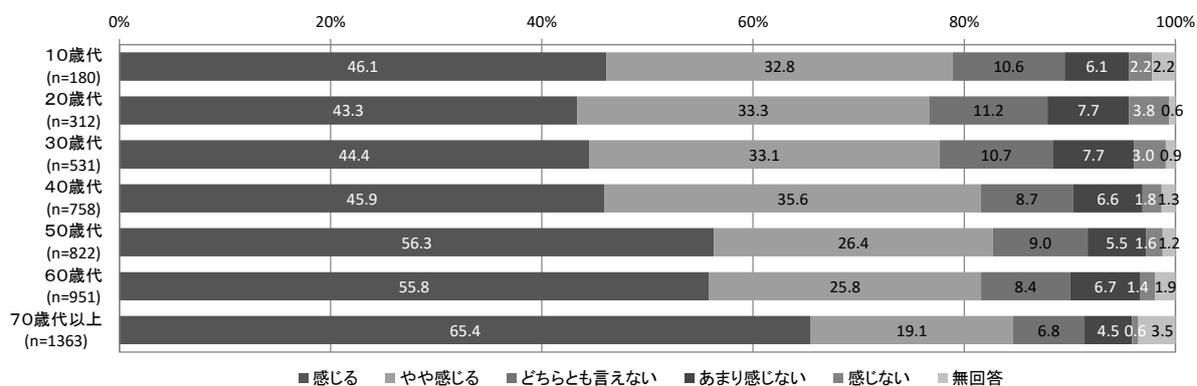
(1) あなたは姫路に愛着を感じますか（問 1）

- 全体傾向
 - ・ 「やや感じる」を含めると、80%以上が愛着を感じると回答している。
 - ・ 一方、「あまり感じない」を含めて、愛着を感じないという回答割合は8%未満となっている。
- 属性別傾向
 - ・ 年齢別にみた場合、50歳代以上で「感じる」の回答割合が高くなり、70歳代以上が65.4%ともっとも高く、次いで、50歳代で56.3%となっており、20歳代で43.3%ともっとも低くなっている。
 - ・ 居住地別にみた場合、飾磨ブロックで「感じる」、「やや感じる」を含めた回答割合が86.7%ともっとも高く、次いで、中部第一ブロックで85.9%、広畑ブロックで83.4%となっている。一方で、安富ブロックで58.5%ともっとも低くなっている。
- 市民満足度調査（平成23年度）との比較
 - ・ 市民満足度調査（平成23年度）の結果と比較すると、「感じる」の回答割合は減少したが、「やや感じる」の回答割合は増加している。「あまり感じない」、「感じない」の回答割合はともに増加している。

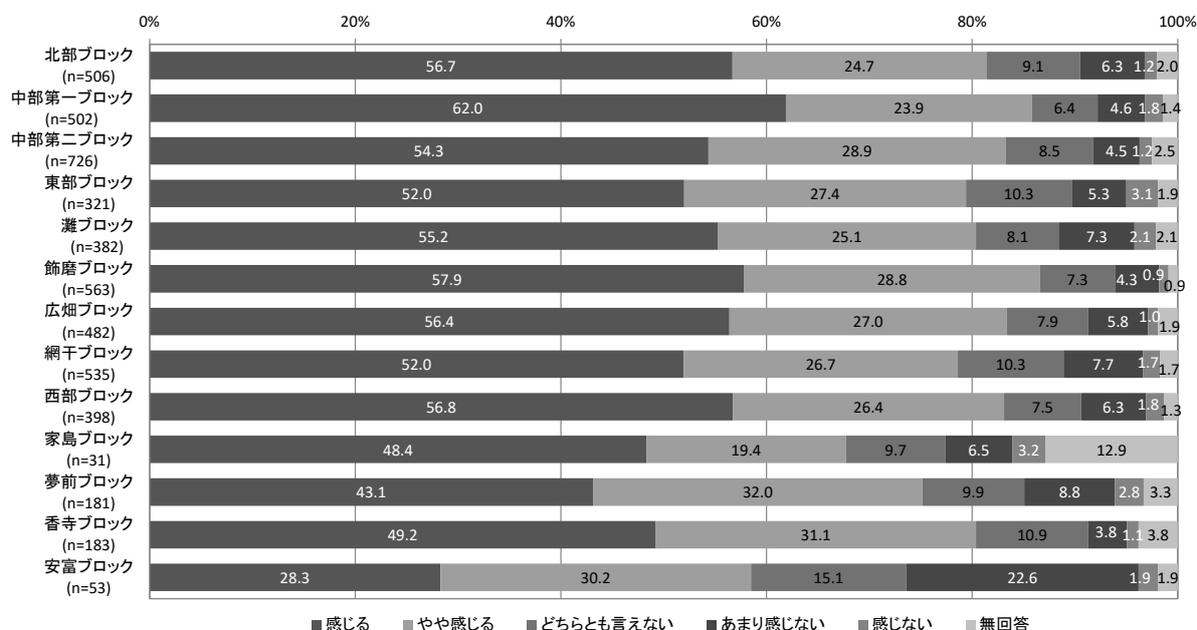
図表Ⅲ－1 姫路に愛着を感じるか



図表Ⅲ－２ 年齢別にみた「姫路に愛着を感じるか」



図表Ⅲ－３ 居住地別にみた「姫路に愛着を感じるか」



2. 日常生活の範囲について

(1) あなたの日常生活の範囲について、おたずねします（問3）

① 食料品・日用品を購入する地域と移動手段

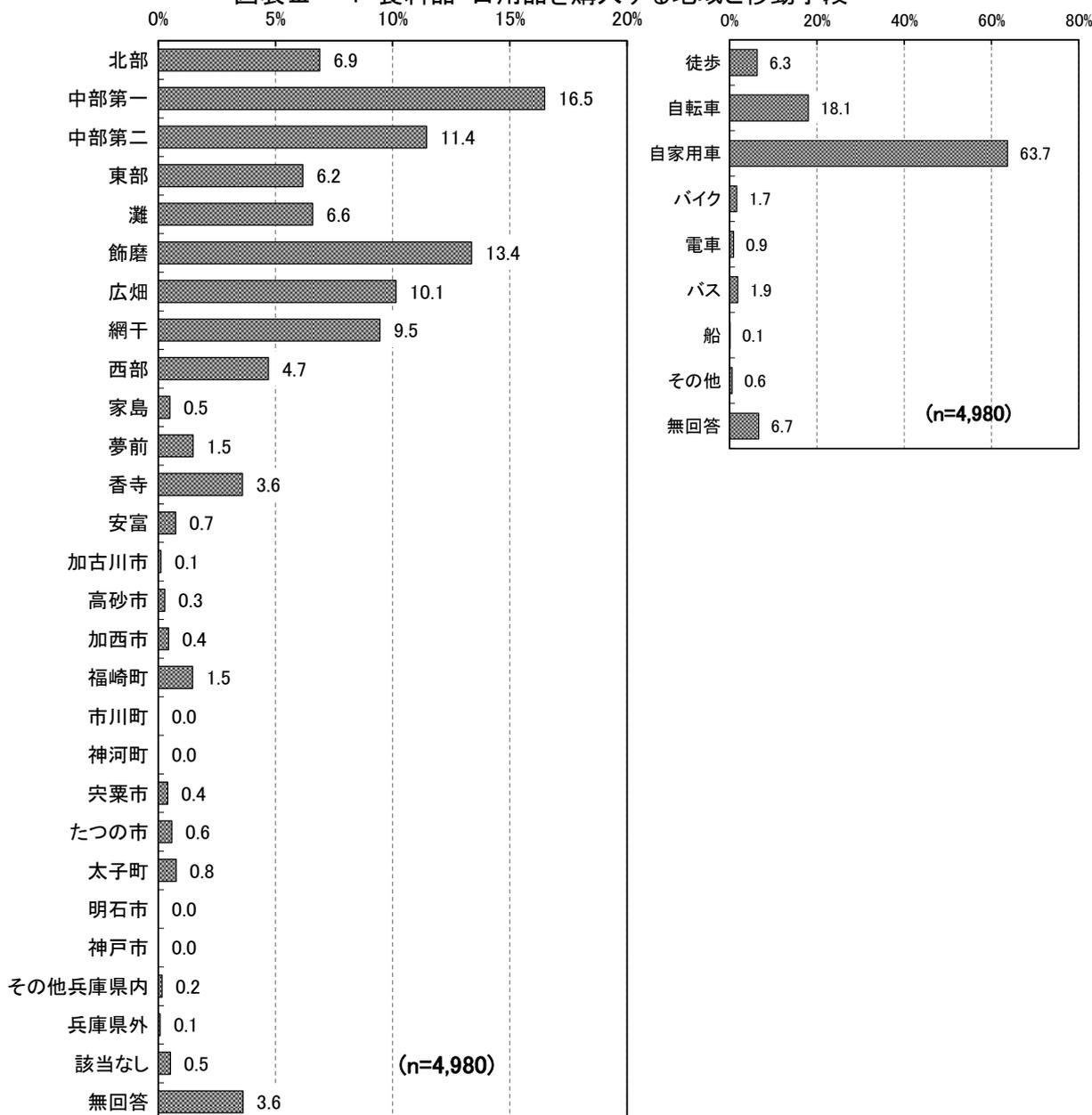
■ 全体傾向

- ・ 食料品・日用品を購入する地域は、「中部第一」の回答割合が16.5%ともっとも高く、次いで「飾磨」が13.4%となっている。
- ・ 移動手段については、「自家用車」が63.7%、次いで「自転車」が18.1%となっている。

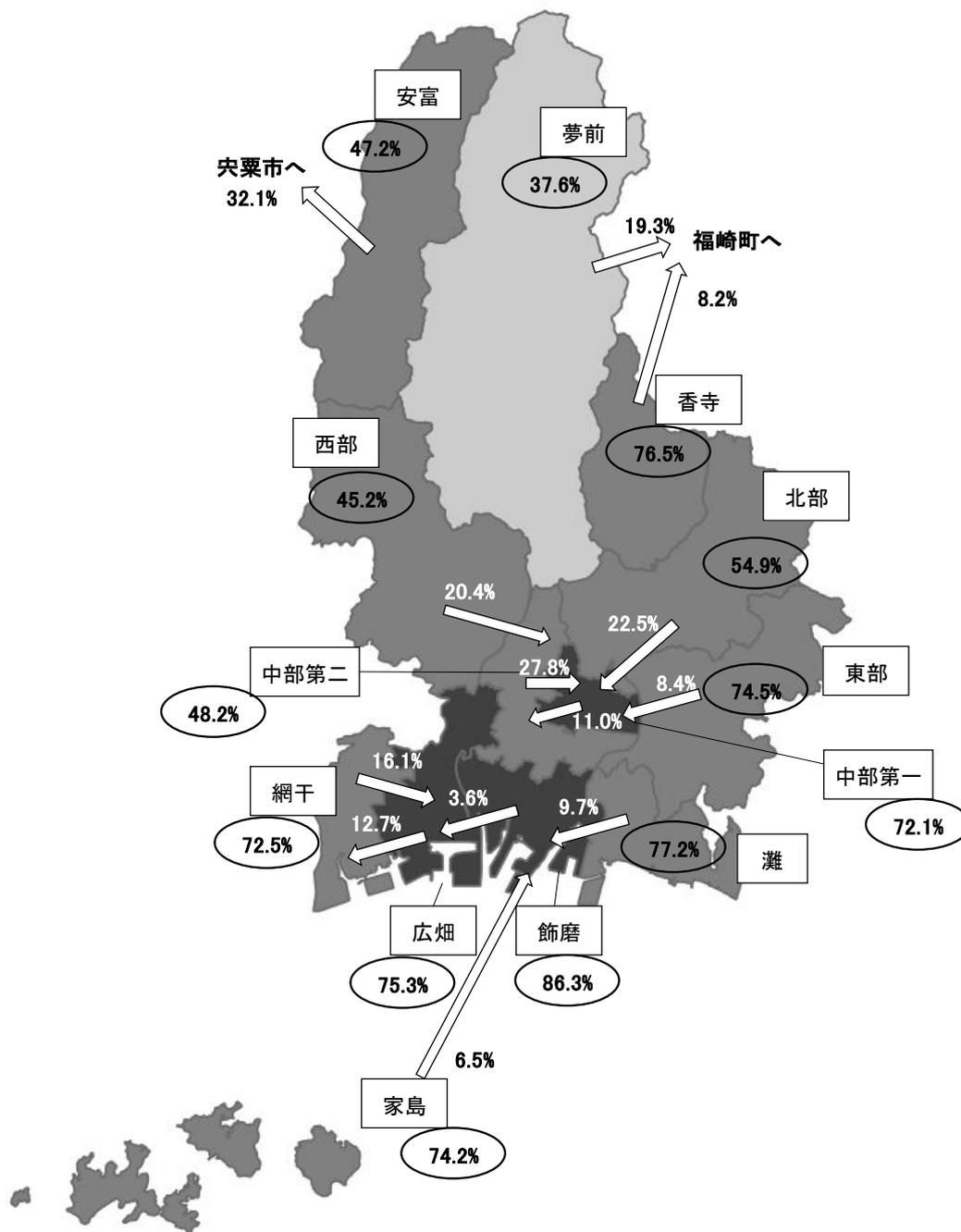
■ 属性別傾向

- ・ 居住地別にみた場合、居住地内で食料品・日用品を購入するのが主であるが、夢前、香寺ブロックでは「福崎町」（夢前19.3%・香寺8.2%）、安富ブロックでは「宍粟市」（32.1%）といった市外でも食料品・日用品を購入している。

図表Ⅲ－4 食料品・日用品を購入する地域と移動手段



図表Ⅲ－ 5 食料品・日用品を購入する地域の移動動向



(注)○内の数値は、域内行動率(居住地ブロック内で行動する割合)を示す。図の矢印では基本的に、居住地以外で移動割合がもっとも高くなっている地域への移動率を示している。ただし、移動割合が高くなっている上位3位以内に、市外の地域が含まれている場合、市外への移動率も示すため、矢印が2本出ている場合もある。以下同様。

(注)地図は、以下の式で算出される比率に応じて、色分けをしている。

※算出式(行動比率)：各項目に該当する地域がAブロックと回答した人数/Aブロックの居住者数(アンケート回答者数)

この比率が1.0以上の地域を黒色、0.5~1.0未満の地域を濃い灰色、0.5未満の地域を薄い灰色としている。

図表Ⅲ－ 6 居住地別にみた日常生活の範囲(食料品・日用品を購入する地域)

【市内】

	調査数	北部	中部第一	中部第二	東部	灘	飾磨	広畑	網干	西部	家島	夢前	香寺	安富	
全体	4980 100.0	343 6.9	821 16.5	570 11.4	307 6.2	328 6.6	666 13.4	505 10.1	471 9.5	234 4.7	25 0.5	74 1.5	179 3.6	37 0.7	
居住地	北部	506 100.0	278 54.9	114 22.5	13 2.6	16 3.2	0 0.0	3 0.6	3 0.6	0 0.0	2 0.4	0 0.0	0 0.0	29 5.7	0 0.0
	中部第一	502 100.0	26 5.2	362 72.1	55 11.0	30 6.0	1 0.2	7 1.4	3 0.6	0 0.0	2 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中部第二	726 100.0	14 1.9	202 27.8	350 48.2	4 0.6	0 0.0	86 11.8	7 1.0	5 0.7	21 2.9	0 0.0	0 0.0	1 0.1	1 0.1
	東部	321 100.0	4 1.2	27 8.4	9 2.8	239 74.5	10 3.1	7 2.2	1 0.3	0 0.0	2 0.6	0 0.0	0 0.0	2 0.6	0 0.0
	灘	382 100.0	1 0.3	5 1.3	5 1.3	4 1.0	295 77.2	37 9.7	0 0.0	0 0.0	1 0.3	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	飾磨	563 100.0	1 0.2	10 1.8	13 2.3	3 0.5	14 2.5	486 86.3	20 3.6	3 0.5	2 0.4	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	広畑	482 100.0	1 0.2	3 0.6	12 2.5	1 0.2	0 0.0	14 2.9	363 75.3	61 12.7	3 0.6	0 0.0	0 0.0	1 0.2	0 0.0
	網干	535 100.0	0 0.0	3 0.6	3 0.6	0 0.0	0 0.0	6 1.1	86 16.1	388 72.5	4 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	西部	398 100.0	2 0.5	45 11.3	81 20.4	2 0.5	1 0.3	5 1.3	15 3.8	4 1.0	180 45.2	0 0.0	3 0.8	0 0.0	5 1.3
	家島	31 100.0	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.5	1 3.2	0 0.0	0 0.0	23 74.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	夢前	181 100.0	3 1.7	19 10.5	18 9.9	0 0.0	1 0.6	0 0.0	3 1.7	0 0.0	10 5.5	0 0.0	68 37.6	4 2.2	5 2.8
	香寺	183 100.0	6 3.3	6 3.3	1 0.5	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	140 76.5	0 0.0
	安富	53 100.0	0 0.0	2 3.8	2 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 47.2

【市外（上段表つづき）】

	加古川市	高砂市	加西市	福崎町	市川町	神河町	栗東市	たつの市	太子町	明石市	神戸市	その他兵庫県内	兵庫県外	該当なし	無回答	
全体	6 0.1	14 0.3	22 0.4	73 1.5	0 0.0	0 0.0	20 0.4	29 0.6	38 0.8	0 0.0	0 0.0	8 0.2	4 0.1	26 0.5	180 3.6	
居住地	北部	0 0.0	0 0.0	13 2.6	20 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.4	0 0.0	13 2.6	
	中部第一	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.4	0 0.0	1 0.2	13 2.6	
	中部第二	1 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.3	0 0.0	5 0.7	27 3.7	
	東部	2 0.6	3 0.9	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 1.2	10 3.1
	灘	2 0.5	10 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	7 1.8	13 3.4	
	飾磨	0 0.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.2	1 0.2	0 0.0	7 1.2	
	広畑	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.2	22 4.6
	網干	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.4	25 4.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.4	16 3.0
	西部	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 6.3	11 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	5 1.3	13 3.3	
	家島	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 12.9
	夢前	0 0.0	0 0.0	1 0.6	35 19.3	0 0.0	0 0.0	2 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	11 6.1	
	香寺	0 0.0	0 0.0	6 3.3	15 8.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	7 3.8	
	安富	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	0 0.0	0 0.0	17 32.1	1 1.9	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	

(注)上段:件数、下段:割合。なお、市内外合わせて(無回答は除外)、もっとも割合が高くなっている箇所を背景黒に白字、2番目に割合が高くなっている箇所は背景を濃い灰色、3番目に割合が高くなっている箇所は背景を薄い灰色としている。

(注)「全体」行の調査数は、行方向(北部～無回答)の合計数を示している。以下同様。

図表Ⅲ－ 7 居住地別にみた日常生活の移動手段(食料品・日用品を購入する地域)

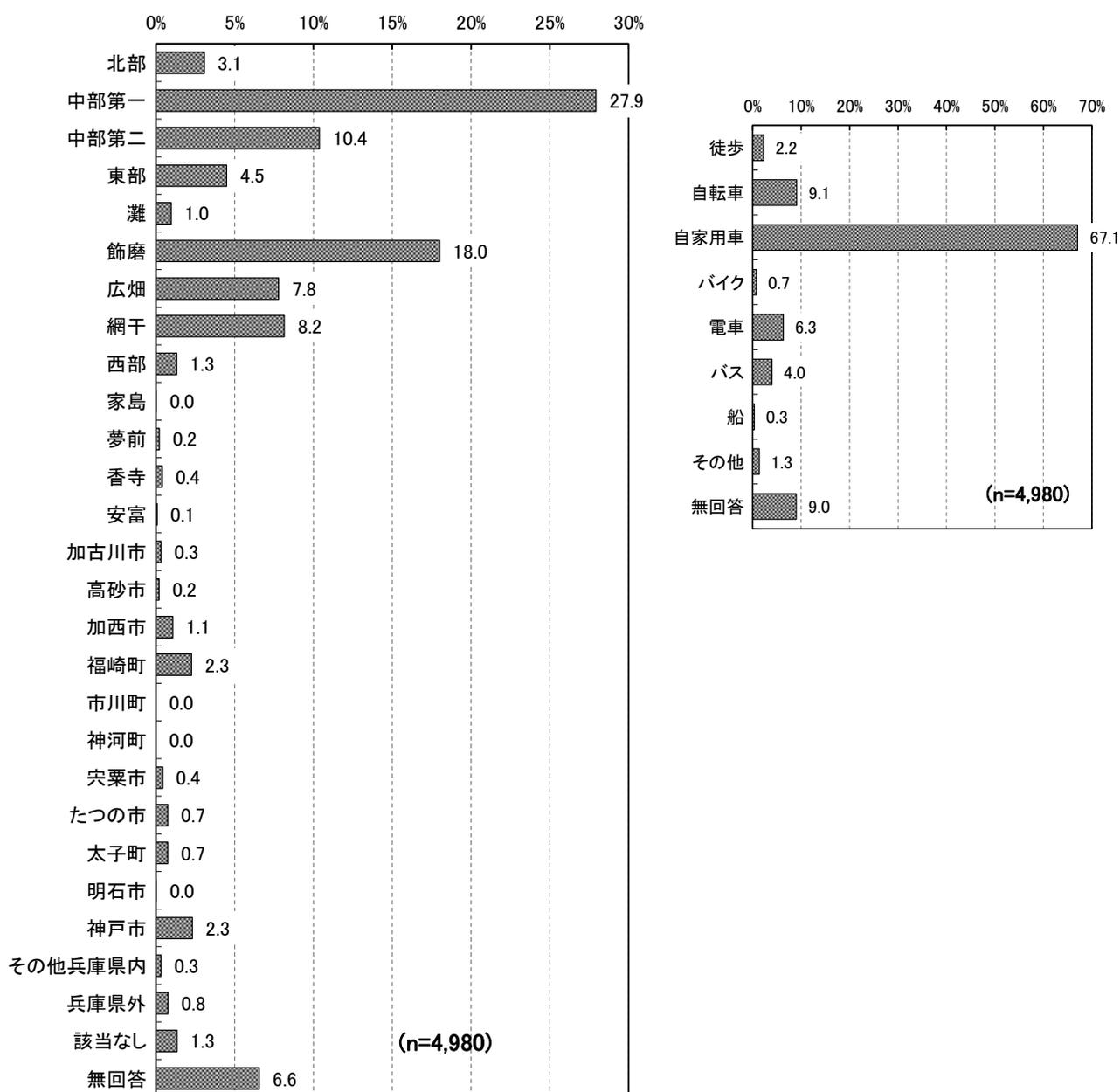
	調査数	徒歩	自転車	自家用車	バイク	電車	バス	船	その他	無回答	
全体	4980 100.0	316 6.3	900 18.1	3170 63.7	83 1.7	46 0.9	93 1.9	7 0.1	31 0.6	334 6.7	
居住地	北部	506 100.0	36 7.1	74 14.6	337 66.6	7 1.4	5 1.0	23 4.5	0 0.0	6 1.2	18 3.6
	中部第一	502 100.0	74 14.7	158 31.5	211 42.0	3 0.6	1 0.2	20 4.0	1 0.2	0 0.0	34 6.8
	中部第二	726 100.0	53 7.3	165 22.7	425 58.5	9 1.2	5 0.7	12 1.7	0 0.0	2 0.3	55 7.6
	東部	321 100.0	12 3.7	35 10.9	234 72.9	7 2.2	5 1.6	8 2.5	0 0.0	1 0.3	19 5.9
	灘	382 100.0	15 3.9	85 22.3	246 64.4	1 0.3	8 2.1	3 0.8	0 0.0	4 1.0	20 5.2
	飾磨	563 100.0	52 9.2	116 20.6	353 62.7	6 1.1	8 1.4	1 0.2	0 0.0	4 0.7	23 4.1
	広畑	482 100.0	19 3.9	84 17.4	328 68.0	7 1.5	1 0.2	2 0.4	0 0.0	2 0.4	39 8.1
	網干	535 100.0	18 3.4	94 17.6	370 69.2	12 2.2	3 0.6	0 0.0	2 0.4	4 0.7	32 6.0
	西部	398 100.0	17 4.3	45 11.3	288 72.4	6 1.5	1 0.3	15 3.8	1 0.3	7 1.8	18 4.5
	家島	31 100.0	2 6.5	1 3.2	3 9.7	15 48.4	0 0.0	1 3.2	2 6.5	0 0.0	7 22.6
	夢前	181 100.0	1 0.6	7 3.9	145 80.1	3 2.2	0 0.0	7 3.9	0 0.0	0 0.0	17 9.4
	香寺	183 100.0	4 2.2	19 10.4	138 75.4	5 2.7	2 1.1	0 0.0	1 0.5	0 0.0	14 7.7
	安富	53 100.0	3 5.7	2 3.8	41 77.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 13.2

(注) 上段:件数、下段:割合。なお、全体の割合よりも5ポイント以上高くなっている箇所は背景を灰色に太字、全体の割合よりも5ポイントよりも低い箇所は背景黒に白字としている。ただし、計算上5ポイントを上回る、あるいは下回るもののみ色付けを行っている。そのため、小数点第2位を四捨五入している関係上、表中において見かけ上5ポイント高くなっている、あるいは低くなっている場合も色がついていない場合がある。以下同様。

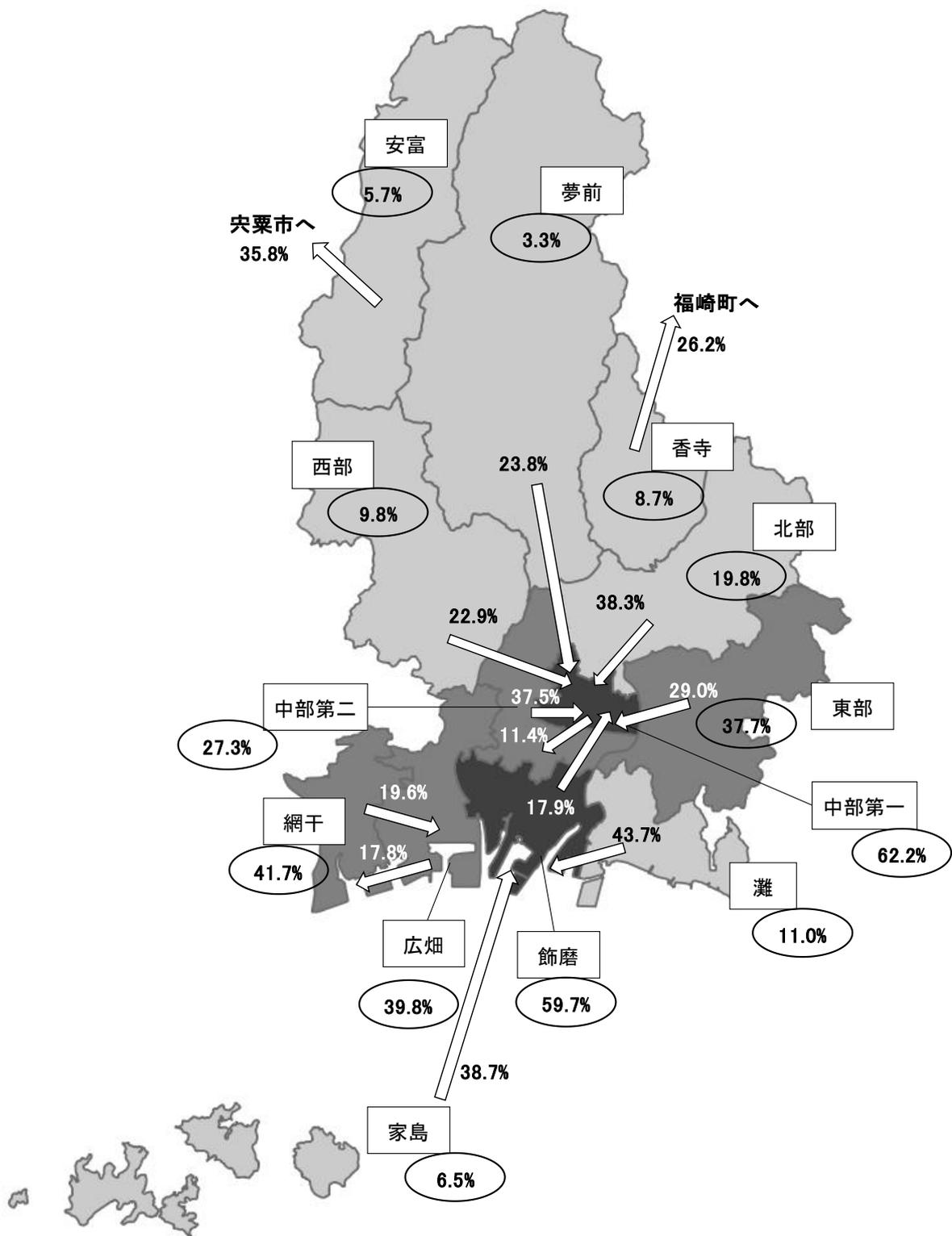
② 服、かばん、電化製品等を購入する地域と移動手段

- 全体傾向
 - ・ 服、かばん、電化製品等を購入する地域は、「中部第一」の回答割合が27.9%ともっとも高く、次いで「飾磨」が18.0%となっている。
 - ・ 移動手段については、「自家用車」の回答割合が67.1%ともっとも高く、次いで「自転車」が9.1%となっている。
- 属性別傾向
 - ・ 居住地別にみた場合、市内では「中部第一」や沿岸の地域においては「飾磨」で購入する割合が高くなっている。また、香寺ブロックでは「福崎町」(26.2%)、安富ブロックでは「宍粟市」(35.8%)といった市外での購入割合がもっとも高くなっている。

図表Ⅲ－8 服、かばん、電化製品等を購入する地域と移動手段



図表Ⅲ－ 9 服、かばん、電化製品等を購入する地域の移動動向



図表Ⅲ－10 居住地別にみた日常生活の範囲(服、かばん、電化製品等を購入する地域)

【市内】

		調査数	北部	中部第一	中部第二	東部	灘	飾磨	広畑	網干	西部	家島	夢前	香寺	安富
全体		4980 100.0	153 3.1	1391 27.9	517 10.4	224 4.5	48 1.0	897 18.0	388 7.8	406 8.2	66 1.3	2 0.0	11 0.2	20 0.4	4 0.1
居住地	北部	506 100.0	100 19.8	194 38.3	26 5.1	46 9.1	0 0.0	17 3.4	4 0.8	6 1.2	1 0.2	0 0.0	1 0.2	2 0.4	0 0.0
	中部第一	502 100.0	15 3.0	312 62.2	57 11.4	22 4.4	0 0.0	34 6.8	3 0.6	3 0.6	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中部第二	726 100.0	9 1.2	272 37.5	198 27.3	3 0.4	0 0.0	130 17.9	15 2.1	14 1.9	9 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	東部	321 100.0	3 0.9	93 29.0	13 4.0	121 37.7	0 0.0	36 11.2	2 0.6	2 0.6	2 0.6	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0
	灘	382 100.0	0 0.0	72 18.8	28 7.3	16 4.2	42 11.0	167 43.7	3 0.8	3 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	飾磨	563 100.0	1 0.2	101 17.9	36 6.4	4 0.7	3 0.5	336 59.7	23 4.1	10 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	広畑	482 100.0	3 0.6	61 12.7	22 4.6	1 0.2	0 0.0	59 12.2	192 39.8	86 17.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	網干	535 100.0	0 0.0	61 11.4	19 3.6	0 0.0	0 0.0	38 7.1	105 19.6	223 41.7	6 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	西部	398 100.0	3 0.8	91 22.9	75 18.8	3 0.8	0 0.0	34 8.5	29 7.3	42 10.6	39 9.8	0 0.0	0 0.3	1 0.0	0 0.0
	家島	31 100.0	1 3.2	11 35.5	1 3.2	0 0.0	0 0.0	12 38.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	夢前	181 100.0	5 2.8	43 23.8	22 12.2	0 0.0	1 0.6	13 7.2	7 3.9	6 3.3	4 2.2	0 0.0	6 3.3	1 0.6	0 0.0
	香寺	183 100.0	9 4.9	44 24.0	4 2.2	6 3.3	0 0.0	2 1.1	2 0.0	2 1.1	1 0.5	0 0.0	0 0.0	16 8.7	0 0.0
	安富	53 100.0	0 0.0	8 15.1	4 7.5	0 0.0	0 0.0	3 5.7	1 1.9	4 7.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 5.7

【市外（上段表つづき）】

		加古川市	高砂市	加西市	福崎町	市川町	神河町	宍粟市	たつの市	太子町	明石市	神戸市	その他兵庫県内	兵庫県外	該当なし	無回答
全体		16 0.3	10 0.2	53 1.1	113 2.3	0 0.0	0 0.0	22 0.4	37 0.7	37 0.7	2 0.0	115 2.3	16 0.3	38 0.8	67 1.3	327 6.6
居住地	北部	2 0.4	1 0.2	20 4.0	27 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	18 3.6	1 0.2	7 1.4	7 1.4	26 5.1
	中部第一	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 3.0	4 0.8	3 0.6	7 1.4	26 5.2
	中部第二	1 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	1 0.1	0 0.0	13 1.8	2 0.3	6 0.8	10 1.4	41 5.6
	東部	4 1.2	4 1.2	2 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	7 2.2	3 0.9	1 0.3	5 1.6	21 6.5
	灘	5 1.3	4 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 2.1	2 0.5	3 0.8	8 2.1	21 5.5
	飾磨	2 0.4	0 0.0	0 0.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 2.3	0 0.0	4 0.7	1 0.2	28 5.0
	広畑	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.2	1 0.2	0 0.8	4 0.8	1 0.2	6 1.2	8 1.7	37 7.7
	網干	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 0.7	22 4.1	1 0.2	16 3.0	2 0.4	3 0.6	6 1.1	29 5.4
	西部	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	29 7.3	11 2.8	0 0.0	6 1.5	0 0.0	2 0.5	4 1.0	29 7.3
	家島	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 12.9
	夢前	1 0.6	0 0.0	3 1.7	35 19.3	0 0.0	0 0.0	2 1.1	1 0.6	0 0.0	0 0.0	8 4.4	0 0.0	0 0.0	2 1.1	21 11.6
	香寺	0 0.0	0 0.0	24 13.1	48 26.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.5	1 0.5	1 0.5	3 1.6	6 3.3	16 8.7
	安富	0 0.0	0 0.0	2 3.8	2 3.8	0 0.0	0 0.0	19 35.8	1 1.9	2 3.8	0 0.0	1 1.9	0 0.0	0 0.0	1 1.9	2 3.8

(注)上段:件数、下段:割合。なお、市内外合わせて(無回答は除外)、もっとも割合が高くなっている箇所を背景黒に白字、2番目に割合が高くなっている箇所は背景を濃い灰色、3番目に割合が高くなっている箇所は背景を薄い灰色としている。

図表Ⅲ－11 居住地別にみた日常生活の移動手段(服、かばん、電化製品等を購入する地域)

		調査数	徒歩	自転車	自家用車	バイク	電車	バス	船	その他	無回答
全体		4980 100.0	112 2.2	451 9.1	3341 67.1	37 0.7	313 6.3	197 4.0	15 0.3	66 1.3	448 9.0
居住地	北部	506 100.0	8 1.6	37 7.3	351 69.4	6 1.2	26 5.1	44 8.7	0 0.0	5 1.0	29 5.7
	中部第一	502 100.0	33 6.6	100 19.9	261 52.0	4 0.8	16 3.2	36 7.2	1 0.2	6 1.2	45 9.0
	中部第二	726 100.0	22 3.0	93 12.8	466 64.2	5 0.7	22 3.0	43 5.9	0 0.0	13 1.8	62 8.5
	東部	321 100.0	2 0.6	17 5.3	236 73.5	2 0.6	24 7.5	10 3.1	0 0.0	2 0.6	28 8.7
	灘	382 100.0	4 1.0	13 3.4	274 71.7	0 0.0	55 14.4	5 1.3	0 0.0	8 2.1	23 6.0
	飾磨	563 100.0	19 3.4	71 12.6	367 65.2	2 0.4	53 9.4	5 0.9	1 0.2	5 0.9	40 7.1
	広畑	482 100.0	8 1.7	43 8.9	333 69.1	6 1.2	29 6.0	5 1.0	0 0.0	7 1.5	51 10.6
	網干	535 100.0	8 1.5	37 6.9	382 71.4	8 1.5	47 8.8	2 0.4	1 0.2	8 1.5	42 7.9
	西部	398 100.0	3 0.8	13 3.3	290 72.9	2 0.5	20 5.0	26 6.5	1 0.3	8 2.0	35 8.8
	家島	31 100.0	0 0.0	1 3.2	5 16.1	1 3.2	0 0.0	6 19.4	10 32.3	0 0.0	8 25.8
	夢前	181 100.0	0 0.0	3 1.7	141 77.9	0 0.0	3 1.7	11 6.1	0 0.0	0 0.0	23 12.7
	香寺	183 100.0	0 0.0	9 4.9	138 75.4	1 0.5	9 4.9	0 0.0	1 0.5	1 0.5	24 13.1
	安富	53 100.0	1 1.9	2 3.8	42 79.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	7 13.2

(注) 上段:件数、下段:割合。なお、全体の割合よりも5ポイント以上高くなっている箇所は背景を灰色に太字、全体の割合よりも5ポイントよりも小さい箇所は背景黒に白字としている。

③ 通勤・通学先がある地域と移動手段

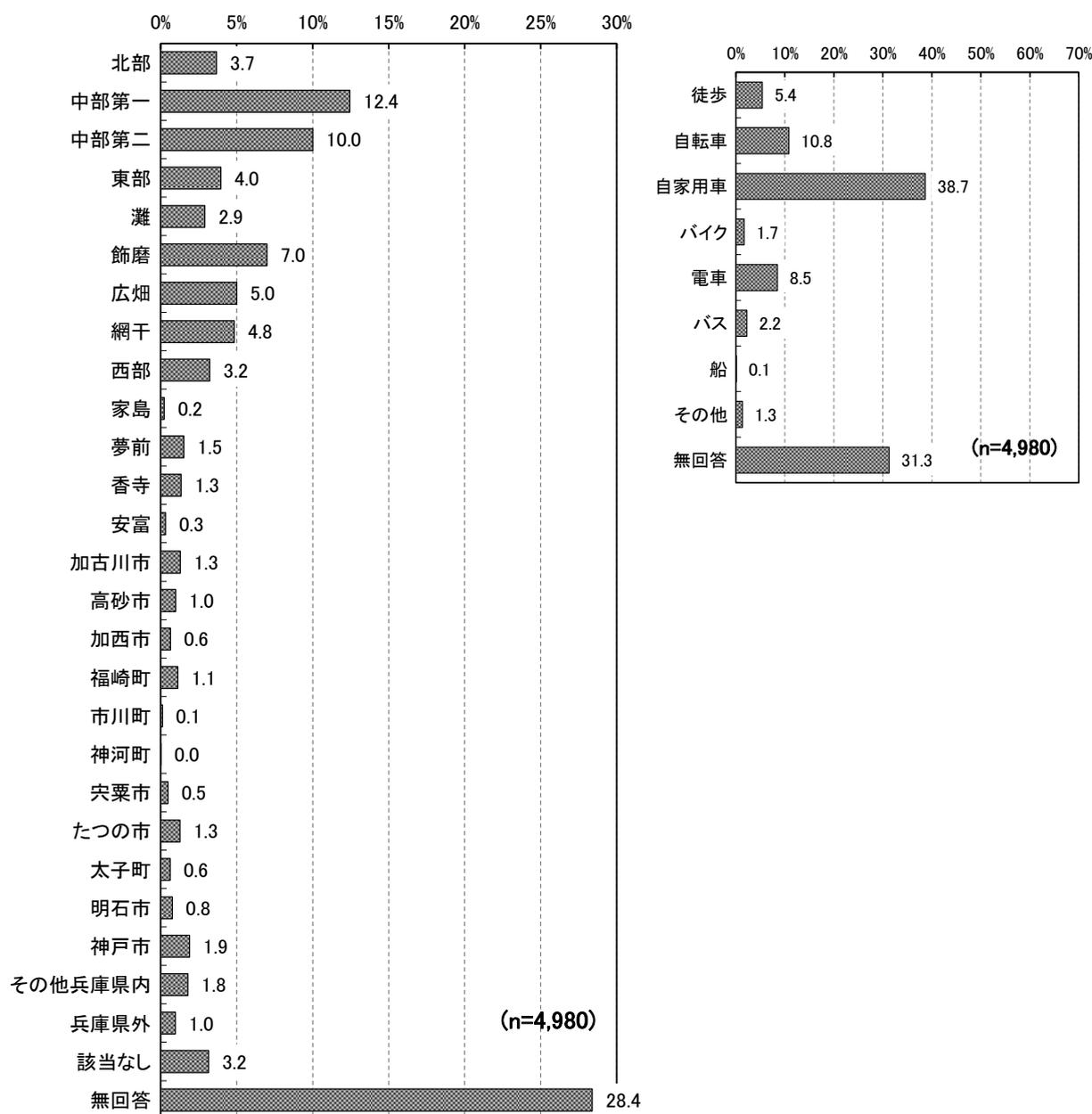
■ 全体傾向

- ・ 通勤・通学先がある地域は、「中部第一」の回答割合が12.4%ともっとも高く、次いで「中部第二」が10.0%となっている。
- ・ 移動手段については、「自家用車」の回答割合が38.7%ともっとも高く、次いで、「自転車」が10.8%となっている。

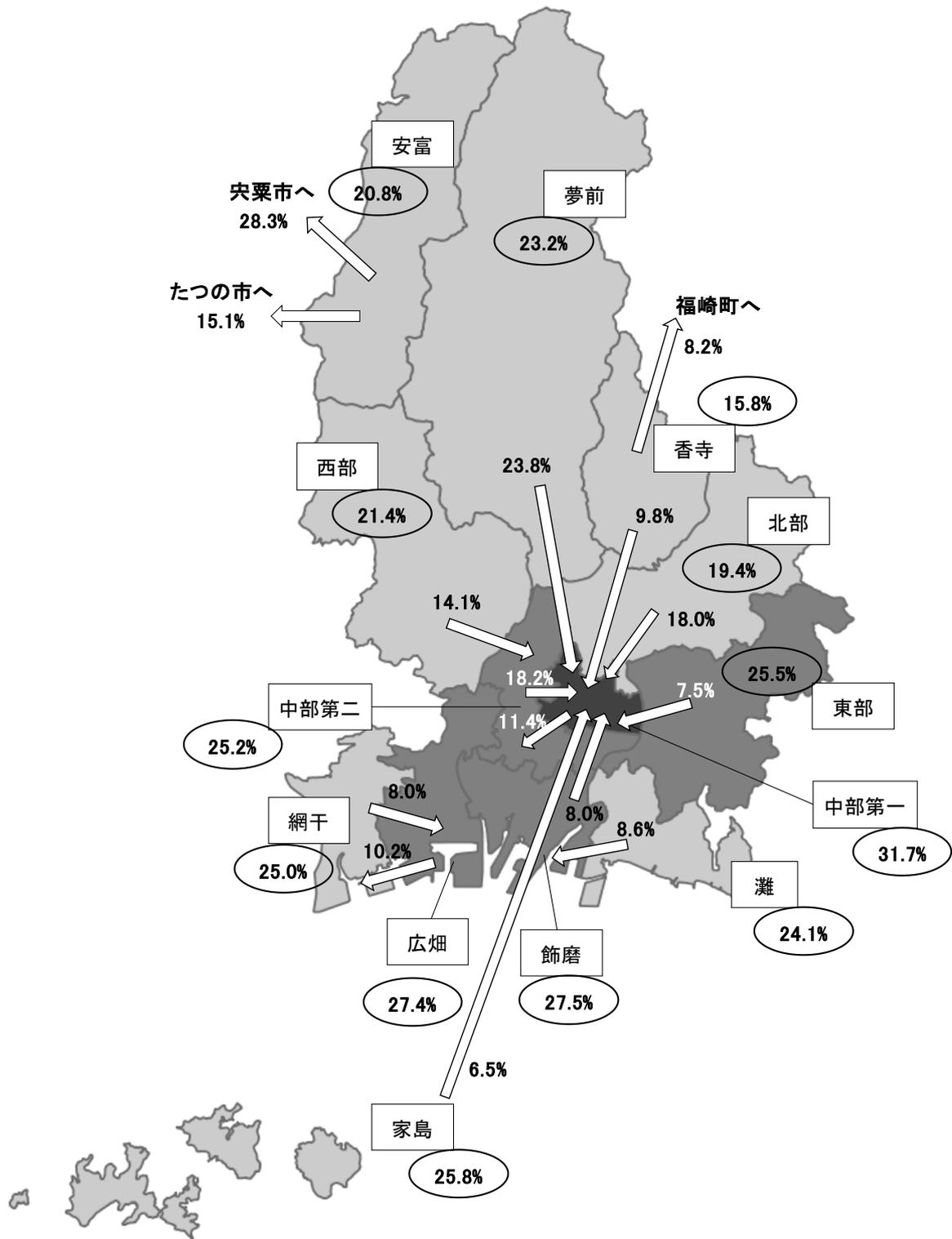
■ 属性別傾向

- ・ 居住地別にみた場合、安富ブロック以外では、居住地内で通勤・通学している割合がもっとも高くなっている。安富ブロックでは「宍粟市」(28.3%)や「たつの市」(15.1%)へ通勤・通学している割合も高くなっている。

図表Ⅲ－12 通勤・通学先がある地域と移動手段



図表Ⅲ－13 通勤、通学先がある地域の移動動向



図表Ⅲ－14 居住地別にみた日常生活の範囲(通勤・通学先がある地域)

【市内】

		調査数	北部	中部第一	中部第二	東部	灘	飾磨	広畑	網干	西部	家島	夢前	香寺	安富	
全体		4980 100.0	183 3.7	620 12.4	498 10.0	197 4.0	145 2.9	348 7.0	249 5.0	241 4.8	161 3.2	12 0.2	76 1.5	67 1.3	16 0.3	
居住地	北部	506 100.0	98 19.4	91 18.0	37 7.3	18 3.6	2 0.4	6 1.2	8 1.6	5 1.0	7 1.4	1 0.2	5 1.0	22 4.3	0 0.0	
	中部第一	502 100.0	16 3.2	159 31.7	57 11.4	23 4.6	2 0.4	8 1.6	5 1.0	8 1.6	8 1.6	0 0.0	3 0.6	3 0.6	0 0.0	
	中部第二	726 100.0	14 1.9	132 18.2	183 25.2	10 1.4	7 1.0	50 6.9	14 1.9	15 2.1	15 2.5	2 0.3	6 0.8	4 0.6	0 0.0	
	東部	321 100.0	10 3.1	24 7.5	15 4.7	82 25.5	8 2.5	17 5.3	2 0.6	2 0.6	2 0.6	6 1.9	0 0.0	1 0.3	2 0.6	0 0.0
	灘	382 100.0	1 0.3	29 7.6	21 5.5	21 5.5	92 24.1	33 8.6	6 1.6	5 1.3	5 1.3	3 0.8	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0
	飾磨	563 100.0	6 1.1	45 8.0	40 7.1	11 2.0	22 3.9	155 27.5	25 4.4	13 2.3	13 2.3	5 0.9	1 0.2	0 0.0	2 0.4	2 0.4
	広畑	482 100.0	4 0.8	17 3.5	28 5.8	10 2.1	3 0.6	23 4.8	132 27.4	49 10.2	49 10.2	9 1.9	0 0.0	4 0.8	0 0.0	0 0.0
	網干	535 100.0	3 0.6	26 4.9	28 5.2	1 0.2	7 1.3	30 5.6	43 8.0	134 25.0	134 25.0	3 0.6	0 0.0	2 0.4	1 0.2	0 0.0
	西部	398 100.0	4 1.0	48 12.1	56 14.1	7 1.8	1 0.3	10 2.5	5 1.3	5 1.3	3 0.8	85 21.4	0 0.0	5 1.3	0 0.0	1 0.3
	家島	31 100.0	0 0.0	0 0.0	2 6.5	1 3.2	0 0.0	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 25.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	夢前	181 100.0	9 5.0	21 11.6	9 5.0	2 1.1	0 0.0	4 2.2	5 2.8	3 1.7	3 1.7	9 5.0	0 0.0	42 23.2	1 0.6	1 0.6
	香寺	183 100.0	14 7.7	18 9.8	10 5.5	5 2.7	0 0.0	5 2.7	5 2.7	0 0.0	0 0.5	1 0.5	1 0.0	3 1.6	29 15.8	1 0.5
	安富	53 100.0	2 3.8	1 1.9	3 5.7	0 0.0	0 0.0	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 7.5	0 0.0	11 20.8

【市外（上段表つづき）】

		加古川市	高砂市	加西市	福崎町	市川町	神河町	宍粟市	たつの市	太子町	明石市	神戸市	その他兵庫県内	兵庫県外	該当なし	無回答
全体		64 1.3	49 1.0	32 0.6	56 1.1	6 0.1	1 0.0	24 0.5	63 1.3	31 0.6	38 0.8	95 1.9	89 1.8	48 1.0	157 3.2	1414 28.4
居住地	北部	4 0.8	4 0.8	8 1.6	18 3.6	2 0.4	0 0.0	0 0.0	1 0.2	0 0.0	3 0.6	6 1.2	10 2.0	8 1.6	12 2.4	130 25.7
	中部第一	8 1.6	2 0.4	2 0.4	3 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.4	2 0.4	3 0.6	11 2.2	5 1.0	4 0.8	16 3.2	152 30.3
	中部第二	7 1.0	6 0.8	2 0.3	4 0.6	1 0.1	0 0.0	1 0.1	6 0.8	3 0.4	7 1.0	17 2.3	10 1.4	5 0.7	25 3.4	177 24.4
	東部	11 3.4	3 0.9	5 1.6	2 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.6	0 0.0	2 0.6	6 1.9	5 1.6	2 0.6	13 4.0	101 31.5
	灘	11 2.9	14 3.7	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.5	0 0.0	3 0.8	8 2.1	11 2.9	5 1.3	12 3.1	103 27.0
	飾磨	6 1.1	7 1.2	1 0.2	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 0.5	3 0.5	8 1.4	18 3.2	7 1.2	10 1.8	17 3.0	155 27.5
	広畑	8 1.7	4 0.8	2 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.2	6 1.2	8 1.7	4 0.8	9 1.9	8 1.7	4 0.8	13 2.7	136 28.2
	網干	4 0.7	6 1.1	1 0.2	2 0.4	1 0.2	0 0.0	1 0.2	21 3.9	10 1.9	6 1.1	13 2.4	22 4.1	5 0.9	21 3.9	144 26.9
	西部	2 0.5	1 0.3	0 0.0	1 0.3	1 0.3	0 0.0	2 0.5	10 2.5	5 1.3	5 0.3	1 1.0	4 1.0	4 0.5	2 3.3	127 31.9
	家島	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 61.3
	夢前	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 4.4	0 0.6	1 0.6	2 1.1	2 1.1	0 0.0	0 0.0	3 1.7	2 1.1	1 0.6	3 1.7	53 29.3
	香寺	1 0.5	1 0.5	9 4.9	15 8.2	1 0.5	0 0.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	2 1.1	1 0.5	9 4.9	55 30.1
	安富	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 28.3	8 15.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 15.1

(注)上段:件数、下段:割合。なお、市内外合わせて(無回答は除外)、もっとも割合が高くなっている箇所を背景黒に白字、2番目に割合が高くなっている箇所は背景を濃い灰色、3番目に割合が高くなっている箇所は背景を薄い灰色としている。

図表Ⅲ－15 居住地別にみた日常生活の移動手段(通勤・通学先がある地域)

		調査数	徒歩	自転車	自家用車	バイク	電車	バス	船	その他	無回答
全体		4980	269	539	1925	84	422	112	5	67	1557
		100.0	5.4	10.8	38.7	1.7	8.5	2.2	0.1	1.3	31.3
居住地	北部	506	29	39	213	14	42	25	0	7	137
		100.0	5.7	7.7	42.1	2.8	8.3	4.9	0.0	1.4	27.1
	中部第一	502	53	80	132	5	34	21	0	5	172
		100.0	10.6	15.9	26.3	1.0	6.8	4.2	0.0	1.0	34.3
	中部第二	726	45	123	263	12	48	21	1	12	201
		100.0	6.2	16.9	36.2	1.7	6.6	2.9	0.1	1.7	27.7
	東部	321	16	26	126	7	21	8	0	5	112
		100.0	5.0	8.1	39.3	2.2	6.5	2.5	0.0	1.6	34.9
	灘	382	21	34	157	2	43	5	0	7	113
		100.0	5.5	8.9	41.1	0.5	11.3	1.3	0.0	1.8	29.6
	飾磨	563	30	76	192	13	73	5	2	8	164
		100.0	5.3	13.5	34.1	2.3	13.0	0.9	0.4	1.4	29.1
	広畑	482	26	53	204	5	40	1	0	8	145
		100.0	5.4	11.0	42.3	1.0	8.3	0.2	0.0	1.7	30.1
	網干	535	16	45	215	9	75	0	0	10	165
		100.0	3.0	8.4	40.2	1.7	14.0	0.0	0.0	1.9	30.8
西部	398	19	29	166	8	20	16	0	4	136	
	100.0	4.8	7.3	41.7	2.0	5.0	4.0	0.0	1.0	34.2	
家島	31	0	0	3	5	0	2	1	0	20	
	100.0	0.0	0.0	9.7	16.1	0.0	6.5	3.2	0.0	64.5	
夢前	181	4	9	100	1	3	6	0	0	58	
	100.0	2.2	5.0	55.2	0.6	1.7	3.3	0.0	0.0	32.0	
香寺	183	1	11	88	1	17	0	1	1	63	
	100.0	0.5	6.0	48.1	0.5	9.3	0.0	0.5	0.5	34.4	
安富	53	3	4	34	0	0	0	0	0	12	
	100.0	5.7	7.5	64.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.6	

(注) 上段: 件数、下段: 割合。なお、全体の割合よりも5ポイント以上高くなっている箇所は背景を灰色に太字、全体の割合よりも5ポイントよりも小さい箇所は背景黒に白字としている。

④ 外食する地域と移動手段

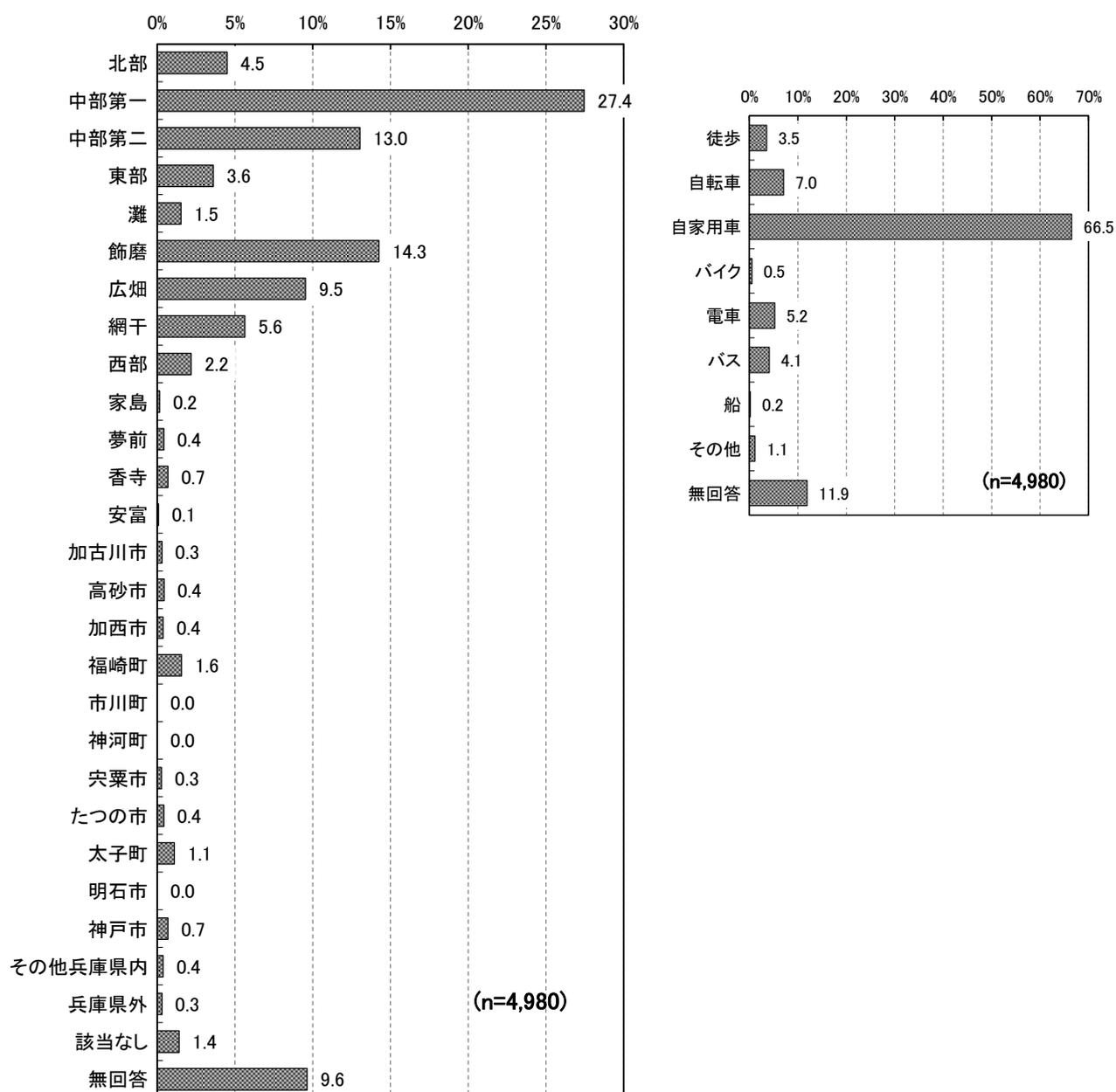
■ 全体傾向

- ・ 外食する地域は、「中部第一」の回答割合が 27.4%ともっとも高く、次いで「飾磨」が 14.3%となっている。
- ・ 移動手段については、「自家用車」の回答割合が 66.5%ともっとも高く、次いで、「自転車」が 7.0%となっている。

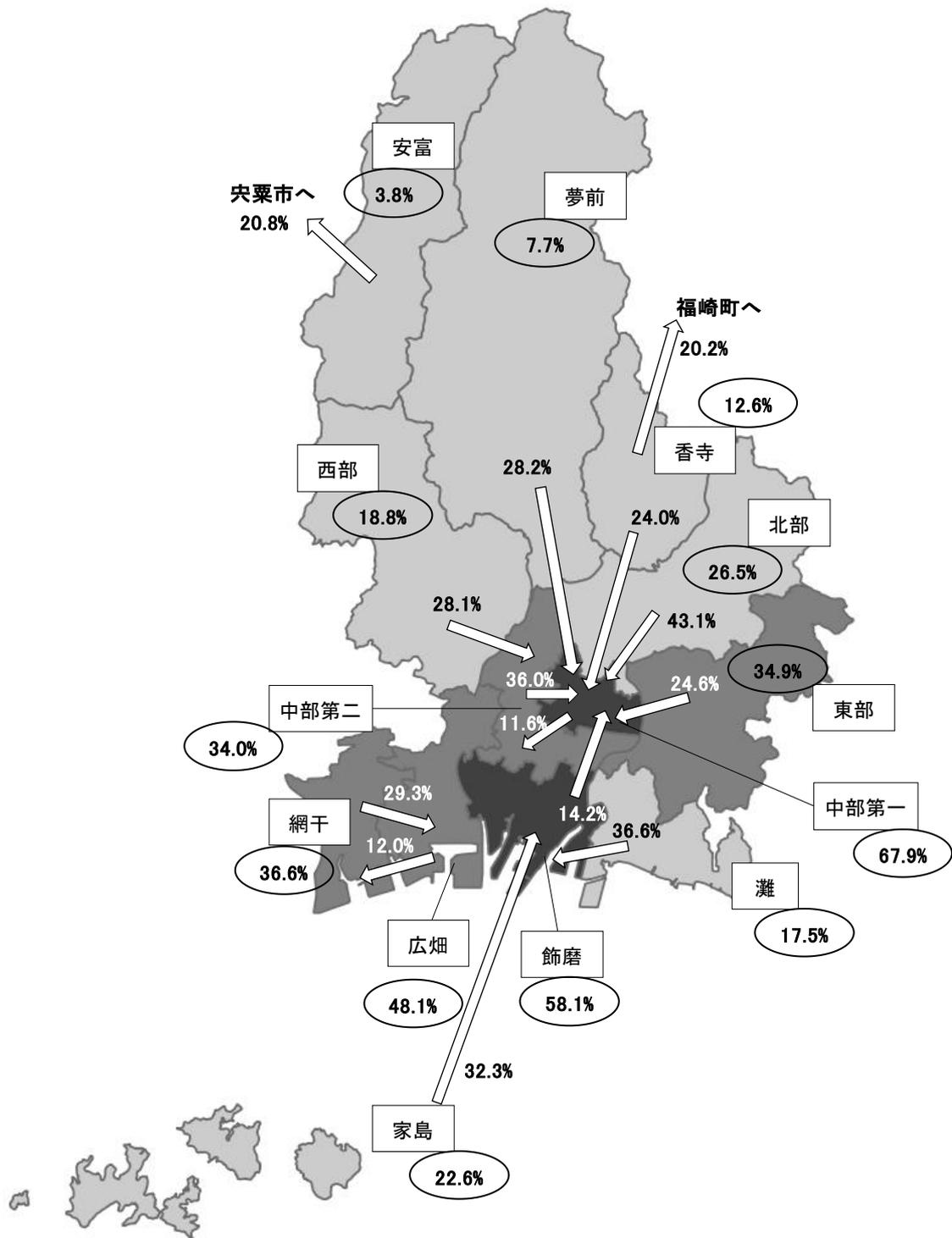
■ 属性別傾向

- ・ 居住地別にみた場合、「中部第一」、「中部第二」、また、沿岸部の地域では「飾磨」で外食する割合が高くなっている。また、香寺ブロックでは「福崎町」(20.2%)、安富ブロックでは「宍粟市」(20.8%)といった市外で外食する割合が高くなっている。

図表Ⅲ－16 外食する地域と移動手段



図表Ⅲ－17 外食する地域の移動動向



図表Ⅲ－18 居住地別にみた日常生活の範囲(外食する地域)

【市内】

	調査数	北部	中部第一	中部第二	東部	灘	飾磨	広畑	網干	西部	家島	夢前	香寺	安富	
全体	4980 100.0	224 4.5	1367 27.4	649 13.0	180 3.6	76 1.5	710 14.3	475 9.5	281 5.6	109 2.2	8 0.2	21 0.4	34 0.7	4 0.1	
居住地	北部	506 100.0	134 26.5	218 43.1	28 5.5	25 4.9	0 0.0	14 2.8	0 0.0	0 0.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0	6 1.2	0 0.0
	中部第一	502 100.0	15 3.0	341 67.9	58 11.6	10 2.0	0 0.0	18 3.6	3 0.6	1 0.2	2 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中部第二	726 100.0	12 1.7	261 36.0	247 34.0	2 0.3	0 0.0	81 11.2	10 1.4	10 1.4	10 1.4	0 0.0	1 0.1	0 0.0	1 0.1
	東部	321 100.0	10 3.1	79 24.6	27 8.4	112 34.9	1 0.3	21 6.5	1 0.3	1 0.3	2 0.6	0 0.0	0 0.0	1 0.3	1 0.3
	灘	382 100.0	1 0.3	67 17.5	25 6.5	9 2.4	67 17.5	140 36.6	4 1.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	飾磨	563 100.0	2 0.4	80 14.2	43 7.6	3 0.5	6 1.1	327 58.1	39 6.9	3 0.5	1 0.2	1 0.2	1 0.0	0 0.0	0 0.0
	広畑	482 100.0	1 0.2	54 11.2	34 7.1	2 0.4	0 0.0	43 8.9	232 48.1	58 12.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0	1 0.2	0 0.0
	網干	535 100.0	0 0.0	45 8.4	18 3.4	1 0.2	0 0.0	28 5.2	157 29.3	196 36.6	5 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	西部	398 100.0	3 0.8	82 20.6	112 28.1	1 0.3	0 0.0	13 3.3	18 4.5	10 2.5	75 18.8	0 0.0	3 0.8	0 0.0	0 0.0
	家島	31 100.0	0 0.0	6 19.4	0 0.0	1 3.2	0 0.0	10 32.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 22.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	夢前	181 100.0	8 4.4	51 28.2	31 17.1	4 2.2	0 0.0	5 2.8	3 1.7	0 0.0	7 3.9	0 0.0	14 7.7	3 1.7	0 0.0
	香寺	183 100.0	35 19.1	44 24.0	8 4.4	3 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	23 12.6	0 0.0
	安富	53 100.0	0 0.0	10 18.9	8 15.1	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	0 0.0	2 3.8

【市外（上段表つづき）】

	加古川市	高砂市	加西市	福崎町	市川町	神河町	宍粟市	たつの市	太子町	明石市	神戸市	その他兵庫県内	兵庫県外	該当なし	無回答	
全体	15 0.3	22 0.4	19 0.4	78 1.6	0 0.0	0 0.0	14 0.3	21 0.4	55 1.1	0 0.0	34 0.7	19 0.4	15 0.3	70 1.4	480 9.6	
居住地	北部	0 0.0	1 0.2	10 2.0	17 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 1.4	1 0.2	4 0.8	4 0.8	36 7.1
	中部第一	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 0.8	4 0.8	2 0.4	3 0.6	41 8.2
	中部第二	1 0.1	0 0.0	1 0.1	2 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	7 1.0	2 0.3	0 0.0	10 1.4	67 9.2
	東部	6 1.9	6 1.9	1 0.3	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	4 1.2	1 0.3	1 0.3	8 2.5	36 11.2
	灘	4 1.0	13 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	2 0.5	2 0.5	8 2.1	38 9.9
	飾磨	1 0.2	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.2	3 0.5	3 0.5	7 1.2	42 7.5
	広畑	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 0.6	0 0.0	4 0.8	0 0.0	0 0.0	2 0.4	47 9.8
	網干	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 0.7	24 4.5	0 0.0	4 0.7	2 0.4	0 0.0	5 0.9	45 8.4
	西部	2 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 3.0	18 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 2.0	41 10.3
	家島	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 22.6
	夢前	0 0.0	0 0.0	0 0.0	18 9.9	0 0.0	0 0.0	2 1.1	0 0.0	3 1.7	0 0.0	1 0.6	0 0.0	2 1.1	5 2.8	24 13.3
	香寺	0 0.0	0 0.0	6 3.3	37 20.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.1	1 0.5	4 2.2	20 10.9
	安富	0 0.0	0 0.0	1 1.9	3 5.7	0 0.0	0 0.0	11 20.8	2 3.8	7 13.2	0 0.0	1 1.9	1 1.9	0 0.0	3 5.7	2 3.8

(注)上段:件数、下段:割合。なお、市内外合わせて(無回答は除外)、もっとも割合が高くなっている箇所を背景黒に白字、2番目に割合が高くなっている箇所は背景を濃い灰色、3番目に割合が高くなっている箇所は背景を薄い灰色としている。

図表Ⅲ－19 居住地別にみた日常生活の移動手段(外食する地域)

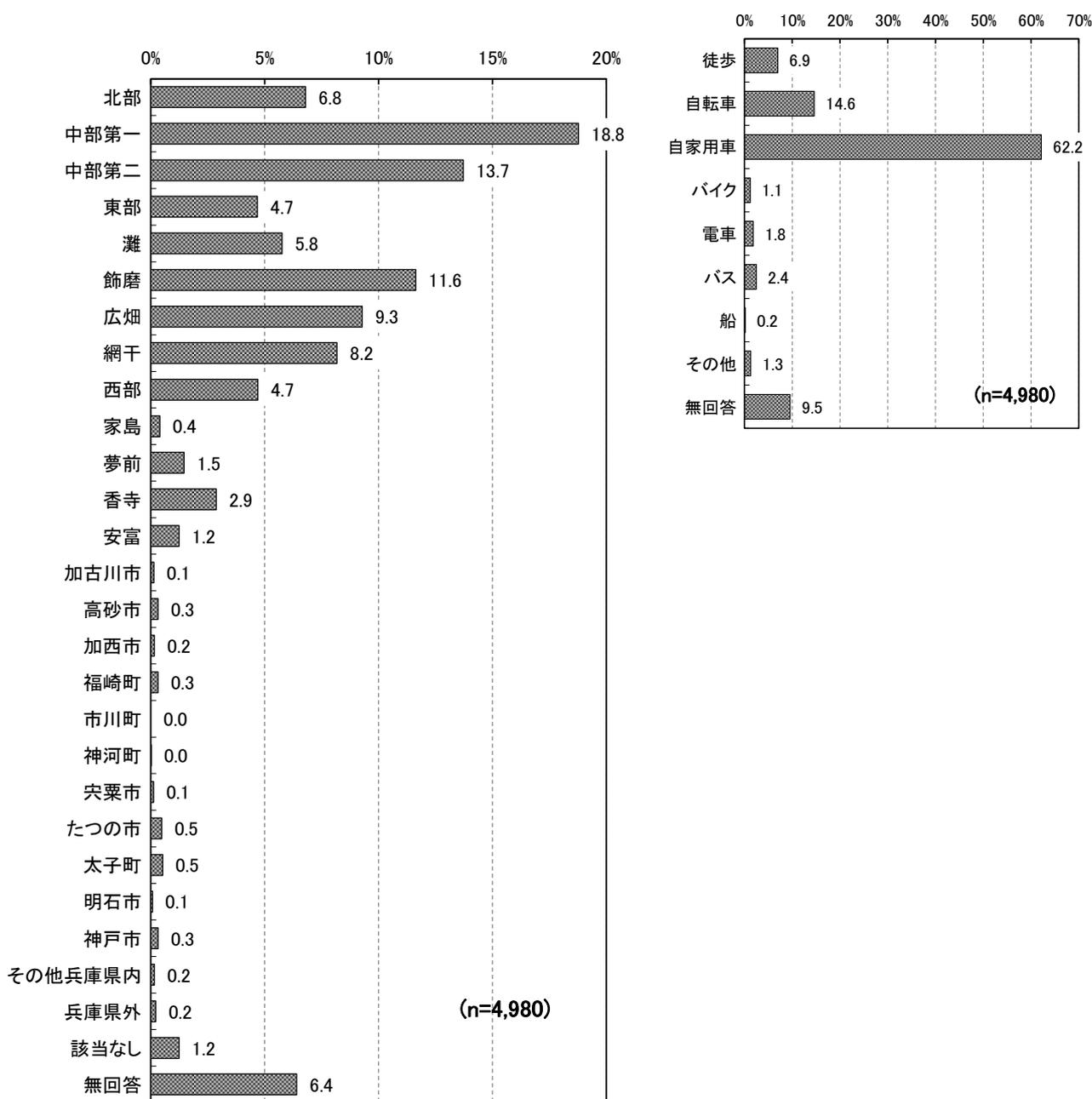
		調査数	徒歩	自転車	自家用車	バイク	電車	バス	船	その他	無回答
全体		4980 100.0	175 3.5	350 7.0	3314 66.5	25 0.5	258 5.2	202 4.1	8 0.2	57 1.1	591 11.9
居住地	北部	506 100.0	11 2.2	30 5.9	338 66.8	5 1.0	21 4.2	59 11.7	0 0.0	4 0.8	38 7.5
	中部第一	502 100.0	64 12.7	79 15.7	253 50.4	1 0.2	8 1.6	34 6.8	0 0.0	3 0.6	60 12.0
	中部第二	726 100.0	36 5.0	74 10.2	454 62.5	4 0.6	17 2.3	40 5.5	0 0.0	14 1.9	87 12.0
	東部	321 100.0	5 1.6	15 4.7	229 71.3	1 0.3	14 4.4	11 3.4	0 0.0	3 0.9	43 13.4
	灘	382 100.0	3 0.8	18 4.7	261 68.3	0 0.0	44 11.5	6 1.6	0 0.0	8 2.1	42 11.0
	飾磨	563 100.0	23 4.1	48 8.5	365 64.8	2 0.4	56 9.9	3 0.5	0 0.0	6 1.1	60 10.7
	広畑	482 100.0	15 3.1	32 6.6	341 70.7	2 0.4	26 5.4	6 1.2	0 0.0	3 0.6	57 11.8
	網干	535 100.0	7 1.3	22 4.1	401 75.0	3 0.6	38 7.1	1 0.2	1 0.2	4 0.7	58 10.8
	西部	398 100.0	4 1.0	11 2.8	293 73.6	1 0.3	14 3.5	22 5.5	1 0.3	10 2.5	42 10.6
	家島	31 100.0	1 3.2	1 3.2	4 12.9	4 12.9	0 0.0	6 19.4	5 16.1	0 0.0	10 32.3
	夢前	181 100.0	0 0.0	2 1.1	138 76.2	1 0.6	3 1.7	11 6.1	0 0.0	0 0.0	26 14.4
	香寺	183 100.0	0 0.0	9 4.9	140 76.5	1 0.5	8 4.4	0 0.0	1 0.5	0 0.0	24 13.1
	安富	53 100.0	0 0.0	2 3.8	41 77.4	0 0.0	0 0.0	2 3.8	0 0.0	1 1.9	7 13.2

(注)上段:件数、下段:割合。なお、全体の割合よりも5ポイント以上高くなっている箇所は背景を灰色に太字、全体の割合よりも5ポイントよりも小さい箇所は背景黒に白字としている。

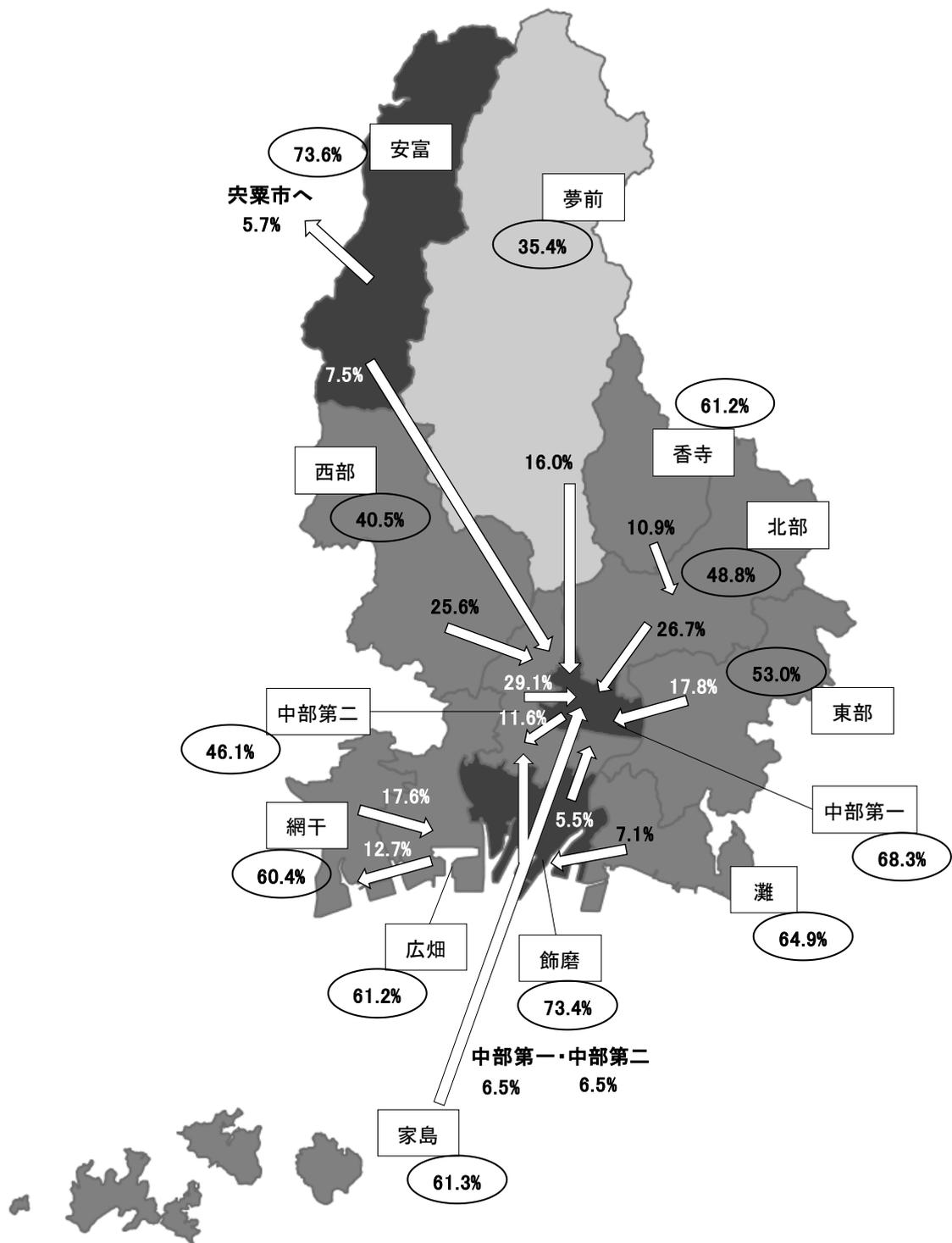
⑤ かかりつけの医療機関がある地域と移動手段

- 全体傾向
 - ・ かかりつけの医療機関がある地域は、「中部第一」の回答割合が18.8%ともっとも高く、次いで「中部第二」が13.7%となっている。
 - ・ 移動手段については、「自家用車」が62.2%、次いで「自転車」が14.6%となっている。
- 属性別傾向
 - ・ 居住地別にみた場合、居住地内にかかりつけの医療機関があるのが主であるが、居住地以外では「中部第一」、「中部第二」にある割合が高くなっている。安富ブロックでは「宍粟市」(5.7%)の回答割合が高くなっている。

図表Ⅲ－20 かかりつけの医療機関がある地域と移動手段



図表Ⅲ－21 かかりつけの医療機関がある地域の移動動向



図表Ⅲ－22 居住地別にみた日常生活の範囲(かかりつけの医療機関がある地域)

【市内】

	調査数	北部	中部第一	中部第二	東部	灘	飾磨	広畑	網干	西部	家島	夢前	香寺	安富	
全体	4980 100.0	338 6.8	935 18.8	683 13.7	233 4.7	287 5.8	579 11.6	462 9.3	407 8.2	234 4.7	20 0.4	73 1.5	143 2.9	62 1.2	
居住地	北部	506 100.0	247 48.8	135 26.7	28 5.5	9 1.8	1 0.2	4 0.8	5 1.0	0 0.0	6 1.2	0 0.0	0 0.0	25 4.9	0 0.0
	中部第一	502 100.0	19 3.8	343 68.3	58 11.6	20 4.0	1 0.2	8 1.6	3 0.6	2 1.0	5 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中部第二	726 100.0	17 2.3	211 29.1	335 46.1	3 0.4	3 0.4	63 8.7	8 1.1	5 0.7	20 2.8	0 0.0	0 0.0	2 0.3	2 0.3
	東部	321 100.0	13 4.0	57 17.8	19 5.9	170 53.0	14 4.4	8 2.5	1 0.3	1 0.3	3 0.9	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0
	灘	382 100.0	1 0.3	14 3.7	17 4.5	14 3.7	248 64.9	27 7.1	12 3.1	2 0.5	1 0.3	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0
	飾磨	563 100.0	3 0.5	29 5.2	31 5.5	4 0.7	11 2.0	413 73.4	28 5.0	2 0.4	3 0.5	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	広畑	482 100.0	0 0.0	11 2.3	25 5.2	1 0.2	0 0.0	28 5.8	295 61.2	61 12.7	9 1.9	0 0.0	0 0.0	1 0.2	0 0.0
	網干	535 100.0	1 0.2	15 2.8	15 2.8	1 0.2	0 0.0	7 1.3	94 17.6	323 60.4	5 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.2
	西部	398 100.0	3 0.8	52 13.1	102 25.6	3 0.8	0 0.0	3 0.8	10 2.5	4 1.0	161 40.5	0 0.0	5 1.3	0 0.0	28 7.1
	家島	31 100.0	0 0.0	2 6.5	2 6.5	1 3.2	1 3.2	0 0.0	1 3.2	0 0.0	1 3.2	19 61.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	夢前	181 100.0	9 5.0	29 16.0	26 14.4	0 0.0	2 1.1	3 1.7	2 1.1	2 1.1	12 6.6	0 0.0	64 35.4	0 0.0	7 3.9
	香寺	183 100.0	20 10.9	14 7.7	5 2.7	2 1.1	1 0.5	3 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	112 61.2	0 0.0
	安富	53 100.0	0 0.0	1 1.9	4 7.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	39 73.6

【市外（上段表つづき）】

	加古川市	高砂市	加西市	福崎町	市川町	神河町	宍粟市	たつの市	太子町	明石市	神戸市	その他兵庫県内	兵庫県外	該当なし	無回答	
全体	7 0.1	16 0.3	8 0.2	16 0.3	0 0.0	1 0.0	6 0.1	24 0.5	26 0.5	4 0.1	16 0.3	8 0.2	11 0.2	62 1.2	319 6.4	
居住地	北部	1 0.2	2 0.4	3 0.6	6 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.4	0 0.0	3 0.6	1 0.2	28 5.5
	中部第一	1 0.2	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.2	0 0.0	1 0.2	1 0.6	3 0.6	3 0.6	1 0.2	3 0.6	29 5.8
	中部第二	0 0.0	1 0.1	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	1 0.1	0 0.0	1 0.1	1 0.3	1 0.3	2 0.1	1 0.1	11 1.5	37 5.1
	東部	3 0.9	5 1.6	2 0.6	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.3	1 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	4 1.2	17 5.3
	灘	1 0.3	4 1.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.5	2 0.0	0 0.0	0 0.0	9 2.4	28 7.3
	飾磨	0 0.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.5	3 0.0	0 0.0	1 0.2	5 0.9	28 5.0
	広畑	0 0.0	1 0.2	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.2	1 0.2	1 0.2	1 0.2	1 0.2	1 0.2	8 1.7	35 7.3
	網干	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 1.1	24 4.5	0 0.0	2 0.4	0 0.0	1 0.2	7 1.3	33 6.2
	西部	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	13 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 1.5	24 6.0
	家島	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 12.9
	夢前	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.6	1 0.0	0 0.0	1 0.6	3 1.7	18 9.9
	香寺	0 0.0	0 0.0	2 1.1	4 2.2	0 0.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.5	1 0.5	1 0.5	0 0.0	3 1.6	13 7.1
	安富	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 5.7	1 1.9	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.8	1 1.9

(注)上段:件数、下段:割合。なお、市内外合わせて(無回答は除外)、もっとも割合が高くなっている箇所を背景黒に白字、2番目に割合が高くなっている箇所は背景を濃い灰色、3番目に割合が高くなっている箇所は背景を薄い灰色としている。

図表Ⅲ－23 居住地別にみた日常生活の移動手手段(かかりつけの医療機関がある地域)

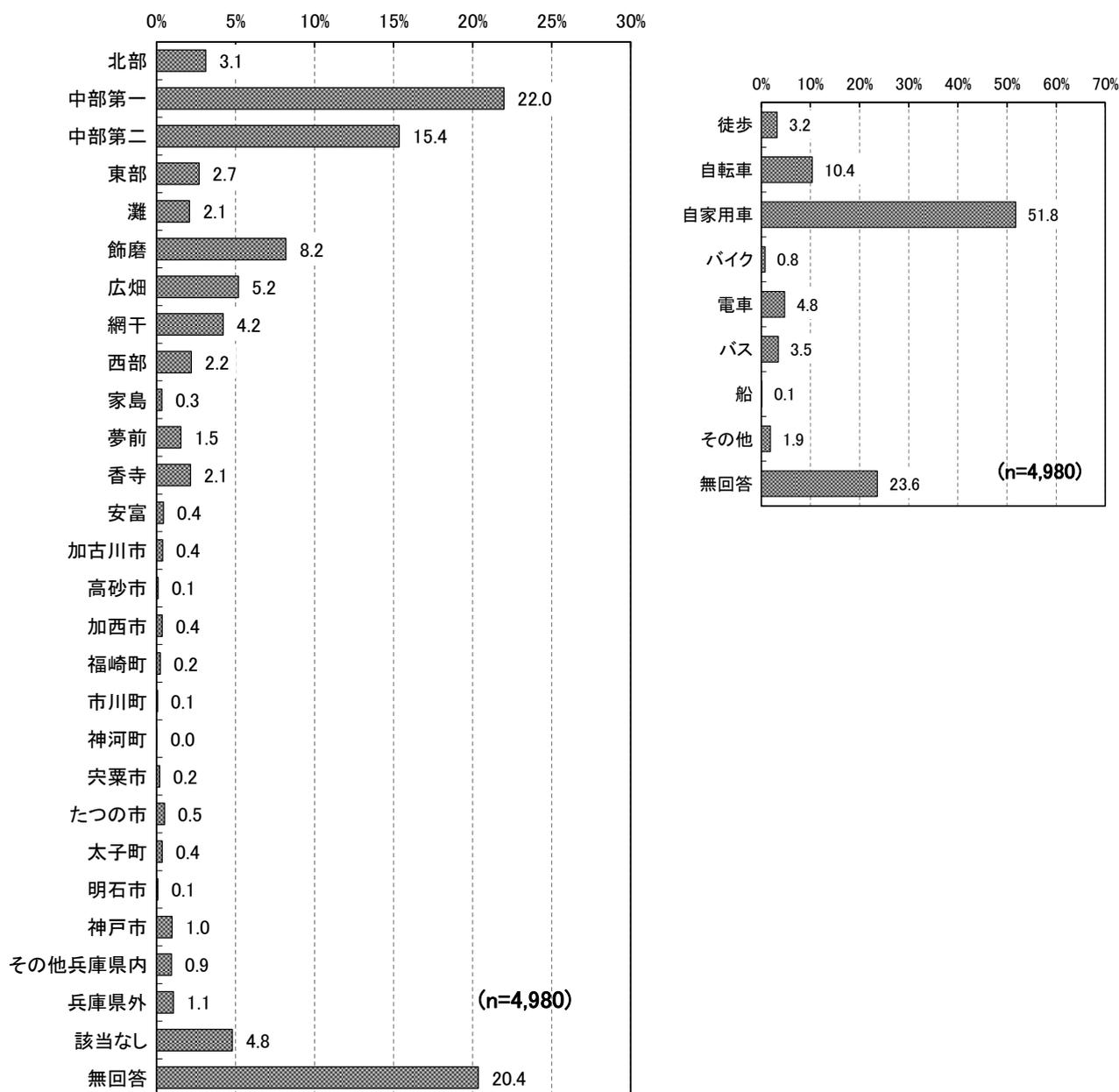
		調査数	徒歩	自転車	自家用車	バイク	電車	バス	船	その他	無回答
全体		4980	345	726	3096	57	90	120	8	64	474
		100.0	6.9	14.6	62.2	1.1	1.8	2.4	0.2	1.3	9.5
居住地	北部	506	38	63	322	6	10	28	0	7	32
		100.0	7.5	12.5	63.6	1.2	2.0	5.5	0.0	1.4	6.3
	中部第一	502	75	131	206	3	7	22	1	6	51
		100.0	14.9	26.1	41.0	0.6	1.4	4.4	0.2	1.2	10.2
	中部第二	726	62	140	413	7	7	23	0	16	58
		100.0	8.5	19.3	56.9	1.0	1.0	3.2	0.0	2.2	8.0
	東部	321	11	26	236	6	6	8	0	2	26
		100.0	3.4	8.1	73.5	1.9	1.9	2.5	0.0	0.6	8.1
	灘	382	32	63	225	2	16	3	0	5	36
		100.0	8.4	16.5	58.9	0.5	4.2	0.8	0.0	1.3	9.4
	飾磨	563	47	99	338	3	18	3	0	6	49
		100.0	8.3	17.6	60.0	0.5	3.2	0.5	0.0	1.1	8.7
	広畑	482	20	61	334	4	9	5	0	4	45
		100.0	4.1	12.7	69.3	0.8	1.9	1.0	0.0	0.8	9.3
	網干	535	19	70	374	9	6	2	2	3	50
		100.0	3.6	13.1	69.9	1.7	1.1	0.4	0.4	0.6	9.3
西部	398	19	36	278	3	2	18	0	10	32	
	100.0	4.8	9.0	69.8	0.8	0.5	4.5	0.0	2.5	8.0	
家島	31	2	1	3	9	1	2	4	0	9	
	100.0	6.5	3.2	9.7	29.0	3.2	6.5	12.9	0.0	29.0	
夢前	181	3	4	138	2	2	4	0	2	26	
	100.0	1.7	2.2	76.2	1.1	1.1	2.2	0.0	1.1	14.4	
香寺	183	6	17	133	3	1	1	1	1	20	
	100.0	3.3	9.3	72.7	1.6	0.5	0.5	0.5	0.5	10.9	
安富	53	3	1	41	0	0	0	0	1	7	
	100.0	5.7	1.9	77.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	13.2	

(注)上段:件数、下段:割合。なお、全体の割合よりも5ポイント以上高くなっている箇所は背景を灰色に太字、全体の割合よりも5ポイントよりも小さい箇所は背景黒に白字としている。

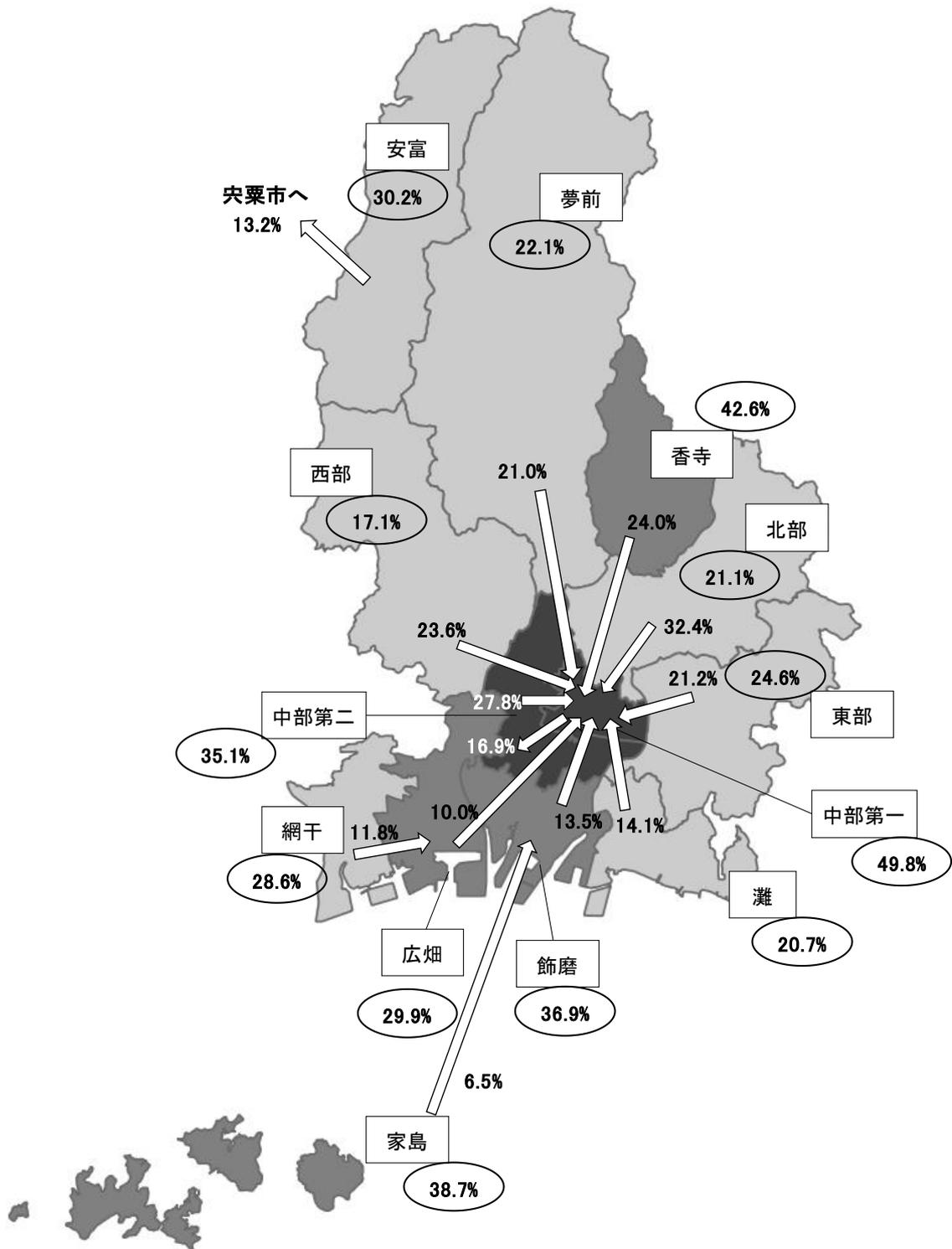
⑥ 文化・スポーツ・レクリエーション等で利用する地域と移動手段

- 全体傾向
 - ・ 文化・スポーツ・レクリエーション等で利用する地域については、「中部第一」の回答割合が22.0%ともっとも高く、次いで「中部第二」が15.4%となっている。
 - ・ 移動手段については、「自家用車」が51.8%、次いで「自転車」が10.4%となっている。
- 属性別傾向
 - ・ 居住地別にみた場合、居住地内および「中部第一」が高くなっているが、網干ブロックでは「広畑」(11.8%)、安富ブロックでは「宍粟市」(13.2%)の回答割合が高くなっている。

図表Ⅲ－24 文化・スポーツ・レクリエーション等で利用する地域と移動手段



図表Ⅲ－25 文化・スポーツ・レクリエーション等で利用する地域の移動動向



図表Ⅲ－26 居住地別にみた日常生活の範囲(文化・スポーツ・レクリエーション等で利用する地域)

【市内】

	調査数	北部	中部第一	中部第二	東部	灘	飾磨	広畑	網干	西部	家島	夢前	香寺	安富	
全体	4980 100.0	155 3.1	1095 22.0	765 15.4	134 2.7	104 2.1	408 8.2	258 5.2	210 4.2	110 2.2	17 0.3	77 1.5	107 2.1	22 0.4	
居住地	北部	506 100.0	107 21.1	164 32.4	49 9.7	14 2.8	3 0.6	6 1.2	2 0.4	2 0.4	5 1.0	1 0.2	4 0.8	14 2.8	0 0.0
	中部第一	502 100.0	17 3.4	250 49.8	85 16.9	11 2.2	2 0.4	6 1.2	2 0.4	0 0.0	3 0.6	0 0.0	2 0.4	1 0.2	0 0.0
	中部第二	726 100.0	11 1.5	202 27.8	255 35.1	4 0.6	2 0.3	42 5.8	4 0.6	5 0.7	14 1.9	1 0.1	9 1.2	4 0.6	2 0.3
	東部	321 100.0	4 1.2	68 21.2	40 12.5	79 24.6	2 0.6	13 4.0	2 0.6	0 0.0	2 0.6	0 0.0	0 0.0	2 0.6	2 0.6
	灘	382 100.0	2 0.5	54 14.1	49 12.8	10 2.6	79 20.7	43 11.3	6 1.6	3 0.8	4 1.0	0 0.0	2 0.5	0 0.0	0 0.0
	飾磨	563 100.0	1 0.2	76 13.5	63 11.2	3 0.5	9 1.6	208 36.9	18 3.2	2 0.4	4 0.7	3 0.5	2 0.4	0 0.0	0 0.0
	広畑	482 100.0	0 0.0	48 10.0	44 9.1	4 0.8	2 0.4	34 7.1	144 29.9	38 7.9	1 0.2	0 0.0	3 0.6	1 0.2	0 0.0
	網干	535 100.0	0 0.0	62 11.6	48 9.0	1 0.2	0 0.0	24 4.5	63 11.8	153 28.6	4 0.7	0 0.0	3 0.6	0 0.0	1 0.2
	西部	398 100.0	2 0.5	94 23.6	85 21.4	3 0.8	1 0.3	14 3.5	9 2.3	4 1.0	68 17.1	0 0.0	3 0.8	0 0.0	1 0.3
	家島	31 100.0	0 0.0	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 38.7	0 0.0	1 3.2	0 0.0
	夢前	181 100.0	4 2.2	38 21.0	22 12.2	1 0.6	1 0.6	3 1.7	5 2.8	0 0.0	2 1.1	0 0.0	40 22.1	4 2.2	0 0.0
	香寺	183 100.0	6 3.3	21 11.5	6 3.3	1 0.5	0 0.0	3 1.6	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 2.7	78 42.6	0 0.0
	安富	53 100.0	0 0.0	5 9.4	4 7.5	0 0.0	0 0.0	1 1.9	0 0.0	1 1.9	0 0.0	0 0.0	1 1.9	1 1.9	16 30.2

【市外（上段表つづき）】

	加古川市	高砂市	加西市	福崎町	市川町	神河町	宍粟市	たつの市	太子町	明石市	神戸市	その他兵庫県内	兵庫県外	該当なし	無回答	
全体	19 0.4	5 0.1	18 0.4	12 0.2	3 0.1	2 0.0	10 0.2	25 0.5	18 0.4	4 0.1	49 1.0	47 0.9	53 1.1	239 4.8	1014 20.4	
居住地	北部	1 0.2	1 0.2	8 1.6	1 0.2	0 0.0	0 0.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0	3 0.6	6 1.2	7 1.4	21 4.2	86 17.0	
	中部第一	2 0.4	0 0.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0	1 0.2	1 0.2	0 0.0	1 0.2	3 0.6	7 1.4	4 0.8	19 3.8	84 16.7	
	中部第二	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	1 0.1	0 0.0	0 0.0	3 0.4	0 0.0	0 0.0	3 0.4	6 0.8	12 1.7	27 3.7	118 16.3
	東部	7 2.2	1 0.3	1 0.3	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	1 0.3	3 0.9	3 0.9	3 0.9	19 5.9	67 20.9
	灘	3 0.8	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	2 0.5	1 0.3	8 2.1	20 5.2	94 24.6	
	飾磨	2 0.4	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.4	2 0.4	10 1.8	6 1.1	5 0.9	30 5.3	118 21.0	
	広畑	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.2	1 0.4	2 0.4	2 0.4	12 2.5	7 1.5	3 0.6	25 5.2	109 22.6	
	網干	2 0.4	0 0.0	1 0.2	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 0.7	12 2.2	1 0.2	8 1.5	4 0.7	6 1.1	34 6.4	103 19.3
	西部	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 2.8	2 0.5	0 0.0	1 0.3	3 0.8	2 0.5	12 3.0	83 20.9
	家島	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 48.4
	夢前	0 0.0	0 0.0	2 1.1	2 1.1	0 0.0	0 0.0	2 1.1	1 0.6	0 0.0	0 0.0	3 1.7	0 0.0	3 1.7	7 3.9	41 22.7
	香寺	0 0.0	1 0.5	5 2.7	4 2.2	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 2.2	0 0.0	9 4.9	38 20.8	
	安富	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	0 0.0	0 0.0	7 13.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 11.3	10 18.9

(注) 上段:件数、下段:割合。なお、市内外合わせて(無回答は除外)、もっとも割合が高くなっている箇所を背景黒に白字、2番目に割合が高くなっている箇所は背景を濃い灰色、3番目に割合が高くなっている箇所は背景を薄い灰色としている。

図表Ⅲ－27 居住地別にみた日常生活の移動手段(文化・スポーツ・レクリエーション等で利用する地域)

		調査数	徒歩	自転車	自家用車	バイク	電車	バス	船	その他	無回答
全体		4980	161	516	2578	39	237	173	7	93	1176
		100.0	3.2	10.4	51.8	0.8	4.8	3.5	0.1	1.9	23.6
居住地	北部	506	19	40	280	3	17	45	1	8	93
		100.0	3.8	7.9	55.3	0.6	3.4	8.9	0.2	1.6	18.4
	中部第一	502	41	102	207	3	11	19	0	8	111
		100.0	8.2	20.3	41.2	0.6	2.2	3.8	0.0	1.6	22.1
	中部第二	726	24	116	372	8	14	38	1	15	138
		100.0	3.3	16.0	51.2	1.1	1.9	5.2	0.1	2.1	19.0
	東部	321	4	23	184	3	13	11	0	6	77
		100.0	1.2	7.2	57.3	0.9	4.0	3.4	0.0	1.9	24.0
	灘	382	19	23	189	0	34	7	0	10	100
		100.0	5.0	6.0	49.5	0.0	8.9	1.8	0.0	2.6	26.2
	飾磨	563	13	70	270	4	42	7	2	14	141
		100.0	2.3	12.4	48.0	0.7	7.5	1.2	0.4	2.5	25.0
	広畑	482	12	47	257	3	30	4	0	9	120
		100.0	2.5	9.8	53.3	0.6	6.2	0.8	0.0	1.9	24.9
網干	535	13	42	295	4	48	0	0	6	127	
	100.0	2.4	7.9	55.1	0.7	9.0	0.0	0.0	1.1	23.7	
西部	398	6	26	224	0	13	29	1	7	92	
	100.0	1.5	6.5	56.3	0.0	3.3	7.3	0.3	1.8	23.1	
家島	31	0	0	3	7	0	3	1	1	16	
	100.0	0.0	0.0	9.7	22.6	0.0	9.7	3.2	3.2	51.6	
夢前	181	0	4	113	2	6	7	0	2	47	
	100.0	0.0	2.2	62.4	1.1	3.3	3.9	0.0	1.1	26.0	
香寺	183	5	13	112	2	4	0	1	0	46	
	100.0	2.7	7.1	61.2	1.1	2.2	0.0	0.5	0.0	25.1	
安富	53	0	2	34	0	0	0	0	3	14	
	100.0	0.0	3.8	64.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	26.4	

(注)上段:件数、下段:割合。なお、全体の割合よりも5ポイント以上高くなっている箇所は背景を灰色に太字、全体の割合よりも5ポイントよりも小さい箇所は背景黒に白字としている。

(2) 普段の買い物でインターネット（ネット通販）を利用しますか（問 4）

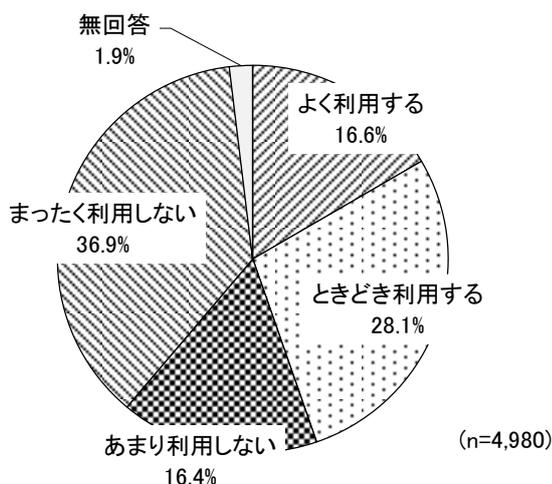
■ 全体傾向

- ・「ときどき利用する」を含めると、44.7%が普段の買い物でインターネットを利用すると回答している。
- ・一方、「あまり利用しない」を含めて、利用しないという回答割合は半数を超えている。

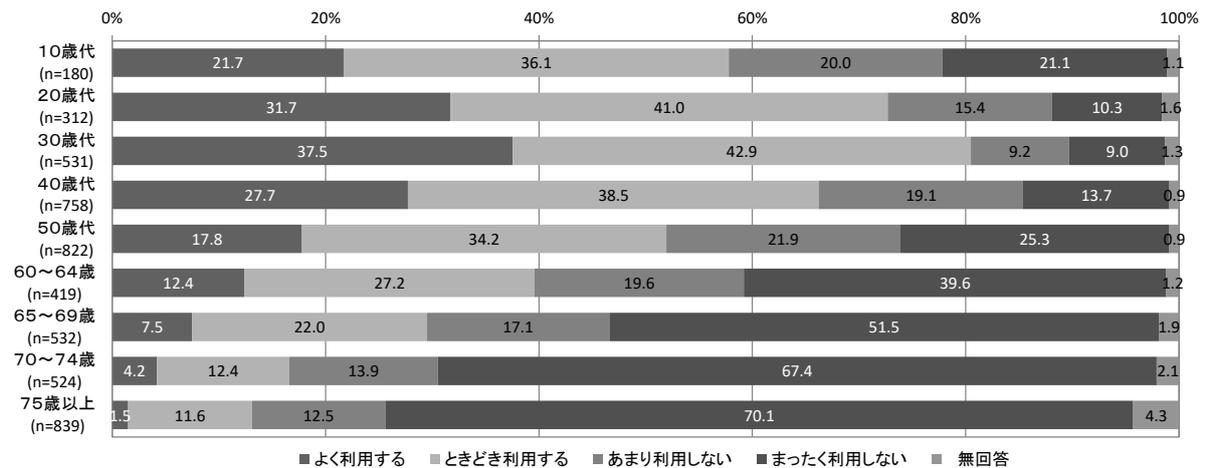
■ 属性別傾向

- ・年齢別にみた場合、30歳代で「よく利用する」と「ときどき利用する」を合わせた回答割合が80.4%ともっとも高く、次いで20歳代で72.7%となっており、65歳以上では「まったく利用しない」が半数を超えている。
- ・居住地別にみた場合、中部第二ブロックは「よく利用する」、「ときどき利用する」を合わせた回答割合が50.0%ともっとも高く、次いで中部第一ブロックの49.0%となっている。一方、北部、東部、西部、家島、夢前、安富ブロックでは「あまり利用しない」、「まったく利用しない」（北部55.4%・東部58.2%・西部63.0%・家島58.1%・夢前58.0%・安富56.6%）を合わせた回答割合が高くなっている。

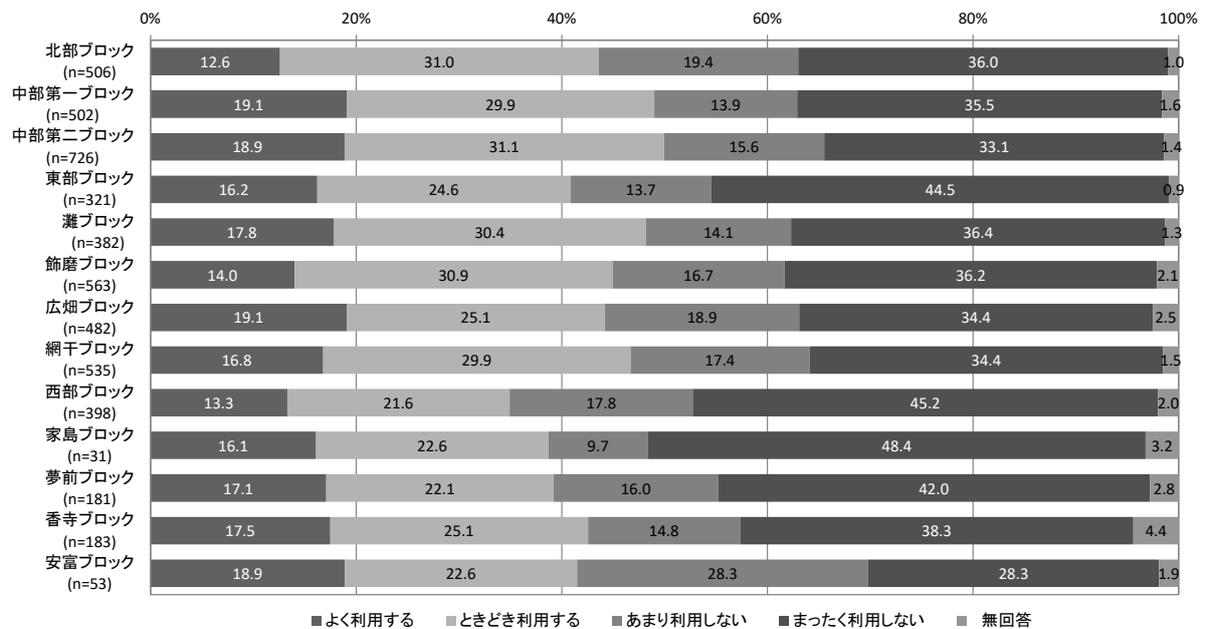
図表Ⅲ－28 普段の買い物でのインターネットの利用



図表Ⅲ－29 年齢別にみた「普段の買い物でのインターネットの利用」



図表Ⅲ－30 居住地別にみた「普段の買い物でのインターネットの利用」

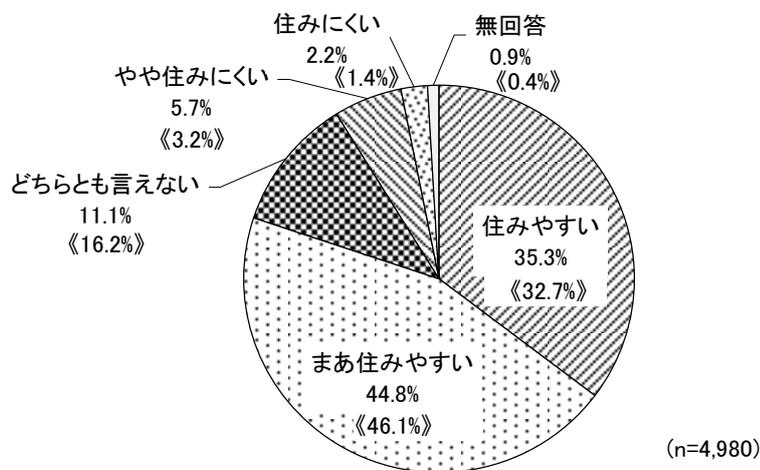


3. 暮らしなどについて

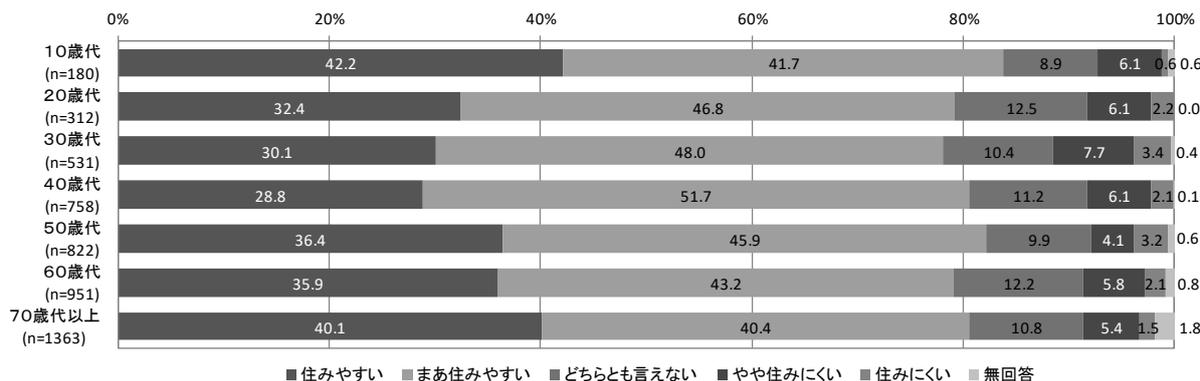
(1) 今の姫路は住みやすいと思いますか（問5）

- 全体傾向
 - ・「まあ住みやすい」を含めると、80%以上が住みやすいと回答している。
 - ・一方、「やや住みにくい」を含めて、住みにくいという回答割合は約8%になっている。
- 属性別傾向
 - ・年齢別にみた場合、10歳代で「住みやすい」、「まあ住みやすい」の回答割合が83.9%ともっとも高く、次いで50歳代で82.3%となっており、30歳代で78.1%ともっとも低くなっている。
 - ・居住地別にみた場合、中部第一ブロックで「住みやすい」、「まあ住みやすい」の回答割合が88.4%ともっとも高く、次いで、中部第二ブロックで85.5%となっている。一方、夢前ブロックで58.0%ともっとも低く、次いで安富ブロックで62.3%と低くなっている。
- 市民満足度調査（平成23年度）との比較
 - ・市民満足度調査（平成23年度）の結果と比較すると、「住みやすい」の回答割合は増加し、「まあ住みやすい」の回答割合は減少している。「やや住みにくい」、「住みにくい」の回答割合はともに増加している。

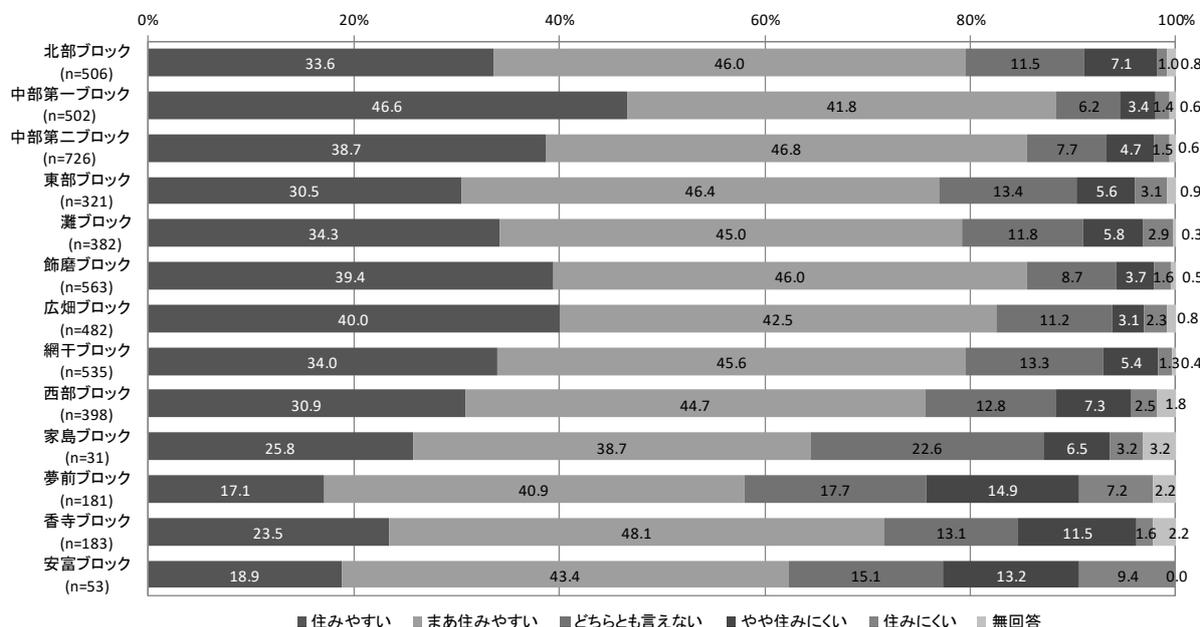
図表Ⅲ－31 姫路の住みやすさ



図表Ⅲ－32 年齢別にみた「姫路の住みやすさ」



図表Ⅲ－33 居住地別にみた「姫路の住みやすさ」



(2) これからも姫路に住み続けたいですか（問6）

■ 全体傾向

- ・「住み続けてもよい」を含めると、約80%が住み続けたいと回答している。
- ・一方、「いずれは引っ越したい」を含めて、引っ越したいという回答の割合は約5%となっている。

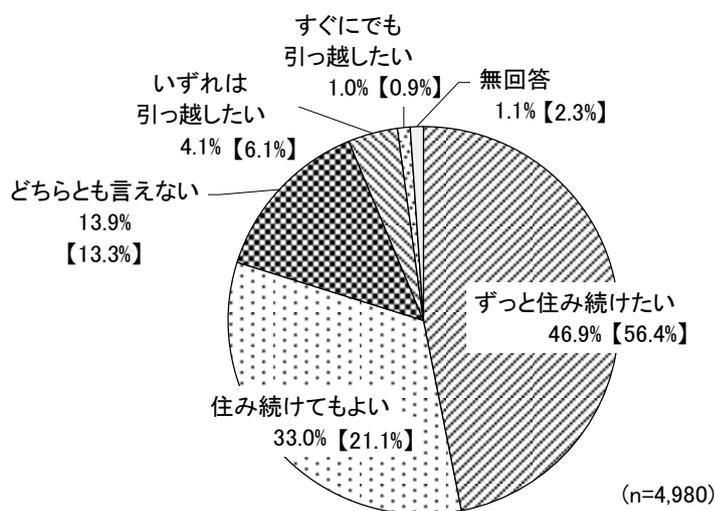
■ 属性別傾向

- ・年齢別にみた場合、70歳代以上で「ずっと住み続けたい」、「住み続けてもよい」の回答割合は86.5%ともっとも高く、次いで60歳代で83.2%となっており、10歳代で61.7%ともっとも低くなっている。
- ・居住地別にみた場合、中部第一ブロックで「ずっと住み続けたい」、「住み続けてもよい」の回答割合が85.7%ともっとも高く、次いで飾磨ブロックで83.5%、西部ブロックで82.7%となっている。一方、安富ブロックで60.4%ともっとも低くなっている。

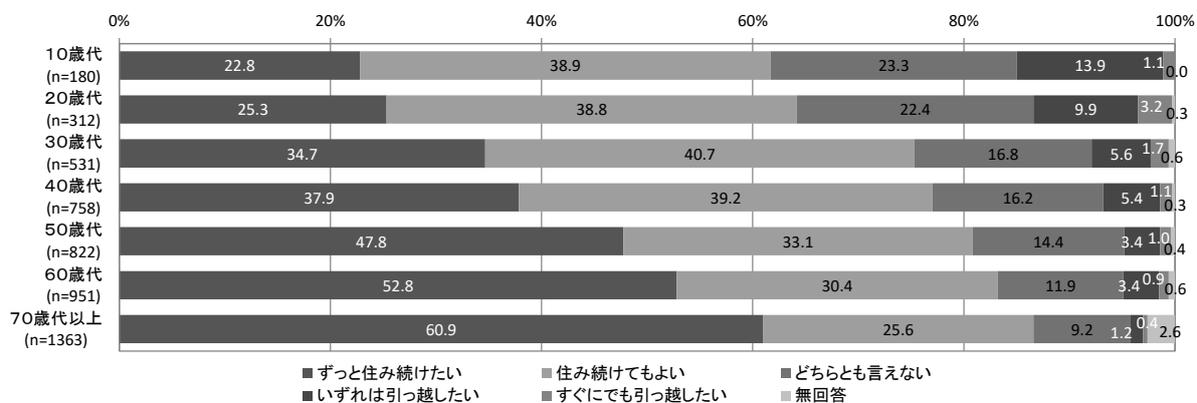
■ 前回調査（平成18年度）との比較

- ・前回調査（平成18年度）と比較すると、「ずっと住み続けたい」の回答割合は減少したが、「住み続けてもよい」の回答割合は増加している。「いずれは引っ越したい」の回答割合は減少している。

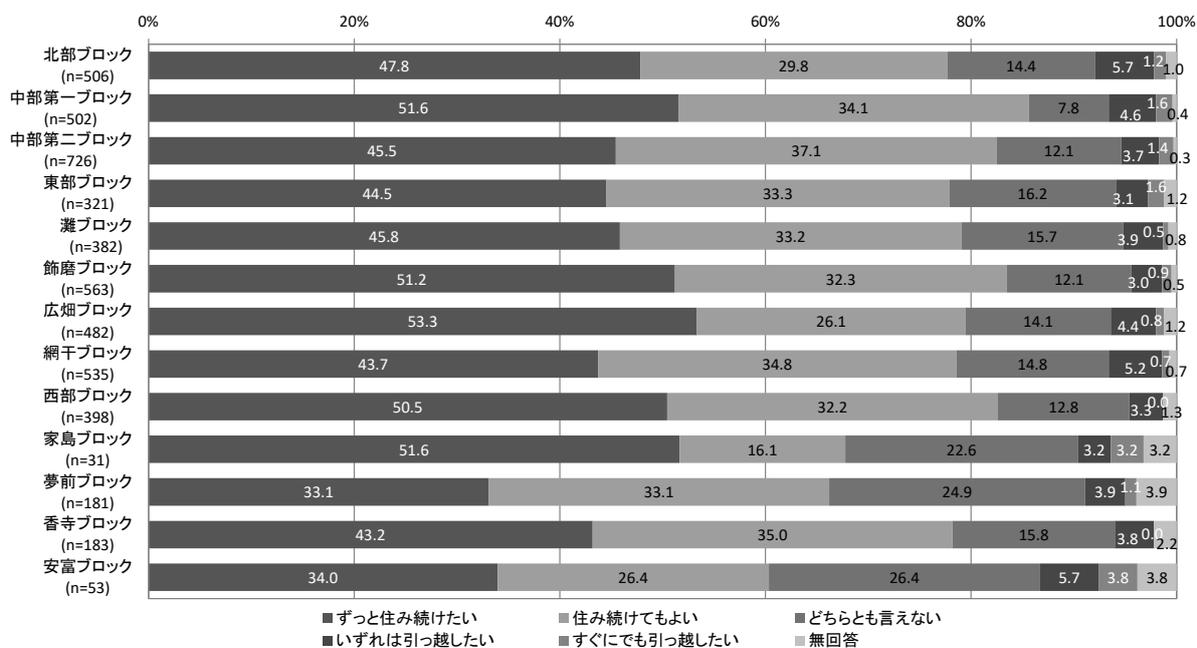
図表Ⅲ－34 姫路に住み続けたいか



図表Ⅲ－35 年齢別にみた「姫路に住み続けたいか」



図表Ⅲ－36 居住地別にみた「姫路に住み続けたいか」



(3) ライフステージの変化等により、引っ越すとすれば、どの地域に引っ越したいですか（問7-1）

【姫路市内で引っ越す場合】

■ 全体傾向

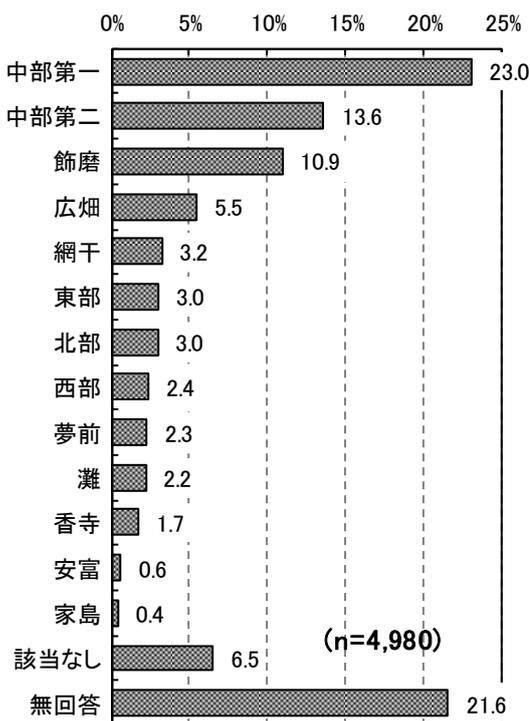
- ・「中部第一」の回答割合が23.0%でもっとも高く、次いで「中部第二」が13.6%、「飾磨」が10.9%となっている。

■ 属性別傾向

- ・年齢別にみた場合、すべての年齢において、「中部第一」の回答割合がもっとも高くなっており、20歳代から40歳代では、次いで「飾磨」（20歳代18.6%・30歳代14.7%・40歳代15.6%）の回答割合が高く、それ以外の年齢では「中部第二」となっている。
- ・居住地別にみた場合、北部、中部第二ブロックでは「中部第一」（北部33.2%・中部第二29.2%）の回答割合が高く、灘、家島ブロックでは「飾磨」（灘21.7%・家島58.1%）の回答割合が高くなっている。

図表Ⅲ－37 引っ越したい地域(姫路市内)

(姫路市内で引っ越す場合)



図表Ⅲ－38 属性別にみた「引っ越したい地域(姫路市内)」

	調査数	中部第一	中部第二	飾磨	広畑	網干	東部	北部	西部	夢前	灘	香寺	安富	家島	該当なし	無回答	
全体	4980 100.0	1147 23.0	678 13.6	544 10.9	272 5.5	161 3.2	150 3.0	147 3.0	119 2.4	114 2.3	109 2.2	87 1.7	31 0.6	22 0.4	325 6.5	1074 21.6	
年齢	10歳代	180 100.0	52 28.9	36 20.0	24 13.3	9 5.0	5 2.8	5 2.8	3 1.7	1 0.6	4 2.2	10 5.6	0 0.0	0 0.0	2 1.1	13 8.9	
	20歳代	312 100.0	70 22.4	56 17.9	58 18.6	14 4.5	11 3.5	10 3.2	13 4.2	11 3.5	3 1.0	9 2.9	2 0.6	2 0.6	2 0.6	17 5.4	34 10.9
	30歳代	531 100.0	131 24.7	73 13.7	78 14.7	38 7.2	22 4.1	26 4.9	15 2.8	18 3.4	9 1.7	13 2.4	13 2.4	2 0.4	1 0.2	43 8.1	49 9.2
	40歳代	758 100.0	207 27.3	116 15.3	118 15.6	51 6.7	28 3.7	16 2.1	20 2.6	22 2.9	9 1.2	18 2.4	11 1.5	7 0.9	3 0.4	55 7.3	77 10.2
	50歳代	822 100.0	238 29.0	127 15.5	105 12.8	38 4.6	30 3.6	31 3.8	27 3.3	11 1.3	23 2.8	9 1.1	10 1.2	4 0.5	2 0.2	49 6.0	118 14.4
	60歳代	951 100.0	210 22.1	131 13.8	71 7.5	56 5.9	29 3.0	29 3.0	32 3.4	29 3.0	25 2.6	17 1.8	23 2.4	5 0.5	4 0.4	71 7.5	219 23.0
	70歳代以上	1363 100.0	231 16.9	133 9.8	89 6.5	65 4.8	33 2.4	31 2.3	36 2.6	25 1.8	38 2.8	33 2.4	27 2.0	11 0.8	8 0.6	73 5.4	530 38.9
居住地	北部	506 100.0	168 33.2	50 9.9	23 4.5	10 2.0	7 1.4	14 2.8	69 13.6	4 0.8	10 2.0	5 1.0	24 4.7	2 0.4	2 0.4	27 5.3	91 18.0
	中部第一	502 100.0	220 43.8	60 12.0	25 5.0	2 0.4	1 0.2	16 3.2	14 2.8	3 0.6	8 1.6	1 0.2	7 1.4	0 0.0	1 0.2	38 7.6	106 21.1
	中部第二	726 100.0	212 29.2	184 25.3	54 7.4	12 1.7	8 1.1	5 0.7	8 1.1	18 2.5	22 3.0	8 1.1	6 0.8	6 0.8	1 0.1	44 6.1	138 19.0
	東部	321 100.0	69 21.5	33 10.3	28 8.7	5 1.6	2 0.6	2 0.6	67 20.9	8 2.5	2 0.6	4 1.2	2 0.6	3 0.9	0 0.0	22 6.9	74 23.1
	灘	382 100.0	59 15.4	35 9.2	83 21.7	8 2.1	3 0.8	12 3.1	6 1.6	4 1.0	6 1.6	57 14.9	1 0.3	1 0.3	0 0.0	30 7.9	77 20.2
	飾磨	563 100.0	77 13.7	84 14.9	141 25.0	32 5.7	10 1.8	5 0.9	8 1.4	6 1.1	13 2.3	21 3.7	5 0.9	7 1.2	4 0.7	38 6.7	112 19.9
	広畑	482 100.0	56 11.6	47 9.8	65 13.5	99 20.5	35 7.3	5 1.0	4 0.8	13 2.7	12 2.5	4 0.8	0 0.0	3 0.6	3 0.6	30 6.2	106 22.0
	網干	535 100.0	74 13.8	48 9.0	54 10.1	71 13.3	78 14.6	8 1.5	3 0.6	8 1.5	13 2.4	4 0.7	1 0.2	5 0.9	4 0.7	40 7.5	124 23.2
	西部	398 100.0	92 23.1	79 19.8	18 4.5	20 5.0	12 3.0	6 1.5	2 0.5	40 10.1	14 3.5	4 1.0	1 0.3	1 0.3	1 0.3	23 5.8	85 21.4
	家島	31 100.0	3 9.7	2 6.5	18 58.1	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.2	0 0.0	6 19.4
	夢前	181 100.0	42 23.2	23 12.7	15 8.3	4 2.2	0 0.0	8 4.4	6 3.3	9 5.0	7 3.9	0 0.0	11 6.1	1 0.6	0 0.0	7 3.9	48 26.5
	香寺	183 100.0	46 25.1	14 7.7	10 5.5	1 0.5	0 0.0	0 0.0	17 9.3	4 2.2	0 0.0	3 1.6	23 12.6	1 0.5	3 1.6	14 7.7	47 25.7
	安富	53 100.0	5 9.4	7 13.2	4 7.5	5 9.4	2 3.8	1 1.9	1 1.9	6 11.3	2 3.8	0 0.0	4 7.5	4 7.5	0 0.0	5 9.4	7 13.2

(注) 上段:件数、下段:割合。なお、全体の割合よりも5ポイント以上高くなっている箇所は背景を灰色に太字、全体の割合よりも5ポイントよりも低い箇所は背景黒に白字としている。ただし、計算上5ポイントを上回る、あるいは下回るもののみ色付けを行っている。そのため、小数点第2位を四捨五入している関係上、表中において見かけ上5ポイント高くなっている、あるいは低くなっている場合がある。以下同様。

(注)「全体」行の調査数は、行方向の合計数を示している。以下同様。

【姫路市外へ引っ越し場合】

■ 全体傾向

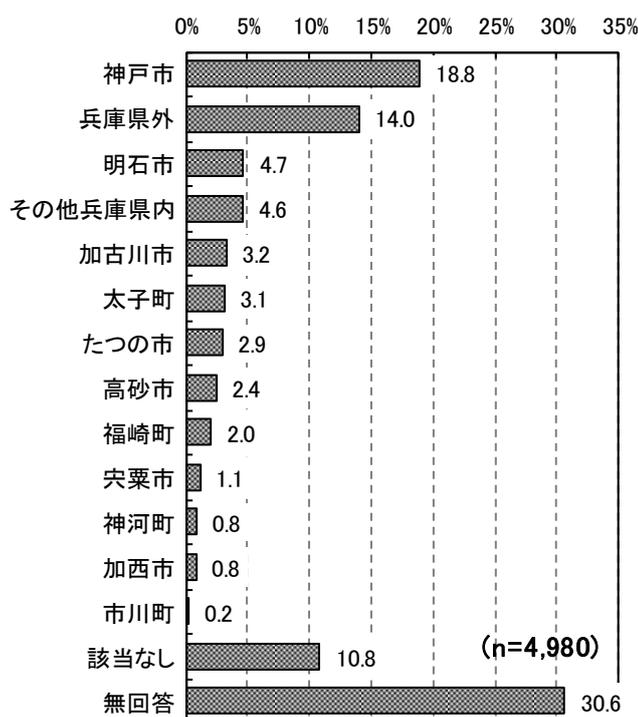
- ・「神戸市」の回答割合が18.8%でもっとも高く、次いで「兵庫県外」が14.0%となっている。

■ 属性別傾向

- ・年齢別にみた場合、すべての年齢において「神戸市」の回答割合がもっとも高く、次いで「兵庫県外」となっている。
- ・居住地別にみた場合、すべての居住地において「神戸市」との回答割合がもっとも高くなっている。網干ブロックでは「太子町」(10.1%)、夢前、香寺ブロックでは「福崎町」(夢前10.5%・香寺12.6%)、安富ブロックでは「宍粟市」(15.1%)、「たつの市」(13.2%)の回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅲ－39 引っ越したい地域(姫路市外)

(姫路市外へ引っ越し場合)



図表Ⅲ－40 属性別にみた「引っ越したい地域(姫路市外)」

	調査数	神戸市	兵庫県外	明石市	その他兵庫県内	加古川市	太子町	たつの市	高砂市	福崎町	宍粟市	神河町	加西市	市川町	該当なし	無回答	
全体	4980 100.0	938 18.8	695 14.0	232 4.7	228 4.6	161 3.2	153 3.1	145 2.9	121 2.4	100 2.0	55 1.1	41 0.8	39 0.8	10 0.2	538 10.8	1524 30.6	
年齢	10歳代	180 100.0	66 36.7	54 30.0	13 7.2	9 5.0	5 2.8	1 0.6	5 2.8	2 1.1	0 0.0	0 0.0	1 0.6	1 0.6	0 0.0	10 5.6	13 7.2
	20歳代	312 100.0	93 29.8	60 19.2	29 9.3	15 4.8	12 3.8	5 1.6	13 4.2	2 0.6	4 1.3	3 1.0	5 1.6	2 0.6	24 7.7	33 10.6	
	30歳代	531 100.0	117 22.0	106 20.0	37 7.0	29 5.5	31 5.8	21 4.0	21 4.0	15 2.8	17 3.2	5 0.9	4 0.8	6 1.1	1 0.2	50 9.4	71 13.4
	40歳代	758 100.0	196 25.9	139 18.3	42 5.5	48 6.3	27 3.6	33 4.4	26 3.4	27 3.6	18 2.4	7 0.9	9 1.2	2 0.3	0 0.0	94 12.4	90 11.9
	50歳代	822 100.0	177 21.5	142 17.3	31 3.8	49 6.0	30 3.6	34 4.1	20 2.4	24 2.9	28 3.4	9 1.1	6 0.7	3 0.4	2 0.2	106 12.9	161 19.6
	60歳代	951 100.0	152 16.0	114 12.0	38 4.0	47 4.9	25 2.6	27 2.8	32 3.4	18 1.9	19 2.0	14 1.5	6 0.6	11 1.2	3 0.3	116 12.2	329 34.6
	70歳代以上	1363 100.0	130 9.5	74 5.4	42 3.1	30 2.2	29 2.1	25 1.8	35 2.6	22 1.6	16 1.2	15 1.1	12 0.9	10 0.7	2 0.1	134 9.8	787 57.7
	居住地	北部	506 100.0	107 21.1	74 14.6	17 3.4	25 4.9	23 4.5	3 0.6	7 1.4	11 2.2	26 5.1	2 0.4	5 1.0	9 1.8	4 0.8	69 13.6
中部第一		502 100.0	119 23.7	93 18.5	23 4.6	21 4.2	12 2.4	4 0.8	5 1.0	8 1.6	2 0.4	3 0.6	4 0.8	2 0.4	51 10.2	152 30.3	
中部第二		726 100.0	145 20.0	118 16.3	42 5.8	39 5.4	17 2.3	12 1.7	21 2.9	15 2.1	7 1.0	7 1.0	12 1.7	7 1.0	3 0.4	66 9.1	215 29.6
東部		321 100.0	58 18.1	43 13.4	17 5.3	18 5.6	13 4.0	3 0.9	6 1.9	17 5.3	7 2.2	1 0.3	2 0.6	2 0.6	0 0.0	32 10.0	102 31.8
灘		382 100.0	71 18.6	49 12.8	26 6.8	24 6.3	20 5.2	3 0.8	3 0.8	27 7.1	3 0.8	5 1.3	5 1.3	2 0.5	0 0.0	40 10.5	104 27.2
飾磨		563 100.0	119 21.1	82 14.6	33 5.9	22 3.9	20 3.6	6 1.1	9 1.6	13 2.3	6 1.1	7 1.2	2 0.4	2 0.4	2 0.2	65 11.5	176 31.3
広畑		482 100.0	94 19.5	54 11.2	25 5.2	20 4.1	15 3.1	28 5.8	19 3.9	13 2.7	0 0.0	8 1.7	2 0.4	2 0.4	0 0.0	59 12.2	143 29.7
網干		535 100.0	83 15.5	65 12.1	17 3.2	25 4.7	19 3.6	54 10.1	32 6.0	7 1.3	3 0.6	5 0.9	2 0.4	2 0.4	0 0.0	54 10.1	167 31.2
西部		398 100.0	61 15.3	49 12.3	17 4.3	19 4.8	9 2.3	31 7.8	29 7.3	6 1.5	2 0.5	7 1.8	1 0.3	1 0.3	1 0.0	45 11.3	121 30.4
家島		31 100.0	4 12.9	3 9.7	0 0.0	0 0.0	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 29.0	14 45.2
夢前		181 100.0	27 14.9	25 13.8	4 2.2	5 2.8	6 3.3	4 2.2	3 1.7	0 0.0	19 10.5	1 0.6	2 1.1	1 0.6	0 0.0	16 8.8	68 37.6
香寺		183 100.0	30 16.4	22 12.0	8 4.4	4 2.2	4 2.2	0 0.0	3 1.6	1 0.5	23 12.6	0 0.0	5 2.7	4 2.2	0 0.0	17 9.3	62 33.9
安富		53 100.0	9 17.0	4 7.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 7.5	7 13.2	1 1.9	1 1.9	8 15.1	0 0.0	2 3.8	0 0.0	6 11.3	11 20.8

(4) ライフステージの変化等により、引っ越すとすれば、引っ越したい地域に選んだ理由はなんですか（問7-2）

【姫路市内】

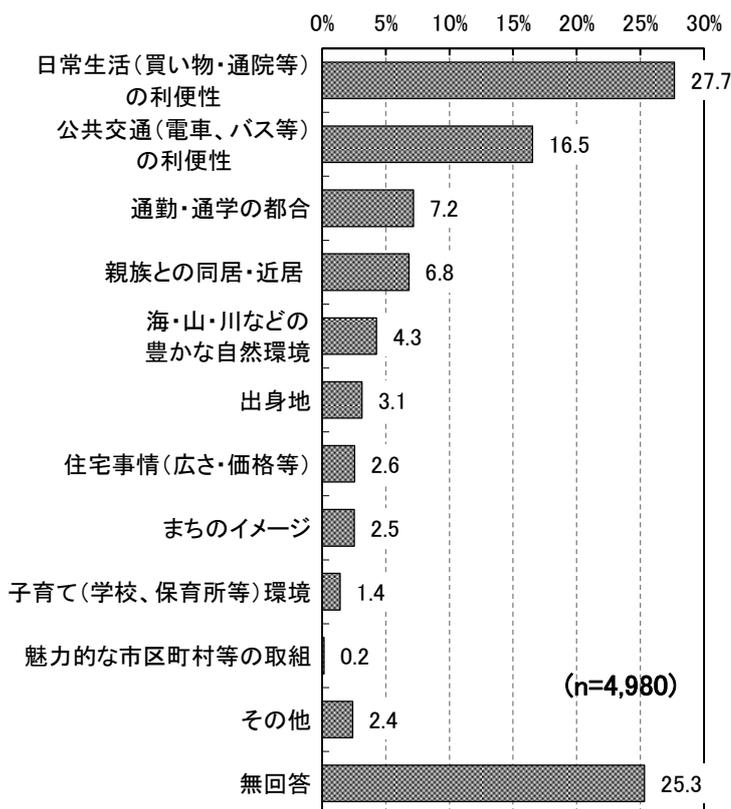
■ 全体傾向

- ・ 姫路市内で引っ越す理由は、「日常生活（買い物・通院等）の利便性」の回答割合が27.7%でもっとも高く、次いで「公共交通（電車、バス等）の利便性」が16.5%、「通勤・通学の都合」が7.2%となっている。

■ 属性別傾向

- ・ 年齢別にみた場合、20歳代から70歳代以上では「日常生活（買い物・通院等）の利便性」の回答割合が25%以上ともっとも高くなっている。一方、10歳代では「公共交通（電車、バス等）の利便性」の回答割合が27.2%ともっとも高くなっている。
- ・ 居住地別にみた場合、家島ブロックでは「公共交通（電車、バス等）の利便性」の回答割合が25.8%ともっとも高く、次いで「親族との同居・近居」が22.6%となっている。

図表Ⅲ－41 引っ越したい地域に選んだ理由
(姫路市内で引っ越す理由)



図表Ⅲ－42 属性別にみた「引っ越したい地域に選んだ理由(姫路市内)」

		調査数	日常生活（買い物・通院等）の利便性	公共交通（電車、バス等）の利便性	通勤・通学の都合	親族との同居・近居	海・山・川などの豊かな自然環境	出身地	住宅事情（広さ・価格等）	まちのイメージ	子育て（学校、保育所等）環境	魅力的な市区町村等の取組	その他	無回答
全体		4980	1379	823	357	340	213	156	127	126	70	8	119	1262
		100.0	27.7	16.5	7.2	6.8	4.3	3.1	2.6	2.5	1.4	0.2	2.4	25.3
年齢	10歳代	180	38	49	22	11	6	10	4	15	0	3	5	17
		100.0	21.1	27.2	12.2	6.1	3.3	5.6	2.2	8.3	0.0	1.7	2.8	9.4
	20歳代	312	92	59	39	24	8	8	9	11	6	1	12	43
		100.0	29.5	18.9	12.5	7.7	2.6	2.6	2.9	3.5	1.9	0.3	3.8	13.8
	30歳代	531	147	92	65	52	20	13	24	14	26	1	13	64
		100.0	27.7	17.3	12.2	9.8	3.8	2.4	4.5	2.6	4.9	0.2	2.4	12.1
	40歳代	758	194	136	107	61	32	24	15	32	23	2	28	104
		100.0	25.6	17.9	14.1	8.0	4.2	3.2	2.0	4.2	3.0	0.3	3.7	13.7
50歳代	822	269	147	79	54	40	31	15	15	6	0	24	142	
	100.0	32.7	17.9	9.6	6.6	4.9	3.8	1.8	1.8	0.7	0.0	2.9	17.3	
60歳代	951	286	156	26	47	51	37	27	23	3	0	16	279	
	100.0	30.1	16.4	2.7	4.9	5.4	3.9	2.8	2.4	0.3	0.0	1.7	29.3	
70歳代以上	1363	343	173	14	90	55	31	32	15	5	1	20	584	
	100.0	25.2	12.7	1.0	6.6	4.0	2.3	2.3	1.1	0.4	0.1	1.5	42.8	
居住地	北部	506	162	102	27	40	24	9	9	10	7	1	16	99
		100.0	32.0	20.2	5.3	7.9	4.7	1.8	1.8	2.0	1.4	0.2	3.2	19.6
	中部第一	502	143	73	38	32	18	16	23	9	7	0	10	133
		100.0	28.5	14.5	7.6	6.4	3.6	3.2	4.6	1.8	1.4	0.0	2.0	26.5
	中部第二	726	189	125	63	44	37	28	20	23	14	1	13	169
		100.0	26.0	17.2	8.7	6.1	5.1	3.9	2.8	3.2	1.9	0.1	1.8	23.3
	東部	321	99	49	21	20	12	5	9	6	3	1	7	89
		100.0	30.8	15.3	6.5	6.2	3.7	1.6	2.8	1.9	0.9	0.3	2.2	27.7
	灘	382	120	56	31	22	14	16	9	10	1	1	11	91
		100.0	31.4	14.7	8.1	5.8	3.7	4.2	2.4	2.6	0.3	0.3	2.9	23.8
	飾磨	563	141	92	41	41	28	27	10	15	10	1	15	142
		100.0	25.0	16.3	7.3	7.3	5.0	4.8	1.8	2.7	1.8	0.2	2.7	25.2
	広畑	482	120	66	43	38	23	13	21	12	8	1	7	130
		100.0	24.9	13.7	8.9	7.9	4.8	2.7	4.4	2.5	1.7	0.2	1.5	27.0
	網干	535	121	91	41	40	23	19	10	21	7	1	19	142
		100.0	22.6	17.0	7.7	7.5	4.3	3.6	1.9	3.9	1.3	0.2	3.6	26.5
	西部	398	134	68	17	28	19	8	4	10	6	1	6	97
	100.0	33.7	17.1	4.3	7.0	4.8	2.0	1.0	2.5	1.5	0.3	1.5	24.4	
家島	31	4	8	2	7	0	0	1	1	1	0	0	7	
	100.0	12.9	25.8	6.5	22.6	0.0	0.0	3.2	3.2	3.2	0.0	0.0	22.6	
夢前	181	55	38	12	7	5	4	3	1	2	0	4	50	
	100.0	30.4	21.0	6.6	3.9	2.8	2.2	1.7	0.6	1.1	0.0	2.2	27.6	
香寺	183	56	26	13	13	3	7	5	4	3	0	4	49	
	100.0	30.6	14.2	7.1	7.1	1.6	3.8	2.7	2.2	1.6	0.0	2.2	26.8	
安富	53	14	8	0	5	5	1	2	1	0	0	4	13	
	100.0	26.4	15.1	0.0	9.4	9.4	1.9	3.8	1.9	0.0	0.0	7.5	24.5	

【姫路市外】

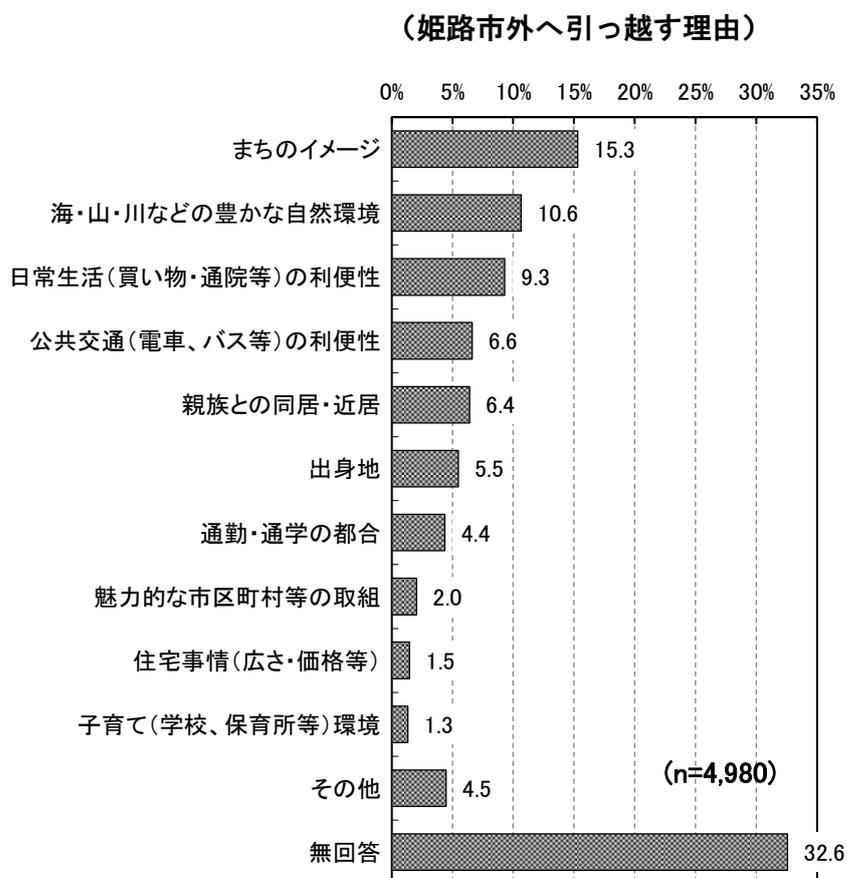
■ 全体傾向

- ・ 姫路市外へ引っ越す理由は、「まちのイメージ」の回答割合が15.3%でもっとも高く、次いで「海・山・川などの豊かな自然環境」が10.6%、「日常生活（買い物・通院等）の利便性」が9.3%となっている。

■ 属性別傾向

- ・ 年齢別にみた場合、10歳代から60歳代で「まちのイメージ」の回答割合が15%以上ともっとも高くなっている。また、10歳代では「日常生活（買い物・通院等）の利便性」（20.6%）および「通勤・通学の都合」（15.6%）の回答割合が全体より高くなっている。20歳代では、全体より「通勤・通学の都合」（16.3%）、「日常生活（買い物・通院等）の利便性」（15.1%）、「公共交通（電車、バス等）の利便性」（14.7%）の回答割合が高くなっている一方で、「海・山・川などの豊かな自然環境」（4.8%）の回答割合が低くなっている。
- ・ 居住地別にみた場合、夢前、香寺、安富ブロックでは「日常生活（買い物・通院等）の利便性」（夢前14.4%・香寺15.3%・安富15.1%）の回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅲ－43 引っ越したい地域に選んだ理由



図表Ⅲ－44 属性別にみた「引っ越したい地域に選んだ理由(姫路市外)」

		調査数	まちのイメージ	海・山・川などの豊かな自然環境	日常生活（買い物・通院等）の利便性	公共交通（電車、バス等）の利便性	親族との同居・近居	出身地	通勤・通学の都合	魅力的な市区町村等の取組	住宅事情（広さ・価格等）	子育て（学校、保育所等）環境	その他	無回答
全体		4980	762	530	463	329	319	273	218	102	73	66	223	1622
		100.0	15.3	10.6	9.3	6.6	6.4	5.5	4.4	2.0	1.5	1.3	4.5	32.6
年齢	10歳代	180	44	18	37	13	4	4	28	1	2	1	9	19
		100.0	24.4	10.0	20.6	7.2	2.2	2.2	15.6	0.6	1.1	0.6	5.0	10.6
	20歳代	312	57	15	47	46	12	9	51	5	4	10	16	40
		100.0	18.3	4.8	15.1	14.7	3.8	2.9	16.3	1.6	1.3	3.2	5.1	12.8
	30歳代	531	98	36	67	36	53	42	46	18	10	28	33	64
		100.0	18.5	6.8	12.6	6.8	10.0	7.9	8.7	3.4	1.9	5.3	6.2	12.1
	40歳代	758	138	87	96	64	59	49	48	22	17	16	41	121
		100.0	18.2	11.5	12.7	8.4	7.8	6.5	6.3	2.9	2.2	2.1	5.4	16.0
50歳代	822	169	104	90	73	55	52	29	15	12	1	49	173	
	100.0	20.6	12.7	10.9	8.9	6.7	6.3	3.5	1.8	1.5	0.1	6.0	21.0	
60歳代	951	146	111	79	50	67	48	13	16	15	7	42	357	
	100.0	15.4	11.7	8.3	5.3	7.0	5.0	1.4	1.7	1.6	0.7	4.4	37.5	
70歳代以上	1363	103	153	43	46	66	67	3	25	12	3	33	809	
	100.0	7.6	11.2	3.2	3.4	4.8	4.9	0.2	1.8	0.9	0.2	2.4	59.4	
居住地	北部	506	77	59	65	38	38	29	20	9	4	6	25	136
		100.0	15.2	11.7	12.8	7.5	7.5	5.7	4.0	1.8	0.8	1.2	4.9	26.9
	中部第一	502	87	51	52	28	25	34	24	11	7	5	21	157
		100.0	17.3	10.2	10.4	5.6	5.0	6.8	4.8	2.2	1.4	1.0	4.2	31.3
	中部第二	726	112	97	57	50	55	45	37	13	11	7	19	223
		100.0	15.4	13.4	7.9	6.9	7.6	6.2	5.1	1.8	1.5	1.0	2.6	30.7
	東部	321	47	26	19	16	21	18	18	7	4	11	19	115
		100.0	14.6	8.1	5.9	5.0	6.5	5.6	5.6	2.2	1.2	3.4	5.9	35.8
	灘	382	59	46	28	26	28	15	22	13	1	9	21	114
		100.0	15.4	12.0	7.3	6.8	7.3	3.9	5.8	3.4	0.3	2.4	5.5	29.8
	飾磨	563	84	64	47	42	32	23	25	9	10	7	37	183
		100.0	14.9	11.4	8.3	7.5	5.7	4.1	4.4	1.6	1.8	1.2	6.6	32.5
	広畑	482	82	48	46	31	34	30	17	6	11	4	17	156
		100.0	17.0	10.0	9.5	6.4	7.1	6.2	3.5	1.2	2.3	0.8	3.5	32.4
	網干	535	86	61	41	35	28	31	30	12	9	8	24	170
		100.0	16.1	11.4	7.7	6.5	5.2	5.8	5.6	2.2	1.7	1.5	4.5	31.8
	西部	398	55	41	41	26	24	20	9	9	11	5	20	137
		100.0	13.8	10.3	10.3	6.5	6.0	5.0	2.3	2.3	2.8	1.3	5.0	34.4
家島	31	5	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2	20	
	100.0	16.1	3.2	3.2	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	64.5	
夢前	181	22	9	26	16	11	10	5	4	1	0	11	66	
	100.0	12.2	5.0	14.4	8.8	6.1	5.5	2.8	2.2	0.6	0.0	6.1	36.5	
香寺	183	24	14	28	9	15	9	6	4	2	3	4	65	
	100.0	13.1	7.7	15.3	4.9	8.2	4.9	3.3	2.2	1.1	1.6	2.2	35.5	
安富	53	7	5	8	5	3	3	2	3	1	0	2	14	
	100.0	13.2	9.4	15.1	9.4	5.7	5.7	3.8	5.7	1.9	0.0	3.8	26.4	

(5) 姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいと思いますか（問8）

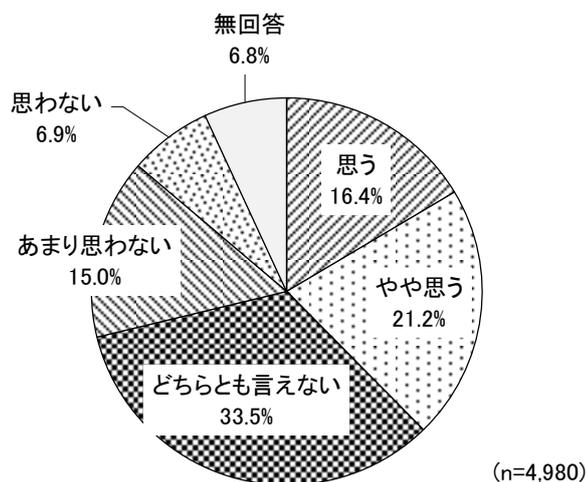
■ 全体傾向

- ・「やや思う」を含めると、37.6%が勧めたいと思うと回答している。
- ・一方、「あまり思わない」を含めて、勧めたいと思わないという回答割合は21.9%になっている。

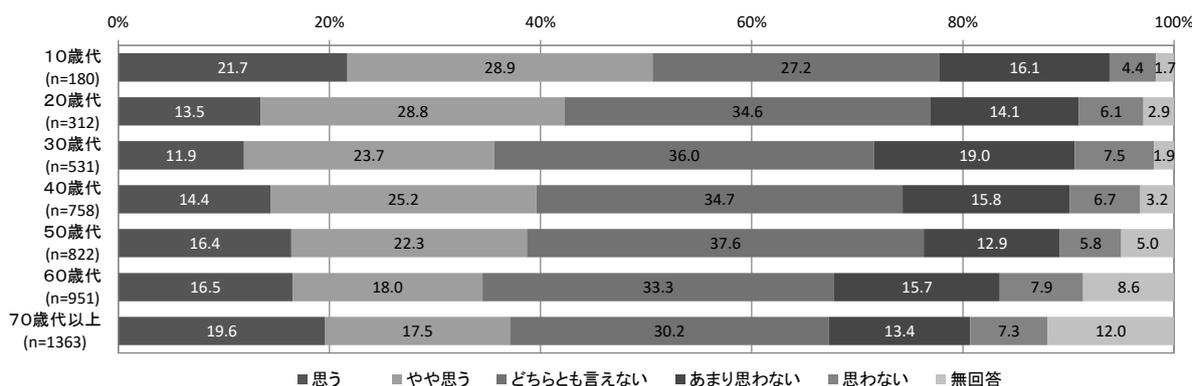
■ 属性別傾向

- ・年齢別にみた場合、10歳代で「思う」、「やや思う」の回答割合が50.6%ともっとも高く、次いで20歳代が42.3%となっており、60歳代で34.5%ともっとも低くなっている。
- ・居住地別にみた場合、中部第一ブロックで「思う」、「やや思う」の回答割合が46.0%ともっとも高く、次いで中部第二ブロックで40.8%となっている。一方、安富ブロックで「思う」、「やや思う」の回答割合が28.3%ともっとも低くなっている。

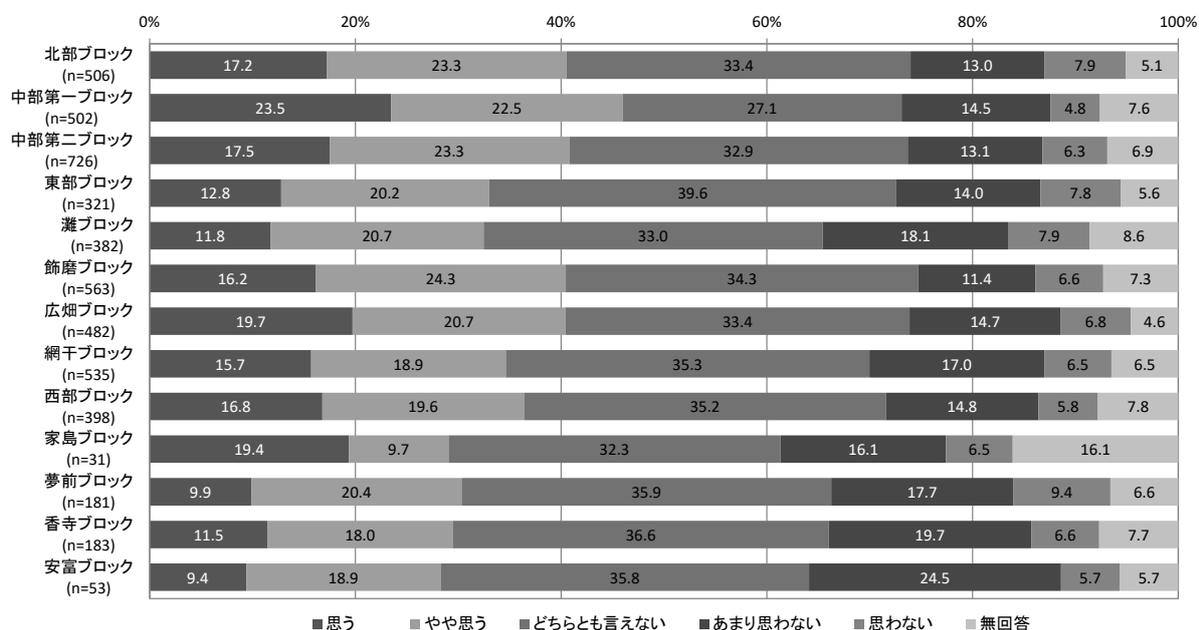
図表Ⅲ－45 姫路市内での居住を勧めたいか



図表Ⅲ－46 年齢別にみた「姫路市内での居住を勧めたいか」



図表Ⅲ－47 居住地別にみた「姫路市内での居住を勧めたいか」



4. 姫路市の施策に対する現状の満足度などについて

(1)「あなたが日ごろ感じている現状の満足度」と、「まちづくり全体からみた今後の重要性」をお答えください（問9）

① 日ごろ感じている現状の満足度

■ 全体傾向

- ・「満足」、「やや満足」の回答割合が高い施策は順に、「⑰姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用」(57.1%)、「⑳姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成」(44.7%)、「㉑文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用」(44.2%)となっている。
- ・現状の満足度の平均得点が高い施策は順に、「⑰姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用」(3.69点)、「㉑文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用」(3.53点)、「⑳姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成」(3.37点)となっている。
- ・「不満」、「やや不満」の回答割合が高い施策は順に、「⑭商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興」(34.1%)、「㉒公共交通網の充実など交通網の構築」(27.8%)、「㉓就職活動への支援など雇用・就業対策の充実」(24.7%)となっている。
- ・現状の満足度の平均得点が高い施策は順に、「⑭商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興」(2.72点)、「㉓就職活動への支援など雇用・就業対策の充実」(2.78点)、「㉔積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進」(2.86点)となっている。

■ 属性別傾向

- ・男女別にみた場合、男女で上位10施策に大きな差異はみられないが、女性は男性より「⑧大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興」(3.01点)、「⑦小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実」(3.02点)の教育分野の満足度の順位が低く、下位10施策に含まれる。
- ・年齢別にみた場合、10歳代、20歳代では「㉕おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実」(10歳代3.57点・20歳代3.20点)、「㉖外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進」(10歳代3.54点・20歳代3.15点)の観光分野の順位が高く、65歳以上では「㉗ごみの減量化など循環型社会の形成」(60～65歳3.13点・70～74歳3.23点・75歳以上3.42点)の順位が高くなっている。また、20歳代、30歳代では「②保育サービスの充実など子育て支援の推進」(20歳代2.88点・30歳代2.82点)の順位が他の年齢層より低く、下位10施策に含まれる。
- ・居住地別にみた場合、家島ブロックは「㉘防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実」(3.50点)がもっとも高くなっており、安富ブロックでは「②保育サービスの充実など子育て支援の推進」(3.21点)の順位が高くなっている。

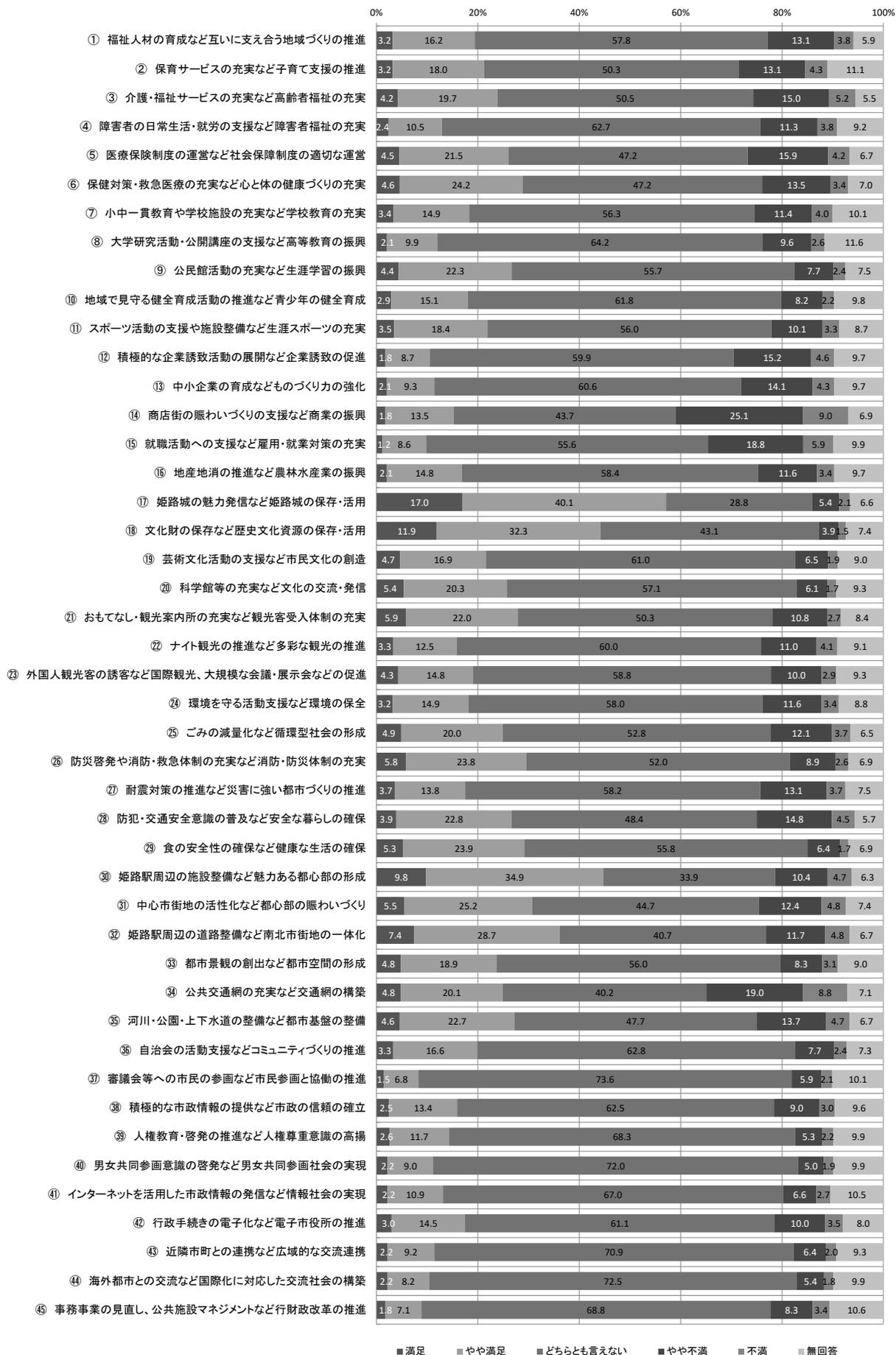
■ 市民満足度調査（平成23年度）との比較

- ・平成23年度の調査より満足度の平均得点が増加した施策上位3つは、「㉓就職活動への支援など雇用・就業対策の充実」(0.21ポイント増加)、「㉑中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり」(0.18ポイント増加)「⑳姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成」(0.16ポイント増加)となっている。

- 一方、平成 23 年度の調査より満足度の平均得点が減少した施策下位 3 つは、「⑰姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用」(0.19 ポイント減少)、「⑳ナイト観光の推進など多彩な観光の推進」(0.13 ポイント減少)、「㉑芸術文化活動の支援など市民文化の創造」(0.11 ポイント減少) となっている。

※「平均得点」は、選択肢の「満足」を 5 点、「やや満足」を 4 点、「どちらとも言えない」を 3 点、「やや不満」を 2 点、「不満」を 1 点と換算し、各得点を回答数に掛け合わせたものの合計を、全回答数から無回答数を除いた回答数で割り、算出している。

図表Ⅲ－48 項目別にみた現状の満足度(回答割合)



(n=4,980)

図表Ⅲ－49 現状の満足度(平均得点)(過去調査との比較)

設問項目	H23年度	H25年度	H27年度	今回	H23年度からの増減
① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	3.04	3.06	2.97	3.02	▲ 0.02
② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	2.98	2.99	2.98	3.03	0.05
③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	3.03	3.03	2.94	3.03	0.00
④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.97	2.97	2.95	2.96	▲ 0.01
⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	2.96	2.91	2.99	3.06	0.10
⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	3.05	3.03	3.06	3.14	0.09
⑦ 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	3.05	3.10	3.10	3.03	▲ 0.02
⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	3.03	3.03	3.07	2.99	▲ 0.04
⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.19	3.18	3.20	3.20	0.01
⑩ 地域で見守る健全育成活動の推進など青少年の健全育成	3.05	3.05	3.05	3.09	0.04
⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など生涯スポーツの充実	3.08	3.07	3.09	3.10	0.02
⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.90	2.89	2.87	2.86	▲ 0.04
⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.84	2.83	2.85	2.90	0.06
⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.71	2.73	2.73	2.72	0.01
⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.57	2.62	2.71	2.78	0.21
⑯ 地産地消の推進など農林水産業の振興	2.87	2.87	2.90	3.01	0.14
⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.88	3.96	3.88	3.69	▲ 0.19
⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.56	3.66	3.57	3.53	▲ 0.03
⑲ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.28	3.32	3.24	3.17	▲ 0.11
⑳ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.31	3.34	3.28	3.24	▲ 0.07
㉑ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.12	3.11	3.12	3.19	0.07
㉒ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.13	3.12	3.06	3.00	▲ 0.13
㉓ 外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進	3.10	3.10	3.06	3.08	▲ 0.02
㉔ 環境を守る活動支援など環境の保全	3.06	3.03	3.09	3.03	▲ 0.03
㉕ ごみの減量化など循環型社会の形成	3.11	3.09	3.13	3.11	0.00
㉖ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.28	3.24	3.30	3.23	▲ 0.05
㉗ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	3.02	3.01	3.06	3.01	▲ 0.01
㉘ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	3.02	2.96	3.04	3.07	0.05
㉙ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.12	3.07	3.15	3.27	0.15
㉚ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.21	3.26	3.33	3.37	0.16
㉛ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	2.97	3.11	3.11	3.15	0.18
㉜ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.14	3.14	3.21	3.24	0.10
㉝ 都市景観の創出など都市空間の形成	3.08	3.09	3.10	3.15	0.07
㉞ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.92	2.89	2.92	2.93	0.01
㉟ 河川・公園・上下水道の整備など都市基盤の整備	3.02	3.01	3.05	3.09	0.07
㊱ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.10	3.09	3.11	3.12	0.02
㊲ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.01	3.02	3.02	3.00	▲ 0.01
㊳ 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	2.98	3.01	3.02	3.04	0.06
㊴ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.15	3.11	3.09	3.08	▲ 0.07
㊵ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.08	3.05	3.05	3.05	▲ 0.03
㊶ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.11	3.10	3.10	3.04	▲ 0.07
㊷ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.11	3.05	3.03	3.04	▲ 0.07
㊸ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.06	3.05	3.03	3.04	▲ 0.02
㊹ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.07	3.01	3.02	3.04	▲ 0.03
㊺ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.83	2.89	2.89	2.95	0.12

図表Ⅲ－50 男女別にみた現状の満足度(上位、下位10項目)

男性 上位、下位10項目				女性 上位、下位10項目			
順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位	順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.67	1	1	⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.70	1
2	⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.49	2	2	⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.55	2
3	⑳ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.30	3	3	⑳ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.42	3
4	㉑ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.25	4	4	㉑ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.29	6
5	㉒ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.23	7	5	㉒ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.28	4
6	㉓ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.19	5	6	㉓ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.27	5
7	㉔ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.16	6	7	㉔ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.24	8
8	㉕ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.15	8	8	㉕ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.23	7
9	㉖ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.15	10	9	㉖ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.22	9
10	㉗ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.15	9	10	㉗ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.19	10
36	⑶ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	2.96	37	36	⑶ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	3.02	35
37	⑶ 地産地消の推進など農林水産業の振興	2.95	34	37	⑷ 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	3.02	32
38	⑷ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.94	39	38	⑸ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	3.01	38
39	⑸ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	2.93	36	39	⑹ 事務事業の見直し・公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.97	40
40	⑹ 事務事業の見直し・公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.93	40	40	⑺ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.97	39
41	⑺ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.88	41	41	⑻ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.96	41
42	⑺ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.86	42	42	⑼ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.93	42
43	⑺ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.84	43	43	⑽ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.88	43
44	⑺ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.80	44	44	⑾ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.78	44
45	⑼ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.69	45	45	⑿ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.74	45

図表Ⅲ－51 年齢別にみた現状の満足度(上位、下位10項目)

10歳代 上位、下位10項目				20歳代 上位、下位10項目			
順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位	順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.87	1	1	⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.62	1
2	⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.85	2	2	⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.56	2
3	㉑ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.57	9	3	⑳ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.36	3
4	㉒ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.56	4	4	㉑ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.27	4
5	㉓ 外国人観光客の誘客など国際観光・大規模な会議・展示会などの促進	3.54	19	5	㉒ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	3.23	12
6	㉔ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.51	5	6	㉓ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.20	9
7	⑳ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.50	3	7	㉔ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.20	10
8	㉕ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.47	10	8	㉕ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.18	5
9	⑶ 保健対策・救急医療の充実など心身の健康づくりの充実	3.46	13	9	㉖ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.16	6
10	㉖ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.43	7	10	㉗ 外国人観光客の誘客など国際観光・大規模な会議・展示会などの促進	3.15	19
36	⑷ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	3.16	39	36	⑷ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	2.92	25
37	⑸ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.16	25	37	⑸ 事務事業の見直し・公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.92	40
38	⑹ 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	3.15	26	38	⑹ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.92	42
39	⑹ 事務事業の見直し・公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	3.14	40	39	⑸ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	2.91	36
40	⑺ 中小企業の育成などものづくり力の強化	3.13	42	40	⑹ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	2.89	21
41	㉑ ごみの減量化など循環型社会の形成	3.10	15	41	⑼ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.89	41
42	⑺ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	3.09	43	42	⑺ 保育サービスの充実など子育て支援の推進	2.88	30
43	⑶ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.07	37	43	⑽ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.83	43
44	⑺ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	3.02	44	44	⑼ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.75	45
45	⑼ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.93	45	45	⑽ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.73	44
36	㉑ ごみの減量化など循環型社会の形成	2.94	15	36	⑸ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	2.95	38
37	⑺ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.93	42	37	⑸ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	2.94	36
38	⑹ 事務事業の見直し・公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.93	40	38	⑷ 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	2.93	32
39	⑼ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.92	41	39	⑹ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.93	39
40	⑺ 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	2.88	32	40	⑺ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	2.92	31
41	⑹ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	2.87	21	41	⑺ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.88	42
42	⑺ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.86	43	42	⑽ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.85	43
43	⑺ 保育サービスの充実など子育て支援の推進	2.82	30	43	⑼ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.84	41
44	⑼ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.82	45	44	⑽ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.74	44
45	⑽ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.79	44	45	⑼ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.71	45
36	⑸ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	2.91	22	36	⑸ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	2.95	36
37	⑹ 事務事業の見直し・公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.90	40	37	⑹ 環境を守る活動支援など環境の保全	2.93	29
38	⑶ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	2.90	35	38	⑺ 地産地消の推進など農林水産業の振興	2.93	34
39	⑸ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	2.90	38	39	⑹ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.92	39
40	⑹ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.88	39	40	⑺ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.90	42
41	⑼ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.81	41	41	⑹ 事務事業の見直し・公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.89	40
42	⑺ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.81	42	42	⑼ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.85	41
43	⑺ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.81	43	43	⑽ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.82	43
44	⑽ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.67	44	44	⑽ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.78	44
45	⑼ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.61	45	45	⑼ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.62	45
36	⑸ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	2.91	22	36	⑸ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	2.95	36
37	⑹ 事務事業の見直し・公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.90	40	37	⑹ 環境を守る活動支援など環境の保全	2.93	29
38	⑶ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	2.90	35	38	⑺ 地産地消の推進など農林水産業の振興	2.93	34
39	⑸ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	2.90	38	39	⑹ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.92	39
40	⑹ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.88	39	40	⑺ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.90	42
41	⑼ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.81	41	41	⑹ 事務事業の見直し・公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.89	40
42	⑺ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.81	42	42	⑼ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.85	41
43	⑺ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.81	43	43	⑽ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.82	43
44	⑽ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.67	44	44	⑽ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.78	44
45	⑼ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.61	45	45	⑼ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.62	45

65～69歳 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	17 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.68	1
2	18 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.46	2
3	30 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.33	3
4	26 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.25	7
5	32 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.25	6
6	29 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.20	4
7	9 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.18	8
8	20 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.14	5
9	25 ごみの減量化など循環型社会の形成	3.13	15
10	19 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.11	10

36	3 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	2.98	31
37	37 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	2.98	37
38	4 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.94	39
39	16 地産地消の推進など農林水産業の振興	2.92	34
40	34 公共交通網の充実など交通網の構築	2.91	41
41	45 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行政改革の推進	2.89	40
42	13 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.86	42
43	12 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.83	43
44	15 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.76	44
45	14 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.65	45

75歳以上 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	17 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.95	1
2	18 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.71	2
3	26 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.52	7
4	30 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.52	3
5	9 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.49	8
6	29 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.48	4
7	16 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	3.47	13
8	25 ごみの減量化など循環型社会の形成	3.42	15
9	32 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.41	6
10	5 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	3.40	22

36	44 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.13	27
37	4 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	3.11	39
38	45 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行政改革の推進	3.08	40
39	37 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.07	37
40	41 インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.07	24
41	16 地産地消の推進など農林水産業の振興	3.03	34
42	13 中小企業の育成などものづくり力の強化	3.02	42
43	12 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.99	43
44	15 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.94	44
45	14 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.81	45

70～74歳 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	17 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.82	1
2	18 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.59	2
3	30 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.40	3
4	29 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.31	4
5	32 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.30	6
6	26 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.30	7
7	9 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.27	8
8	25 ごみの減量化など循環型社会の形成	3.23	15
9	19 防災・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	3.21	21
10	16 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	3.19	13

36	17 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	2.99	33
37	16 地産地消の推進など農林水産業の振興	2.99	34
38	45 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行政改革の推進	2.97	40
39	37 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	2.96	37
40	34 公共交通網の充実など交通網の構築	2.94	41
41	4 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.91	39
42	13 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.85	42
43	15 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.83	44
44	12 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.83	43
45	14 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.72	45

図表Ⅲ－52 居住地別にみた現状の満足度(上位、下位10項目)

北部 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	17 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.63	1
2	18 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.46	2
3	30 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.34	3
4	32 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.27	6
5	26 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.24	7
6	29 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.22	4
7	20 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.20	5
8	9 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.18	8
9	13 都市景観の創出など都市空間の形成	3.16	11
10	19 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.15	10

36	16 地産地消の推進など農林水産業の振興	2.99	34
37	8 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	2.99	38
38	27 ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	2.94	36
39	27 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	2.91	35
40	45 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.89	40
41	54 公共交通網の充実など交通網の構築	2.89	41
42	13 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.86	42
43	12 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.84	43
44	15 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.77	44
45	14 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.71	45

中部第一 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	17 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.70	1
2	18 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.53	2
3	30 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.33	3
4	26 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.26	7
5	29 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.25	4
6	9 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.25	8
7	32 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.22	6
8	20 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.21	5
9	6 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	3.21	13
10	19 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.15	10

36	8 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	3.00	38
37	38 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	3.00	26
38	4 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.97	39
39	37 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	2.97	37
40	45 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.95	40
41	22 ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	2.93	36
42	13 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.93	42
43	12 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.89	43
44	15 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.77	44
45	14 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.66	45

中部第二 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	17 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.70	1
2	18 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.56	2
3	30 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.35	3
4	20 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.29	5
5	29 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.25	4
6	26 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.23	7
7	19 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.22	10
8	7 おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.22	9
9	9 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.21	8
10	32 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.20	6

36	27 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	3.02	35
37	2 保育サービスの充実など子育て支援の推進	3.01	30
38	27 ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.01	36
39	37 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.00	37
40	4 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.96	39
41	45 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.95	40
42	13 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.90	42
43	12 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.90	43
44	15 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.81	44
45	14 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.74	45

東部 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	17 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.79	1
2	18 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.65	2
3	30 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.37	3
4	29 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.31	4
5	32 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.29	6
6	26 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.26	7
7	27 おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.26	9
8	9 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.24	8
9	20 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.24	5
10	19 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.24	10

36	16 地産地消の推進など農林水産業の振興	3.04	34
37	27 ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.03	36
38	37 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.03	37
39	45 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	3.02	40
40	4 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	3.00	39
41	13 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.98	42
42	14 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.93	45
43	12 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.89	43
44	15 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.88	44
45	54 公共交通網の充実など交通網の構築	2.88	41

瀬 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	17 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.63	1
2	18 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.56	2
3	30 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.30	3
4	29 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.24	4
5	20 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.23	5
6	32 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.21	6
7	27 おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.19	9
8	19 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.16	10
9	26 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.14	7
10	31 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	3.13	12

36	42 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	2.95	25
37	26 環境を守る活動支援など環境の保全	2.95	29
38	7 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	2.94	32
39	27 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	2.93	35
40	54 公共交通網の充実など交通網の構築	2.92	41
41	13 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.88	42
42	45 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.87	40
43	12 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.81	43
44	15 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.75	44
45	14 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.70	45

師 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	17 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.73	1
2	18 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.56	2
3	30 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.47	3
4	29 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.29	4
5	32 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.26	6
6	27 おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.26	9
7	20 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.23	5
8	26 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.22	7
9	31 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	3.20	12
10	9 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.20	8

36	7 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	3.02	32
37	2 保育サービスの充実など子育て支援の推進	3.02	30
38	8 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	3.01	38
39	37 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.01	37
40	45 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.97	40
41	13 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.93	42
42	4 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.92	39
43	12 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.88	43
44	15 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.83	44
45	14 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.78	45

広畑 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	17 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.67	1
2	18 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.58	2
3	30 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.36	3
4	29 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.31	4
5	26 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.27	7
6	20 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.26	5
7	9 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.23	8
8	27 おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.22	9
9	31 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	3.19	12
10	19 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.16	10

36	38 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	2.99	26
37	37 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	2.98	37
38	8 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	2.97	38
39	45 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.97	40
40	4 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.95	39
41	13 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.93	42
42	54 公共交通網の充実など交通網の構築	2.90	41
43	12 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.88	43
44	14 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.75	45
45	15 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.72	44

網干 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	17 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.67	1
2	18 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.50	2
3	30 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.40	3
4	9 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.30	8
5	29 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.27	4
6	32 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.24	6
7	19 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.22	10
8	20 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.22	5
9	31 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	3.19	12
10	13 都市景観の創出など都市空間の形成	3.19	11

36	27 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	2.99	35
37	16 地産地消の推進など農林水産業の振興	2.98	34
38	8 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	2.98	38
39	1 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	2.98	33
40	4 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.98	39
41	13 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.91	42
42	12 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.90	43
43	54 公共交通網の充実など交通網の構築	2.90	41
44	15 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.76	44
45	14 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.69	45

西部 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	⑪ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.74	1
2	⑫ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.50	2
3	⑩ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.43	3
4	⑫ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.35	6
5	⑫ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.34	5
6	⑫ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.31	7
7	⑫ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.29	4
8	⑪ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	3.22	12
9	⑩ 都市景観の創出など都市空間の形成	3.22	11
10	⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.22	8

36	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	3.02	31
37	⑦ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.02	37
38	⑫ 地産地消の推進など農林水産業の振興	3.02	34
39	④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.96	39
40	④ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.95	40
41	⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.90	42
42	⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.87	43
43	⑭ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.85	41
44	⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.85	44
45	⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.70	45

夢前 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	⑪ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.64	1
2	⑫ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.48	2
3	⑩ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.30	3
4	⑫ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.27	7
5	⑫ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.23	6
6	⑫ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.22	4
7	⑫ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.19	5
8	⑪ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	3.18	12
9	⑨ 人材教育・啓発の推進など人材尊重意識の高揚	3.17	20
10	⑫ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.17	9

36	⑫ 環境を守る活動支援など環境の保全	2.92	29
37	⑫ 保育サービスの充実など子育て支援の推進	2.92	30
38	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	2.92	33
39	④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.91	39
40	⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.87	42
41	④ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	2.87	38
42	⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.76	44
43	⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.76	43
44	⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.61	45
45	⑭ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.57	41

安富 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	⑪ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.69	1
2	⑩ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.50	3
3	⑫ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.31	2
4	⑫ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.26	4
5	⑪ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	3.26	12
6	⑫ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.26	6
7	⑫ 保育サービスの充実など子育て支援の推進	3.21	30
8	⑫ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.16	9
9	⑩ 都市景観の創出など都市空間の形成	3.16	11
10	⑫ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	3.16	21

36	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	2.85	27
37	⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など生涯スポーツの充実	2.82	16
38	④ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.81	40
39	⑤ 河川・公園・上下水道の整備など都市基盤の整備	2.80	17
40	⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	2.76	38
41	⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.76	44
42	⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.71	43
43	⑭ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.69	41
44	⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.59	42
45	⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.47	45

家島 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	⑫ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.50	7
2	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	3.48	13
3	⑩ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.42	3
4	⑪ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.40	1
5	⑫ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	3.35	21
6	⑫ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.35	6
7	⑫ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.28	2
8	⑩ 都市景観の創出など都市空間の形成	3.28	11
9	⑫ こみの減量化など循環型社会の形成	3.19	15
10	⑫ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.19	4

36	⑫ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	2.80	36
37	⑫ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	2.77	9
38	④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.76	39
39	⑫ 環境を守る活動支援など環境の保全	2.76	29
40	④ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.75	41
41	⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.65	43
42	⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.60	42
43	⑫ 保育サービスの充実など子育て支援の推進	2.43	30
44	⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.42	45
45	⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.21	44

香寺 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	⑪ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.78	1
2	⑫ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.49	2
3	⑩ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.34	3
4	⑫ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.25	6
5	⑫ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.25	4
6	⑫ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.25	9
7	⑫ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.21	7
8	⑧ 外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進	3.20	19
9	⑫ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.18	5
10	⑫ こみの減量化など循環型社会の形成	3.18	15

36	⑫ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	2.98	25
37	④ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.96	40
38	⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	2.96	38
39	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	2.94	33
40	④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.89	39
41	⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.86	42
42	⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.83	43
43	⑭ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.79	41
44	⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.79	44
45	⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.57	45

② まちづくり全体からみた今後の重要性

■ 全体傾向

- ・「重要である」、「やや重要である」の回答割合が高い施策は順に、「③介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実」(80.3%)、「⑳防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保」(79.3%)、「⑤医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営」(77.4%)となっている。
- ・今後の重要性の平均得点が高い施策は順に、「③介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実」(4.44点)、「⑳防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保」(4.38点)、「⑤医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営」(4.37点)、「㉑耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進」(4.37点)となっている。
- ・「重要でない」、「あまり重要でない」の回答割合が高い施策は順に、「㉒ナイト観光の推進など多彩な観光の推進」(9.2%)、「㉔海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築」(8.6%)、「⑨公民館活動の充実など生涯学習の振興」(7.2%)、「㉖自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進」(7.2%)となっている。
- ・今後の重要性の平均得点が高い施策は、「㉗審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進」(3.38点)、「㉔海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築」(3.42点)、「㉘男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現」(3.48点)となっている。

■ 属性別傾向

- ・男女別にみた場合、男女で上位10施策に大きな差異はみられないが、男性では「⑱芸術文化活動の支援など市民文化の創造」(3.56点)、女性では「㉓近隣市町との連携など広域的な交流連携」(3.58点)、「㉔行政手続きの電子化など電子市役所の推進」(3.61点)、「㉕事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進」(3.63点)の重要性の順位が低く、下位10施策に含まれる。
- ・年齢別にみた場合、10歳代、20歳代では「⑮就職活動への支援など雇用・就業対策の充実」(10歳代4.27点・20歳代4.27点)の重要性が高くなっている。また、65歳以上では「㉖自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進」は下位10施策に含まれないが、その他の年齢層では下位10施策に含まれる。70歳以上では「㉙インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現」(70～74歳3.43点・75歳以上3.54点)の重要性が低くなっている。
- ・居住地別にみた場合、各ブロックに大きな差異はみられないが、安富ブロックでは「㉒外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進」(3.20点)、「㉑中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり」(3.37点)の重要性が低くなっている。

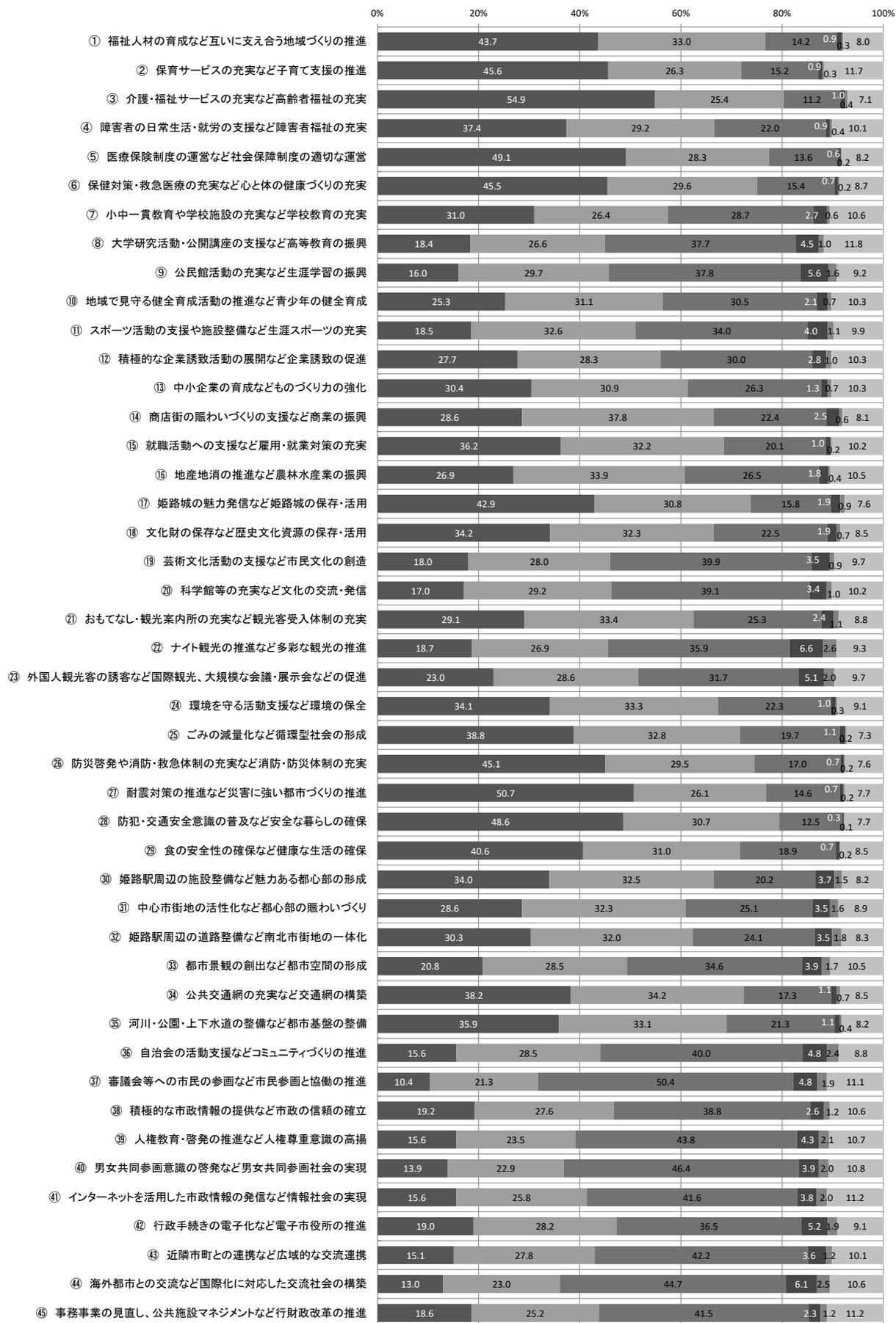
■ 市民満足度調査（平成23年度）との比較

- ・平成23年度の調査より重要性の平均得点が増加した施策上位3つは、「①福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進」(0.24ポイント増加)、「㉔公共交通網の充実など交通網の構築」(0.23ポイント増加)「③介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実」、「㉙インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現」(0.21ポイント増加)となっている。

- 一方、平成 23 年度の調査より重要性の平均得点が減少した施策下位 3 つは、「㉓ナイト観光の推進など多彩な観光の推進」(0.29 ポイント減少)、「㉔事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進」(0.24 ポイント減少)、「㉕審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進」(0.11 ポイント減少) となっている。

※「平均得点」は、選択肢の「重要である」を 5 点、「やや重要である」を 4 点、「どちらとも言えない」を 3 点、「あまり重要でない」を 2 点、「重要でない」を 1 点と換算し、各得点を回答数に掛け合わせたものの合計を、全回答数から無回答数を除いた回答数で割り、算出している。

図表Ⅲ－53 項目別にみた今後の重要性(回答割合)



■重要である ■やや重要である ■どちらとも言えない ■あまり重要でない ■重要でない ■無回答

(n=4,980)

図表Ⅲ－54 今後の重要性(平均得点)(過去調査との比較)

設問項目	H23年度	H25年度	H27年度	今回	H23年度からの増減
① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.05	3.99	4.03	4.29	0.24
② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.13	4.08	4.19	4.31	0.18
③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.23	4.17	4.28	4.44	0.21
④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	4.05	4.00	4.05	4.14	0.09
⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.22	4.19	4.22	4.37	0.15
⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.21	4.14	4.18	4.31	0.10
⑦ 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	3.93	3.97	4.02	3.95	0.02
⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	3.71	3.80	3.82	3.65	▲ 0.06
⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.60	3.65	3.63	3.58	▲ 0.02
⑩ 地域で見守る健全育成活動の推進など青少年の健全育成	3.85	3.79	3.91	3.87	0.02
⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など生涯スポーツの充実	3.68	3.68	3.70	3.70	0.02
⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	3.88	3.88	3.89	3.88	0.00
⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	4.00	3.98	4.00	3.99	▲ 0.01
⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	4.00	3.96	3.99	3.99	▲ 0.01
⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	4.23	4.17	4.12	4.15	▲ 0.08
⑯ 地産地消の推進など農林水産業の振興	3.93	3.89	3.94	3.95	0.02
⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	4.16	4.19	4.25	4.22	0.06
⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.94	4.01	4.03	4.06	0.12
⑲ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.61	3.71	3.68	3.65	0.04
⑳ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.60	3.71	3.70	3.64	0.04
㉑ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.92	4.00	4.03	3.96	0.04
㉒ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.87	3.91	3.97	3.58	▲ 0.29
㉓ 外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進	3.79	3.86	3.86	3.73	▲ 0.06
㉔ 環境を守る活動支援など環境の保全	3.99	4.04	4.03	4.10	0.11
㉕ ごみの減量化など循環型社会の形成	4.06	4.07	4.08	4.18	0.12
㉖ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.20	4.17	4.17	4.28	0.08
㉗ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.22	4.18	4.21	4.37	0.15
㉘ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.27	4.23	4.25	4.38	0.11
㉙ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.16	4.13	4.14	4.22	0.06
㉚ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.91	3.87	3.92	4.02	0.11
㉛ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	3.87	3.84	3.87	3.91	0.04
㉜ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.94	3.86	3.89	3.93	▲ 0.01
㉝ 都市景観の創出など都市空間の形成	3.70	3.71	3.75	3.70	0.00
㉞ 公共交通網の充実など交通網の構築	3.95	4.02	4.04	4.18	0.23
㉟ 河川・公園・上下水道の整備など都市基盤の整備	3.95	3.98	4.00	4.12	0.17
㊱ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.60	3.62	3.60	3.55	▲ 0.05
㊲ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.49	3.51	3.52	3.38	▲ 0.11
㊳ 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	3.72	3.71	3.76	3.68	▲ 0.04
㊴ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.57	3.61	3.65	3.52	▲ 0.05
㊵ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.47	3.55	3.63	3.48	0.01
㊶ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.34	3.38	3.37	3.55	0.21
㊷ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.44	3.44	3.42	3.63	0.19
㊸ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.53	3.52	3.56	3.58	0.05
㊹ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.42	3.47	3.49	3.42	0.00
㊺ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	3.89	3.77	3.79	3.65	▲ 0.24

図表Ⅲ－55 男女別にみた今後の重要性(上位、下位10項目)

男性 上位、下位10項目

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 1-10 showing top priorities for men.

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 11-20 showing middle priorities for men.

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 21-30 showing lower priorities for men.

女性 上位、下位10項目

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 1-10 showing top priorities for women.

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 11-20 showing middle priorities for women.

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 21-30 showing lower priorities for women.

図表Ⅲ－56 年齢別にみた今後の重要性(上位、下位10項目)

10歳代 上位、下位10項目

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 1-10 showing top priorities for 10-year-olds.

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 11-20 showing middle priorities for 10-year-olds.

30歳代 上位、下位10項目

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 1-10 showing top priorities for 30-year-olds.

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 11-20 showing middle priorities for 30-year-olds.

50歳代 上位、下位10項目

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 1-10 showing top priorities for 50-year-olds.

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 11-20 showing middle priorities for 50-year-olds.

20歳代 上位、下位10項目

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 1-10 showing top priorities for 20-year-olds.

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 11-20 showing middle priorities for 20-year-olds.

40歳代 上位、下位10項目

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 1-10 showing top priorities for 40-year-olds.

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 11-20 showing middle priorities for 40-year-olds.

60～64歳 上位、下位10項目

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 1-10 showing top priorities for 60-64 year-olds.

Table with 5 columns: 順位, 施策の主な内容, 平均得点, 全体順位. Rows 11-20 showing middle priorities for 60-64 year-olds.

65～69歳 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.48	1
2	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.35	4
3	② 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.34	2
4	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.31	3
5	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.31	6
6	② 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.30	8
7	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.26	7
8	⑤ ごみの減量化など循環型社会の形成	4.22	12
9	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.21	5
10	⑨ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.18	10

36	⑩ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.61	35
37	⑬ 外国人観光客の誘客など国際観光・大規模な会議・展示会などの促進	3.61	28
38	④ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.54	39
39	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.47	40
40	⑦ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.46	38
41	④ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.44	36
42	③ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.44	42
43	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.43	43
44	⑦ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.41	45
45	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.33	44

70～74歳 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.44	1
2	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.39	3
3	② 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.39	2
4	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.37	6
5	⑦ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	4.35	9
6	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.35	4
7	② 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.35	8
8	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.31	7
9	⑤ ごみの減量化など循環型社会の形成	4.30	12
10	③ 河川・公園・上下水道の整備など都市基盤の整備	4.26	15

36	⑬ 都市景観の創出など都市空間の形成	3.68	30
37	⑩ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.67	35
38	④ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.65	39
39	④ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.52	36
40	⑦ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.51	38
41	③ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.51	42
42	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.49	43
43	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.46	44
44	⑦ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.45	45
45	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.43	40

75歳以上 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.48	1
2	② 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.45	8
3	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.42	3
4	② 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.42	2
5	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.42	4
6	⑦ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	4.41	9
7	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.38	7
8	⑨ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.35	10
9	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.34	6
10	③ 河川・公園・上下水道の整備など都市基盤の整備	4.33	15

36	⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など生涯スポーツの充実	3.80	29
37	④ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど財政改革の推進	3.77	33
38	④ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.77	39
39	③ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.75	42
40	⑦ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.67	38
41	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.67	43
42	⑦ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.61	45
43	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.60	44
44	④ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.57	36
45	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.54	40

図表Ⅲ－57 居住地別にみた今後の重要性(上位、下位10項目)

北部 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.44	1
2	② 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.37	2
3	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.37	3
4	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.37	4
5	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.32	6
6	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.32	5
7	⑤ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.28	8
8	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.27	7
9	⑪ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	4.22	9
10	⑫ ごみの減量化など循環型社会の形成	4.21	12

36	⑩ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.65	35
37	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.59	40
38	⑤ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.58	41
39	⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.56	37
40	⑫ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.55	38
41	⑨ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.54	42
42	④ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.53	39
43	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.52	43
44	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.46	44
45	⑪ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.36	45

中部第二 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.43	1
2	② 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.40	2
3	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.36	3
4	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.35	4
5	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.31	6
6	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.30	5
7	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.30	7
8	⑤ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.24	8
9	⑪ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	4.22	9
10	⑫ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.22	10

36	⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	3.64	34
37	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.60	40
38	⑫ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.59	38
39	⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.56	37
40	④ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.53	39
41	⑤ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.52	41
42	⑨ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.52	42
43	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.49	43
44	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.44	44
45	⑪ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.37	45

瀬 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	② 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.39	2
2	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.39	1
3	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.32	4
4	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.30	6
5	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.30	3
6	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.29	5
7	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.26	7
8	⑤ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.25	8
9	⑫ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.20	10
10	⑪ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	4.20	9

36	④ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.55	36
37	⑥ 事務事業の見直し・公共施設マネジメントなど行政改革の推進	3.52	33
38	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.51	40
39	⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.49	37
40	⑤ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.49	41
41	④ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.49	39
42	⑨ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.42	42
43	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.41	43
44	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.33	44
45	⑪ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.30	45

広畑 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.41	1
2	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.39	4
3	② 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.38	2
4	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.35	3
5	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.34	5
6	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.29	6
7	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.28	7
8	⑤ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.26	8
9	⑪ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	4.25	9
10	⑫ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.24	10

36	④ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.60	36
37	⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.56	37
38	⑫ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.54	38
39	⑤ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.54	41
40	⑨ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.53	42
41	④ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.53	39
42	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.51	40
43	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.47	43
44	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.42	44
45	⑪ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.35	45

中部第一 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.40	1
2	② 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.38	2
3	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.37	3
4	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.37	4
5	⑪ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	4.35	9
6	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.32	6
7	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.30	7
8	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.28	5
9	⑤ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.26	8
10	⑫ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	4.20	18

36	⑤ 事務事業の見直し・公共施設マネジメントなど行政改革の推進	3.66	33
37	⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	3.65	34
38	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.63	40
39	⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.62	37
40	④ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.58	39
41	⑨ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.58	42
42	⑤ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.55	41
43	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.50	44
44	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.50	43
45	⑪ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.44	45

東部 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.51	3
2	② 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.50	2
3	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.46	1
4	⑤ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.38	8
5	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.38	4
6	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.35	7
7	⑫ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.34	10
8	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.34	6
9	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.33	5
10	③ 公共交通網の充実など交通網の構築	4.30	11

36	⑤ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.62	41
37	⑩ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.59	35
38	⑫ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.58	38
39	⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	3.58	34
40	⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.53	37
41	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.53	40
42	⑨ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.52	42
43	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.47	44
44	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.45	43
45	⑪ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.38	45

飾磨 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.42	1
2	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.37	4
3	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.37	3
4	② 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.34	2
5	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.31	5
6	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.31	6
7	⑪ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	4.30	9
8	⑤ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.27	8
9	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.23	7
10	⑫ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.21	10

36	⑥ 事務事業の見直し・公共施設マネジメントなど行政改革の推進	3.65	33
37	④ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.64	36
38	④ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.62	39
39	⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.61	37
40	⑤ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.57	41
41	⑨ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.56	42
42	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.53	40
43	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.51	43
44	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.44	44
45	⑪ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.42	45

網干 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.47	1
2	② 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.38	2
3	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.37	3
4	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.36	5
5	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.36	4
6	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.32	7
7	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.30	6
8	⑤ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.29	8
9	④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	4.20	14
10	⑫ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	4.20	13

36	⑩ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.56	32
37	⑩ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.56	35
38	⑫ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.55	38
39	⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.55	37
40	⑤ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.53	41
41	⑨ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.51	42
42	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.50	40
43	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.45	43
44	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.39	44
45	⑪ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.33	45

西部 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.48	1
2	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.42	3
3	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.40	4
4	② 防災・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.38	2
5	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.34	6
6	② 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.33	8
7	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.31	7
8	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.29	5
9	⑨ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.25	10
10	④ 公共交通網の充実など交通網の構築	4.25	11

36	⑥ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	3.68	34
37	⑨ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.68	32
38	④ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.62	36
39	⑤ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.61	41
40	⑦ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.57	38
41	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.57	40
42	⑨ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.56	42
43	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.54	43
44	⑦ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.46	45
45	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.42	44

夢前 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.40	1
2	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.36	4
3	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.32	3
4	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.31	5
5	② 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.30	8
6	② 防災・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.29	2
7	⑨ ごみの減量化など循環型社会の形成	4.25	12
8	④ 公共交通網の充実など交通網の構築	4.25	11
9	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.21	7
10	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.20	6

36	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.58	40
37	⑨ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.57	32
38	① 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.54	37
39	⑤ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.54	41
40	③ 都市景観の創出など都市空間の形成	3.52	30
41	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.50	43
42	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.50	44
43	⑦ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.48	38
44	⑨ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.46	42
45	⑦ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.41	45

安富 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.46	3
2	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.43	1
3	② 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.42	8
4	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.35	6
5	② 防災・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.27	2
6	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.25	7
7	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.24	4
8	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.24	5
9	⑨ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.23	10
10	④ 公共交通網の充実など交通網の構築	4.22	11

36	④ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.40	39
37	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.38	43
38	③ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	3.37	25
39	⑦ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.31	45
40	⑨ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.29	42
41	③ 都市景観の創出など都市空間の形成	3.27	30
42	⑨ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.27	35
43	④ 外国人観光客の誘客など国際観光・大規模な会議・展示会などの促進	3.20	28
44	⑦ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.18	38
45	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.15	44

家島 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.67	1
2	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.50	5
3	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.48	6
4	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.46	7
5	② 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.36	8
6	⑨ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.36	10
7	② 防災・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.32	2
8	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.29	4
9	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.29	3
10	④ 公共交通網の充実など交通網の構築	4.26	11

36	⑨ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.54	42
37	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.54	40
38	⑨ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.48	32
39	⑨ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.45	35
40	③ 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	3.43	31
41	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.42	43
42	④ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.40	36
43	④ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.29	39
44	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.25	44
45	⑦ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.00	45

香寺 上位、下位10項目

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.52	1
2	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.41	7
3	⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.37	3
4	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.36	4
5	② 防災・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.33	2
6	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.31	5
7	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.30	6
8	② 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.30	8
9	④ 公共交通網の充実など交通網の構築	4.25	11
10	⑨ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.24	10

36	⑤ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.60	41
37	⑨ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.58	35
38	④ 事務事業の見直し・公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	3.57	33
39	⑦ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.54	38
40	④ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.50	40
41	⑨ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.44	42
42	④ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.42	36
43	④ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.41	43
44	⑦ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.36	45
45	④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.30	44

③ 日ごろ感じている現状の満足度とまちづくり全体からみた今後の重要性の4象限マトリックス分析

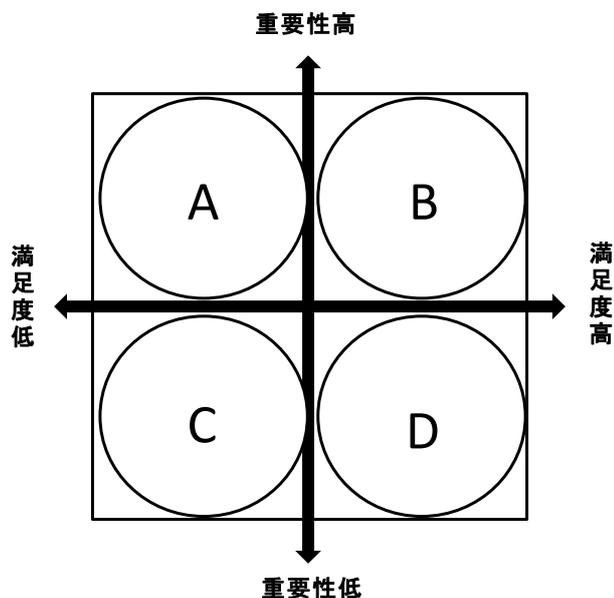
ア. 分析方法

満足度と重要性の4象限マトリックス分析の結果、各施策は下図のように4つの象限に分けられることとなる。

「満足度は低く重要性が高い施策（A）」は今後重点的に実施し、「満足度も重要性も高い施策（B）」は継続実施することが求められる。また、「満足度も重要性も低い施策（C）」は事業手法や事業規模等の大幅な見直しが、「満足度は高く重要性は低い施策（D）」は当初の目的はほぼ達成されたものとして、事業展開のあり方等の検討が求められる。

なお、これらの結果はあくまでアンケートから得られたものであり、実際の施策の実施環境は社会経済状況の変化などで他の多様な要因を念頭において検討することが必要となる。ここでは、市民の目からみた評価であり、今度の施策展開の参考とするものである。

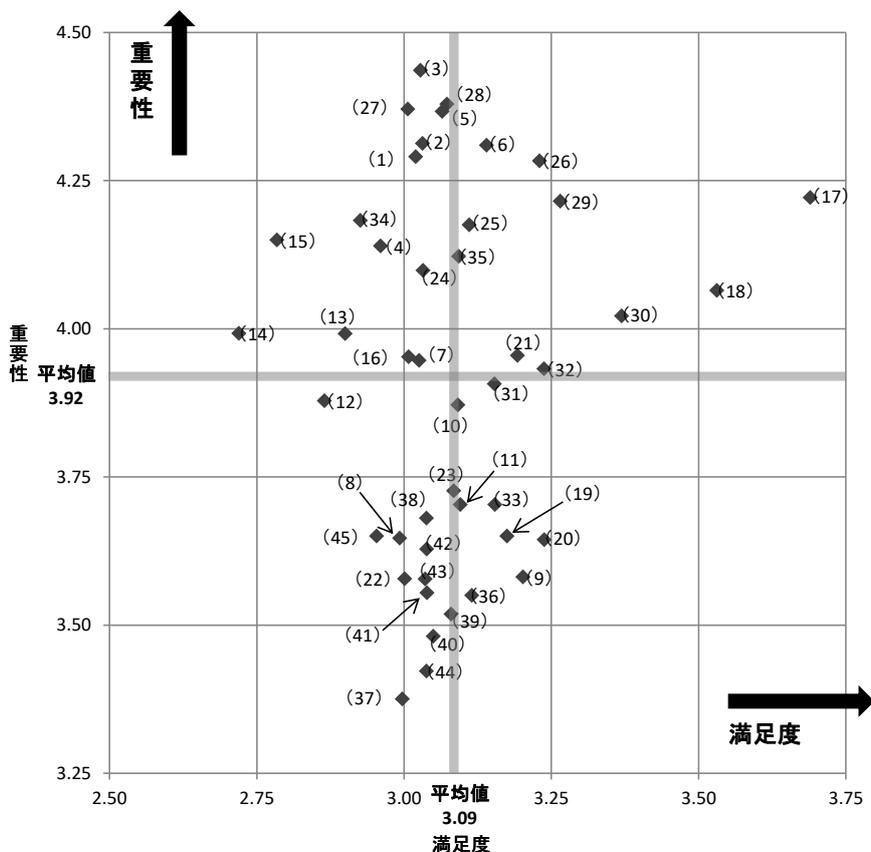
図表Ⅲ－58 満足度と重要性の4象限マトリックスのイメージ



イ. 分析結果

満足度が低く、重要性が高いことから今後重点的に実施すべきものであると考えられるのは、「①福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進」、「③介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実」、「④障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実」、「⑬中小企業の育成などものづくり力の強化」、「⑭商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興」、「⑮就職活動への支援など雇用・就業対策の充実」、「⑳耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進」、「㉔公共交通網の充実など交通網の構築」などで、産業、福祉、防災などの分野がみられる。

図表Ⅲ－59 満足度と重要性の4象限マトリックス分析の結果

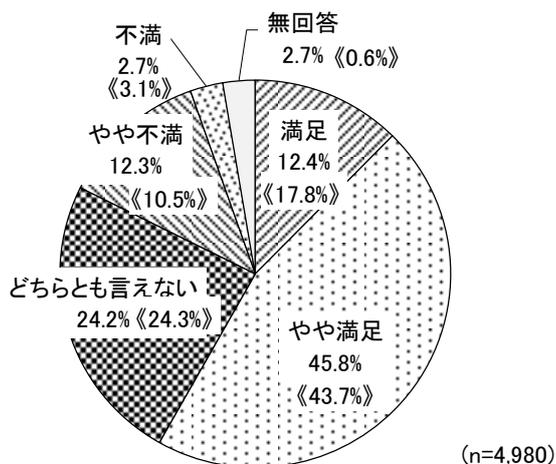


施策の主な内容	象限	施策の主な内容	象限
① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	A	㉔ 環境を守る活動支援など環境の保全	A
② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	A	㉕ ごみの減量化など循環型社会の形成	B
③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	A	㉖ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	B
④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	A	㉗ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	A
⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	A	㉘ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	A
⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	B	㉙ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	B
⑦ 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	A	㉚ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	B
⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	C	㉛ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	D
⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	D	㉜ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	B
⑩ 地域で見守る健全育成活動の推進など青少年の健全育成	D	㉝ 都市景観の創出など都市空間の形成	D
⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など生涯スポーツの充実	D	㉞ 公共交通網の充実など交通網の構築	A
⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	C	㉟ 河川・公園・上下水道の整備など都市基盤の整備	B
⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	A	㊱ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	D
⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	A	㊲ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	C
⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	A	㊳ 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	C
⑯ 地産地消の推進など農林水産業の振興	A	㊴ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	C
⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	B	㊵ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	C
⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	B	㊶ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	C
⑲ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	D	㊷ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	C
⑳ 科学館等の充実など文化の交流・発信	D	㊸ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	C
㉑ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	B	㊹ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	C
㉒ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	C	㊺ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	C
㉓ 外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進	C		

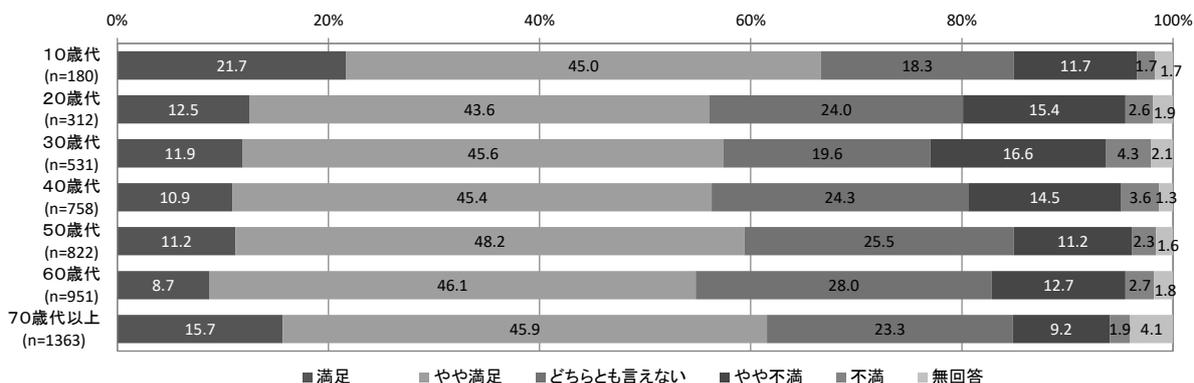
(2) 総合的にみて今の姫路市における生活に満足していますか（問 10）

- 全体傾向
 - ・「やや満足」を含めると、58.2%が生活に満足していると回答している。
 - ・一方、「やや不満」を含めて、生活に不満があるという回答割合は15.0%となっている。
- 属性別傾向
 - ・年齢別にみた場合、10歳代で「満足」、「やや満足」の回答割合が66.7%ともっとも高く、次いで、70歳代以上の61.6%となっており、60歳代で54.8%ともっとも低くなっている。
 - ・居住地別にみた場合、中部第一ブロックで「満足」、「やや満足」の回答割合が65.5%ともっとも高く、次いで中部第二ブロックで63.0%、広畑ブロックで61.2%となっている。一方、家島ブロックでは35.5%ともっとも低くなっている。
- 市民満足度調査（平成23年度）との比較
 - ・市民満足度調査（平成23年度）の結果と比較すると、「満足」の回答割合は減少し、「やや満足」の回答割合は増加している。「やや不満」の回答割合は増加しているが、「不満」の回答割合は減少している。

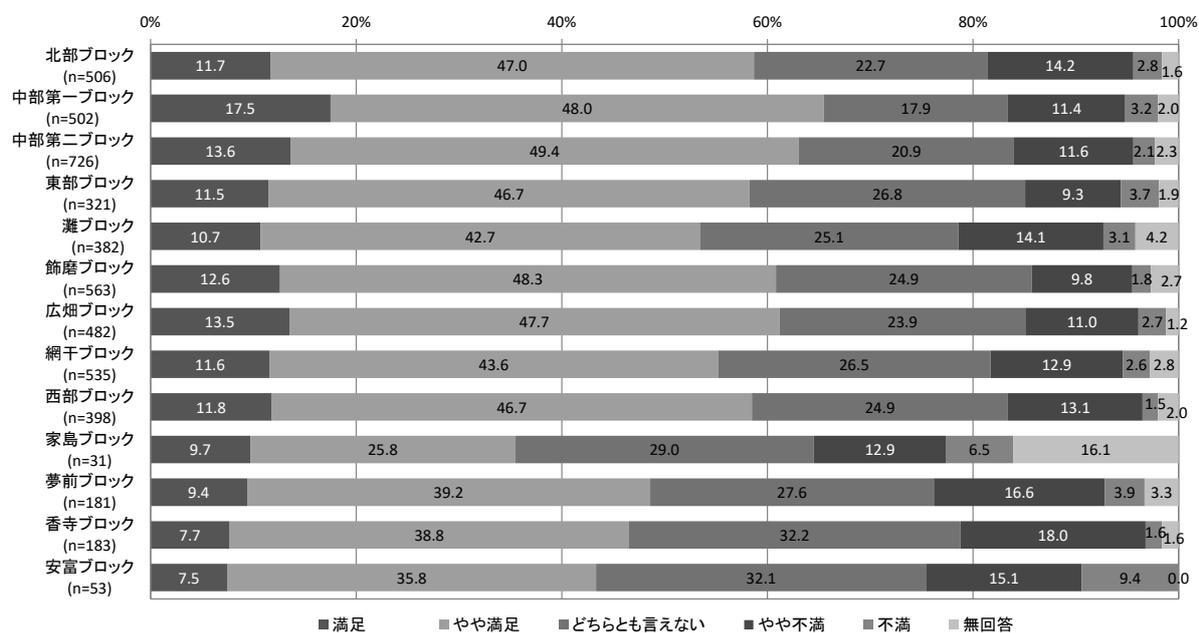
図表Ⅲ－60 姫路市における生活に満足しているか



図表Ⅲ－61 年齢別にみた「姫路市における生活に満足しているか」



図表Ⅲ－62 居住地別にみた「姫路市における生活に満足しているか」



5. 地域における「他者とのつながり」や「地域活動」について

(1) あなたにとって、他者との「つながり」を感じる場はどれですか（問 11）

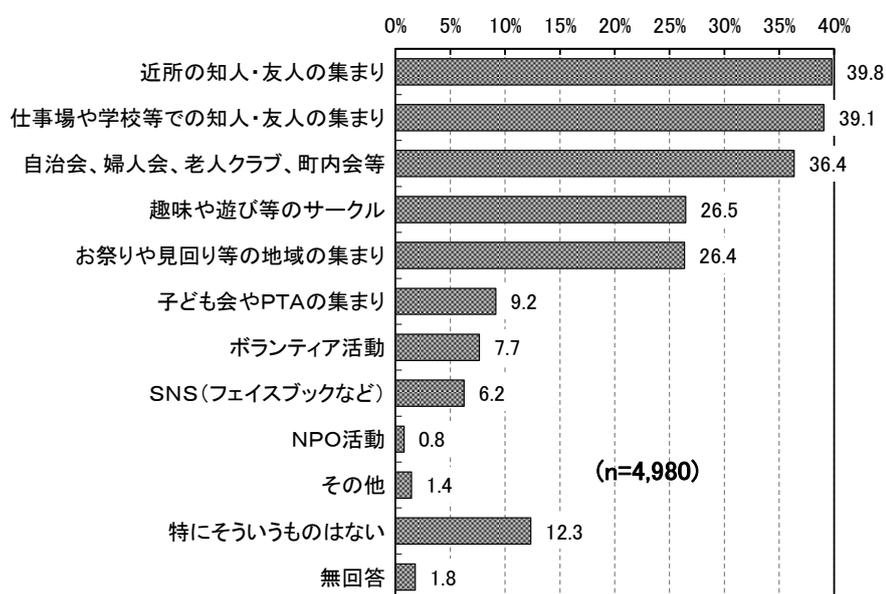
■ 全体傾向

- ・「近所の知人・友人の集まり」の回答割合が 39.8%でもっとも高く、次いで「仕事場や学校等での知人・友人の集まり」が 39.1%、「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」が 36.4%となっている。

■ 属性別傾向

- ・年齢別にみた場合、10歳代から50歳代では「仕事場や学校等での知人・友人の集まり」の回答割合が半数を超えもっとも高く、60歳代、70歳代以上では「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」（60歳代 45.3%・70歳代以上 52.7%）の回答割合がもっとも高くなっている。また、10歳代から30歳代では、全体より「SNS（フェイスブックなど）」（10歳代 20.6%・20歳代 20.8%・30歳代 15.3%）の回答割合が高くなっている。
- ・居住地別にみた場合、灘ブロックでは「お祭りや見回り等の地域の集まり」の回答割合が 34.8%と全体より高くなっている。また、安富、香寺ブロックでは「近所の知人・友人の集まり」（安富 58.5%・香寺 45.4%）、「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」（安富 41.5%・香寺 49.2%）の回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅲ－63 他者との「つながり」を感じる場（複数回答）



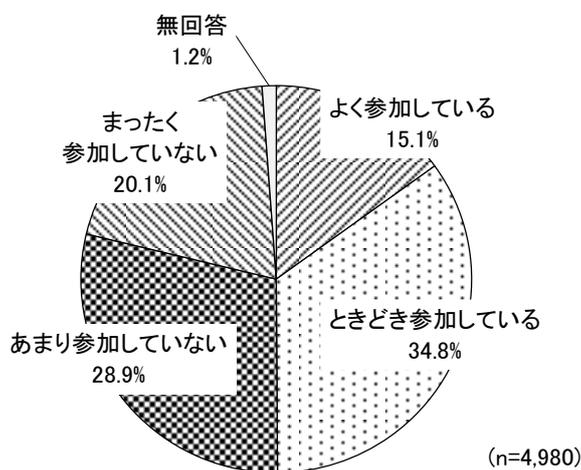
図表Ⅲ－64 属性別にみた『他者との「つながり」を感じる場』（複数回答）

		調査数	近所の知人・友人の集まり	仕事場や学校等での知人・友人の集まり	自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等	趣味や遊び等のサークル	お祭りや見回り等の地域の集まり	子ども会やPTAの集まり	ボランティア活動	SNS（フェイスブックなど）	NPO活動	その他	特にそういうものはない	無回答
全体		4980 100.0	1982 39.8	1947 39.1	1811 36.4	1319 26.5	1313 26.4	456 9.2	381 7.7	311 6.2	39 0.8	72 1.4	615 12.3	89 1.8
年齢	10歳代	180 100.0	58 32.2	115 63.9	21 11.7	27 15.0	71 39.4	21 11.7	16 8.9	37 20.6	1 0.6	2 1.1	13 7.2	1 0.6
	20歳代	312 100.0	112 35.9	190 60.9	39 12.5	89 28.5	102 32.7	21 6.7	25 8.0	65 20.8	2 0.6	2 0.6	36 11.5	2 0.6
	30歳代	531 100.0	233 43.9	320 60.3	93 17.5	102 19.2	136 25.6	99 18.6	14 2.6	81 15.3	2 0.4	8 1.5	64 12.1	4 0.8
	40歳代	758 100.0	261 34.4	433 57.1	197 26.0	142 18.7	220 29.0	191 25.2	33 4.4	49 6.5	2 0.3	9 1.2	91 12.0	5 0.7
	50歳代	822 100.0	317 38.6	424 51.6	287 34.9	209 25.4	204 24.8	69 8.4	49 6.0	45 5.5	11 1.3	10 1.2	88 10.7	3 0.4
	60歳代	951 100.0	379 39.9	292 30.7	431 45.3	284 29.9	263 27.7	31 3.3	106 11.1	18 1.9	9 0.9	11 1.2	131 13.8	12 1.3
	70歳代以上	1363 100.0	603 44.2	161 11.8	718 52.7	449 32.9	305 22.4	22 1.6	133 9.8	12 0.9	12 0.9	29 2.1	185 13.6	50 3.7
	居住地	北部	506 100.0	207 40.9	211 41.7	206 40.7	141 27.9	126 24.9	34 6.7	44 8.7	34 6.7	6 1.2	8 1.6	58 11.5
中部第一		502 100.0	179 35.7	198 39.4	165 32.9	142 28.3	93 18.5	43 8.6	42 8.4	39 7.8	6 1.2	8 1.6	57 11.4	10 2.0
中部第二		726 100.0	276 38.0	300 41.3	228 31.4	192 26.4	164 22.6	68 9.4	55 7.6	44 6.1	4 0.6	8 1.1	98 13.5	12 1.7
東部		321 100.0	125 38.9	116 36.1	119 37.1	87 27.1	79 24.6	36 11.2	30 9.3	16 5.0	1 0.3	2 0.6	46 14.3	5 1.6
灘		382 100.0	145 38.0	150 39.3	117 30.6	92 24.1	133 34.8	26 6.8	34 8.9	20 5.2	0 0.0	9 2.4	50 13.1	6 1.6
飾磨		563 100.0	213 37.8	219 38.9	180 32.0	126 22.4	174 30.9	58 10.3	37 6.6	38 6.7	4 0.7	6 1.1	85 15.1	13 2.3
広畑		482 100.0	202 41.9	193 40.0	162 33.6	123 25.5	137 28.4	48 10.0	23 4.8	31 6.4	3 0.6	6 1.2	54 11.2	6 1.2
網干		535 100.0	222 41.5	227 42.4	219 40.9	153 28.6	165 30.8	58 10.8	45 8.4	33 6.2	4 0.7	8 1.5	60 11.2	6 1.1
西部		398 100.0	176 44.2	145 36.4	174 43.7	120 30.2	99 24.9	32 8.0	23 5.8	21 5.3	5 1.3	7 1.8	40 10.1	9 2.3
家島		31 100.0	15 48.4	12 38.7	12 38.7	4 12.9	7 22.6	2 6.5	2 6.5	3 9.7	0 0.0	0 0.0	3 9.7	3 9.7
夢前		181 100.0	73 40.3	63 34.8	81 44.8	46 25.4	46 25.4	15 8.3	19 10.5	9 5.0	2 1.1	2 1.1	23 12.7	3 1.7
香寺		183 100.0	83 45.4	66 36.1	90 49.2	51 27.9	59 32.2	26 14.2	14 7.7	10 5.5	2 1.1	5 2.7	14 7.7	0 0.0
安富		53 100.0	31 58.5	20 37.7	22 41.5	15 28.3	11 20.8	2 3.8	5 9.4	6 11.3	2 3.8	1 1.9	6 11.3	0 0.0

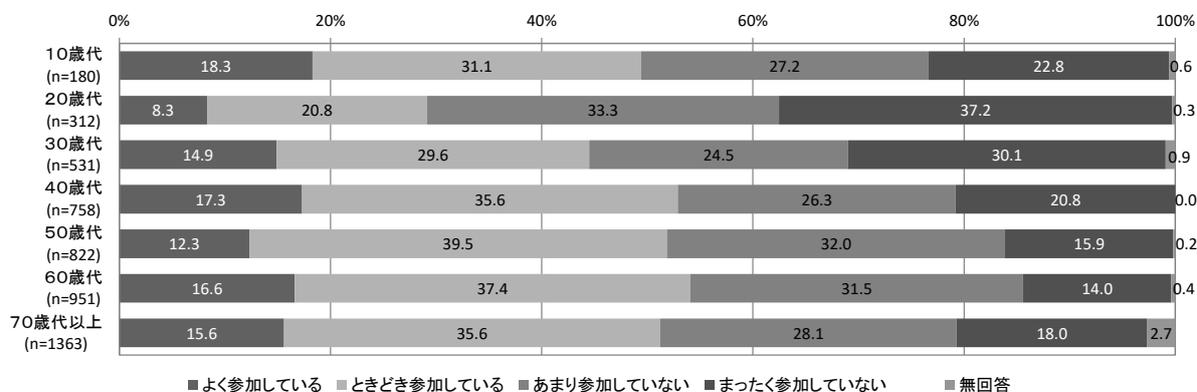
(2) あなたは、地域活動（地域のお祭りや自治会での防犯活動など）に参加していますか（問 12 - 1）

- 全体傾向
 - ・ 「ときどき参加している」を含めると、約半数が参加していると回答している。
 - ・ 一方、「まったく参加していない」は約 20%となっている。
- 属性別傾向
 - ・ 年齢別にみた場合、60 歳代で「よく参加している」、「ときどき参加している」の回答割合が 54.0%ともっとも高く、次いで 40 歳代で 52.9%となっており、20 歳代で 29.1%ともっとも低くなっている。
 - ・ 居住地別にみた場合、香寺ブロックで「よく参加している」、「ときどき参加している」の回答割合が 66.1%ともっとも高く、次いで安富ブロックの 60.3%、夢前ブロックの 56.4%となっており、中部第二ブロックで 44.2%ともっとも低くなっている。

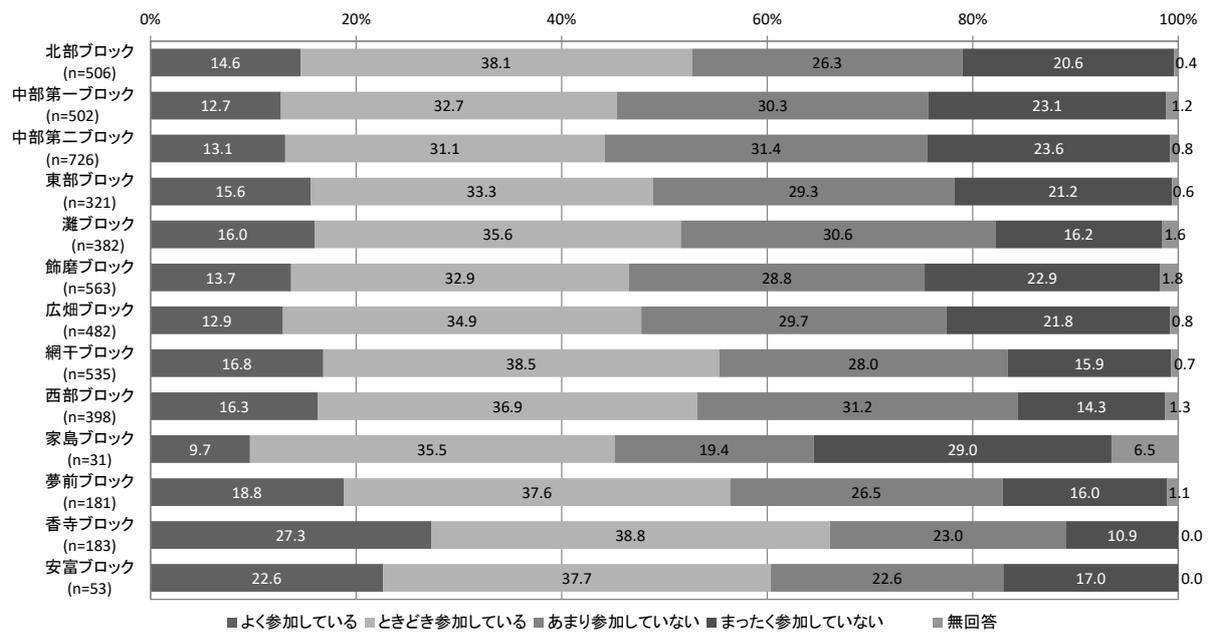
図表Ⅲ－ 65 地域活動に参加しているか



図表Ⅲ－ 66 年齢別にみた「地域活動に参加しているか」



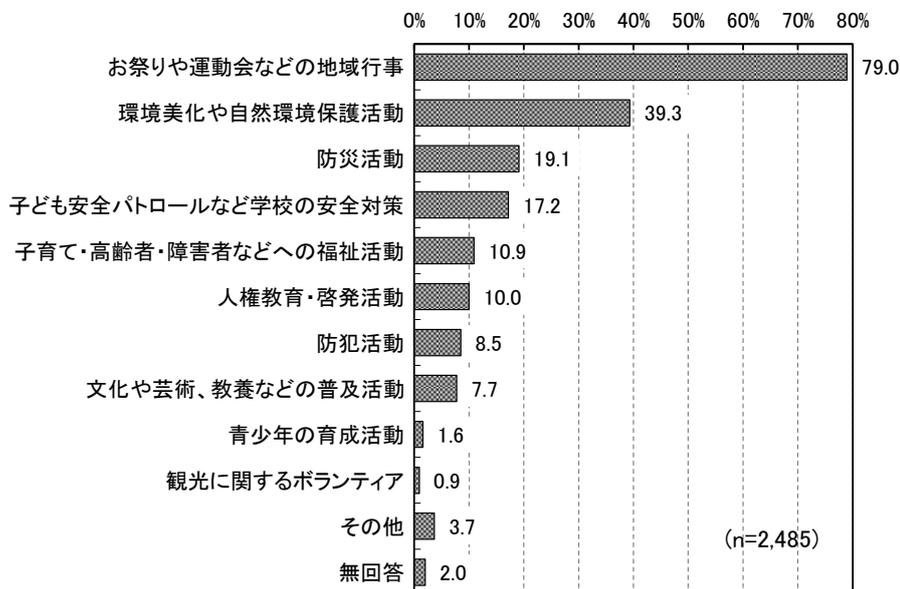
図表Ⅲ－67 居住地別にみた「地域活動に参加しているか」



(3) 問 12-1 で「1 よく参加している」、「2 ときどき参加している」と回答した方へ、参加している地域活動はなんですか（問 12 - 2）

- 全体傾向
 - ・ 「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合が 79.0%でもっとも高く、次いで「環境美化や自然環境保護活動」が 39.3%、「防災活動」が 19.1%となっている。
- 属性別傾向
 - ・ 年齢別にみた場合、すべての年齢において、「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合がもっとも高くなっている。60 歳代、70 歳代以上では「環境美化や自然環境保護活動」（60 歳代 46.1%・70 歳代以上 44.3%）の回答割合が全体より高く、60 歳代では「防災活動」（27.2%）、70 歳代以上では「文化や芸術、教養などの普及活動」（14.2%）の回答割合も全体より高くなっている。30 歳代、40 歳代で「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」（30 歳代 32.2%・40 歳代 32.9%）の回答割合が全体より高くなっている。
 - ・ 居住地別にみた場合、すべての居住地において、「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合がもっとも高くなっている。また東部、香寺ブロックでは「環境美化や自然環境保護活動」（東部 51.0%・香寺 57.9%）の回答割合も高く、夢前、安富、香寺、中部第一ブロックでは「防災活動」（夢前 31.4%・安富 31.3%・香寺 27.3%・中部第一 24.1%）の回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅲ－68 参加している地域活動（複数回答）



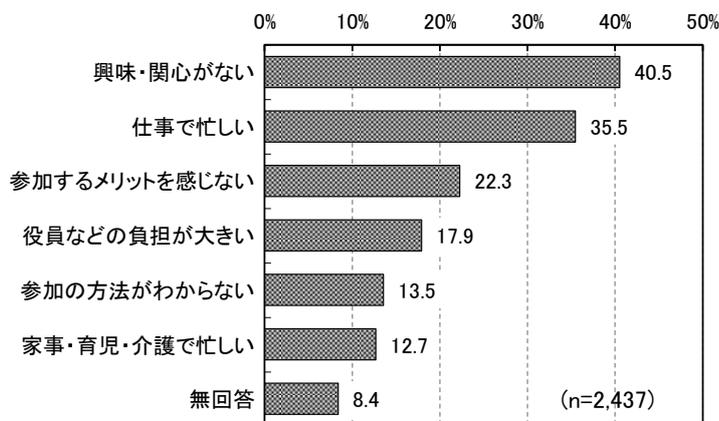
図表Ⅲ－69 属性別にみた「参加している地域活動」(複数回答)

	調査数	お祭りや運動会などの地域行事	環境美化や自然環境保護活動	防災活動	子ども安全パトロールなど学校の安全対策	子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動	人権教育・啓発活動	防犯活動	文化や芸術、教養などの普及活動	青少年の育成活動	観光に関するボランティア	その他	無回答	
全体	2485 100.0	1962 79.0	977 39.3	475 19.1	427 17.2	271 10.9	248 10.0	210 8.5	192 7.7	39 1.6	22 0.9	91 3.7	49 2.0	
年齢	10歳代	89 100.0	84 94.4	18 20.2	7 7.9	1 1.1	3 3.4	4 4.5	2 2.2	3 3.4	1 1.1	4 4.5	2 2.2	0 0.0
	20歳代	91 100.0	84 92.3	19 20.9	7 7.7	4 4.4	6 6.6	5 5.5	2 2.2	6 6.6	1 1.1	0 0.0	1 1.1	0 0.0
	30歳代	236 100.0	221 93.6	76 32.2	29 12.3	76 32.2	27 11.4	14 5.9	22 9.3	5 2.1	2 0.8	0 0.0	3 1.3	1 0.4
	40歳代	401 100.0	353 88.0	125 31.2	55 13.7	132 32.9	36 9.0	40 10.0	29 7.2	5 1.2	5 1.2	2 0.5	11 2.7	1 0.2
	50歳代	426 100.0	321 75.4	180 42.3	67 15.7	56 13.1	34 8.0	31 7.3	32 7.5	20 4.7	5 1.2	2 0.5	23 5.4	7 1.6
	60歳代	514 100.0	391 76.1	237 46.1	140 27.2	59 11.5	69 13.4	72 14.0	53 10.3	52 10.1	11 2.1	6 1.2	14 2.7	10 1.9
	70歳代以上	697 100.0	486 69.7	309 44.3	165 23.7	95 13.6	94 13.5	80 11.5	67 9.6	99 14.2	13 1.9	8 1.1	35 5.0	28 4.0
	居住地	北部	267 100.0	210 78.7	116 43.4	39 14.6	44 16.5	27 10.1	31 11.6	19 7.1	26 9.7	2 0.7	2 0.7	13 4.9
中部第一		228 100.0	175 76.8	81 35.5	55 24.1	41 18.0	26 11.4	19 8.3	24 10.5	8 3.5	2 0.9	6 2.6	10 4.4	
中部第二		321 100.0	262 81.6	109 34.0	53 16.5	46 14.3	35 10.9	25 7.8	23 7.2	30 9.3	3 0.9	5 1.6	17 5.3	4 1.2
東部		157 100.0	120 76.4	80 51.0	24 15.3	24 15.3	15 9.6	20 12.7	12 7.6	12 7.6	1 0.6	1 0.6	7 4.5	2 1.3
澁		197 100.0	165 83.8	60 30.5	37 18.8	39 19.8	21 10.7	14 7.1	11 5.6	14 7.1	6 3.0	0 0.0	5 2.5	2 1.0
飾磨		262 100.0	221 84.4	89 34.0	40 15.3	40 15.3	40 11.5	19 7.3	20 7.6	23 8.8	1 0.4	5 1.9	7 2.7	3 1.1
広畑		230 100.0	175 76.1	85 37.0	37 16.1	44 19.1	16 7.0	11 4.8	16 7.0	13 5.7	2 0.9	1 0.4	13 5.7	6 2.6
網干		296 100.0	233 78.7	123 41.6	58 19.6	68 23.0	30 10.1	41 13.9	38 12.8	18 6.1	4 1.4	0 0.0	8 2.7	5 1.7
西部		212 100.0	160 75.5	86 40.6	50 23.6	32 15.1	29 13.7	28 13.2	24 11.3	14 6.6	7 3.3	3 1.4	6 2.8	1 0.5
家島		14 100.0	10 71.4	5 35.7	0 0.0	1 7.1	4 28.6	1 7.1	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3
夢前		102 100.0	81 79.4	42 41.2	32 31.4	13 12.7	13 12.7	20 19.6	4 3.9	8 7.8	1 1.0	1 1.0	2 2.0	2 2.0
香寺		121 100.0	98 81.0	70 57.9	33 27.3	26 21.5	17 14.0	13 10.7	11 9.1	7 5.8	3 2.5	1 0.8	1 0.8	2 1.7
安富		32 100.0	21 65.6	13 40.6	10 31.3	3 9.4	5 15.6	4 12.5	3 9.4	3 9.4	0 0.0	1 3.1	3 9.4	0 0.0

(4) 問 12-1 で「3 あまり参加していない」、「4 まったく参加していない」と回答した方へ、地域活動に参加しない理由はなんですか（問 12 - 3）

- 全体傾向
 - ・「興味・関心がない」の回答割合が 40.5%でもっとも高く、次いで「仕事で忙しい」が 35.5%、「参加するメリットを感じない」が 22.3%となっている。
- 属性別傾向
 - ・年齢別にみた場合、20 歳代から 50 歳代においては、「仕事で忙しい」の回答割合が約半数ともっとも高くなっており、次いで「興味・関心がない」（20 歳代 42.7%・30 歳代 45.9%・40 歳代 40.9%・50 歳代 38.8%）となっている。40 歳代、50 歳代では「役員などの負担が大きい」（40 歳代 25.5%・50 歳代 23.1%）の回答割合が全体より高くなっている。また、10 歳代、30 歳代では「興味・関心がない」（10 歳代 48.9%・30 歳代 45.9%）の回答割合が、20 歳代、30 歳代では「参加の方法がわからない」（20 歳代 21.8%・30 歳代 21.0%）の回答割合が全体より高くなっている。
 - ・居住地別にみた場合、安富、夢前、家島ブロックで「興味・関心がない」（安富 52.4%・夢前 49.4%・家島 46.7%）の回答割合が高くなっている。また、網干ブロックでは「役員などの負担が大きい」も 23.4%と全体より回答割合が高くなっている。

図表Ⅲ－70 地域活動に参加しない理由(複数回答)



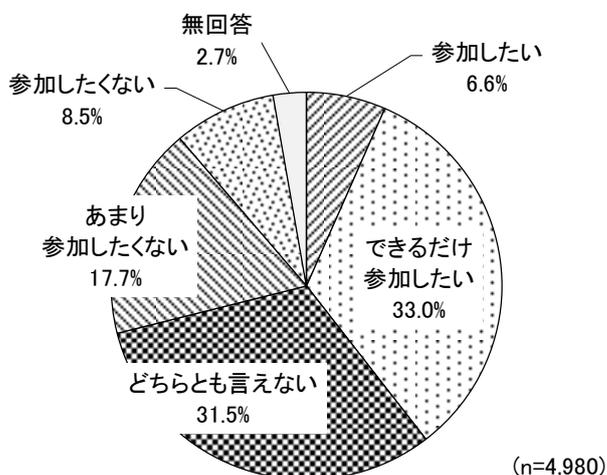
図表Ⅲ－71 属性別にみた「地域活動に参加しない理由」(複数回答)

		調査数	興味・関心がない	仕事で忙しい	参加するメリットを感じない	役員などの負担が大きい	参加の方法がわからない	家事・育児・介護で忙しい	無回答
全体		2437 100.0	988 40.5	865 35.5	543 22.3	436 17.9	330 13.5	309 12.7	204 8.4
年齢	10歳代	90 100.0	44 48.9	28 31.1	26 28.9	5 5.6	11 12.2	1 1.1	5 5.6
	20歳代	220 100.0	94 42.7	118 53.6	54 24.5	17 7.7	48 21.8	23 10.5	7 3.2
	30歳代	290 100.0	133 45.9	141 48.6	82 28.3	51 17.6	61 21.0	77 26.6	2 0.7
	40歳代	357 100.0	146 40.9	180 50.4	92 25.8	91 25.5	50 14.0	54 15.1	9 2.5
	50歳代	394 100.0	153 38.8	211 53.6	87 22.1	91 23.1	28 7.1	47 11.9	14 3.6
	60歳代	433 100.0	176 40.6	130 30.0	93 21.5	96 22.2	46 10.6	58 13.4	21 4.8
	70歳代以上	629 100.0	237 37.7	51 8.1	106 16.9	81 12.9	84 13.4	48 7.6	137 21.8
居住地	北部	237 100.0	98 41.4	89 37.6	64 27.0	40 16.9	33 13.9	26 11.0	17 7.2
	中部第一	268 100.0	95 35.4	93 34.7	54 20.1	42 15.7	49 18.3	32 11.9	28 10.4
	中部第二	399 100.0	170 42.6	156 39.1	90 22.6	78 19.5	63 15.8	50 12.5	23 5.8
	東部	162 100.0	66 40.7	56 34.6	36 22.2	34 21.0	24 14.8	19 11.7	13 8.0
	灘	179 100.0	75 41.9	54 30.2	42 23.5	31 17.3	19 10.6	26 14.5	15 8.4
	飾磨	291 100.0	123 42.3	103 35.4	65 22.3	50 17.2	40 13.7	35 12.0	19 6.5
	広畑	248 100.0	105 42.3	99 39.9	54 21.8	43 17.3	30 12.1	40 16.1	19 7.7
	網干	235 100.0	87 37.0	87 37.0	64 27.2	55 23.4	20 8.5	37 15.7	22 9.4
	西部	181 100.0	72 39.8	63 34.8	36 19.9	27 14.9	18 9.9	22 12.2	16 8.8
	家島	15 100.0	7 46.7	4 26.7	1 6.7	1 6.7	1 6.7	3 20.0	2 13.3
	夢前	77 100.0	38 49.4	24 31.2	12 15.6	17 22.1	12 15.6	6 7.8	7 9.1
	香寺	62 100.0	17 27.4	20 32.3	11 17.7	8 12.9	9 14.5	7 11.3	9 14.5
	安富	21 100.0	11 52.4	3 14.3	6 28.6	2 9.5	3 14.3	1 4.8	3 14.3

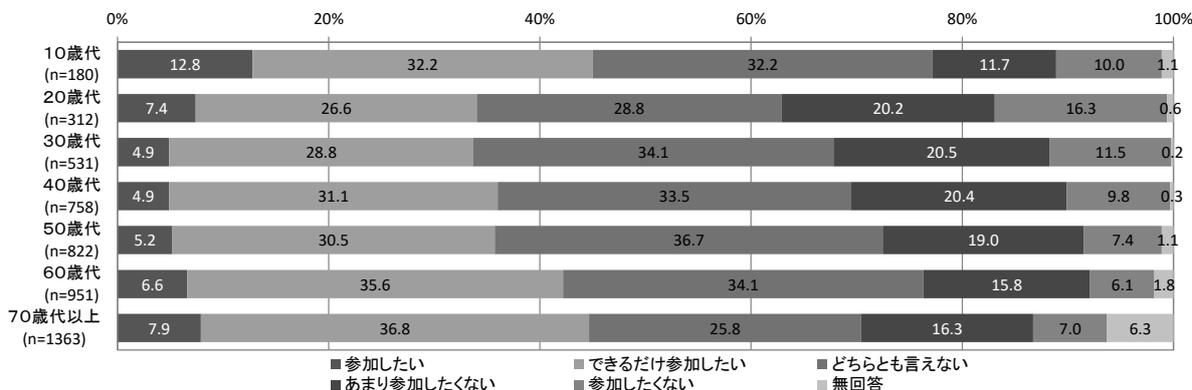
(5) 地域活動に今後、参加したいと思いますか（問 13）

- 全体傾向
 - ・「できるだけ参加したい」を含めると、約 40%が参加したいと回答している。
 - ・一方、「あまり参加したくない」を含めて、参加したくないという回答割合は約 25%になっている。
- 属性別傾向
 - ・年齢別にみた場合、10 歳代で「参加したい」、「できるだけ参加したい」との回答割合が 45.0%ともっとも高く、次いで 70 歳代以上が 44.7%となっている。一方、20 歳代で 34.0%、30 歳代で 33.7%と低くなっている。
 - ・居住地別にみた場合、香寺ブロックで「参加したい」、「できるだけ参加したい」の回答割合が 54.6%ともっとも高く、次いで安富ブロックが 52.8%となっている。

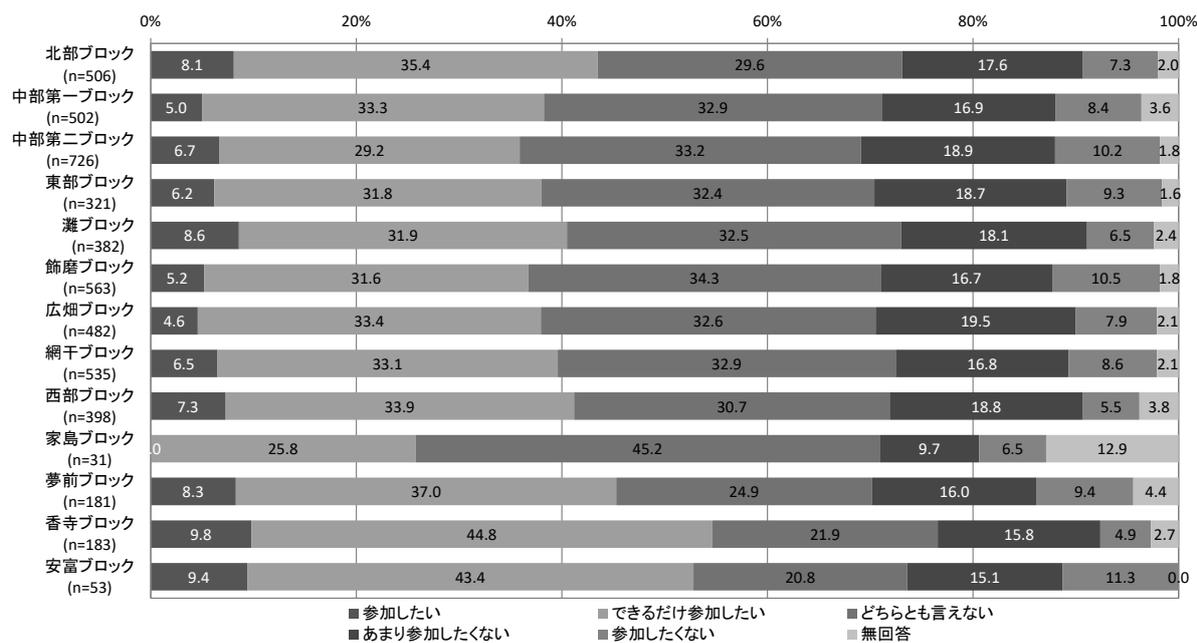
図表Ⅲ－ 72 今後、地域活動に参加したいか



図表Ⅲ－ 73 年齢別にみた「今後、地域活動に参加したいか」



図表Ⅲ－74 居住地別にみた「今後、地域活動に参加したいか」



(6) 重要だと思う地域活動はなんですか（問 14）

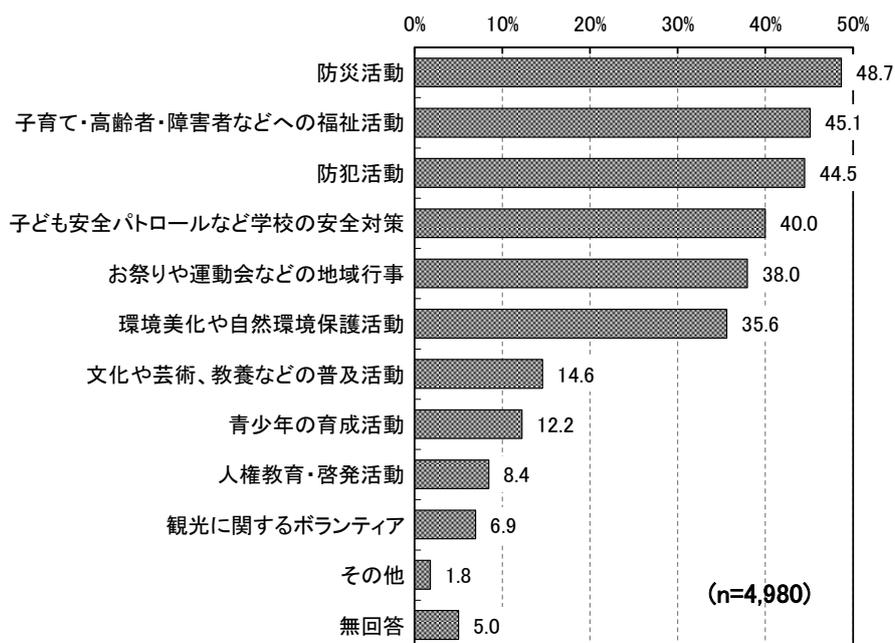
■ 全体傾向

- ・「防災活動」の回答割合が48.7%でもっとも高く、次いで「子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動」が45.1%、「防犯活動」が44.5%となっている。

■ 属性別傾向

- ・年齢別にみた場合、20歳代から40歳代では「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」の回答割合が半数を超えている。10歳代から30歳代では「お祭りや運動会などの地域行事」（10歳代56.7%・20歳代44.2%・30歳代43.9%）の回答割合が全体より高くなっている。
- ・居住地別にみた場合、香寺ブロックでは「防災活動」の回答割合が54.6%で全体よりも高く、灘ブロックでは「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合が46.1%ともっとも高くなっている。また、家島、安富ブロックでは「子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動」（家島54.8%・安富54.7%）の回答割合が高くなっている。

図表Ⅲ－75 重要な地域活動（複数回答）



図表Ⅲ－76 属性別にみた「重要な地域活動」(複数回答)

	調査数	防災活動	子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動	防犯活動	子ども安全パトロールなど学校の安全対策	お祭りや運動会などの地域行事	環境美化や自然環境保護活動	文化や芸術、教養などの普及活動	青少年の育成活動	人権教育・啓発活動	観光に関するボランティア	その他	無回答
全体	4980 100.0	2425 48.7	2247 45.1	2216 44.5	1993 40.0	1891 38.0	1774 35.6	726 14.6	609 12.2	420 8.4	345 6.9	89 1.8	249 5.0
年齢	10歳代	180 100.0	78 43.3	69 38.3	67 37.2	75 41.7	102 56.7	60 33.3	21 11.7	21 14.4	22 12.2	2 1.1	5 2.8
	20歳代	312 100.0	139 44.6	156 50.0	139 44.6	172 55.1	138 44.2	96 30.8	49 15.7	33 10.6	32 10.3	36 11.5	5 1.6
	30歳代	531 100.0	235 44.3	247 46.5	254 47.8	318 59.9	233 43.9	171 32.2	57 10.7	74 13.9	46 8.7	50 9.4	14 2.6
	40歳代	758 100.0	397 52.4	334 44.1	411 54.2	385 50.8	306 40.4	250 33.0	95 12.5	101 13.3	66 8.7	64 8.4	11 1.5
	50歳代	822 100.0	449 54.6	359 43.7	404 49.1	316 38.4	288 35.0	300 36.5	115 14.0	101 12.3	55 6.7	58 7.1	14 1.7
	60歳代	951 100.0	507 53.3	463 48.7	424 44.6	331 34.8	328 34.5	361 38.0	165 17.4	123 12.9	83 8.7	46 4.8	13 1.4
	70歳代以上	1363 100.0	598 43.9	603 44.2	495 36.3	382 28.0	474 34.8	517 37.9	219 16.1	151 11.1	107 7.9	65 4.8	30 2.2
	居住地	北部	506 100.0	267 52.8	214 42.3	227 44.9	209 41.3	196 38.7	201 39.7	93 18.4	61 12.1	42 8.3	29 5.7
中部第一		502 100.0	249 49.6	218 43.4	240 47.8	193 38.4	160 31.9	163 32.5	86 17.1	61 12.2	46 9.2	50 10.0	11 2.2
中部第二		726 100.0	350 48.2	320 44.1	353 48.6	325 44.8	247 34.0	270 37.2	115 15.8	86 11.8	61 8.4	50 6.9	12 1.7
東部		321 100.0	158 49.2	146 45.5	144 44.9	137 42.7	113 35.2	127 39.6	39 12.1	37 11.5	28 8.7	16 5.0	2 0.6
漕		382 100.0	164 42.9	172 45.0	160 41.9	157 41.1	176 46.1	113 29.6	49 12.8	40 10.5	29 7.6	18 4.7	6 1.6
飾磨		563 100.0	282 50.1	266 47.2	254 45.1	223 39.6	231 41.0	191 33.9	89 15.8	76 13.5	48 8.5	52 9.2	11 2.0
広畑		482 100.0	232 48.1	226 46.9	219 45.4	207 42.9	187 38.8	172 35.7	71 14.7	61 12.7	41 8.5	29 6.0	10 2.1
網干		535 100.0	251 46.9	261 48.8	236 44.1	217 40.6	218 40.7	193 36.1	58 10.8	66 12.3	47 8.8	37 6.9	4 0.7
西部		398 100.0	203 51.0	192 48.2	170 42.7	139 34.9	144 36.2	153 38.4	58 14.6	48 12.1	37 9.3	28 7.0	12 3.0
家島		31 100.0	12 38.7	17 54.8	12 38.7	8 25.8	15 48.4	11 35.5	2 6.5	4 12.9	2 6.5	3 9.7	1 3.2
夢前		181 100.0	84 46.4	72 39.8	65 35.9	54 29.8	76 42.0	55 30.4	22 12.2	26 14.4	16 8.8	15 8.3	4 2.2
香寺		183 100.0	100 54.6	81 44.3	69 37.7	68 37.2	78 42.6	72 39.3	29 15.8	27 14.8	12 6.6	6 3.3	1 0.5
安富		53 100.0	26 49.1	29 54.7	20 37.7	20 37.7	20 37.7	18 34.0	6 11.3	7 13.2	2 3.8	1 1.9	2 3.8

6. 人口減少の緩和と姫路市の活力を維持していくために必要な取組等について

(1) 姫路市が若者にとって魅力的なまちになるために、重要だと思うことはなんですか（問 15 - 1、問 15 - 2）

■ 全体傾向

- ・ 重要なこととしては、「充実した医療・福祉」の回答割合が 61.6%と最も高く、次いで「充実した教育・子育て環境」が 56.2%、「便利な公共交通」が 55.1%となっている。
- ・ もっとも重要なこととしては、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が 17.4%と最も高く、「充実した医療・福祉」が 15.4%、「起業家支援、魅力ある雇用」が 12.2%となっている。

■ 属性別傾向

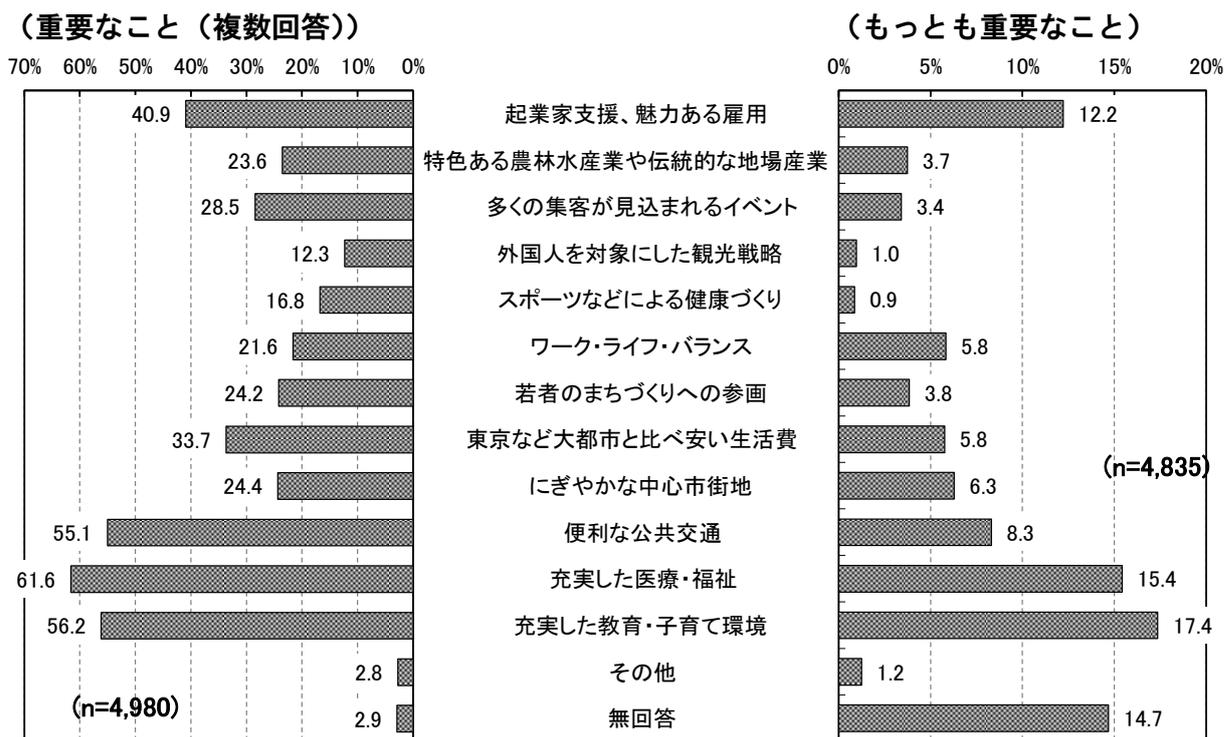
【重要なこと】

- ・ 年齢別にみた場合、10 歳代、20 歳代では「多くの集客が見込まれるイベント」（10 歳代 42.2%・20 歳代 43.3%）、「外国人を対象にした観光戦略」（10 歳代 17.8%・20 歳代 17.3%）、「東京など大都市と比べ安い生活費」（10 歳代 44.4%・20 歳代 43.6%）、「にぎやかな中心市街地」（10 歳代 50.0%・20 歳代 38.8%）の回答割合が全体より高くなっている。また、20 歳代から 50 歳代では「ワーク・ライフ・バランス」（20 歳代 29.2%・30 歳代 29.4%・40 歳代 28.5%・50 歳代 28.6%）の回答割合が全体より高く、20 歳代から 40 歳代および 60 歳代では「充実した教育・子育て環境」の回答割合が 60%を超え全体より高くなっている。
- ・ 居住地別にみた場合、中部第一ブロックでは「にぎやかな中心市街地」（36.1%）、「多くの集客が見込まれるイベント」（34.1%）、「外国人を対象にした観光戦略」（17.5%）の回答割合が全体より高くなっている。夢前、香寺ブロックでは「便利な公共交通」（夢前 63.0%・香寺 63.4%）の回答割合が全体より高くなっている。

【もっとも重要なこと】

- ・ 年齢別にみた場合、10 歳代、20 歳代では、全体より「にぎやかな中心市街地」（10 歳代 21.2%・20 歳代 13.8%）の回答割合が高く、「充実した医療・福祉」（10 歳代 6.7%・20 歳代 5.1%）が低くなっている。また、30 歳代では、全体より「充実した教育・子育て環境」の回答割合が 31.1%と高く、「充実した医療・福祉」は 10.4%と低くなっている。
- ・ 居住地別にみた場合、家島、香寺ブロックでは「便利な公共交通」（家島 17.2%・香寺 14.0%）の回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅲ－77 若者にとって魅力的なまちになるために重要なこと



※「もっとも重要なこと」の集計においては、問15-1での「無回答」を除いた回答数で集計している（以下、問16、17も同様）。

図表Ⅲ－78 属性別にみた「若者にとって魅力的なまちになるために重要なこと」(複数回答)

	調査数	起業家支援、魅力ある雇用	特色ある農林水産業や伝統的な地場産業	多くの集客が見込まれるイベント	外国人を対象にした観光戦略	スポーツなどによる健康づくり	ワーク・ライフ・バランス	若者のまちづくりへの参画	東京など大都市と比べ安い生活費	にぎやかな中心市街地	便利な公共交通	充実した医療・福祉	充実した教育・子育て環境	その他	無回答	
全体	4980 100.0	2038 40.9	1174 23.6	1417 28.5	614 12.3	836 16.8	1078 21.6	1207 24.2	1678 33.7	1215 24.4	2742 55.1	3070 61.6	2797 56.2	138 2.8	145 2.9	
年齢	10歳代	180 100.0	58 32.2	22 12.2	76 42.2	32 17.8	34 18.9	41 22.8	80 44.4	90 50.0	101 56.1	79 43.9	75 41.7	6 3.3	1 0.6	
	20歳代	312 100.0	124 39.7	54 17.3	135 43.3	54 17.3	42 13.5	91 29.2	77 24.7	136 43.6	121 38.8	203 65.1	158 50.6	191 61.2	9 2.9	0 0.0
	30歳代	531 100.0	203 38.2	96 18.1	177 33.3	77 14.5	68 12.8	156 29.4	116 21.8	188 35.4	157 29.6	302 56.9	323 60.8	394 74.2	18 3.4	4 0.8
	40歳代	758 100.0	317 41.8	169 22.3	245 32.3	106 14.0	106 14.0	216 28.5	143 18.9	283 37.3	216 28.5	456 60.2	463 61.1	469 61.9	33 4.4	3 0.4
	50歳代	822 100.0	365 44.4	187 22.7	238 29.0	103 12.5	124 15.1	235 28.6	180 21.9	280 34.1	209 25.4	466 56.7	518 63.0	466 56.7	22 2.7	11 1.3
	60歳代	951 100.0	411 43.2	250 26.3	230 24.2	92 9.7	155 16.3	187 19.7	256 26.9	290 30.5	192 20.2	524 55.1	633 66.6	582 61.2	15 1.6	20 2.1
	70歳代以上	1363 100.0	544 39.9	384 28.2	307 22.5	146 10.7	294 21.6	150 11.0	388 28.5	404 29.6	221 16.2	664 48.7	869 63.8	598 43.9	34 2.5	88 6.5
居住地	北部	506 100.0	235 46.4	121 23.9	147 29.1	69 13.6	83 16.4	129 25.5	134 26.5	164 32.4	117 23.1	275 54.3	320 63.2	301 59.5	15 3.0	8 1.6
	中部第一	502 100.0	222 44.2	118 23.5	171 34.1	88 17.5	75 14.9	108 21.5	132 26.3	177 35.3	181 36.1	265 52.8	285 56.8	287 57.2	19 3.8	12 2.4
	中部第二	726 100.0	288 39.7	157 21.6	224 30.9	106 14.6	129 17.8	153 21.1	177 24.4	259 35.7	206 28.4	383 52.8	445 61.3	413 56.9	22 3.0	13 1.8
	東部	321 100.0	115 35.8	76 23.7	70 21.8	37 11.5	48 15.0	62 19.3	84 26.2	92 28.7	63 19.6	192 59.8	193 60.1	187 58.3	8 2.5	11 3.4
	澁	382 100.0	144 37.7	81 21.2	124 32.5	28 7.3	70 18.3	76 19.9	79 20.7	150 39.3	89 23.3	216 56.5	232 60.7	207 54.2	9 2.4	16 4.2
	飾磨	563 100.0	224 39.8	138 24.5	169 30.0	67 11.9	80 14.2	125 22.2	124 22.0	199 35.3	143 25.4	297 52.8	357 63.4	334 59.3	12 2.1	16 2.8
	広畑	482 100.0	202 41.9	101 21.0	129 26.8	54 11.2	88 18.3	104 21.6	129 26.8	176 36.5	112 23.2	259 53.7	291 60.4	271 56.2	12 2.5	11 2.3
	網干	535 100.0	211 39.4	125 23.4	139 26.0	54 10.1	96 17.9	122 22.8	102 19.1	173 32.3	111 20.7	296 55.3	352 65.8	318 59.4	19 3.6	13 2.4
	西部	398 100.0	180 45.2	110 27.6	115 28.9	50 12.6	57 14.3	85 21.4	114 28.6	125 31.4	99 24.9	238 59.8	253 63.6	205 51.5	7 1.8	7 1.8
	家島	31 100.0	7 22.6	9 29.0	10 32.3	3 9.7	3 9.7	2 6.5	9 29.0	8 25.8	2 6.5	16 51.6	12 38.7	14 45.2	0 0.0	2 6.5
	夢前	181 100.0	81 44.8	47 26.0	43 23.8	15 8.3	35 19.3	40 22.1	45 24.9	56 30.9	29 16.0	114 63.0	118 65.2	91 50.3	4 2.2	9 5.0
	香寺	183 100.0	76 41.5	45 24.6	47 25.7	25 13.7	40 21.9	38 20.8	46 25.1	49 26.8	36 19.7	116 63.4	120 65.6	93 50.8	4 2.2	4 2.2
	安富	53 100.0	21 39.6	20 37.7	5 9.4	6 11.3	12 22.6	13 24.5	15 28.3	15 28.3	3 5.7	24 45.3	36 67.9	34 64.2	2 3.8	1 1.9

図表Ⅲ－79 属性別にみた「若者にとって魅力的なまちになるためにもっとも重要なこと」

	調査数	起業家支援、魅力ある雇用	特色ある農林水産業や伝統的な地場産業	多くの集客が見込まれるイベント	外国人を対象にした観光戦略	スポーツなどによる健康づくり	ワーク・ライフ・バランス	若者のまちづくりへの参画	東京など大都市と比べ安い生活費	にぎやかな中心市街地	便利な公共交通	充実した医療・福祉	充実した教育・子育て環境	その他	無回答	
全体	4835 100.0	591 12.2	181 3.7	165 3.4	47 1.0	42 0.9	282 5.8	186 3.8	279 5.8	304 6.3	402 8.3	746 15.4	840 17.4	60 1.2	710 14.7	
年齢	10歳代	179 100.0	14 7.8	6 3.4	13 7.3	2 1.1	5 2.8	9 5.0	5 2.8	16 8.9	38 21.2	16 8.9	12 6.7	24 13.4	4 2.2	15 8.4
	20歳代	312 100.0	34 10.9	7 2.2	21 6.7	6 1.9	4 1.3	18 5.8	12 3.8	29 9.3	43 13.8	30 9.6	16 5.1	65 20.8	5 1.6	22 7.1
	30歳代	527 100.0	50 9.5	14 2.7	18 3.4	7 1.3	2 0.4	42 8.0	13 2.5	34 6.5	39 7.4	34 6.5	55 10.4	164 31.1	5 0.9	50 9.5
	40歳代	755 100.0	88 11.7	24 3.2	36 4.8	11 1.5	1 0.1	68 9.0	18 2.4	55 7.3	41 5.4	65 8.6	109 14.4	151 20.0	18 2.4	70 9.3
	50歳代	811 100.0	111 13.7	24 3.0	27 3.3	7 0.9	5 0.6	64 7.9	29 3.6	51 6.3	53 6.5	70 8.6	128 15.8	131 16.2	9 1.1	102 12.6
	60歳代	931 100.0	129 13.9	45 4.8	22 2.4	2 0.2	5 0.5	48 5.2	43 4.6	40 4.3	45 4.8	58 6.2	175 18.8	162 17.4	6 0.6	151 16.2
	70歳代以上	1275 100.0	158 12.4	59 4.6	27 2.1	11 0.9	17 1.3	32 2.5	65 5.1	52 4.1	43 3.4	124 9.7	246 19.3	139 10.9	12 0.9	290 22.7
居住地	北部	498 100.0	79 15.9	19 3.8	16 3.2	5 1.0	4 0.8	31 6.2	16 3.2	19 3.8	26 5.2	27 5.4	79 15.9	90 18.1	7 1.4	80 16.1
	中部第一	490 100.0	61 12.4	14 2.9	15 3.1	7 1.4	4 0.8	27 5.5	22 4.5	25 5.1	56 11.4	33 6.7	64 13.1	74 15.1	11 2.2	77 15.7
	中部第二	713 100.0	75 10.5	22 3.1	25 3.5	8 1.1	7 1.0	48 6.7	31 4.3	45 6.3	59 8.3	46 6.5	94 13.2	136 19.1	11 1.5	106 14.9
	東部	310 100.0	29 9.4	13 4.2	7 2.3	5 1.6	7 2.3	17 5.5	13 4.2	17 5.5	19 6.1	38 12.3	42 13.5	64 20.6	5 1.6	34 11.0
	灘	366 100.0	35 9.6	16 4.4	17 4.6	2 0.5	5 1.4	15 4.1	15 4.1	34 9.3	23 6.3	32 8.7	57 15.6	55 15.0	2 0.5	58 15.8
	飾磨	547 100.0	71 13.0	24 4.4	20 3.7	5 0.9	4 0.7	23 4.2	19 3.5	32 5.9	34 6.2	40 7.3	97 17.7	106 19.4	3 0.5	69 12.6
	広畑	471 100.0	56 11.9	12 2.5	14 3.0	7 1.5	1 0.2	30 6.4	13 2.8	35 7.4	22 4.7	39 8.3	80 17.0	97 20.6	6 1.3	59 12.5
	網干	522 100.0	67 12.8	20 3.8	21 4.0	1 0.2	3 0.6	31 5.9	15 2.9	26 5.0	24 4.6	45 8.6	89 17.0	100 19.2	9 1.7	71 13.6
	西部	391 100.0	52 13.3	14 3.6	12 3.1	2 0.5	0 0.0	25 6.4	21 5.4	22 5.6	18 4.6	36 9.2	72 18.4	54 13.8	1 0.3	62 15.9
	家島	29 100.0	4 13.8	3 10.3	3 10.3	0 0.0	0 0.0	2 6.9	1 3.4	1 3.4	0 0.0	5 17.2	4 13.8	3 10.3	0 0.0	3 10.3
	夢前	172 100.0	21 12.2	11 6.4	3 1.7	1 0.6	1 0.6	11 6.4	7 4.1	11 6.4	9 5.2	22 12.8	23 13.4	20 11.6	1 0.6	31 18.0
	香寺	179 100.0	20 11.2	6 3.4	7 3.9	3 1.7	2 1.1	10 5.6	8 4.5	3 1.7	8 4.5	25 14.0	30 16.8	22 12.3	2 1.1	33 18.4
	安富	52 100.0	8 15.4	3 5.8	0 0.0	0 0.0	1 1.9	7 13.5	3 5.8	0 0.0	0 0.0	6 11.5	6 11.5	10 19.2	0 0.0	8 15.4

(2) 高齢者が地域でいきいきと活躍するために、重要だと思うことはなんですか
(問 16 - 1、16 - 2)

■ 全体傾向

- ・ 重要なこととしては、「安心して外出しやすいまち」の回答割合が 61.2% ともっとも高く、次いで「生涯現役のための健康づくり」が 48.0%、「暮らしについて気軽に相談できる場所」が 40.7% となっている。
- ・ もっとも重要なこととしては、「安心して外出しやすいまち」の回答割合が 28.5% ともっとも高く、「生涯現役のための健康づくり」が 18.5%、「いつまでも働ける場所」が 17.0% となっている。

■ 属性別傾向

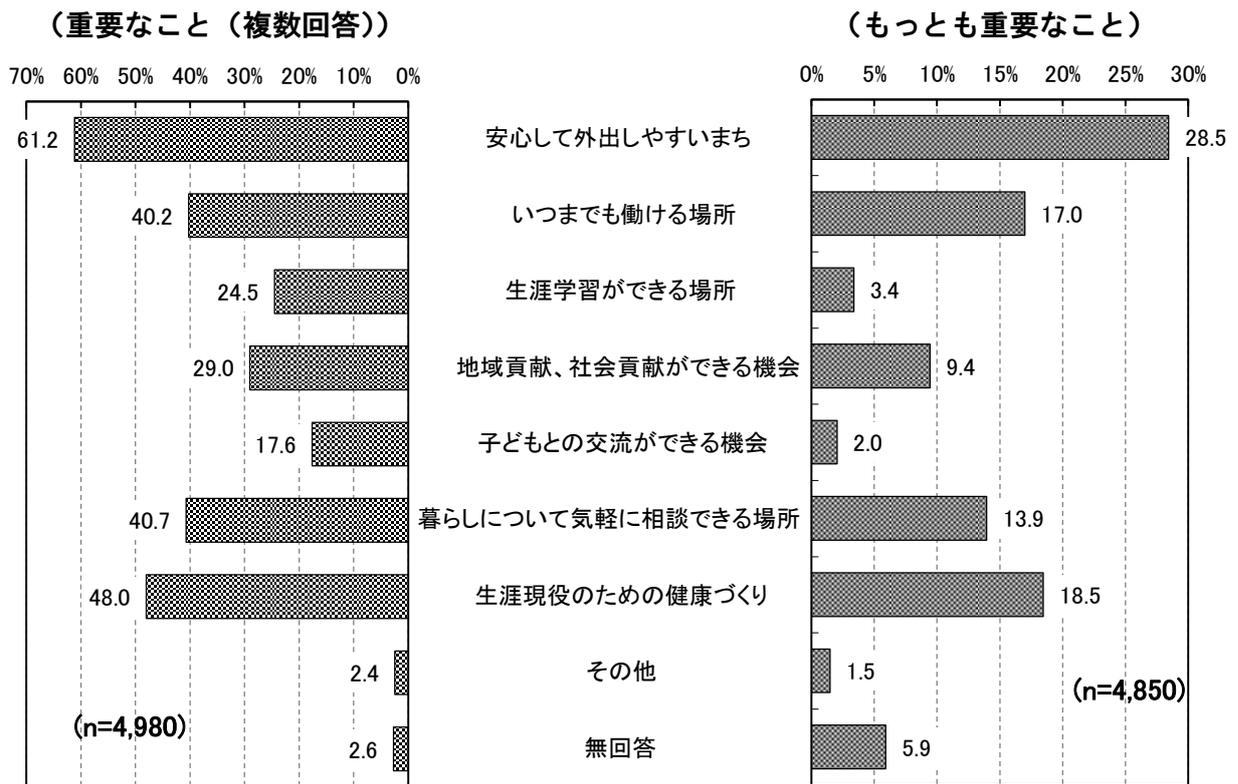
【重要なこと】

- ・ 年齢別にみた場合、全ての年代において、「安心して外出しやすいまち」の回答割合が半数を超えている。また、30 歳代から 50 歳代では「いつまでも働ける場所」(30 歳代 49.5%・40 歳代 57.1%・50 歳代 51.3%) の回答割合が全体より高くなっているが、65 歳以上 (65～69 歳 33.5%・70～74 歳 28.4%・75 歳以上 19.8%) では、全体より低くなっている。さらに、10 歳代から 30 歳代では「子どもとの交流ができる機会」(10 歳代 30.6%・20 歳代 26.3%・30 歳代 28.8%) の回答割合が全体より高くなっているが、65 歳以上 (65～69 歳 11.7%・70～74 歳 8.6%・75 歳以上 12.5%) では、全体より低くなっている。
- ・ 居住地別にみた場合、安富ブロック以外の居住地においては、「安心して外出しやすいまち」の回答割合が約 6 割ともっとも高く、安富ブロックでは「いつまでも働ける場所」(56.6%)、「生涯現役のための健康づくり」(56.6%) がもっとも高くなっている。

【もっとも重要なこと】

- ・ 年齢別にみた場合、40 歳代、50 歳代では「いつまでも働ける場所」(40 歳代 25.5%・50 歳代 22.0%) の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 居住地別にみた場合、家島、東部ブロックでは「安心して外出しやすいまち」(家島 39.3%・東部 33.7%) の回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅲ－80 高齢者が地域で活躍するために重要なこと



図表Ⅲ－81 属性別にみた「高齢者が地域で活躍するために重要なこと」(複数回答)

		調査数	安心して外出しやすいまち	いつまでも働ける場所	生涯学習ができる場所	地域貢献、社会貢献ができる機会	子どもとの交流ができる機会	暮らしについて気軽に相談できる場所	生涯現役のための健康づくり	その他	無回答
全体		4980 100.0	3046 61.2	2003 40.2	1219 24.5	1443 29.0	875 17.6	2026 40.7	2390 48.0	118 2.4	130 2.6
年齢	10歳代	180 100.0	115 63.9	81 45.0	45 25.0	53 29.4	55 30.6	73 40.6	79 43.9	3 1.7	2 1.1
	20歳代	312 100.0	176 56.4	128 41.0	66 21.2	94 30.1	82 26.3	136 43.6	145 46.5	6 1.9	3 1.0
	30歳代	531 100.0	313 58.9	263 49.5	127 23.9	174 32.8	153 28.8	212 39.9	261 49.2	19 3.6	5 0.9
	40歳代	758 100.0	429 56.6	433 57.1	186 24.5	254 33.5	161 21.2	340 44.9	336 44.3	18 2.4	5 0.7
	50歳代	822 100.0	490 59.6	422 51.3	208 25.3	292 35.5	151 18.4	335 40.8	422 51.3	27 3.3	9 1.1
	60～64歳	419 100.0	261 62.3	162 38.7	116 27.7	131 31.3	56 13.4	176 42.0	205 48.9	7 1.7	5 1.2
	65～69歳	532 100.0	336 63.2	178 33.5	140 26.3	142 26.7	62 11.7	215 40.4	265 49.8	9 1.7	12 2.3
	70～74歳	524 100.0	342 65.3	149 28.4	128 24.4	140 26.7	45 8.6	199 38.0	262 50.0	12 2.3	21 4.0
	75歳以上	839 100.0	552 65.8	166 19.8	197 23.5	156 18.6	105 12.5	323 38.5	397 47.3	16 1.9	49 5.8
	居住地	北部	506 100.0	316 62.5	189 37.4	144 28.5	157 31.0	72 14.2	193 38.1	248 49.0	12 2.4
中部第一		502 100.0	313 62.4	179 35.7	139 27.7	148 29.5	92 18.3	186 37.1	258 51.4	12 2.4	13 2.6
中部第二		726 100.0	445 61.3	314 43.3	184 25.3	222 30.6	129 17.8	308 42.4	364 50.1	15 2.1	16 2.2
東部		321 100.0	197 61.4	115 35.8	72 22.4	88 27.4	67 20.9	144 44.9	149 46.4	9 2.8	6 1.9
灘		382 100.0	235 61.5	152 39.8	74 19.4	102 26.7	63 16.5	155 40.6	190 49.7	11 2.9	11 2.9
飾磨		563 100.0	334 59.3	246 43.7	137 24.3	177 31.4	115 20.4	229 40.7	272 48.3	8 1.4	14 2.5
広畑		482 100.0	297 61.6	215 44.6	122 25.3	132 27.4	85 17.6	203 42.1	227 47.1	7 1.5	7 1.5
網干		535 100.0	323 60.4	214 40.0	125 23.4	166 31.0	95 17.8	224 41.9	250 46.7	17 3.2	11 2.1
西部		398 100.0	257 64.6	152 38.2	109 27.4	124 31.2	65 16.3	160 40.2	179 45.0	8 2.0	8 2.0
家島		31 100.0	20 64.5	11 35.5	5 16.1	2 6.5	8 25.8	17 54.8	8 25.8	1 3.2	3 9.7
夢前		181 100.0	107 59.1	80 44.2	35 19.3	44 24.3	33 18.2	78 43.1	92 50.8	3 1.7	6 3.3
香寺		183 100.0	116 63.4	66 36.1	48 26.2	51 27.9	29 15.8	60 32.8	89 48.6	7 3.8	3 1.6
安富		53 100.0	29 54.7	30 56.6	14 26.4	13 24.5	11 20.8	24 45.3	30 56.6	2 3.8	0 0.0

図表Ⅲ－82 属性別にみた「高齢者が地域で活躍するためにもっとも重要なこと」

		調査数	安心して外出しやすいまち	いつまでも働ける場所	生涯学習ができる場所	地域貢献、社会貢献ができる機会	子どもとの交流ができる機会	暮らしについて気軽に相談できる場所	生涯現役のための健康づくり	その他	無回答
全体		4850 100.0	1380 28.5	824 17.0	163 3.4	457 9.4	98 2.0	676 13.9	895 18.5	71 1.5	286 5.9
年齢	10歳代	178 100.0	63 35.4	26 14.6	8 4.5	9 5.1	11 6.2	22 12.4	34 19.1	1 0.6	4 2.2
	20歳代	309 100.0	91 29.4	55 17.8	7 2.3	37 12.0	12 3.9	39 12.6	56 18.1	5 1.6	7 2.3
	30歳代	526 100.0	150 28.5	107 20.3	19 3.6	53 10.1	20 3.8	66 12.5	79 15.0	10 1.9	22 4.2
	40歳代	753 100.0	175 23.2	192 25.5	25 3.3	96 12.7	16 2.1	109 14.5	100 13.3	11 1.5	29 3.9
	50歳代	813 100.0	217 26.7	179 22.0	20 2.5	89 10.9	16 2.0	101 12.4	139 17.1	18 2.2	34 4.2
	60～64歳	414 100.0	120 29.0	62 15.0	11 2.7	39 9.4	4 1.0	62 15.0	90 21.7	4 1.0	22 5.3
	65～69歳	520 100.0	153 29.4	72 13.8	21 4.0	44 8.5	7 1.3	72 13.8	108 20.8	6 1.2	37 7.1
	70～74歳	503 100.0	150 29.8	61 12.1	17 3.4	44 8.7	2 0.4	70 13.9	115 22.9	7 1.4	37 7.4
	75歳以上	790 100.0	248 31.4	61 7.7	35 4.4	45 5.7	10 1.3	128 16.2	164 20.8	9 1.1	90 11.4
	居住地	北部	497 100.0	130 26.2	80 16.1	18 3.6	52 10.5	12 2.4	70 14.1	94 18.9	8 1.6
中部第一		489 100.0	162 33.1	72 14.7	21 4.3	46 9.4	5 1.0	58 11.9	95 19.4	7 1.4	23 4.7
中部第二		710 100.0	194 27.3	148 20.8	18 2.5	65 9.2	19 2.7	101 14.2	118 16.6	9 1.3	38 5.4
東部		315 100.0	106 33.7	41 13.0	10 3.2	27 8.6	7 2.2	44 14.0	58 18.4	8 2.5	14 4.4
灘		371 100.0	111 29.9	67 18.1	8 2.2	28 7.5	3 0.8	49 13.2	78 21.0	6 1.6	21 5.7
飾磨		549 100.0	146 26.6	100 18.2	21 3.8	59 10.7	17 3.1	70 12.8	101 18.4	5 0.9	30 5.5
広畑		475 100.0	136 28.6	79 16.6	14 2.9	42 8.8	11 2.3	71 14.9	82 17.3	5 1.1	35 7.4
網干		524 100.0	145 27.7	82 15.6	19 3.6	52 9.9	9 1.7	79 15.1	99 18.9	8 1.5	31 5.9
西部		390 100.0	112 28.7	66 16.9	19 4.9	44 11.3	3 0.8	53 13.6	66 16.9	5 1.3	22 5.6
家島		28 100.0	11 39.3	2 7.1	1 3.6	0 0.0	3 10.7	5 17.9	2 7.1	1 3.6	3 10.7
夢前		175 100.0	47 26.9	31 17.7	5 2.9	15 8.6	5 2.9	28 16.0	31 17.7	2 1.1	11 6.3
香寺		180 100.0	44 24.4	32 17.8	6 3.3	18 10.0	2 1.1	22 12.2	40 22.2	2 1.1	14 7.8
安富		53 100.0	14 26.4	8 15.1	3 5.7	4 7.5	0 0.0	6 11.3	13 24.5	1 1.9	4 7.5

(3) 安心して子育てしやすい環境にするために、重要だと思うことはなんですか
(問 17 - 1、17 - 2)

■ 全体傾向

- ・ 重要なこととしては、「学校環境・保育等の充実」の回答割合が 64.4%ともっとも高く、次いで「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」が 63.4%、「防犯など子どもの安全安心」が 57.8%となっている。
- ・ もっとも重要なこととしては、「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」の回答割合が 33.2%ともっとも高く、「学校環境・保育等の充実」が 23.0%、「防犯など子どもの安全安心」が 17.8%となっている。

■ 属性別傾向

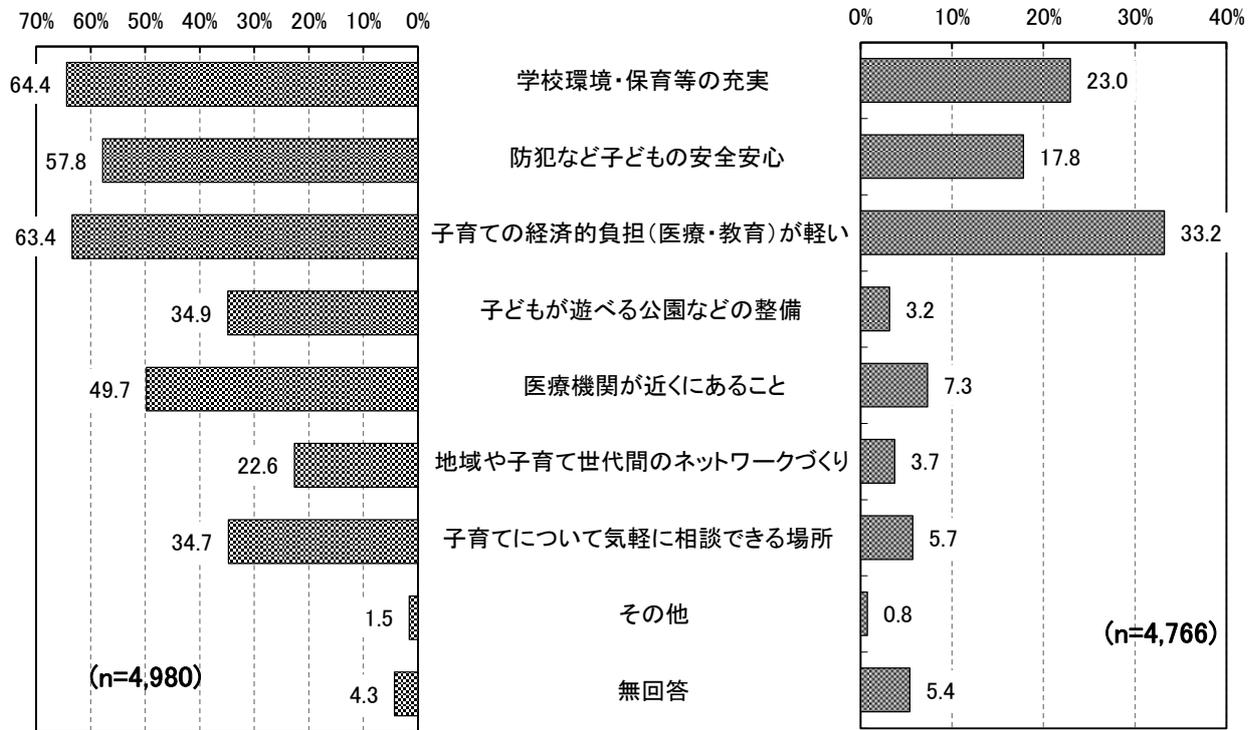
【重要なこと】

- ・ 年齢別にみた場合、20 歳代から 40 歳代では「防犯など子どもの安全安心」（20 歳代 67.6%・30 歳代 70.2%・40 歳代 64.2%）、「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」（20 歳代 74.7%・30 歳代 80.2%・40 歳代 72.7%）の回答割合が全体より高くなっている。また、20 歳代および 50 歳代では「地域や子育て世代間のネットワークづくり」（20 歳代 30.1%・50 歳代 27.6%）の回答割合も全体より高くなっている。
- ・ 居住地別にみた場合、東部、家島、夢前、安富ブロックでは「医療機関が近くにあること」（東部 55.1%・家島 58.1%・夢前 58.0%・安富 54.7%）の回答割合が全体より高くなっている。また、夢前、安富ブロックでは「子育てについて気軽に相談できる場所」（夢前 40.3%・安富 43.4%）の回答割合が全体より高くなっているが、家島、香寺ブロック（家島 22.6%・香寺 26.8%）では低くなっている。

【もっとも重要なこと】

- ・ 年齢別にみた場合、30 歳代、40 歳代では「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」（30 歳代 43.5%・40 歳代 38.3%）の回答割合が全体より高く、70 歳代以上では「医療機関が近くにあること」の回答割合が 13.4%と全体より高くなっている。
- ・ 居住地別にみた場合、家島、中部第一ブロックで「学校環境・保育等の充実」（家島 39.3%・中部第一 28.3%）の回答割合が全体より高くなっている。また、網干、安富ブロックでは「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」（網干 39.7%・安富 42.3%）の回答割合が全体より高くなっているが、家島、香寺ブロック（家島 21.4%・香寺 28.2%）では低くなっている。

図表Ⅲ－ 83 安心して子育てしやすい環境にするために重要なこと
 (重要なこと (複数回答)) (もっとも重要なこと)



図表Ⅲ－84 属性別にみた「安心して子育てしやすい環境にするために重要なこと」(複数回答)

		調査数	学校環境・保育等の充実	防犯など子どもの安全安心	子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い	子どもが遊べる公園などの整備	医療機関が近くにあること	地域や子育て世代間のネットワークづくり	子育てについて気軽に相談できる場所	その他	無回答
全体		4980 100.0	3206 64.4	2878 57.8	3157 63.4	1736 34.9	2477 49.7	1127 22.6	1729 34.7	77 1.5	214 4.3
年齢	10歳代	180 100.0	135 75.0	102 56.7	123 68.3	92 51.1	106 58.9	44 24.4	69 38.3	2 1.1	1 0.6
	20歳代	312 100.0	224 71.8	211 67.6	233 74.7	153 49.0	159 51.0	94 30.1	114 36.5	8 2.6	2 0.6
	30歳代	531 100.0	385 72.5	373 70.2	426 80.2	296 55.7	290 54.6	142 26.7	196 36.9	13 2.4	4 0.8
	40歳代	758 100.0	519 68.5	487 64.2	551 72.7	308 40.6	361 47.6	164 21.6	255 33.6	18 2.4	9 1.2
	50歳代	822 100.0	559 68.0	500 60.8	537 65.3	255 31.0	392 47.7	227 27.6	296 36.0	12 1.5	16 1.9
	60歳代	951 100.0	631 66.4	512 53.8	613 64.5	264 27.8	490 51.5	213 22.4	350 36.8	10 1.1	33 3.5
	70歳代以上	1363 100.0	722 53.0	670 49.2	648 47.5	355 26.0	657 48.2	238 17.5	437 32.1	13 1.0	131 9.6
	居住地	北部	506 100.0	329 65.0	296 58.5	342 67.6	155 30.6	238 47.0	114 22.5	179 35.4	11 2.2
中部第一		502 100.0	341 67.9	291 58.0	296 59.0	181 36.1	242 48.2	136 27.1	187 37.3	8 1.6	22 4.4
中部第二		726 100.0	471 64.9	451 62.1	482 66.4	275 37.9	347 47.8	177 24.4	248 34.2	16 2.2	19 2.6
東部		321 100.0	206 64.2	202 62.9	194 60.4	117 36.4	177 55.1	70 21.8	118 36.8	5 1.6	11 3.4
灘		382 100.0	239 62.6	224 58.6	233 61.0	129 33.8	197 51.6	77 20.2	129 33.8	5 1.3	25 6.5
飾磨		563 100.0	381 67.7	328 58.3	342 60.7	210 37.3	283 50.3	140 24.9	199 35.3	8 1.4	20 3.6
広畑		482 100.0	321 66.6	280 58.1	302 62.7	182 37.8	244 50.6	110 22.8	169 35.1	4 0.8	19 3.9
網干		535 100.0	340 63.6	280 52.3	365 68.2	190 35.5	268 50.1	109 20.4	180 33.6	9 1.7	19 3.6
西部		398 100.0	254 63.8	232 58.3	259 65.1	124 31.2	199 50.0	88 22.1	144 36.2	5 1.3	16 4.0
家島		31 100.0	20 64.5	14 45.2	16 51.6	9 29.0	18 58.1	5 16.1	7 22.6	0 0.0	3 9.7
夢前		181 100.0	105 58.0	94 51.9	122 67.4	52 28.7	105 58.0	38 21.0	73 40.3	1 0.6	11 6.1
香寺		183 100.0	110 60.1	107 58.5	109 59.6	60 32.8	93 50.8	39 21.3	49 26.8	3 1.6	9 4.9
安富		53 100.0	30 56.6	28 52.8	36 67.9	24 45.3	29 54.7	12 22.6	23 43.4	0 0.0	1 1.9

図表Ⅲ－85 属性別にみた「安心して子育てしやすい環境にするためにもっとも重要なこと」

		調査数	学校環境・保育等の充実	防犯など子どもの安全安心	子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い	子どもが遊べる公園などの整備	医療機関が近くにあること	地域や子育て世代間のネットワークづくり	子育てについて気軽に相談できる場所	その他	無回答
全体		4766 100.0	1094 23.0	848 17.8	1583 33.2	151 3.2	348 7.3	178 3.7	271 5.7	36 0.8	257 5.4
年齢	10歳代	179 100.0	45 25.1	28 15.6	59 33.0	12 6.7	15 8.4	5 2.8	9 5.0	2 1.1	4 2.2
	20歳代	310 100.0	68 21.9	66 21.3	114 36.8	12 3.9	8 2.6	13 4.2	12 3.9	6 1.9	11 3.5
	30歳代	527 100.0	123 23.3	88 16.7	229 43.5	13 2.5	14 2.7	17 3.2	18 3.4	1 0.2	24 4.6
	40歳代	749 100.0	173 23.1	131 17.5	287 38.3	21 2.8	43 5.7	23 3.1	38 5.1	11 1.5	22 2.9
	50歳代	806 100.0	191 23.7	157 19.5	276 34.2	26 3.2	39 4.8	33 4.1	44 5.5	5 0.6	35 4.3
	60歳代	918 100.0	231 25.2	139 15.1	310 33.8	20 2.2	58 6.3	38 4.1	62 6.8	4 0.4	56 6.1
	70歳代以上	1232 100.0	251 20.4	228 18.5	300 24.4	45 3.7	165 13.4	48 3.9	86 7.0	7 0.6	102 8.3
居住地	北部	493 100.0	101 20.5	92 18.7	167 33.9	9 1.8	31 6.3	26 5.3	26 5.3	6 1.2	35 7.1
	中部第一	480 100.0	136 28.3	83 17.3	136 28.3	21 4.4	28 5.8	25 5.2	25 5.2	7 1.5	19 4.0
	中部第二	707 100.0	158 22.3	135 19.1	262 37.1	19 2.7	43 6.1	25 3.5	33 4.7	2 0.3	30 4.2
	東部	310 100.0	78 25.2	60 19.4	94 30.3	11 3.5	27 8.7	11 3.5	18 5.8	4 1.3	7 2.3
	灘	357 100.0	76 21.3	67 18.8	111 31.1	13 3.6	36 10.1	17 4.8	18 5.0	2 0.6	17 4.8
	飾磨	543 100.0	136 25.0	100 18.4	170 31.3	14 2.6	40 7.4	19 3.5	32 5.9	2 0.4	30 5.5
	広畑	463 100.0	97 21.0	89 19.2	147 31.7	16 3.5	33 7.1	13 2.8	33 7.1	3 0.6	32 6.9
	網干	516 100.0	109 21.1	75 14.5	205 39.7	23 4.5	32 6.2	11 2.1	27 5.2	5 1.0	29 5.6
	西部	382 100.0	87 22.8	60 15.7	125 32.7	10 2.6	26 6.8	17 4.5	29 7.6	3 0.8	25 6.5
	家島	28 100.0	11 39.3	4 14.3	6 21.4	1 3.6	1 3.6	1 3.6	2 7.1	0 0.0	2 7.1
	夢前	170 100.0	35 20.6	22 12.9	63 37.1	3 1.8	20 11.8	3 1.8	14 8.2	0 0.0	10 5.9
	香寺	174 100.0	45 25.9	34 19.5	49 28.2	5 2.9	14 8.0	6 3.4	8 4.6	1 0.6	12 6.9
	安富	52 100.0	7 13.5	8 15.4	22 42.3	1 1.9	7 13.5	3 5.8	3 5.8	0 0.0	1 1.9

(4) アピールすべき姫路の魅力はなんですか（問 18）

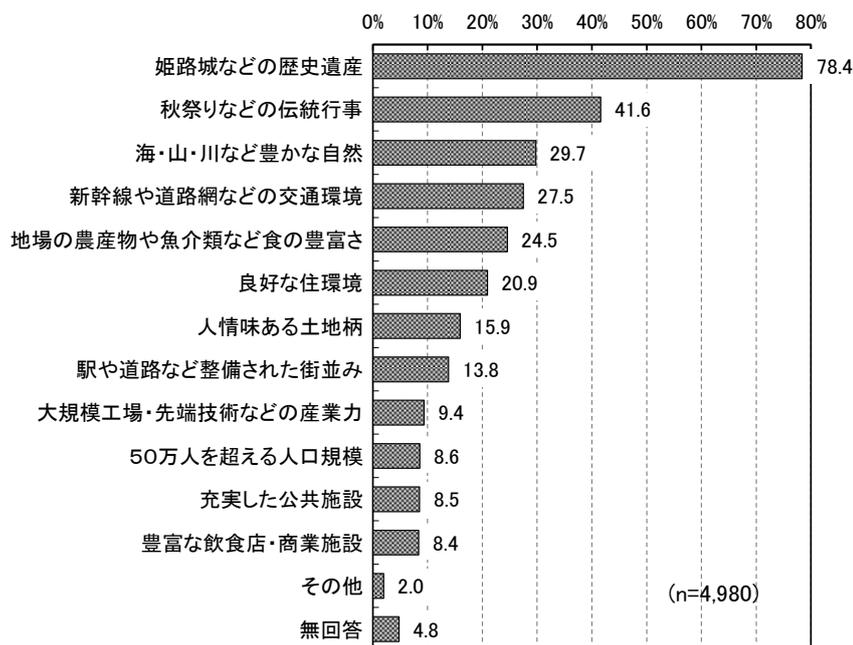
■ 全体傾向

- ・「姫路城などの歴史遺産」の回答割合が78.4%ともっとも高く、次いで「秋祭りなどの伝統行事」が41.6%、「海・山・川など豊かな自然」が29.7%となっている。

■ 属性別傾向

- ・年齢別にみた場合、10歳代、20歳代では「秋祭りなどの伝統行事」（10歳代53.9%・20歳代49.0%）の回答割合が全体より高くなっているが、「地場の農産物や魚介類など食の豊富さ」（10歳代15.6%・20歳代15.4%）、「良好な住環境」（10歳代11.7%・20歳代15.7%）の回答割合は全体より低くなっている。
- ・居住地別にみた場合、灘、飾磨、広畑、網干ブロックでは「秋祭りなどの伝統行事」（灘57.1%・飾磨49.0%・広畑47.7%・網干50.8%）の回答割合が全体より高くなっている。一方、西部、家島、夢前、安富ブロックでは「海・山・川など豊かな自然」（西部35.7%・家島38.7%・夢前41.4%・安富43.4%）の回答割合が全体より高くなっている。また、中部第一ブロックでは「新幹線や道路網などの交通環境」（35.3%）、「良好な住環境」（26.9%）の回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅲ－86 アピールすべき姫路の魅力（複数回答）



図表Ⅲ－87 属性別にみた「アピールするべき姫路の魅力」(複数回答)

	調査数	姫路城などの歴史遺産	秋祭りなどの伝統行事	海・山・川など豊かな自然	新幹線や道路網などの交通環境	地場の農産物や魚介類など食の豊かさ	良好な住環境	人情味ある土地柄	駅や道路など整備された街並み	大規模工場・先端技術などの産業力	50万人を超える人口規模	充実した公共施設	豊富な飲食店・商業施設	その他	無回答
全体	4980 100.0	3903 78.4	2070 41.6	1481 29.7	1369 27.5	1222 24.5	1042 20.9	794 15.9	689 13.8	466 9.4	427 8.6	425 8.5	416 8.4	99 2.0	238 4.8
年齢	10歳代	180 100.0	152 84.4	97 53.9	45 25.0	56 31.1	28 15.6	21 11.7	27 15.0	21 11.7	13 7.2	23 12.8	12 6.7	20 11.1	4 2.2
	20歳代	312 100.0	248 79.5	153 49.0	71 22.8	106 34.0	48 15.4	49 15.7	36 11.5	37 11.9	25 8.0	19 6.1	17 5.4	24 7.7	7 2.2
	30歳代	531 100.0	432 81.4	212 39.9	137 25.8	172 32.4	100 18.8	109 20.5	66 12.4	60 11.3	40 7.5	42 7.9	40 7.5	43 8.1	19 3.6
	40歳代	758 100.0	622 82.1	329 43.4	204 26.9	225 29.7	184 24.3	162 21.4	96 12.7	85 11.2	54 7.1	49 6.5	56 7.4	66 8.7	16 2.1
	50歳代	822 100.0	677 82.4	354 43.1	240 29.2	242 29.4	208 25.3	179 21.8	132 16.1	95 11.6	66 8.0	54 6.6	51 6.2	71 8.6	13 1.6
	60歳代	951 100.0	743 78.1	378 39.7	323 34.0	230 24.2	255 26.8	218 22.9	168 17.7	145 15.2	79 8.3	79 8.3	79 8.3	91 9.6	15 1.6
	70歳代以上	1363 100.0	997 73.1	529 38.8	457 33.5	333 24.4	386 28.3	294 21.6	264 19.4	239 17.5	182 13.4	158 11.6	166 12.2	97 7.1	22 1.6
	居住地	北部	506 100.0	406 80.2	192 37.9	146 28.9	154 30.4	123 24.3	119 23.5	74 14.6	62 12.3	48 9.5	37 7.3	32 6.3	27 5.3
中部第一		502 100.0	411 81.9	152 30.3	135 26.9	177 35.3	133 26.5	135 26.9	81 16.1	84 16.7	46 9.2	54 10.8	48 9.6	48 9.6	12 2.4
中部第二		726 100.0	595 82.0	276 38.0	190 26.2	232 32.0	176 24.2	182 25.1	109 15.0	127 17.5	60 8.3	66 9.1	67 9.2	63 8.7	14 1.9
東部		321 100.0	245 76.3	114 35.5	93 29.0	80 24.9	79 24.6	70 21.8	50 15.6	35 10.9	29 9.0	31 9.7	27 8.4	29 9.0	3 0.9
灘		382 100.0	279 73.0	218 57.1	121 31.7	94 24.6	93 24.3	64 16.8	66 17.3	39 10.2	28 7.3	32 8.4	36 9.4	28 7.3	8 2.1
飾磨		563 100.0	457 81.2	276 49.0	156 27.7	173 30.7	150 26.6	99 17.6	87 15.5	73 13.0	47 8.3	46 8.2	47 8.3	67 11.9	15 2.7
広畑		482 100.0	378 78.4	230 47.7	154 32.0	131 27.2	127 26.3	89 18.5	77 16.0	78 16.2	61 12.7	41 8.5	39 8.1	49 10.2	9 1.9
網干		535 100.0	417 77.9	272 50.8	162 30.3	124 23.2	123 23.0	91 17.0	87 16.3	75 14.0	59 11.0	45 8.4	45 8.4	29 5.4	8 1.5
西部		398 100.0	313 78.6	152 38.2	142 35.7	98 24.6	104 26.1	90 22.6	68 17.1	53 13.3	30 7.5	34 8.5	46 11.6	33 8.3	6 1.5
家島		31 100.0	14 45.2	11 35.5	12 38.7	4 12.9	11 35.5	3 9.7	6 19.4	2 6.5	3 9.7	1 3.2	3 9.7	1 3.2	1 3.2
夢前		181 100.0	141 77.9	60 33.1	75 41.4	32 17.7	34 18.8	33 18.2	42 23.2	26 14.4	17 9.4	14 7.7	13 7.2	14 7.7	5 2.8
香寺		183 100.0	145 79.2	68 37.2	51 27.9	46 25.1	41 22.4	38 20.8	31 16.9	22 12.0	22 12.0	12 6.6	13 7.1	17 9.3	4 2.2
安富		53 100.0	38 71.7	13 24.5	23 43.4	9 17.0	7 13.2	7 17.0	7 13.2	3 5.7	3 5.7	7 13.2	3 5.7	2 3.8	2 3.8

7. 行政サービスの水準と市民負担について

(1) 今後、人口減少が続くと、市役所が提供する行政サービス（公共施設の運営やごみ処理、上下水道など）の水準を維持することが困難になることも予想されます。行政サービス水準、市民負担（税や使用料など）についてあなたの考えに近いものはどれですか（問 19）

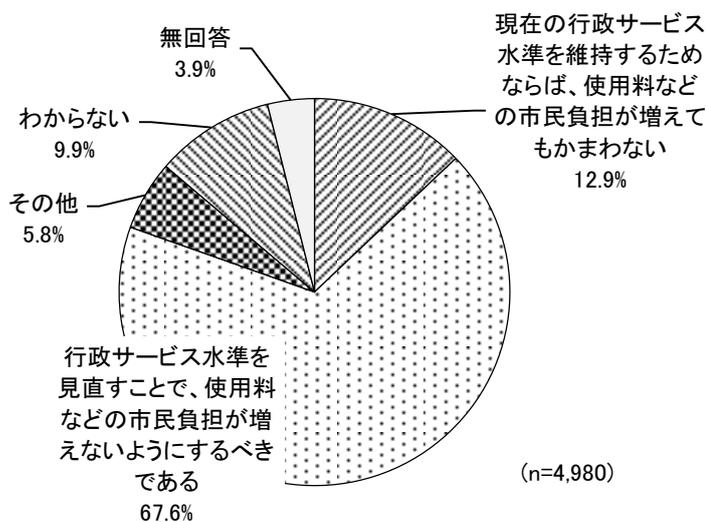
■ 全体傾向

- ・「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにすべきである」の回答割合が 67.6%となっており、「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」は 12.9%になっている。

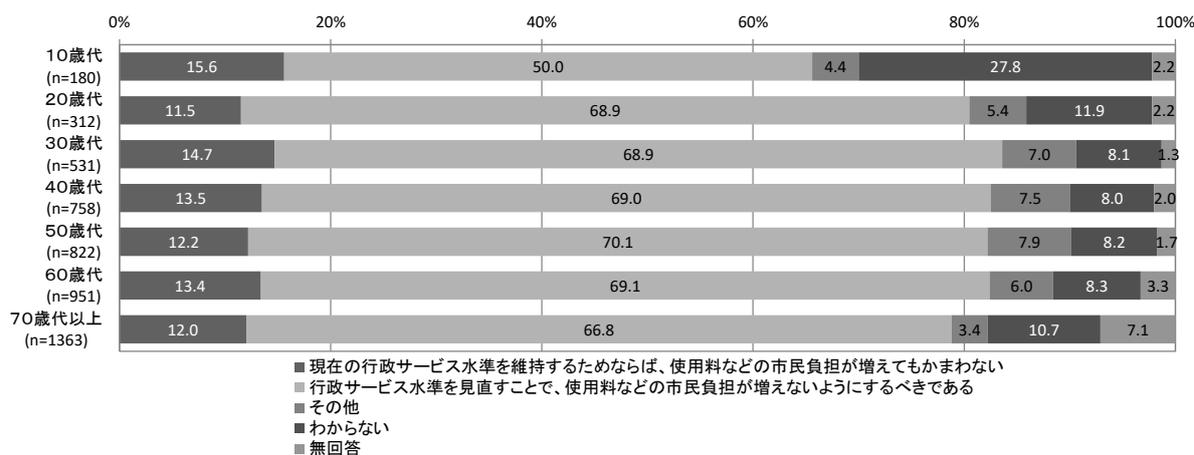
■ 属性別傾向

- ・年齢別にみた場合、10歳代以外では「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにすべきである」の回答割合が 65%以上となっており、10歳代では、50.0%となっている。
- ・居住地別にみた場合、大きな差異はみられないが、安富ブロックでは「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」の回答割合が 18.9%と高くなっている。

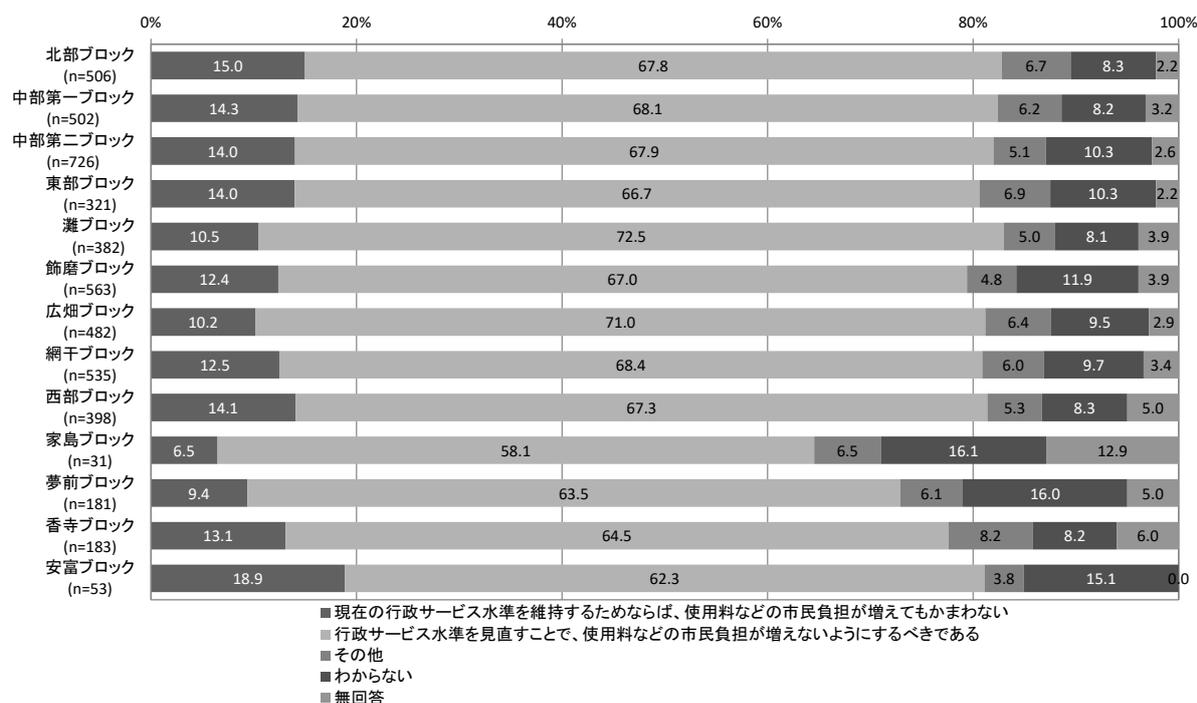
図表Ⅲ－88 行政サービス水準、市民負担について



図表Ⅲ－ 89 年齢別にみた「行政サービス水準、市民負担について」



図表Ⅲ－ 90 居住地別にみた「行政サービス水準、市民負担について」



IV. 調査結果(属性・項目間クロス集計)

1. 姫路に対する愛着や住みやすさ、居住意向について

(1) あなたは姫路に愛着を感じますか (問 1)

■ 性別・年齢とのクロス集計

- ・ 男性では 30 歳代、女性では 20 歳代において、他の年代より「感じる」、「やや感じる」の回答割合がもっとも低くなっている。
- ・ 男性、女性ともに 70 歳代以上では「感じる」の回答割合が高く、20 歳代から 40 歳代では、全体より「感じる」の回答割合が低く、「やや感じる」の回答割合が高くなっている。10 歳代では、男性は全体の傾向と似ている一方で、女性は「感じる」の回答割合が低く、「やや感じる」の回答割合が高くなっている。

■ 世帯構成とのクロス集計

- ・ 世帯構成によって大きな差異はみられないが、単身世帯 (一人暮らし) において「感じる」、「やや感じる」の回答割合が全体よりやや低くなっている。

■ 居住年数とのクロス集計

- ・ 居住年数が長いほど、「感じる」の回答割合が高くなっており、居住年数が短いほど、「どちらとも言えない」、「あまり感じない」、「感じない」の回答割合が高くなっている。

■ 問 12-1 (地域活動への参加) とのクロス集計

- ・ 地域活動に参加しているほど、「感じる」の回答割合が高くなっており、まったく参加していない場合では「感じない」、「あまり感じない」の回答割合が全体よりやや高くなっている。

図表Ⅳ－１ 属性・項目別にみた姫路に愛着を感じるか

		調査数	感じる	やや感じる	どちらとも言えない	あまり感じない	感じない	無回答
全体		4980	2720	1345	433	300	82	100
		100.0	54.6	27.0	8.7	6.0	1.6	2.0
男性	10歳代	85	44	20	9	7	3	2
		100.0	51.8	23.5	10.6	8.2	3.5	2.4
	20歳代	145	58	53	16	10	7	1
		100.0	40.0	36.6	11.0	6.9	4.8	0.7
	30歳代	175	81	48	22	17	5	2
		100.0	46.3	27.4	12.6	9.7	2.9	1.1
	40歳代	300	143	103	26	17	6	5
		100.0	47.7	34.3	8.7	5.7	2.0	1.7
50歳代	323	185	83	25	17	8	5	
	100.0	57.3	25.7	7.7	5.3	2.5	1.5	
60歳代	399	210	103	37	31	5	13	
	100.0	52.6	25.8	9.3	7.8	1.3	3.3	
70歳代以上	537	347	112	29	27	5	17	
	100.0	64.6	20.9	5.4	5.0	0.9	3.2	
女性	10歳代	94	39	38	10	4	1	2
		100.0	41.5	40.4	10.6	4.3	1.1	2.1
	20歳代	166	76	51	19	14	5	1
		100.0	45.8	30.7	11.4	8.4	3.0	0.6
	30歳代	352	155	126	35	24	9	3
		100.0	44.0	35.8	9.9	6.8	2.6	0.9
	40歳代	453	202	166	39	33	8	5
		100.0	44.6	36.6	8.6	7.3	1.8	1.1
50歳代	494	275	134	48	28	5	4	
	100.0	55.7	27.1	9.7	5.7	1.0	0.8	
60歳代	543	316	141	41	33	7	5	
	100.0	58.2	26.0	7.6	6.1	1.3	0.9	
70歳代以上	796	525	145	61	35	3	27	
	100.0	66.0	18.2	7.7	4.4	0.4	3.4	
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	541	286	129	63	32	12	19
		100.0	52.9	23.8	11.6	5.9	2.2	3.5
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世帯)	1420	798	381	108	88	19	26
		100.0	56.2	26.8	7.6	6.2	1.3	1.8
	親と子ども(二世帯)	2318	1249	658	199	144	36	32
		100.0	53.9	28.4	8.6	6.2	1.6	1.4
親と子どもと孫など(三世帯)	499	283	127	37	29	9	14	
	100.0	56.7	25.5	7.4	5.8	1.8	2.8	
その他	103	54	27	14	2	2	4	
	100.0	52.4	26.2	13.6	1.9	1.9	3.9	
居住年数	5年未満	202	44	74	37	30	11	6
		100.0	21.8	36.6	18.3	14.9	5.4	3.0
	5年～10年未満	189	56	66	36	20	5	6
		100.0	29.6	34.9	19.0	10.6	2.6	3.2
10～20年未満	539	210	199	59	50	14	7	
	100.0	39.0	36.9	10.9	9.3	2.6	1.3	
20年以上	3969	2366	993	289	195	49	77	
	100.0	59.6	25.0	7.3	4.9	1.2	1.9	
地域参加活動への	よく参加している	750	490	167	37	33	10	13
		100.0	65.3	22.3	4.9	4.4	1.3	1.7
	ときどき参加している	1735	1024	457	121	80	17	36
		100.0	59.0	26.3	7.0	4.6	1.0	2.1
	あまり参加していない	1437	743	426	139	93	13	23
	100.0	51.7	29.6	9.7	6.5	0.9	1.6	
まったく参加していない	1000	430	288	127	93	41	21	
	100.0	43.0	28.8	12.7	9.3	4.1	2.1	

(2) 今の姫路は住みやすいと思いますか（問5）

- 性別・年齢とのクロス集計
 - ・ 男性では10歳代、女性では70歳代以上において、「住みやすい」の回答割合がもっとも高くなっている。
 - ・ 男性の20歳代から40歳代、女性の40歳代では「住みやすい」の回答割合が全体より低くなっている。
- 世帯構成とのクロス集計
 - ・ 世帯構成による大きな差異はみられないが、三世帯世帯において「住みやすい」の回答割合が、二世帯世帯において「まあ住みやすい」の回答割合がやや高くなっている。
- 居住年数とのクロス集計
 - ・ 居住年数が5年未満、5年～10年未満の場合、全体より「住みやすい」、「まあ住みやすい」の回答割合が低くなっており、「どちらとも言えない」の回答割合が高くなっている。また、居住年数が5年未満の場合、「やや住みにくい」の回答割合が全体よりやや高くなっている。
- 問12-1（地域活動への参加）とのクロス集計
 - ・ 地域活動に「よく参加している」場合には「住みやすい」の回答割合が高くなっている。一方で、「まったく参加していない」場合は「住みやすい」の回答割合が全体より低く、「どちらとも言えない」、「やや住みにくい」、「住みにくい」の回答割合が全体よりやや高くなっている。

図表Ⅳ－２ 属性・項目別にみた姫路の住みやすさ

		調査数	住みやすい	まあ住みやすい	どちらとも言えない	やや住みにくい	住みにくい	無回答
全体		4980	1758	2231	553	282	110	46
		100.0	35.3	44.8	11.1	5.7	2.2	0.9
男性	10歳代	85	41	31	7	6	0	0
		100.0	48.2	36.5	8.2	7.1	0.0	0.0
	20歳代	145	44	73	17	8	3	0
		100.0	30.3	50.3	11.7	5.5	2.1	0.0
	30歳代	175	48	87	17	15	8	0
		100.0	27.4	49.7	9.7	8.6	4.6	0.0
	40歳代	300	83	149	41	21	6	0
		100.0	27.7	49.7	13.7	7.0	2.0	0.0
女性	10歳代	94	35	43	9	5	1	1
		100.0	37.2	45.7	9.6	5.3	1.1	1.1
	20歳代	166	57	72	22	11	4	0
		100.0	34.3	43.4	13.3	6.6	2.4	0.0
	30歳代	352	112	165	38	25	10	2
		100.0	31.8	46.9	10.8	7.1	2.8	0.6
	40歳代	453	133	241	43	25	10	1
		100.0	29.4	53.2	9.5	5.5	2.2	0.2
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	541	193	223	70	32	16	7
		100.0	35.7	41.2	12.9	5.9	3.0	1.3
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世代)	1420	526	618	155	81	25	15
		100.0	37.0	43.5	10.9	5.7	1.8	1.1
	親と子ども(二世帯)	2318	779	1102	247	126	51	13
		100.0	33.6	47.5	10.7	5.4	2.2	0.6
	親と子どもと孫など(三世帯)	499	189	214	53	31	8	4
		100.0	37.9	42.9	10.6	6.2	1.6	0.8
居住年数	5年未満	202	52	94	31	19	4	2
		100.0	25.7	46.5	15.3	9.4	2.0	1.0
	5年～10年未満	189	43	96	32	13	2	3
		100.0	22.8	50.8	16.9	6.9	1.1	1.6
	10～20年未満	539	158	272	57	35	15	2
		100.0	29.3	50.5	10.6	6.5	2.8	0.4
	20年以上	3969	1482	1741	413	213	86	34
		100.0	37.3	43.9	10.4	5.4	2.2	0.9
地域参加状況への	よく参加している	750	318	300	67	40	19	6
		100.0	42.4	40.0	8.9	5.3	2.5	0.8
	ときどき参加している	1735	640	800	175	84	20	16
		100.0	36.9	46.1	10.1	4.8	1.2	0.9
	あまり参加していない	1437	479	666	153	97	29	13
	100.0	33.3	46.3	10.6	6.8	2.0	0.9	
まったく参加していない	1000	291	448	150	61	42	8	
	100.0	29.1	44.8	15.0	6.1	4.2	0.8	

(3) これからも姫路に住み続けたいですか（問6）

■ 性別・年齢とのクロス集計

- ・ 男性、女性ともに、60歳代、70歳代以上において「ずっと住み続けたい」の回答割合が全体より高く、10歳代から40歳代では「ずっと住み続けたい」の回答割合が全体より低くなっている。
- ・ 男性では20歳代から40歳代において、「住み続けてもよい」の回答割合が高くなっているが、女性では20歳代から40歳代における「住み続けてもよい」の回答割合は男性よりも低くなっている。

■ 世帯構成とのクロス集計

- ・ 夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなどの一世代世帯および三世代世帯において、「ずっと住み続けたい」の回答割合が全体より高く、単身世帯では「ずっと住み続けたい」、「住み続けてもよい」の回答割合が全体よりやや低くなっている。

■ 居住年数とのクロス集計

- ・ 居住年数が20年以上の場合、「ずっと住み続けたい」の回答割合が高くなっているが、5年未満、5～10年未満、10～20年未満では「ずっと住み続けたい」の回答割合が全体より低くなっている。また、5年未満、5～10年未満、10～20年未満では「どちらとも言えない」、「いずれは引っ越したい」の回答割合が全体より高く、特に5年未満では「いずれは引っ越したい」の回答割合において全体との差が大きい。

■ 問12-1（地域活動への参加）とのクロス集計

- ・ 地域活動に参加しているほど、「ずっと住み続けたい」の回答割合が高くなっている。一方で、「まったく参加していない」場合には、全体より「どちらとも言えない」の回答割合が高く、「いずれは引っ越したい」、「すぐにでも引っ越したい」の回答割合もやや高くなっている。

図表IV-3 属性・項目別にみた姫路に住み続けたいか

		調査数	ずっと住み続けたい	住み続けてもよい	どちらとも言えない	いずれは引っ越したい	すぐにも引っ越したい	無回答
全体		4980	2335	1642	692	205	52	54
		100.0	46.9	33.0	13.9	4.1	1.0	1.1
男性	10歳代	85	26	26	20	11	2	0
		100.0	30.6	30.6	23.5	12.9	2.4	0.0
	20歳代	145	34	60	31	15	5	0
		100.0	23.4	41.4	21.4	10.3	3.4	0.0
	30歳代	175	58	77	22	15	1	2
		100.0	33.1	44.0	12.6	8.6	0.6	1.1
	40歳代	300	113	125	46	15	1	0
		100.0	37.7	41.7	15.3	5.0	0.3	0.0
女性	10歳代	94	15	44	21	14	0	0
		100.0	16.0	46.8	22.3	14.9	0.0	0.0
	20歳代	166	44	61	39	16	5	1
		100.0	26.5	36.7	23.5	9.6	3.0	0.6
	30歳代	352	126	136	66	15	8	1
		100.0	35.8	38.6	18.8	4.3	2.3	0.3
	40歳代	453	171	171	76	26	7	2
		100.0	37.7	37.7	16.8	5.7	1.5	0.4
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	541	239	168	89	26	9	10
		100.0	44.2	31.1	16.5	4.8	1.7	1.8
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世代)	1420	740	429	171	56	10	14
		100.0	52.1	30.2	12.0	3.9	0.7	1.0
	親と子ども(二世帯)	2318	1005	833	336	103	25	16
		100.0	43.4	35.9	14.5	4.4	1.1	0.7
	親と子どもと孫など(三世帯)	499	256	148	67	16	6	6
		100.0	51.3	29.7	13.4	3.2	1.2	1.2
居住年数	5年未満	202	33	84	48	33	3	1
		100.0	16.3	41.6	23.8	16.3	1.5	0.5
	5年～10年未満	189	35	77	58	15	1	3
		100.0	18.5	40.7	30.7	7.9	0.5	1.6
	10～20年未満	539	142	217	115	51	9	5
	100.0	26.3	40.3	21.3	9.5	1.7	0.9	
地域参加状況への	20年以上	3969	2095	1234	458	105	38	39
		100.0	52.8	31.1	11.5	2.6	1.0	1.0
	よく参加している	750	442	204	76	17	4	7
		100.0	58.9	27.2	10.1	2.3	0.5	0.9
	ときどき参加している	1735	891	557	197	60	10	20
	100.0	51.4	32.1	11.4	3.5	0.6	1.2	
地域参加状況への	あまり参加していない	1437	623	523	210	62	7	12
		100.0	43.4	36.4	14.6	4.3	0.5	0.8
	まったく参加していない	1000	345	345	203	66	31	10
		100.0	34.5	34.5	20.3	6.6	3.1	1.0

2. 居住地選択について

(1) ライフステージの変化等により、引っ越すとすれば、どの地域に引っ越したいですか（問7-1）【姫路市内で引っ越す場合】

- 世帯構成とのクロス集計
 - ・ 世帯構成による大きな差異はみられないが、二世帯世帯では「中部第二」、「飾磨」の回答割合が全体よりやや高くなっている。
- 居住年数とのクロス集計
 - ・ 居住年数によって大きな差異はみられないが、10～20年未満の場合、「中部第一」、「中部第二」、「飾磨」の回答割合が全体よりやや高くなっている。

図表Ⅳ－4 属性別にみた引っ越したい地域(姫路市内)

		調査数	中部第一	中部第二	飾磨	広畑	網干	北部	東部	西部	夢前	漕	香寺	安富	家島	該当なし	無回答
全体		4980	1147	678	544	272	161	147	150	119	114	109	87	31	22	325	1074
		100.0	23.0	13.6	10.9	5.5	3.2	3.0	3.0	2.4	2.3	2.2	1.7	0.6	0.4	6.5	21.6
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	541	111	77	53	20	8	18	21	10	9	11	5	3	1	32	162
		100.0	20.5	14.2	9.8	3.7	1.5	3.3	3.9	1.8	1.7	2.0	0.9	0.6	0.2	5.9	29.9
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世帯)	1420	323	178	126	77	49	44	37	34	33	24	26	11	8	96	354
		100.0	22.7	12.5	8.9	5.4	3.5	3.1	2.6	2.4	2.3	1.7	1.8	0.8	0.6	6.8	24.9
	親と子ども(二世帯)	2318	564	354	299	140	86	59	75	52	52	50	41	12	7	160	367
	100.0	24.3	15.3	12.9	6.0	3.7	2.5	3.2	2.2	2.2	2.2	1.8	0.5	0.3	6.9	15.8	
世帯構成	親と子どもと孫など(三世帯)	499	115	52	49	29	14	23	12	13	12	17	12	4	5	27	115
		100.0	23.0	10.4	9.8	5.8	2.8	4.6	2.4	2.6	2.4	3.4	2.4	0.8	1.0	5.4	23.0
世帯構成	その他	103	22	7	12	5	0	1	2	6	3	7	2	1	1	7	27
		100.0	21.4	6.8	11.7	4.9	0.0	1.0	1.9	5.8	2.9	6.8	1.9	1.0	1.0	6.8	26.2
居住年数	5年未満	202	52	31	25	11	5	5	6	2	1	6	0	1	1	20	36
		100.0	25.7	15.3	12.4	5.4	2.5	2.5	3.0	1.0	0.5	3.0	0.0	0.5	0.5	9.9	17.8
	5年～10年未満	189	48	24	26	15	3	3	7	6	3	1	3	0	0	23	27
		100.0	25.4	12.7	13.8	7.9	1.6	1.6	3.7	3.2	1.6	0.5	1.6	0.0	0.0	12.2	14.3
居住年数	10～20年未満	539	144	90	70	27	16	18	19	10	9	14	12	2	4	42	62
		100.0	26.7	16.7	13.0	5.0	3.0	3.3	3.5	1.9	1.7	2.6	2.2	0.4	0.7	7.8	11.5
居住年数	20年以上	3969	890	526	420	217	133	120	116	98	98	87	71	28	17	238	910
		100.0	22.4	13.3	10.6	5.5	3.4	3.0	2.9	2.5	2.5	2.2	1.8	0.7	0.4	6.0	22.9

(2) ライフステージの変化等により、引っ越すとすれば、どの地域に引っ越したいですか（問7-1）【姫路市外へ引っ越す場合】

- 世帯構成とのクロス集計
- 世帯構成によって大きな差異はみられないが、二世帯世帯では「神戸市」、「兵庫県外」の回答割合が全体よりやや高くなっている。
 - 一方、単身世帯では「神戸市」の回答割合が全体よりやや低くなっている。
- 居住年数とのクロス集計
- 居住年数が10～20年未満の場合、「神戸市」、「兵庫県外」の回答割合が全体より高くなっている。また、5年未満、5～10年未満の場合も、「兵庫県外」の回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅳ－5 属性別にみた引っ越したい地域(姫路市外)

	調査数	神戸市	兵庫県外	明石市	その他兵庫県内	加古川市	太子町	たつの市	高砂市	福崎町	宍粟市	加西市	神河町	市川町	該当なし	無回答	
全体	4980 100.0	938 18.8	695 14.0	232 4.7	228 4.6	161 3.2	153 3.1	145 2.9	121 2.4	100 2.0	55 1.1	39 0.8	41 0.8	10 0.2	538 10.8	1524 30.6	
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	541 100.0	78 14.4	71 13.1	28 5.2	20 3.7	15 2.8	9 1.7	11 2.0	10 1.8	8 1.5	3 0.6	3 0.6	3 0.6	1 0.2	52 9.6	229 42.3
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世帯)	1420 100.0	238 16.8	170 12.0	60 4.2	56 3.9	46 3.2	30 2.1	42 3.0	25 1.8	21 1.5	18 1.3	10 0.7	7 0.5	5 0.4	162 11.4	530 37.3
	親と子ども(二世帯)	2318 100.0	506 21.8	368 15.9	126 5.4	122 5.3	81 3.5	93 4.0	70 3.0	67 2.9	51 2.2	22 0.9	23 1.0	25 1.1	3 0.1	252 10.9	509 22.0
	親と子どもと孫など(三世帯)	499 100.0	88 17.6	67 13.4	17 3.4	26 5.2	14 2.8	18 3.6	16 3.2	12 2.4	18 3.6	10 2.0	2 0.4	5 1.0	1 0.2	52 10.4	153 30.7
	その他	103 100.0	15 14.6	9 8.7	1 1.0	3 2.9	2 1.9	3 2.9	4 3.9	7 6.8	2 1.9	1 1.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	14 13.6	41 39.8
居住年数	5年未満	202 100.0	38 18.8	43 21.3	16 7.9	17 8.4	10 5.0	9 4.5	5 2.5	5 2.5	3 1.5	2 1.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	19 9.4	34 16.8
	5年～10年未満	189 100.0	38 20.1	47 24.9	13 6.9	8 4.2	6 3.2	8 4.2	11 5.8	5 2.6	4 2.1	3 1.6	1 0.5	0 0.0	1 0.5	13 6.9	31 16.4
	10～20年未満	539 100.0	151 28.0	124 23.0	41 7.6	30 5.6	15 2.8	9 1.7	18 3.3	10 1.9	7 1.3	5 0.9	5 0.9	5 0.9	0 0.0	42 7.8	77 14.3
	20年以上	3969 100.0	704 17.7	474 11.9	161 4.1	170 4.3	128 3.2	127 3.2	110 2.8	101 2.5	85 2.1	44 1.1	32 0.8	36 0.9	8 0.2	460 11.6	1329 33.5

(3) ライフステージの変化等により、引っ越すとすれば、引っ越したい地域に選んだ理由はなんですか（問7-2）【姫路市内で引っ越す場合】

■ 性別・年齢とのクロス集計

- ・ 男性では、10歳代から40歳代において、「通勤・通学の都合」の回答割合が全体より高くなっており、10歳代では「公共交通（電車、バス等）の利便性」、「まちのイメージ」の回答割合も全体より高くなっている。
- ・ 女性では、10歳代、20歳代において「公共交通（電車、バス等）の利便性」の回答割合が全体より高く、50歳代、60歳代では「日常生活（買い物・通院等）の利便性」の回答割合が高くなっている。また、女性の30歳代では「子育て（学校、保育所等）環境」の回答割合が全体より高くなっている。

■ 世帯構成とのクロス集計

- ・ 世帯構成による大きな差異はみられないが、全体より一世代世帯では「日常生活（買い物・通院等）の利便性」の回答割合がやや高く、二世帯世帯では「通勤・通学の都合」、「公共交通（電車、バス等）の利便性」がやや高くなっている。

■ 居住年数とのクロス集計

- ・ 居住年数が5年未満、5～10年未満の場合は、「通勤・通学の都合」の回答割合が全体より高く、10～20年未満では「公共交通（電車、バス等）の利便性」の回答割合が全体より高くなっている。また、5年未満、5～10年未満の場合は、「子育て（学校、保育所等）環境」の回答割合が全体よりやや高くなっている。

■ 問7-1（姫路市内で引っ越したい地域）とのクロス集計

- ・ 姫路市内で引っ越したい地域として「中部第一」、「中部第二」を回答した場合、理由としては「日常生活（買い物・通院等）の利便性」、「公共交通（電車、バス等）の利便性」の回答割合が高く、「飾磨」、「広畑」を回答した場合も、「日常生活（買い物・通院等）の利便性」の回答割合が高くなっている。
- ・ 引っ越したい地域として「網干」、「西部」と回答した場合には、「通勤・通学の都合」の回答割合が全体より高く、「北部」、「西部」、「家島」、「夢前」、「香寺」、「安富」を回答した場合は「海・山・川などの豊かな自然環境」との回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅳ－6 属性別にみた引っ越したい地域を選んだ理由(姫路市内)

		調査数	日常生活（買い物・通院等）の利便性	公共交通（電車、バス等）の利便性	通勤・通学の都合	親族との同居・近居	海・山・川などの豊かな自然環境	出身地	住宅事情（広さ・価格等）	まちなイメージ	子育て（学校、保育所等）環境	魅力的な市区町村等の取組	その他	無回答
全体		4980 100.0	1379 27.7	823 16.5	357 7.2	340 6.8	213 4.3	156 3.1	127 2.6	126 2.5	70 1.4	8 0.2	119 2.4	1262 25.3
男性	10歳代	85 100.0	20 23.5	19 22.4	11 12.9	5 5.9	3 3.5	6 7.1	2 2.4	9 10.6	0 0.0	3 3.5	2 2.4	5 5.9
	20歳代	145 100.0	41 28.3	20 13.8	20 13.8	10 6.9	4 2.8	6 4.1	4 2.8	5 3.4	2 1.4	0 0.0	5 3.4	28 19.3
	30歳代	175 100.0	57 32.6	25 14.3	26 14.9	14 8.0	4 2.3	7 4.0	9 5.1	4 2.3	3 1.7	1 0.6	5 2.9	20 11.4
	40歳代	300 100.0	69 23.0	47 15.7	59 19.7	19 6.3	20 6.7	15 5.0	6 2.0	9 3.0	13 4.3	1 0.3	6 2.0	36 12.0
	50歳代	323 100.0	94 29.1	57 17.6	37 11.5	19 5.9	19 5.9	16 5.0	4 1.2	9 2.8	1 0.3	0 0.0	8 2.5	59 18.3
	60歳代	399 100.0	100 25.1	60 15.0	17 4.3	24 6.0	30 7.5	21 5.3	16 4.0	13 3.3	0 0.0	0 0.0	8 2.0	110 27.6
	70歳代以上	537 100.0	142 26.4	62 11.5	7 1.3	36 6.7	41 7.6	13 2.4	13 2.4	3 0.6	2 0.4	0 0.0	9 1.7	209 38.9
	女性	10歳代	94 100.0	18 19.1	29 30.9	11 11.7	6 6.4	3 3.2	4 4.3	2 2.1	6 6.4	0 0.0	0 0.0	3 3.2
20歳代		166 100.0	51 30.7	39 23.5	18 10.8	14 8.4	4 2.4	2 1.2	5 3.0	6 3.6	4 2.4	1 0.6	7 4.2	15 9.0
30歳代		352 100.0	90 25.6	67 19.0	38 10.8	37 10.5	15 4.3	6 1.7	15 4.3	9 2.6	23 6.5	0 0.0	8 2.3	44 12.5
40歳代		453 100.0	125 27.6	88 19.4	47 10.4	42 9.3	12 2.6	9 2.0	9 2.0	23 5.1	10 2.2	1 0.2	22 4.9	65 14.3
50歳代		494 100.0	173 35.0	90 18.2	42 8.5	35 7.1	21 4.3	15 3.0	10 2.0	6 1.2	5 1.0	0 0.0	16 3.2	81 16.4
60歳代		543 100.0	180 33.1	96 17.7	9 1.7	23 4.2	21 3.9	16 2.9	11 2.0	10 1.8	3 0.6	0 0.0	8 1.5	166 30.6
70歳代以上		796 100.0	199 25.0	107 13.4	7 0.9	53 6.7	14 1.8	18 2.3	18 2.3	12 1.5	3 0.4	1 0.1	10 1.3	354 44.5
世帯構成	単身世帯（一人暮らし）	541 100.0	127 23.5	81 15.0	40 7.4	37 6.8	14 2.6	15 2.8	18 3.3	16 3.0	2 0.4	0 0.0	11 2.0	180 33.3
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど（一世帯）	1420 100.0	438 30.8	216 15.2	52 3.7	95 6.7	69 4.9	25 1.8	38 2.7	25 1.8	10 0.7	2 0.1	31 2.2	419 29.5
	親と子ども（二世帯）	2318 100.0	643 27.7	420 18.1	213 9.2	156 6.7	93 4.0	94 4.1	60 2.6	76 3.3	47 2.0	5 0.2	64 2.8	447 19.3
	親と子どもと孫など（三世帯）	499 100.0	128 25.7	80 16.0	38 7.6	38 7.6	28 5.6	17 3.4	9 1.8	7 1.4	10 2.0	1 0.2	10 2.0	133 26.7
	その他	103 100.0	29 28.2	9 8.7	9 8.7	9 8.7	7 6.8	2 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.9	35 34.0
居住年数	5年未満	202 100.0	50 24.8	29 14.4	26 12.9	12 5.9	4 2.0	2 1.0	10 5.0	12 5.9	8 4.0	0 0.0	10 5.0	39 19.3
	5年～10年未満	189 100.0	52 27.5	30 15.9	27 14.3	7 3.7	6 3.2	3 1.6	6 3.2	5 2.6	10 5.3	0 0.0	8 4.2	35 18.5
	10～20年未満	539 100.0	134 24.9	131 24.3	56 10.4	30 5.6	21 3.9	14 2.6	14 2.6	28 5.2	12 2.2	3 0.6	16 3.0	80 14.8
	20年以上	3969 100.0	1132 28.5	617 15.5	242 6.1	289 7.3	180 4.5	135 3.4	96 2.4	79 2.0	39 1.0	5 0.1	85 2.1	1070 27.0

図表Ⅳ－ 7 項目別にみた引っ越したい地域を選んだ理由(姫路市内)

		調査数	日常生活（買い物・通院等）の利便性	公共交通（電車、バス等）の利便性	通勤・通学の都合	親族との同居・近居	海・山・川などの豊かな自然環境	出身地	住宅事情（広さ・価格等）	まちなイメージ	子育て（学校、保育所等）環境	魅力的な市区町村等の取組	その他	無回答
全体		4980	1379	823	357	340	213	156	127	126	70	8	119	1262
		100.0	27.7	16.5	7.2	6.8	4.3	3.1	2.6	2.5	1.4	0.2	2.4	25.3
引っ越したい地域（姫路市内）	北部	147	42	31	8	24	18	7	6	1	5	0	2	3
		100.0	28.6	21.1	5.4	16.3	12.2	4.8	4.1	0.7	3.4	0.0	1.4	2.0
	中部第一	1147	516	355	86	53	2	21	19	42	16	1	9	27
		100.0	45.0	31.0	7.5	4.6	0.2	1.8	1.7	3.7	1.4	0.1	0.8	2.4
	中部第二	678	279	196	78	38	5	19	14	16	14	1	8	10
		100.0	41.2	28.9	11.5	5.6	0.7	2.8	2.1	2.4	2.1	0.1	1.2	1.5
	東部	150	45	22	14	29	4	5	10	10	2	0	3	6
		100.0	30.0	14.7	9.3	19.3	2.7	3.3	6.7	6.7	1.3	0.0	2.0	4.0
	灘	109	16	10	10	27	7	13	4	9	2	3	5	3
		100.0	14.7	9.2	9.2	24.8	6.4	11.9	3.7	8.3	1.8	2.8	4.6	2.8
	飾磨	544	238	105	65	50	6	22	14	11	10	0	11	12
		100.0	43.8	19.3	11.9	9.2	1.1	4.0	2.6	2.0	1.8	0.0	2.0	2.2
	広畑	272	120	28	30	37	3	11	13	9	6	0	6	9
		100.0	44.1	10.3	11.0	13.6	1.1	4.0	4.8	3.3	2.2	0.0	2.2	3.3
	網干	161	37	19	23	30	11	15	5	8	2	1	3	7
		100.0	23.0	11.8	14.3	18.6	6.8	9.3	3.1	5.0	1.2	0.6	1.9	4.3
西部	119	19	11	15	13	31	12	6	5	3	0	3	1	
	100.0	16.0	9.2	12.6	10.9	26.1	10.1	5.0	4.2	2.5	0.0	2.5	0.8	
家島	22	0	0	0	1	16	2	2	0	0	0	0	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	4.5	72.7	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	
夢前	114	2	5	1	10	79	4	4	2	1	0	3	3	
	100.0	1.8	4.4	0.9	8.8	69.3	3.5	3.5	1.8	0.9	0.0	2.6	2.6	
香寺	87	22	8	9	10	11	7	12	0	1	0	5	2	
	100.0	25.3	9.2	10.3	11.5	12.6	8.0	13.8	0.0	1.1	0.0	5.7	2.3	
安富	31	1	1	1	1	13	2	6	3	1	0	1	1	
	100.0	3.2	3.2	3.2	3.2	41.9	6.5	19.4	9.7	3.2	0.0	3.2	3.2	
該当なし	325	18	20	12	11	4	12	8	6	4	1	49	180	
	100.0	5.5	6.2	3.7	3.4	1.2	3.7	2.5	1.8	1.2	0.3	15.1	55.4	

(4) ライフステージの変化等により、引っ越すとすれば、引っ越したい地域に選んだ理由はなんですか（問7-2）【姫路市外へ引っ越す場合】

- 性別・年齢とのクロス集計
 - ・ 男性では、10歳代から40歳代で「通勤・通学の都合」の回答割合が全体より高くなっている。70歳代以上では「海・山・川などの豊かな自然環境」の回答割合が高くなっている。
 - ・ 女性では、10歳代、20歳代で「日常生活（買い物・通院等）の利便性」、「通勤・通学の都合」が高く、30歳代では「子育て（学校、保育所等）環境」の回答割合が全体より高くなっている。
- 世帯構成とのクロス集計
 - ・ 世帯構成によって大きな差異はみられない。
- 居住年数とのクロス集計
 - ・ 居住年数が5年未満、5～10年未満の場合、「親族との同居・近居」、「出身地」、「通勤・通学の都合」の回答割合が高く、「海・山・川などの豊かな自然環境」の回答割合が低くなっている。居住年数が10～20年未満の場合では「日常生活（買い物・通院等）の利便性」の回答割合が高くなっている。
- 問7-1（姫路市外へ引っ越したい地域）とのクロス集計
 - ・ 姫路市外へ引っ越したい地域として、「加西市」、「明石市」、「神戸市」を回答した場合、「まちのイメージ」の回答割合が高くなっている。「福崎町」、「太子町」などを回答した場合は「日常生活（買い物・通院等）の利便性」の回答割合が高く、「加古川市」、「高砂市」を回答した場合は「通勤・通学の都合」の回答割合が高くなっている。
 - ・ 「神河町」、「宍粟市」、「たつの市」などを回答した場合は「海・山・川などの豊かな自然環境」の回答割合が高くなっている。
 - ・ また、「明石市」の場合は「子育て（学校、保育所等）環境」、「太子町」の場合は「住宅事情（広さ・価格等）」の回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅳ－ 8 属性別にみた引っ越したい地域を選んだ理由(姫路市外)

		調査数	まちなイメージ	海・山・川などの豊かな自然環境	日常生活（買い物・通院等）の利便性	公共交通（電車、バス等）の利便性	親族との同居・近居	出身地	通勤・通学の都合	魅力的な市区町村等の取組	住宅事情（広さ・価格等）	子育て（学校、保育所等）環境	その他	無回答
全体		4980 100.0	762 15.3	530 10.6	463 9.3	329 6.6	319 6.4	273 5.5	218 4.4	102 2.0	73 1.5	66 1.3	223 4.5	1622 32.6
男性	10歳代	85 100.0	21 24.7	13 15.3	14 16.5	4 4.7	2 2.4	2 2.4	11 12.9	1 1.2	2 2.4	0 0.0	5 5.9	10 11.8
	20歳代	145 100.0	26 17.9	6 4.1	18 12.4	24 16.6	6 4.1	3 2.1	25 17.2	2 1.4	1 0.7	4 2.8	9 6.2	21 14.5
	30歳代	175 100.0	29 16.6	15 8.6	22 12.6	13 7.4	17 9.7	14 8.0	19 10.9	7 4.0	4 2.3	5 2.9	12 6.9	18 10.3
	40歳代	300 100.0	44 14.7	40 13.3	36 12.0	26 8.7	22 7.3	18 6.0	32 10.7	10 3.3	4 1.3	4 1.3	15 5.0	49 16.3
	50歳代	323 100.0	56 17.3	45 13.9	38 11.8	24 7.4	15 4.6	20 6.2	20 6.2	6 1.9	8 2.5	0 0.0	18 5.6	73 22.6
	60歳代	399 100.0	61 15.3	57 14.3	28 7.0	23 5.8	17 4.3	20 5.0	9 2.3	4 1.0	7 1.8	4 1.0	16 4.0	153 38.3
	70歳代以上	537 100.0	39 7.3	89 16.6	15 2.8	17 3.2	21 3.9	21 3.9	1 0.2	10 1.9	10 1.9	1 0.2	14 2.6	299 55.7
	女性	10歳代	94 100.0	23 24.5	5 5.3	22 23.4	9 9.6	2 2.1	2 2.1	17 18.1	0 0.0	0 0.0	1 1.1	4 4.3
20歳代		166 100.0	31 18.7	9 5.4	29 17.5	22 13.3	6 3.6	6 3.6	25 15.1	3 1.8	3 1.8	6 3.6	7 4.2	19 11.4
30歳代		352 100.0	68 19.3	21 6.0	44 12.5	23 6.5	36 10.2	28 8.0	27 7.7	11 3.1	5 1.4	23 6.5	21 6.0	45 12.8
40歳代		453 100.0	92 20.3	47 10.4	60 13.2	38 8.4	37 8.2	31 6.8	16 3.5	12 2.6	13 2.9	12 2.6	26 5.7	69 15.2
50歳代		494 100.0	113 22.9	58 11.7	52 10.5	47 9.5	40 8.1	32 6.5	9 1.8	9 1.8	4 0.8	1 0.2	31 6.3	98 19.8
60歳代		543 100.0	84 15.5	53 9.8	51 9.4	27 5.0	49 9.0	28 5.2	4 0.7	12 2.2	7 1.3	3 0.6	25 4.6	200 36.8
70歳代以上		796 100.0	64 8.0	63 7.9	28 3.5	29 3.6	44 5.5	45 5.7	2 0.3	15 1.9	2 0.3	2 0.3	19 2.4	483 60.7
世帯構成		単身世帯(一人暮らし)	541 100.0	66 12.2	48 8.9	33 6.1	24 4.4	45 8.3	32 5.9	22 4.1	12 2.2	6 1.1	1 0.2	26 4.8
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世帯)	1420 100.0	187 13.2	158 11.1	94 6.6	73 5.1	107 7.5	97 6.8	35 2.5	31 2.2	15 1.1	10 0.7	52 3.7	561 39.5
	親と子ども(二世帯)	2318 100.0	410 17.7	238 10.3	275 11.9	193 8.3	139 6.0	106 4.6	138 6.0	47 2.0	39 1.7	46 2.0	116 5.0	571 24.6
	親と子どもと孫など(三世帯)	499 100.0	78 15.6	70 14.0	44 8.8	31 6.2	19 3.8	29 5.8	19 3.8	11 2.2	7 1.4	9 1.8	20 4.0	162 32.5
	その他	103 100.0	12 11.7	5 4.9	10 9.7	7 6.8	6 5.8	6 5.8	2 1.9	0 0.0	4 3.9	0 0.0	9 8.7	42 40.8
居住年数	5年未満	202 100.0	27 13.4	7 3.5	25 12.4	10 5.0	26 12.9	30 14.9	21 10.4	2 1.0	2 1.0	12 5.9	10 5.0	30 14.9
	5年～10年未満	189 100.0	20 10.6	6 3.2	17 9.0	16 8.5	30 15.9	26 13.8	19 10.1	5 2.6	4 2.1	4 2.1	7 3.7	35 18.5
	10～20年未満	539 100.0	88 16.3	56 10.4	78 14.5	41 7.6	45 8.3	54 10.0	42 7.8	6 1.1	5 0.9	11 2.0	26 4.8	87 16.1
	20年以上	3969 100.0	619 15.6	454 11.4	339 8.5	260 6.6	215 5.4	160 4.0	133 3.4	89 2.2	61 1.5	38 1.0	180 4.5	1421 35.8

図表Ⅳ－ 9 項目別にみた引っ越したい地域を選んだ理由(姫路市外)

	調査数	まちなイメージ	海・山・川などの豊かな自然環境	日常生活（買い物・通院等）の利便性	公共交通（電車、バス等）の利便性	親族との同居・近居	出身地	通勤・通学の都合	魅力的な市区町村等の取組	住宅事情（広さ・価格等）	子育て（学校、保育所等）環境	その他	無回答	
全体	4980	762	530	463	329	319	273	218	102	73	66	223	1622	
	100.0	15.3	10.6	9.3	6.6	6.4	5.5	4.4	2.0	1.5	1.3	4.5	32.6	
引っ越したい地域（姫路市外）	加古川市	161	31	6	21	19	32	7	23	6	3	2	6	5
	100.0	19.3	3.7	13.0	11.8	19.9	4.3	14.3	3.7	1.9	1.2	3.7	3.1	
	高砂市	121	20	2	8	5	20	9	19	11	3	4	16	4
	100.0	16.5	1.7	6.6	4.1	16.5	7.4	15.7	9.1	2.5	3.3	13.2	3.3	
	加西市	39	8	9	6	0	5	3	1	0	2	0	1	4
	100.0	20.5	23.1	15.4	0.0	12.8	7.7	2.6	0.0	5.1	0.0	2.6	10.3	
	福崎町	100	11	14	35	2	10	5	6	2	3	5	5	2
	100.0	11.0	14.0	35.0	2.0	10.0	5.0	6.0	2.0	3.0	5.0	5.0	2.0	
	市川町	10	0	5	0	0	1	0	0	0	1	1	2	0
	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	0.0	
	神河町	41	1	31	0	0	3	2	0	3	0	0	0	1
	100.0	2.4	75.6	0.0	0.0	7.3	4.9	0.0	7.3	0.0	0.0	0.0	2.4	
	宍粟市	55	2	26	4	1	5	15	1	0	1	0	0	0
	100.0	3.6	47.3	7.3	1.8	9.1	27.3	1.8	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	
	たつの市	145	20	43	11	4	18	24	11	3	1	2	3	5
	100.0	13.8	29.7	7.6	2.8	12.4	16.6	7.6	2.1	0.7	1.4	2.1	3.4	
	太子町	153	21	5	41	10	19	9	8	5	19	5	4	7
	100.0	13.7	3.3	26.8	6.5	12.4	5.9	5.2	3.3	12.4	3.3	2.6	4.6	
	明石市	232	49	31	24	52	16	4	16	7	2	19	6	6
	100.0	21.1	13.4	10.3	22.4	6.9	1.7	6.9	3.0	0.9	8.2	2.6	2.6	
神戸市	938	394	35	180	142	40	29	51	19	3	5	20	20	
100.0	42.0	3.7	19.2	15.1	4.3	3.1	5.4	2.0	0.3	0.5	2.1	2.1		
その他兵庫県内	228	37	41	24	18	25	38	14	6	4	5	7	9	
100.0	16.2	18.0	10.5	7.9	11.0	16.7	6.1	2.6	1.8	2.2	3.1	3.9		
兵庫県外	695	102	143	52	45	87	94	40	24	11	12	55	30	
100.0	14.7	20.6	7.5	6.5	12.5	13.5	5.8	3.5	1.6	1.7	7.9	4.3		
該当なし	538	40	39	25	13	22	17	17	7	6	4	85	263	
100.0	7.4	7.2	4.6	2.4	4.1	3.2	3.2	1.3	1.1	0.7	15.8	48.9		

3. 市外在住者へ姫路を勧めるか

(1) 姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいと思いますか（問8）

■ 居住年数とのクロス集計

- ・ 居住年数が長いほど、「思う」の回答割合が高く、5年未満、5～10年未満の場合、「どちらとも言えない」の回答割合が全体より高くなっている。

■ 問1（愛着を感じるか）とのクロス集計

- ・ 「感じる」と回答した場合、姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいかについて「思う」の回答割合が高く、「どちらとも言えない」、「あまり思わない」の回答割合が全体より低くなっている。一方で、「やや感じる」と回答した場合には、「思う」の回答割合が低くなり、「どちらとも言えない」の回答割合が高くなっている。
- ・ 「あまり感じない」、また、「感じない」と回答した場合には、「あまり思わない」、「思わない」の回答割合が全体より高くなっている。

■ 問12-1（地域活動への参加）とのクロス集計

- ・ 地域活動に参加しているほど、姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいかについて「思う」の回答割合が全体より高く、まったく参加していない場合は、「思わない」の回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅳ－10 属性・項目別にみた姫路市内での居住を勧めたいか

		調査数	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない	無回答
全体		4980	818	1058	1670	749	344	341
		100.0	16.4	21.2	33.5	15.0	6.9	6.8
居住年数	5年未満	202	18	42	88	31	15	8
		100.0	8.9	20.8	43.6	15.3	7.4	4.0
	5年～10年未満	189	21	49	77	29	8	5
		100.0	11.1	25.9	40.7	15.3	4.2	2.6
	10～20年未満	539	79	145	168	93	37	17
	100.0	14.7	26.9	31.2	17.3	6.9	3.2	
	20年以上	3969	691	814	1316	577	276	295
		100.0	17.4	20.5	33.2	14.5	7.0	7.4
姫路への愛着	感じる	2720	725	651	756	274	114	200
		100.0	26.7	23.9	27.8	10.1	4.2	7.4
	やや感じる	1345	60	331	579	236	65	74
		100.0	4.5	24.6	43.0	17.5	4.8	5.5
	どちらとも言えない	433	10	44	206	95	48	30
	100.0	2.3	10.2	47.6	21.9	11.1	6.9	
	あまり感じない	300	6	14	90	118	59	13
		100.0	2.0	4.7	30.0	39.3	19.7	4.3
	感じない	82	3	0	9	14	52	4
		100.0	3.7	0.0	11.0	17.1	63.4	4.9
地域参加活動への	よく参加している	750	183	155	224	95	47	46
		100.0	24.4	20.7	29.9	12.7	6.3	6.1
	ときどき参加している	1735	311	416	567	243	90	108
		100.0	17.9	24.0	32.7	14.0	5.2	6.2
	あまり参加していない	1437	195	304	523	227	79	109
		100.0	13.6	21.2	36.4	15.8	5.5	7.6
	まったく参加していない	1000	123	177	342	178	125	55
		100.0	12.3	17.7	34.2	17.8	12.5	5.5

4. 地域活動について

(1) あなたにとって、他者との「つながり」を感じる場はどれですか（問 11）

■ 性別とのクロス集計

- ・ 男性では「お祭りや見回り等の地域の集まり」、「特にそういうものはない」の回答割合が女性より高く、女性では「近所の知人・友人の集まり」の回答割合が男性より特に高くなっている。

■ 世帯構成とのクロス集計

- ・ 単身世帯では「近所の知人・友人の集まり」、「仕事場や学校等での知人・友人の集まり」、「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」および「お祭りや見回り等の地域の集まり」の回答割合が全体より低く、「特にそういうものはない」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 一世代世帯では「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」、「趣味や遊び等のサークル」の回答割合が全体より高く、二世帯世帯では「仕事場や学校等での知人・友人の集まり」、三世帯世帯では「お祭りや見回り等の地域の集まり」の回答割合が全体より高くなっている。

■ 居住年数とのクロス集計

- ・ 居住年数が5年未満の場合は、「近所の知人・友人の集まり」の回答割合が全体より低く、「SNS（フェイスブックなど）」、「特にそういうものはない」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 5年未満、5～10年未満の場合、10～20年未満の場合、「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」の回答割合は全体より低く、5年未満、5～10年未満の場合では「お祭りや見回り等の地域の集まり」の回答割合が全体より低くなっている。また、5～10年未満、10～20年未満の場合、「子ども会やPTAの集まり」の回答割合が全体より高くなっている。

■ 住居形態とのクロス集計

- ・ 住居形態が、持家（マンション）、民間賃貸住宅の場合、全体より「近所の知人・友人の集まり」、「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」および「お祭りや見回り等の地域の集まり」の回答割合が低く、「特にそういうものはない」の回答割合が高くなっている。

■ 問 12-1（地域活動への参加）とのクロス集計

- ・ 地域活動に参加しているほど、「近所の知人・友人の集まり」、「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」および「お祭りや見回り等の地域の集まり」の回答割合が高くなっている。また、よく参加している場合、「ボランティア活動」の回答割合も全体より高くなっている。
- ・ 一方、まったく参加していない場合、「子ども会やPTAの集まり」の回答割合が高くなっている。

図表Ⅳ－ 11 属性・項目別にみた他者との「つながり」を感じる場（複数回答）

		調査数	近所の知人・友人の集まり	仕事場や学校等での知人・友人の集まり	自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等	趣味や遊び等のサークル	お祭りや見回り等の地域の集まり	子ども会やPTAの集まり	ボランティア活動	SNS（フェイスブックなど）	NPO活動	その他	特にそういうものはない	無回答
全体		4980 100.0	1982 39.8	1947 39.1	1811 36.4	1319 26.5	1313 26.4	456 9.2	381 7.7	311 6.2	39 0.8	72 1.4	615 12.3	89 1.8
性別	男性	1967 100.0	658 33.5	744 37.8	710 36.1	518 26.3	616 31.3	131 6.7	155 7.9	99 5.0	15 0.8	27 1.4	286 14.5	19 1.0
	女性	2901 100.0	1287 44.4	1180 40.7	1059 36.5	779 26.9	679 23.4	322 11.1	219 7.5	208 7.2	24 0.8	43 1.5	316 10.9	52 1.8
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	541 100.0	187 34.6	147 27.2	167 30.9	134 24.8	93 17.2	8 1.5	38 7.0	23 4.3	3 0.6	5 0.9	118 21.8	17 3.1
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世帯)	1420 100.0	563 39.6	434 30.6	614 43.2	459 32.3	335 23.6	62 4.4	139 9.8	65 4.6	14 1.0	20 1.4	179 12.6	18 1.3
	親と子ども(二世帯)	2318 100.0	962 41.5	1129 48.7	759 32.7	550 23.7	669 28.9	312 13.5	145 6.3	183 7.9	18 0.8	31 1.3	218 9.4	27 1.2
	親と子どもと孫など(三世帯)	499 100.0	215 43.1	186 37.3	197 39.5	137 27.5	171 34.3	64 12.8	44 8.8	27 5.4	4 0.8	11 2.2	62 12.4	4 0.8
	その他	103 100.0	26 25.2	30 29.1	37 35.9	21 20.4	25 24.3	6 5.8	9 8.7	6 5.8	0 0.0	1 1.0	24 23.3	8 7.8
居住年数	5年未満	202 100.0	53 26.2	93 46.0	31 15.3	41 20.3	37 18.3	17 8.4	13 6.4	30 14.9	2 1.0	2 1.0	40 19.8	3 1.5
	5年～10年未満	189 100.0	76 40.2	91 48.1	46 24.3	41 21.7	38 20.1	27 14.3	5 2.6	20 10.6	2 1.1	3 1.6	26 13.8	3 1.6
	10～20年未満	539 100.0	191 35.4	298 55.3	114 21.2	101 18.7	159 29.5	106 19.7	29 5.4	64 11.9	2 0.4	7 1.3	62 11.5	3 0.6
	20年以上	3969 100.0	1636 41.2	1451 36.6	1590 40.1	1120 28.2	1060 26.7	303 7.6	328 8.3	193 4.9	33 0.8	58 1.5	474 11.9	70 1.8
住居形態	持家(一戸建て)	3746 100.0	1584 42.3	1430 38.2	1546 41.3	1077 28.8	1066 28.5	363 9.7	315 8.4	210 5.6	30 0.8	52 1.4	391 10.4	54 1.4
	持家(マンション)	374 100.0	120 32.1	160 42.8	76 20.3	76 20.3	72 19.3	36 9.6	17 4.5	22 5.9	2 0.5	6 1.6	65 17.4	4 1.1
	民間賃貸住宅	547 100.0	169 30.9	267 48.8	96 17.6	119 21.8	103 18.8	38 6.9	31 5.7	61 11.2	5 0.9	7 1.3	97 17.7	11 2.0
	公営住宅	142 100.0	56 39.4	44 31.0	47 33.1	15 10.6	33 23.2	11 7.7	8 5.6	6 4.2	2 1.4	3 2.1	25 17.6	7 4.9
	社宅・官舎・寮など	47 100.0	18 38.3	23 48.9	8 17.0	10 21.3	11 23.4	5 10.6	3 6.4	6 12.8	0 0.0	0 0.0	8 17.0	1 2.1
	その他	41 100.0	9 22.0	8 19.5	10 24.4	4 9.8	10 24.4	0 0.0	3 7.3	2 4.9	0 0.0	2 4.9	13 31.7	3 7.3
地域活動状況への	よく参加している	750 100.0	396 52.8	290 38.7	504 67.2	243 32.4	463 61.7	14 1.9	143 19.1	110 14.7	31 4.1	12 1.6	6 0.8	3 0.4
	ときどき参加している	1735 100.0	840 48.4	710 40.9	865 49.9	523 30.1	592 34.1	67 3.9	219 12.6	163 9.4	100 5.8	19 1.1	19 1.1	11 0.6
	あまり参加していない	1437 100.0	529 36.8	575 40.0	347 24.1	386 26.9	204 14.2	192 13.4	77 5.4	81 5.6	96 6.7	18 1.3	12 0.8	14 1.0
	まったく参加していない	1000 100.0	210 21.0	367 36.7	86 8.6	165 16.5	51 5.1	340 34.0	16 1.6	25 2.5	83 8.3	23 2.3	2 0.2	20 2.0

(2) あなたは、地域活動（地域のお祭りや自治会での防犯活動など）に参加していますか（問 12 - 1）

- 性別とのクロス集計
 - ・ 性別による大きな差異はみられない。
- 世帯構成とのクロス集計
 - ・ 単身世帯では「よく参加している」、「ときどき参加している」の回答割合が低く、「まったく参加していない」の回答割合が高くなっている。三世代世帯において、「よく参加している」、「ときどき参加している」の回答割合がもっとも高くなっている。
- 居住年数とのクロス集計
 - ・ 居住年数が5年未満の場合、「よく参加している」、「ときどき参加している」の回答割合が低く、また5年未満、5～10年未満の場合、「まったく参加していない」の回答割合が全体より高くなっている。
- 住居形態とのクロス集計
 - ・ 住居形態が持家（一戸建て）の場合、持家（マンション）、民間賃貸住宅と比べて「よく参加している」の回答割合が高く、「まったく参加していない」の回答割合が低くなっている。

図表Ⅳ－12 属性別にみた地域活動に参加しているか

		調査数	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
全体		4980	750	1735	1437	1000	58
		100.0	15.1	34.8	28.9	20.1	1.2
性別	男性	1967	379	629	542	405	12
		100.0	19.3	32.0	27.6	20.6	0.6
性別	女性	2901	358	1071	867	571	34
		100.0	12.3	36.9	29.9	19.7	1.2
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	541	47	128	163	191	12
		100.0	8.7	23.7	30.1	35.3	2.2
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世代)	1420	217	512	421	256	14
		100.0	15.3	36.1	29.6	18.0	1.0
	親と子ども(二世帯)	2318	354	850	680	419	15
		100.0	15.3	36.7	29.3	18.1	0.6
世帯構成	親と子どもと孫など(三世帯)	499	100	186	131	79	3
		100.0	20.0	37.3	26.3	15.8	0.6
世帯構成	その他	103	12	32	24	31	4
		100.0	11.7	31.1	23.3	30.1	3.9
居住年数	5年未満	202	17	43	61	80	1
		100.0	8.4	21.3	30.2	39.6	0.5
	5年～10年未満	189	23	63	52	48	3
		100.0	12.2	33.3	27.5	25.4	1.6
居住年数	10～20年未満	539	102	180	134	122	1
		100.0	18.9	33.4	24.9	22.6	0.2
居住年数	20年以上	3969	595	1424	1173	734	43
		100.0	15.0	35.9	29.6	18.5	1.1
住居形態	持家(一戸建て)	3746	658	1412	1057	583	36
		100.0	17.6	37.7	28.2	15.6	1.0
	持家(マンション)	374	20	107	136	108	3
		100.0	5.3	28.6	36.4	28.9	0.8
	民間賃貸住宅	547	32	121	158	232	4
		100.0	5.9	22.1	28.9	42.4	0.7
	公営住宅	142	17	48	48	25	4
	100.0	12.0	33.8	33.8	17.6	2.8	
住居形態	社宅・官舎・寮など	47	6	12	10	18	1
		100.0	12.8	25.5	21.3	38.3	2.1
住居形態	その他	41	4	8	11	16	2
		100.0	9.8	19.5	26.8	39.0	4.9

(3) 問 12-1 で「1 よく参加している」、「2 ときどき参加している」と回答した方へ、参加している地域活動はなんですか（問 12 - 2）

■ 性別とのクロス集計

- ・ 男性では「防災活動」、「防犯活動」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 女性では「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」、「子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動」の回答割合が男性より高くなっている。

■ 世帯構成とのクロス集計

- ・ 単身世帯、一世代世帯では「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合が全体より低くなっているが、三世代世帯では高くなっている。また、一世代世帯では「環境美化や自然環境保護活動」の回答割合が全体より高くなっている。

■ 居住年数とのクロス集計

- ・ 居住年数が5年未満の場合、全体より「環境美化や自然環境保護活動」の回答割合は高く、「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合は低くなっている。一方、10～20年未満の場合、全体より「お祭りや運動会などの地域行事」、「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」の回答割合が高く、「環境美化や自然環境保護活動」、「防災活動」の回答割合が低くなっている。

■ 住居形態とのクロス集計

- ・ 持家（マンション）では「環境美化や自然環境保護活動」、「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」の回答割合が全体より低く、公営住宅では「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合が全体より低くなっている。

図表Ⅳ－13 属性別にみた参加している地域活動(複数回答)

		調査数	お祭りや運動会などの地域行事	環境美化や自然環境保護活動	防災活動	子ども安全パトロールなど学校の安全対策	子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動	人権教育・啓発活動	防犯活動	文化や芸術、教養などの普及活動	青少年の育成活動	観光に関するボランティア	その他	無回答
全体		2485 100.0	1962 79.0	977 39.3	475 19.1	427 17.2	271 10.9	248 10.0	210 8.5	192 7.7	39 1.6	22 0.9	91 3.7	49 2.0
性別	男性	1008 100.0	825 81.8	419 41.6	247 24.5	145 14.4	72 7.1	113 11.2	137 13.6	55 5.5	28 2.8	14 1.4	35 3.5	10 1.0
	女性	1429 100.0	1104 77.3	540 37.8	222 15.5	275 19.2	197 13.8	130 9.1	69 4.8	133 9.3	9 0.6	7 0.5	53 3.7	36 2.5
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	175 100.0	117 66.9	66 37.7	35 20.0	9 5.1	19 10.9	6 3.4	10 5.7	18 10.3	2 1.1	2 1.1	6 3.4	10 5.7
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世帯)	729 100.0	523 71.7	331 45.4	160 21.9	99 13.6	86 11.8	81 11.1	72 9.9	80 11.0	15 2.1	8 1.1	33 4.5	13 1.8
	親と子ども(二世帯)	1204 100.0	1008 83.7	439 36.5	195 16.2	239 19.9	119 9.9	120 10.0	98 8.1	64 5.3	17 1.4	10 0.8	39 3.2	20 1.7
	親と子どもと孫など(三世帯)	286 100.0	244 85.3	102 35.7	67 23.4	62 21.7	40 14.0	34 11.9	26 9.1	23 8.0	3 1.0	1 0.3	8 2.8	3 1.0
	その他	44 100.0	36 81.8	21 47.7	9 20.5	9 20.5	2 4.5	3 6.8	1 2.3	5 11.4	0 0.0	0 0.0	2 4.5	0 0.0
	居住年数	5年未満	60 100.0	44 73.3	29 48.3	7 11.7	9 15.0	4 6.7	1 1.7	3 5.0	1 1.7	0 0.0	0 0.0	1 1.7
	5年～10年未満	86 100.0	70 81.4	36 41.9	18 20.9	17 19.8	11 12.8	8 9.3	8 9.3	3 3.5	2 2.3	0 0.0	3 3.5	1 1.2
	10～20年未満	282 100.0	251 89.0	82 29.1	33 11.7	72 25.5	21 7.4	34 12.1	21 7.4	10 3.5	4 1.4	5 1.8	8 2.8	0 0.0
	20年以上	2019 100.0	1571 77.8	817 40.5	412 20.4	325 16.1	233 11.5	203 10.1	175 8.7	177 8.8	32 1.6	17 0.8	77 3.8	39 1.9
住居形態	持家(一戸建て)	2070 100.0	1645 79.5	845 40.8	415 20.0	365 17.6	239 11.5	231 11.2	177 8.6	174 8.4	30 1.4	20 1.0	74 3.6	36 1.7
	持家(マンション)	127 100.0	96 75.6	34 26.8	20 15.7	15 11.8	13 10.2	7 5.5	11 8.7	8 6.3	5 3.9	1 0.8	4 3.1	5 3.9
	民間賃貸住宅	153 100.0	124 81.0	55 35.9	22 14.4	26 17.0	9 5.9	4 2.6	13 8.5	7 4.6	2 1.3	1 0.7	8 5.2	1 0.7
	公営住宅	65 100.0	42 64.6	24 36.9	10 15.4	7 10.8	4 6.2	3 4.6	5 7.7	1 1.5	1 1.5	0 0.0	3 4.6	1 1.5
	社宅・官舎・寮など	18 100.0	16 88.9	5 27.8	1 5.6	7 38.9	2 11.1	1 5.6	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	12 100.0	12 100.0	1 8.3	1 8.3	2 16.7	2 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(4) 問 12-1 で「3 あまり参加していない」、「4 まったく参加していない」と回答した方へ、地域活動に参加しない理由はなんですか（問 12 - 3）

■ 性別とのクロス集計

- ・ 男性では「仕事で忙しい」の回答割合が高くなっている。
- ・ 女性では男性より「家事・育児・介護で忙しい」の回答割合が高くなっている。

■ 世帯構成とのクロス集計

- ・ 二世帯世帯では「仕事で忙しい」の回答割合が全体より高くなっているが、三世帯世帯では、全体より「仕事で忙しい」の回答割合は低く、「家事・育児・介護で忙しい」の回答割合が高くなっている。

■ 居住年数とのクロス集計

- ・ 居住年数が5年未満、10～20年未満の場合、「参加するメリットを感じない」の回答割合が全体より高く、5年未満、5～10年未満の場合、「参加の方法がわからない」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 5～10年未満の場合、「仕事で忙しい」、「家事・育児・介護で忙しい」の回答割合も全体より高くなっている。

■ 住居形態とのクロス集計

- ・ 持家（マンション）、民間賃貸住宅の場合、「仕事で忙しい」、「参加の方法がわからない」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 公営住宅では「役員などの負担が大きい」の回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅳ－14 属性別にみた地域活動に参加しない理由(複数回答)

		調査数	興味・関心がない	仕事で忙しい	参加するメリットを感じない	役員などの負担が大きい	参加の方法がわからない	家事・育児・介護で忙しい	無回答
全体		2437 100.0	988 40.5	865 35.5	543 22.3	436 17.9	330 13.5	309 12.7	204 8.4
性別	男性	947 100.0	402 42.4	400 42.2	242 25.6	175 18.5	128 13.5	65 6.9	52 5.5
	女性	1438 100.0	572 39.8	458 31.8	290 20.2	255 17.7	199 13.8	242 16.8	134 9.3
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	354 100.0	142 40.1	115 32.5	71 20.1	43 12.1	63 17.8	16 4.5	41 11.6
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世帯)	677 100.0	275 40.6	211 31.2	149 22.0	128 18.9	102 15.1	69 10.2	57 8.4
	親と子ども(二世帯)	1099 100.0	455 41.4	450 40.9	260 23.7	213 19.4	129 11.7	179 16.3	59 5.4
	親と子どもと孫など(三世帯)	210 100.0	81 38.6	64 30.5	45 21.4	38 18.1	21 10.0	38 18.1	23 11.0
	その他	55 100.0	27 49.1	17 30.9	13 23.6	10 18.2	11 20.0	4 7.3	7 12.7
	居住年数	5年未満	141 100.0	58 41.1	53 37.6	39 27.7	13 9.2	46 32.6	24 17.0
	5年～10年未満	100 100.0	43 43.0	47 47.0	21 21.0	17 17.0	24 24.0	24 24.0	4 4.0
	10～20年未満	256 100.0	114 44.5	99 38.7	75 29.3	47 18.4	38 14.8	34 13.3	11 4.3
	20年以上	1907 100.0	767 40.2	657 34.5	403 21.1	355 18.6	219 11.5	226 11.9	176 9.2
住居形態	持家(一戸建て)	1640 100.0	681 41.5	544 33.2	364 22.2	312 19.0	172 10.5	198 12.1	149 9.1
	持家(マンション)	244 100.0	89 36.5	105 43.0	59 24.2	36 14.8	45 18.4	27 11.1	11 4.5
	民間賃貸住宅	390 100.0	167 42.8	165 42.3	85 21.8	60 15.4	84 21.5	68 17.4	20 5.1
	公営住宅	73 100.0	20 27.4	25 34.2	16 21.9	18 24.7	9 12.3	8 11.0	9 12.3
	社宅・官舎・寮など	28 100.0	14 50.0	15 53.6	7 25.0	5 17.9	9 32.1	4 14.3	0 0.0
	その他	27 100.0	7 25.9	3 11.1	7 25.9	2 7.4	7 25.9	3 11.1	4 14.8

(5) 地域活動に今後、参加したいと思いますか（問 13）

- 性別とのクロス集計
 - ・ 性別による大きな差異はみられないが、男性の方が「参加したい」、「できるだけ参加したい」の回答割合がやや高くなっている。
- 世帯構成とのクロス集計
 - ・ 単身世帯では、全体より「できるだけ参加したい」の回答割合が低く、「あまり参加したくない」、「参加したくない」の回答割合が高くなっている。
- 居住年数とのクロス集計
 - ・ 居住年数が5年未満の場合、全体より「参加したくない」の回答割合が高く、「できるだけ参加したい」の回答割合が低くなっている。また5～10年未満の場合は、「どちらとも言えない」の回答割合が全体より高くなっている。
- 住居形態とのクロス集計
 - ・ 持家（マンション）の場合、「どちらとも言えない」の回答割合が、民間賃貸住宅の場合、「参加したくない」の回答割合が全体より高くなっている。
 - ・ 持家（一戸建て）の場合は、「参加したい」、「できるだけ参加したい」の回答割合が他の住居形態に比べて高くなっている。
- 問 12-1（地域活動への参加）とのクロス集計
 - ・ 現在、地域活動に「よく参加している」場合は「参加したい」の回答割合が全体より高く、「ときどき参加している」場合は「できるだけ参加したい」の回答割合が全体より高くなっている。
 - ・ 一方で、「まったく参加していない」場合は「参加したくない」の回答割合が高くなっている。

図表Ⅳ－15 属性・項目別にみた今後、地域活動に参加したいか

		調査数	参加したい	できるだけ参加したい	どちらとも言えない	あまり参加したくない	参加したくない	無回答
全体		4980	327	1642	1570	882	423	136
		100.0	6.6	33.0	31.5	17.7	8.5	2.7
性別	男性	1967	164	685	572	326	180	40
		100.0	8.3	34.8	29.1	16.6	9.2	2.0
性別	女性	2901	156	926	972	545	230	72
		100.0	5.4	31.9	33.5	18.8	7.9	2.5
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	541	26	142	152	117	78	26
		100.0	4.8	26.2	28.1	21.6	14.4	4.8
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世代)	1420	96	512	450	227	98	37
		100.0	6.8	36.1	31.7	16.0	6.9	2.6
	親と子ども(二世帯)	2318	149	732	785	436	181	35
		100.0	6.4	31.6	33.9	18.8	7.8	1.5
世帯構成	親と子どもと孫など(三世帯)	499	45	189	137	72	44	12
		100.0	9.0	37.9	27.5	14.4	8.8	2.4
世帯構成	その他	103	3	36	27	20	11	6
		100.0	2.9	35.0	26.2	19.4	10.7	5.8
居住年数	5年未満	202	9	53	70	41	28	1
		100.0	4.5	26.2	34.7	20.3	13.9	0.5
	5年～10年未満	189	13	56	70	27	22	1
		100.0	6.9	29.6	37.0	14.3	11.6	0.5
居住年数	10～20年未満	539	38	169	163	112	53	4
		100.0	7.1	31.4	30.2	20.8	9.8	0.7
居住年数	20年以上	3969	261	1341	1250	695	312	110
		100.0	6.6	33.8	31.5	17.5	7.9	2.8
住居形態	持家(一戸建て)	3746	276	1339	1155	627	252	97
		100.0	7.4	35.7	30.8	16.7	6.7	2.6
	持家(マンション)	374	16	91	139	77	46	5
		100.0	4.3	24.3	37.2	20.6	12.3	1.3
	民間賃貸住宅	547	21	131	187	114	87	7
		100.0	3.8	23.9	34.2	20.8	15.9	1.3
	公営住宅	142	6	38	47	30	16	5
	100.0	4.2	26.8	33.1	21.1	11.3	3.5	
住居形態	社宅・官舎・寮など	47	0	12	16	11	7	1
		100.0	0.0	25.5	34.0	23.4	14.9	2.1
住居形態	その他	41	2	9	8	13	5	4
		100.0	4.9	22.0	19.5	31.7	12.2	9.8
地域参加状況への	よく参加している	750	194	430	78	35	8	5
		100.0	25.9	57.3	10.4	4.7	1.1	0.7
	ときどき参加している	1735	86	890	543	159	25	32
		100.0	5.0	51.3	31.3	9.2	1.4	1.8
	あまり参加していない	1437	26	237	657	410	81	26
	100.0	1.8	16.5	45.7	28.5	5.6	1.8	
地域参加状況への	まったく参加していない	1000	17	77	288	271	306	41
		100.0	1.7	7.7	28.8	27.1	30.6	4.1

(6) 重要だと思ふ地域活動はなんですか（問 14）

■ 性別とのクロス集計

- ・ 男性では、全体より「子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動」の回答割合が低く、「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合がやや高くなっている。
- ・ 女性では、男性より「子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動」、「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」の回答割合が高くなっている。

■ 世帯構成とのクロス集計

- ・ 二世帯世帯では「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」、三世帯世帯では「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 単身世帯では「子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動」、「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」、「お祭りや運動会などの地域行事」などの回答割合が全体より低くなっている。

■ 居住年数とのクロス集計

- ・ 居住年数が5年未満、5～10年未満、10～20年未満の場合、「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 5年未満の場合、「防犯活動」の回答割合が高く、「子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動」、「お祭りや運動会などの地域行事」、「環境美化や自然環境保護活動」の回答割合が全体より低くなっている。10～20年未満では「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合が全体より高くなっている。

■ 住居形態とのクロス集計

- ・ 民間賃貸住宅の場合、「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 持家（マンション）、民間賃貸住宅、公営住宅の場合、「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合が全体より低くなっている。

■ 問 12-1（地域活動への参加）とのクロス集計

- ・ よく参加している場合、「防災活動」、「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」、「環境美化や自然環境保護活動」の回答割合が全体より高く、まったく参加していない場合、「防災活動」、「環境美化や自然環境保護活動」の回答割合が全体より低くなっている。また、地域活動に参加しているほど、「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合が高くなっている。
- ・ あまり参加していない、まったく参加していない場合においても、「子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動」、「防犯活動」の回答割合は全体と大きく変わらない。

■ 問 13（地域活動への今後の参加意向）とのクロス集計

- ・ 地域活動に今後「参加したい」と回答した場合、防犯活動を除いたすべての項目において全体よりも回答割合が高くなっている。また、「できるだけ参加したい」と回答した場合、「防災活動」、「お祭りや運動会などの地域行事」、「環境美化や自然環境保護活動」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 一方で、「あまり参加したくない」、「参加したくない」と回答した場合は、「防災活動」、「子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動」、「お祭りや運動会などの地域行事」および「環境美化や自然環境保護活動」の回答割合が全体より低くなっているが、「防犯活動」の回答割合は全体と大きく変わらない。

図表Ⅳ－16 属性・項目別にみた重要な地域活動(複数回答)

		調査数	防災活動	子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動	防犯活動	子ども安全パトロールなど学校の安全対策	お祭りや運動会などの地域行事	環境美化や自然環境保護活動	文化や芸術、教養などの普及活動	青少年の育成活動	人権教育・啓発活動	観光に関するボランティア	その他	無回答
全体		4980 100.0	2425 48.7	2247 45.1	2216 44.5	1993 40.0	1891 38.0	1774 35.6	726 14.6	609 12.2	420 8.4	345 6.9	89 1.8	249 5.0
性別	男性	1967 100.0	975 49.6	783 39.8	912 46.4	707 35.9	824 41.9	734 37.3	272 13.8	265 13.5	176 8.9	147 7.5	44 2.2	80 4.1
	女性	2901 100.0	1411 48.6	1428 49.2	1272 43.8	1259 43.4	1041 35.9	1005 34.6	444 15.3	336 11.6	236 8.1	193 6.7	43 1.5	141 4.9
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	541 100.0	249 46.0	215 39.7	227 42.0	152 28.1	134 24.8	159 29.4	73 13.5	48 8.9	38 7.0	46 8.5	15 2.8	59 10.9
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世帯)	1420 100.0	714 50.3	648 45.6	626 44.1	508 35.8	501 35.3	555 39.1	251 17.7	161 11.3	114 8.0	86 6.1	22 1.5	60 4.2
	親と子ども(二世帯)	2318 100.0	1143 49.3	1070 46.2	1063 45.9	1046 45.1	944 40.7	813 35.1	303 13.1	301 13.0	202 8.7	172 7.4	39 1.7	85 3.7
	親と子どもと孫など(三世帯)	499 100.0	236 47.3	248 49.7	228 45.7	223 44.7	243 48.7	185 37.1	81 16.2	72 14.4	47 9.4	29 5.8	4 0.8	15 3.0
	その他	103 100.0	47 45.6	39 37.9	39 37.9	37 35.9	35 34.0	34 33.0	13 12.6	20 19.4	10 9.7	7 6.8	6 5.8	5 4.9
	居住年数	5年未満	202 100.0	94 46.5	79 39.1	100 49.5	92 45.5	58 28.7	56 27.7	25 12.4	26 12.9	12 5.9	19 9.4	5 2.5
	5年～10年未満	189 100.0	94 49.7	93 49.2	85 45.0	104 55.0	75 39.7	64 33.9	35 18.5	32 16.9	16 8.5	16 8.5	4 2.1	4 2.1
	10～20年未満	539 100.0	256 47.5	244 45.3	244 45.3	263 48.8	233 43.2	186 34.5	64 11.9	77 14.3	62 11.5	42 7.8	10 1.9	14 2.6
	20年以上	3969 100.0	1959 49.4	1806 45.5	1764 44.4	1515 38.2	1498 37.7	1447 36.5	597 15.0	468 11.8	324 8.2	264 6.7	70 1.8	199 5.0
住居形態	持家(一戸建て)	3746 100.0	1849 49.4	1705 45.5	1658 44.3	1466 39.1	1499 40.0	1392 37.2	563 15.0	458 12.2	312 8.3	236 6.3	56 1.5	160 4.3
	持家(マンション)	374 100.0	191 51.1	154 41.2	171 45.7	145 38.8	117 31.3	123 32.9	69 18.4	48 12.8	39 10.4	42 11.2	8 2.1	18 4.8
	民間賃貸住宅	547 100.0	265 48.4	273 49.9	266 48.6	256 46.8	168 30.7	172 31.4	66 12.1	74 13.5	47 8.6	50 9.1	18 3.3	26 4.8
	公営住宅	142 100.0	63 44.4	59 41.5	64 45.1	62 43.7	46 32.4	41 28.9	15 10.6	11 7.7	10 7.0	6 4.2	4 2.8	10 7.0
	社宅・官舎・寮など	47 100.0	20 42.6	16 34.0	21 44.7	29 61.7	18 38.3	14 29.8	5 10.6	8 17.0	4 8.5	3 6.4	2 4.3	2 4.3
	その他	41 100.0	11 26.8	15 36.6	10 24.4	11 26.8	14 34.1	11 26.8	4 9.8	4 9.8	3 7.3	4 9.8	1 2.4	8 19.5
	地域活動への参加状況	よく参加している	750 100.0	407 54.3	367 48.9	360 48.0	357 47.6	508 67.7	343 45.7	118 15.7	143 19.1	91 12.1	50 6.7	14 1.9
ときどき参加している		1735 100.0	871 50.2	765 44.1	756 43.6	739 42.6	831 47.9	704 40.6	269 15.5	200 11.5	145 8.4	108 6.2	18 1.0	48 2.8
あまり参加していない		1437 100.0	716 49.8	651 45.3	659 45.9	537 37.4	352 24.5	458 31.9	210 14.6	162 11.3	113 7.9	100 7.0	20 1.4	66 4.6
まったく参加していない		1000 100.0	423 42.3	447 44.7	435 43.5	352 35.2	187 18.7	263 26.3	128 12.8	100 10.0	69 6.9	85 8.5	36 3.6	89 8.9
今後、地域活動に		参加したい	327 100.0	184 56.3	175 53.5	159 48.6	153 46.8	232 70.9	167 51.1	82 25.1	72 22.0	55 16.8	41 12.5	5 1.5
できるだけ参加したい	1642 100.0	896 54.6	806 49.1	757 46.1	738 44.9	954 58.1	750 45.7	284 17.3	235 14.3	161 9.8	127 7.7	22 1.3	17 1.0	
どちらとも言えない	1570 100.0	778 49.6	724 46.1	721 45.9	626 39.9	469 29.9	519 33.1	208 13.2	208 10.8	170 7.4	116 6.0	94 0.9	14 0.9	52 3.3
あまり参加したくない	882 100.0	383 43.4	350 39.7	387 43.9	335 38.0	174 19.7	235 26.6	105 11.9	87 9.9	58 6.6	51 5.8	20 2.3	48 5.4	
参加したくない	423 100.0	165 39.0	163 38.5	174 41.1	129 30.5	45 10.6	86 20.3	40 9.5	38 9.0	25 5.9	29 6.9	26 6.1	38 9.0	

(7) 総合的にみて今の姫路市における生活に満足していますか（問 10）

■ 性別・年齢とのクロス集計

- ・ 男性の 40 歳代、女性の 20 歳代で「やや不満」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 女性の 10 歳代から 50 歳代では、男性より「満足」の回答割合が低くなっている。

■ 居住年数とのクロス集計

- ・ 居住年数が 5 年未満の場合、全体より「満足」の回答割合が低く、「どちらとも言えない」や「やや不満」の回答割合がやや高くなっている。

■ 問 11（他者とのつながりを感じる場）とのクロス集計

- ・ 他者とのつながりを感じる場として、「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」、「お祭りや見回り等の地域の集まり」、「近所の知人・友人の集まり」、「子ども会や PTA の集まり」と回答した場合、「満足」、「やや満足」の回答割合が高くなっている。（「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」64.6%・「お祭りや見回り等の地域の集まり」64.5%・「近所の知人・友人の集まり」64.3%・「子ども会や PTA の集まり」66.0%）
- ・ 一方で、「SNS（フェイスブックなど）」と回答した場合、「やや不満」（19.0%）の回答割合が全体より高く、「特にそういうものはない」と回答した場合、「不満」（7.8%）の回答割合が全体より高くなっている。

■ 問 12-1（地域活動への参加）とのクロス集計

- ・ 地域活動に「よく参加している」場合、「満足」（16.9%）の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 地域活動に「まったく参加していない」場合、全体より「やや満足」（37.8%）の回答割合が低く、「どちらとも言えない」（30.3%）の回答割合が高くなっている。

図表Ⅳ－ 17 属性別にみた姫路市における生活に満足しているか

		調査数	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	無回答
全体		4980	617	2280	1203	612	136	132
		100.0	12.4	45.8	24.2	12.3	2.7	2.7
男性	10歳代	85	21	37	18	8	1	0
		100.0	24.7	43.5	21.2	9.4	1.2	0.0
	20歳代	145	19	62	37	19	6	2
		100.0	13.1	42.8	25.5	13.1	4.1	1.4
	30歳代	175	25	78	31	29	10	2
		100.0	14.3	44.6	17.7	16.6	5.7	1.1
	40歳代	300	40	130	61	57	11	1
		100.0	13.3	43.3	20.3	19.0	3.7	0.3
50歳代	323	43	146	79	40	11	4	
	100.0	13.3	45.2	24.5	12.4	3.4	1.2	
60歳代	399	36	183	101	63	10	6	
	100.0	9.0	45.9	25.3	15.8	2.5	1.5	
70歳代以上	537	76	260	128	46	13	14	
	100.0	14.2	48.4	23.8	8.6	2.4	2.6	
女性	10歳代	94	18	44	14	13	2	3
		100.0	19.1	46.8	14.9	13.8	2.1	3.2
	20歳代	166	20	74	37	29	2	4
		100.0	12.0	44.6	22.3	17.5	1.2	2.4
	30歳代	352	38	162	72	58	13	9
		100.0	10.8	46.0	20.5	16.5	3.7	2.6
	40歳代	453	43	211	122	53	16	8
		100.0	9.5	46.6	26.9	11.7	3.5	1.8
50歳代	494	48	249	130	51	8	8	
	100.0	9.7	50.4	26.3	10.3	1.6	1.6	
60歳代	543	47	253	161	56	16	10	
	100.0	8.7	46.6	29.7	10.3	2.9	1.8	
70歳代以上	796	132	355	183	78	13	35	
	100.0	16.6	44.6	23.0	9.8	1.6	4.4	
居住年数	5年未満	202	13	84	56	34	7	8
		100.0	6.4	41.6	27.7	16.8	3.5	4.0
	5年～10年未満	189	19	83	45	29	7	6
		100.0	10.1	43.9	23.8	15.3	3.7	3.2
	10～20年未満	539	78	228	138	71	18	6
	100.0	14.5	42.3	25.6	13.2	3.3	1.1	
20年以上	3969	499	1861	946	470	98	95	
	100.0	12.6	46.9	23.8	11.8	2.5	2.4	

図表Ⅳ－ 18 項目別にみた姫路市における生活に満足しているか

		調査数	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	無回答
全体		4980	617	2280	1203	612	136	132
		100.0	12.4	45.8	24.2	12.3	2.7	2.7
他者との「つながり」を感じる場	自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等	1811	267	903	370	203	31	37
		100.0	14.7	49.9	20.4	11.2	1.7	2.0
	お祭りや見回り等の地域の集まり	1313	197	650	256	162	22	26
		100.0	15.0	49.5	19.5	12.3	1.7	2.0
	近所の知人・友人の集まり	1982	279	994	444	208	32	25
		100.0	14.1	50.2	22.4	10.5	1.6	1.3
	仕事場や学校等での知人・友人の集まり	1947	238	957	436	246	47	23
		100.0	12.2	49.2	22.4	12.6	2.4	1.2
	趣味や遊び等のサークル	1319	149	637	284	190	31	28
		100.0	11.3	48.3	21.5	14.4	2.4	2.1
	子ども会やPTAの集まり	456	64	237	86	54	9	6
		100.0	14.0	52.0	18.9	11.8	2.0	1.3
	NPO活動	39	4	19	7	6	1	2
	100.0	10.3	48.7	17.9	15.4	2.6	5.1	
ボランティア活動	381	48	184	71	60	10	8	
	100.0	12.6	48.3	18.6	15.7	2.6	2.1	
SNS(フェイスブックなど)	311	32	137	66	59	12	5	
	100.0	10.3	44.1	21.2	19.0	3.9	1.6	
その他	72	10	35	14	9	2	2	
	100.0	13.9	48.6	19.4	12.5	2.8	2.8	
特にそういうものはない	615	60	207	206	82	48	12	
	100.0	9.8	33.7	33.5	13.3	7.8	2.0	
地域参加活動への	よく参加している	750	127	340	137	102	27	17
		100.0	16.9	45.3	18.3	13.6	3.6	2.3
	ときどき参加している	1735	214	882	380	198	21	40
		100.0	12.3	50.8	21.9	11.4	1.2	2.3
	あまり参加していない	1437	159	670	374	185	26	23
	100.0	11.1	46.6	26.0	12.9	1.8	1.6	
まったく参加していない	1000	112	378	303	127	61	19	
	100.0	11.2	37.8	30.3	12.7	6.1	1.9	

5. 若者への魅力向上のための取組について

(1) 姫路市が若者にとって魅力的なまちになるために、重要だと思うことはなんですか（問 15 - 1）

- 性別・年齢とのクロス集計
 - ・ 男性の 20 歳代では「充実した教育・子育て環境」の回答割合が全体より低くなっている一方で、女性の 20 歳代から 40 歳代では「充実した教育・子育て環境」の回答割合は全体より高くなっている。
 - ・ 男性の 50 歳代では「充実した医療・福祉」の回答割合が全体より低くなっているが、女性の 50 歳代では回答割合が全体より高くなっている。
 - ・ 男性では、女性より「特色ある農林水産業や伝統的な地場産業」の回答割合が高くなっている。
- 職業とのクロス集計
 - ・ 自営業（商工サービス、自由業等）、臨時、パートの場合、「起業家支援、魅力ある雇用」の回答割合が全体より高くなっている。また、農林漁業、その他家族従事者の場合、「特色ある農林水産業や伝統的な地場産業」の回答割合が全体より高くなっている。
 - ・ また、家事専業においては、「充実した医療・福祉」、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が全体より高くなっており、臨時、パートでは「ワーク・ライフ・バランス」の回答割合も全体より高くなっている。
- 居住年数とのクロス集計
 - ・ 居住年数が 5 年未満、5～10 年未満、10～20 年未満の場合、「にぎやかな中心市街地」の回答割合が全体より高くなっている。また、5 年未満の場合は「東京など大都市と比べ安い生活費」の回答割合が、5～10 年未満の場合は「多くの集客が見込まれるイベント」、「便利な公共交通」、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が全体より高くなっている。5 年未満、5～10 年未満の場合、「特色ある農林水産業や伝統的な地場産業」の回答割合が全体より低くなっている。
- 問 1（愛着を感じるか）とのクロス集計
 - ・ 姫路への愛着を「感じない」と回答した場合、「起業家支援、魅力ある雇用」、「多くの集客が見込まれるイベント」、「東京など大都市と比べ安い生活費」、「充実した医療・福祉」、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が全体より低くなっている。
- 問 8（姫路市内での居住を勧めたいか）とのクロス集計
 - ・ 姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいかについて「思う」と回答した場合、「起業家支援、魅力ある雇用」の回答割合が全体より高く、「やや思う」と回答した場合、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が全体より高くなっている。一方、「思わない」と回答した場合、「便利な公共交通」、「充実した教育・子育て環境」、「起業家支援、魅力ある雇用」などの回答割合が全体より低くなっている。
- 問 14（重要だと思う地域活動）とのクロス集計
 - ・ 重要だと思う地域活動として、「人権教育・啓発活動」、「青少年の育成活動」と回答した場合、「充実した医療・福祉」、「充実した教育・子育て環境」、「起業家支援、魅力ある雇用」および「若者のまちづくりへの参画」の回答割合が高くなっている。

- ・ 重要だと思ふ地域活動として、「観光に関するボランティア」と回答した場合、「多くの集客が見込まれるイベント」、「外国人を対象にした観光戦略」、「便利な公共交通」の回答割合が高くなっている。
- 問 18（アピールすべき姫路の魅力）とのクロス集計
 - ・ アピールすべき姫路の魅力として、全体より「大規模工場・先端技術などの産業力」と回答した場合は「起業家支援、魅力ある雇用」の回答割合が、「地場の農産物や魚介類など食の豊富さ」と回答した場合は「特色ある農林水産業や伝統的な地場産業」の回答割合が高くなっている。
- 問 19（行政サービス水準と市民負担）とのクロス集計
 - ・ 「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」と回答した場合、「外国人を対象にした観光戦略」、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅳ－19 属性にみた若者にとって魅力的なまちになるために重要なこと(複数回答)

		調査数	起業家支援、魅力ある雇用	特色ある農林水産業や伝統的な地場産業	多くの集客が見込まれるイベント	外国人を対象にした観光戦略	スポーツなどによる健康づくり	ワーク・ライフ・バランス	若者のまちづくりへの参画	東京など大都市と比べ安い生活費	にぎやかな中心市街地	便利な公共交通	充実した医療・福祉	充実した教育・子育て環境	その他	無回答
全体		4980	2038	1174	1417	614	836	1078	1207	1678	1215	2742	3070	2797	138	145
		100.0	40.9	23.6	28.5	12.3	16.8	21.6	24.2	33.7	24.4	55.1	61.6	56.2	2.8	2.9
男性	10歳代	85	32	11	37	14	18	14	16	35	43	44	36	40	4	0
		100.0	37.6	12.9	43.5	16.5	21.2	16.5	18.8	41.2	50.6	51.8	42.4	47.1	4.7	0.0
	20歳代	145	64	33	61	25	25	40	36	65	54	90	65	73	6	0
		100.0	44.1	22.8	42.1	17.2	17.2	27.6	24.8	44.8	37.2	62.1	44.8	50.3	4.1	0.0
	30歳代	175	65	34	48	26	23	50	36	60	54	101	89	121	10	2
		100.0	37.1	19.4	27.4	14.9	13.1	28.6	20.6	34.3	30.9	57.7	50.9	69.1	5.7	1.1
	40歳代	300	119	69	107	54	43	84	64	116	102	183	172	166	16	1
		100.0	39.7	23.0	35.7	18.0	14.3	28.0	21.3	38.7	34.0	61.0	57.3	55.3	5.3	0.3
50歳代	323	139	71	98	44	48	82	63	106	91	179	171	166	9	7	
	100.0	43.0	22.0	30.3	13.6	14.9	25.4	19.5	32.8	28.2	55.4	52.9	51.4	2.8	2.2	
60歳代	399	157	118	99	51	71	83	99	118	90	203	263	241	7	8	
	100.0	39.3	29.6	24.8	12.8	17.8	20.8	24.8	29.6	22.6	50.9	65.9	60.4	1.8	2.0	
70歳代以上	537	214	178	123	74	123	62	153	153	105	257	347	239	20	28	
	100.0	39.9	33.1	22.9	13.8	22.9	11.5	28.5	28.5	19.6	47.9	64.6	44.5	3.7	5.2	
女性	10歳代	94	26	10	39	17	16	19	24	45	46	57	42	34	2	1
		100.0	27.7	10.6	41.5	18.1	17.0	20.2	25.5	47.9	48.9	60.6	44.7	36.2	2.1	1.1
	20歳代	166	60	21	74	29	17	51	41	70	67	113	93	118	3	0
		100.0	36.1	12.7	44.6	17.5	10.2	30.7	24.7	42.2	40.4	68.1	56.0	71.1	1.8	0.0
	30歳代	352	136	62	128	51	44	103	79	127	102	199	232	272	8	2
		100.0	38.6	17.6	36.4	14.5	12.5	29.3	22.4	36.1	29.0	56.5	65.9	77.3	2.3	0.6
	40歳代	453	194	100	137	51	63	130	79	165	111	269	289	302	17	2
		100.0	42.8	22.1	30.2	11.3	13.9	28.7	17.4	36.4	24.5	59.4	63.8	66.7	3.8	0.4
50歳代	494	226	116	139	58	74	152	117	174	118	286	344	298	13	3	
	100.0	45.7	23.5	28.1	11.7	15.0	30.8	23.7	35.2	23.9	57.9	69.6	60.3	2.6	0.6	
60歳代	543	252	131	128	39	83	102	154	168	100	316	363	335	8	12	
	100.0	46.4	24.1	23.6	7.2	15.3	18.8	28.4	30.9	18.4	58.2	66.9	61.7	1.5	2.2	
70歳代以上	796	325	202	180	69	167	85	230	245	113	399	508	353	13	54	
	100.0	40.8	25.4	22.6	8.7	21.0	10.7	28.9	30.8	14.2	50.1	63.8	44.3	1.6	6.8	
職業	農林漁業、その他家族従事者	34	15	19	7	7	9	2	17	10	4	13	21	17	0	0
		100.0	44.1	55.9	20.6	20.6	26.5	5.9	50.0	29.4	11.8	38.2	61.8	50.0	0.0	0.0
	自営業 (商工サービス、自由業等)	331	169	82	94	57	49	59	77	113	74	160	197	189	14	6
		100.0	51.1	24.8	28.4	17.2	14.8	17.8	23.3	34.1	22.4	48.3	59.5	57.1	4.2	1.8
	会社、官公署などに勤務 (臨時、パート除く)	1359	537	291	448	202	201	375	287	481	402	812	776	823	46	9
		100.0	39.5	21.4	33.0	14.9	14.8	27.6	21.1	35.4	29.6	59.7	57.1	60.6	3.4	0.7
	臨時、パート	862	405	181	252	87	133	240	201	283	211	495	562	553	17	9
		100.0	47.0	21.0	29.2	10.1	15.4	27.8	23.3	32.8	24.5	57.4	65.2	64.2	2.0	1.0
	家事専業	661	289	182	193	64	113	132	192	251	150	382	453	422	12	12
		100.0	43.7	27.5	29.2	9.7	17.1	20.0	29.0	38.0	22.7	57.8	68.5	63.8	1.8	1.8
	学生(大学、専門学校等)	101	37	17	50	23	17	29	31	41	49	56	47	47	3	1
		100.0	36.6	16.8	49.5	22.8	16.8	28.7	30.7	40.6	48.5	55.4	46.5	46.5	3.0	1.0
中学生、高校生	125	39	14	50	17	24	22	26	57	64	74	50	53	5	0	
	100.0	31.2	11.2	40.0	13.6	19.2	17.6	20.8	45.6	51.2	59.2	40.0	42.4	4.0	0.0	
無職	1270	470	336	272	134	251	180	325	380	217	642	833	594	33	68	
	100.0	37.0	26.5	21.4	10.6	19.8	14.2	25.6	29.9	17.1	50.6	65.6	46.8	2.6	5.4	
その他	112	44	26	31	15	17	24	28	36	22	64	75	62	7	4	
	100.0	39.3	23.2	27.7	13.4	15.2	21.4	25.0	32.1	19.6	57.1	67.0	55.4	6.3	3.6	
居住年数	5年未満	202	76	36	64	34	26	36	38	86	69	115	105	114	6	4
		100.0	37.6	17.8	31.7	16.8	12.9	17.8	18.8	42.6	34.2	56.9	52.0	56.4	3.0	2.0
	5年～10年未満	189	71	35	65	29	28	47	46	71	64	116	102	125	7	1
		100.0	37.6	18.5	34.4	15.3	14.8	24.9	24.3	37.6	33.9	61.4	54.0	66.1	3.7	0.5
	10～20年未満	539	202	105	166	79	88	123	128	205	175	295	293	308	17	3
	100.0	37.5	19.5	30.8	14.7	16.3	22.8	23.7	38.0	32.5	54.7	54.4	57.1	3.2	0.6	
20年以上	3969	1667	982	1108	465	678	860	984	1293	891	2184	2536	2226	105	115	
	100.0	42.0	24.7	27.9	11.7	17.1	21.7	24.8	32.6	22.4	55.0	63.9	56.1	2.6	2.9	

図表Ⅳ－ 20 項目別にみた若者にとって魅力的なまちになるために重要なこと(複数回答)①

		調査数	起業家支援、魅力ある雇用	特色ある農林水産業や伝統的な地場産業	多くの集客が見込まれるイベント	外国人を対象にした観光戦略	スポーツなどによる健康づくり	ワーク・ライフ・バランス	若者のまちづくりへの参画	東京など大都市と比べ安い生活費	にぎやかな中心市街地	便利な公共交通	充実した医療・福祉	充実した教育・子育て環境	その他	無回答
全体		4980	2038	1174	1417	614	836	1078	1207	1678	1215	2742	3070	2797	138	145
		100.0	40.9	23.6	28.5	12.3	16.8	21.6	24.2	33.7	24.4	55.1	61.6	56.2	2.8	2.9
姫路への愛着	感じる	2720	1176	711	866	377	522	552	711	926	713	1486	1712	1551	70	65
		100.0	43.2	26.1	31.8	13.9	19.2	20.3	26.1	34.0	26.2	54.6	62.9	57.0	2.6	2.4
	やや感じる	1345	533	298	361	152	202	324	318	481	310	752	831	792	29	27
		100.0	39.6	22.2	26.8	11.3	15.0	24.1	23.6	35.8	23.0	55.9	61.8	58.9	2.2	2.0
	どちらとも言えない	433	144	74	94	40	47	110	91	134	90	250	249	222	18	24
		100.0	33.3	17.1	21.7	9.2	10.9	25.4	21.0	30.9	20.8	57.7	57.5	51.3	4.2	5.5
あまり感じない	300	120	49	60	28	40	61	51	93	64	169	180	156	15	10	
	100.0	40.0	16.3	20.0	9.3	13.3	20.3	17.0	31.0	21.3	56.3	60.0	52.0	5.0	3.3	
感じない	82	28	20	17	7	10	18	18	21	19	45	45	34	4	5	
	100.0	34.1	24.4	20.7	8.5	12.2	22.0	22.0	25.6	23.2	54.9	54.9	41.5	4.9	6.1	
居住 姫路を勧めたいのか	思う	818	382	230	263	135	174	173	237	310	231	427	515	463	26	14
		100.0	46.7	28.1	32.2	16.5	21.3	21.1	29.0	37.9	28.2	52.2	63.0	56.6	3.2	1.7
	やや思う	1058	456	261	347	136	167	248	267	377	285	606	666	654	25	10
		100.0	43.1	24.7	32.8	12.9	15.8	23.4	25.2	35.6	26.9	57.3	62.9	61.8	2.4	0.9
	どちらとも言えない	1670	696	390	477	179	261	373	407	565	396	948	1041	983	38	37
		100.0	41.7	23.4	28.6	10.7	15.6	22.3	24.4	33.8	23.7	56.8	62.3	58.9	2.3	2.2
あまり思わない	749	281	163	195	89	127	173	170	246	186	434	442	407	31	14	
	100.0	37.5	21.8	26.0	11.9	17.0	23.1	22.7	32.8	24.8	57.9	59.0	54.3	4.1	1.9	
思わない	344	119	61	63	37	42	63	56	94	67	167	198	154	15	21	
	100.0	34.6	17.7	18.3	10.8	12.2	18.3	16.3	27.3	19.5	48.5	57.6	44.8	4.4	6.1	
重要な地域活動	お祭りや運動会などの地域行事	1891	872	559	709	267	445	447	563	684	560	1074	1200	1179	52	21
		100.0	46.1	29.6	37.5	14.1	23.5	23.6	29.8	36.2	29.6	56.8	63.5	62.3	2.7	1.1
	環境美化や自然環境保護活動	1774	902	634	583	285	415	505	574	645	472	1077	1236	1155	48	13
		100.0	50.8	35.7	32.9	16.1	23.4	28.5	32.4	36.4	26.6	60.7	69.7	65.1	2.7	0.7
	防災活動	2425	1145	717	738	333	472	653	722	875	635	1479	1725	1548	64	17
		100.0	47.2	29.6	30.4	13.7	19.5	26.9	29.8	36.1	26.2	61.0	71.1	63.8	2.6	0.7
	防犯活動	2216	1027	638	732	315	438	572	628	843	620	1402	1553	1405	60	13
		100.0	46.3	28.8	33.0	14.2	19.8	25.8	28.3	38.0	28.0	63.3	70.1	63.4	2.7	0.6
	人権教育・啓発活動	420	242	165	168	99	138	146	191	187	126	272	330	324	13	3
		100.0	57.6	39.3	40.0	23.6	32.9	34.8	45.5	44.5	30.0	64.8	78.6	77.1	3.1	0.7
	子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動	2247	1063	611	679	315	439	579	678	851	543	1345	1605	1535	60	15
		100.0	47.3	27.2	30.2	14.0	19.5	25.8	30.2	37.9	24.2	59.9	71.4	68.3	2.7	0.7
	子ども安全パトロールなど学校の安全対策	1993	909	565	673	298	413	550	614	799	568	1204	1375	1443	48	10
		100.0	45.6	28.3	33.8	15.0	20.7	27.6	30.8	40.1	28.5	60.4	69.0	72.4	2.4	0.5
	観光に関するボランティア	345	180	119	196	151	95	119	137	149	134	227	227	231	13	0
	100.0	52.2	34.5	56.8	43.8	27.5	34.5	39.7	43.2	38.8	65.8	65.8	67.0	3.8	0.0	
青少年の育成活動	609	353	240	203	114	179	211	286	242	175	372	437	480	21	3	
	100.0	58.0	39.4	33.3	18.7	29.4	34.6	47.0	39.7	28.7	61.1	71.8	78.8	3.4	0.5	
文化や芸術、教養などの普及活動	726	380	280	288	139	215	222	275	287	222	467	530	487	31	2	
	100.0	52.3	38.6	39.7	19.1	29.6	30.6	37.9	39.5	30.6	64.3	73.0	67.1	4.3	0.3	
その他	89	29	17	18	8	17	17	14	25	16	44	41	38	27	2	
	100.0	32.6	19.1	20.2	9.0	19.1	19.1	15.7	28.1	18.0	49.4	46.1	42.7	30.3	2.2	

図表Ⅳ－21 項目別にみた若者にとって魅力的なまちになるために重要なこと(複数回答)②

	調査数	起業家支援、魅力ある雇用	特色ある農林水産業や伝統的な地場産業	多くの集客が見込まれるイベント	外国人を対象にした観光戦略	スポーツなどによる健康づくり	ワーク・ライフ・バランス	若者のまちづくりへの参画	東京など大都市と比べ安い生活費	にぎやかな中心市街地	便利な公共交通	充実した医療・福祉	充実した教育・子育て環境	その他	無回答	
全体	4980	2038	1174	1417	614	836	1078	1207	1678	1215	2742	3070	2797	138	145	
	100.0	40.9	23.6	28.5	12.3	16.8	21.6	24.2	33.7	24.4	55.1	61.6	56.2	2.8	2.9	
アピールするべき姫路の魅力	50万人を超える人口規模	427	204	153	176	91	110	117	150	189	153	236	288	243	14	4
		100.0	47.8	35.8	41.2	21.3	25.8	27.4	35.1	44.3	35.8	55.3	67.4	56.9	3.3	0.9
	新幹線や道路網などの交通環境	1369	686	424	499	230	282	392	377	585	427	881	944	898	36	7
		100.0	50.1	31.0	36.4	16.8	20.6	28.6	27.5	42.7	31.2	64.4	69.0	65.6	2.6	0.5
	姫路城などの歴史遺産	3903	1691	978	1231	538	689	906	1007	1375	1049	2242	2501	2338	92	42
		100.0	43.3	25.1	31.5	13.8	17.7	23.2	25.8	35.2	26.9	57.4	64.1	59.9	2.4	1.1
	海・山・川など豊かな自然	1481	720	527	481	232	332	397	502	538	389	876	1007	964	48	16
		100.0	48.6	35.6	32.5	15.7	22.4	26.8	33.9	36.3	26.3	59.1	68.0	65.1	3.2	1.1
	駅や道路など整備された街並み	689	318	189	272	134	199	164	226	295	212	438	485	402	17	6
		100.0	46.2	27.4	39.5	19.4	28.9	23.8	32.8	42.8	30.8	63.6	70.4	58.3	2.5	0.9
	大規模工場・先端技術などの産業力	466	278	176	172	99	112	127	163	203	143	289	314	313	15	1
		100.0	59.7	37.8	36.9	21.2	24.0	27.3	35.0	43.6	30.7	62.0	67.4	67.2	3.2	0.2
	地場の農産物や魚介類など食の豊富さ	1222	618	515	426	205	268	343	408	474	332	717	824	790	38	6
		100.0	50.6	42.1	34.9	16.8	21.9	28.1	33.4	38.8	27.2	58.7	67.4	64.6	3.1	0.5
	秋祭りなどの伝統行事	2070	931	558	749	287	448	494	619	750	576	1199	1359	1274	44	22
		100.0	45.0	27.0	36.2	13.9	21.6	23.9	29.9	36.2	27.8	57.9	65.7	61.5	2.1	1.1
	人情味ある土地柄	794	385	248	278	124	205	218	276	332	218	479	575	501	17	8
	100.0	48.5	31.2	35.0	15.6	25.8	27.5	34.8	41.8	27.5	60.3	72.4	63.1	2.1	1.0	
充実した公共施設	425	196	136	158	78	126	114	127	184	126	292	323	262	12	1	
	100.0	46.1	32.0	37.2	18.4	29.6	26.8	29.9	43.3	29.6	68.7	76.0	61.6	2.8	0.2	
豊富な飲食店・商業施設	416	187	114	182	97	105	123	120	192	141	273	295	234	10	1	
	100.0	45.0	27.4	43.8	23.3	25.2	29.6	28.8	46.2	33.9	65.6	70.9	56.3	2.4	0.2	
良好な住環境	1042	503	319	321	162	222	296	339	437	284	613	717	689	31	8	
	100.0	48.3	30.6	30.8	15.5	21.3	28.4	32.5	41.9	27.3	58.8	68.8	66.1	3.0	0.8	
その他	99	33	20	26	15	16	23	25	31	20	52	50	56	26	2	
	100.0	33.3	20.2	26.3	15.2	16.2	23.2	25.3	31.3	20.2	52.5	50.5	56.6	26.3	2.0	
行政サービスと市民負担	現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない	641	292	172	168	112	125	147	181	188	179	330	407	409	13	5
		100.0	45.6	26.8	26.2	17.5	19.5	22.9	28.2	29.3	27.9	51.5	63.5	63.8	2.0	0.8
	行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである	3365	1425	799	1005	392	574	750	812	1216	818	1932	2155	1942	69	41
		100.0	42.3	23.7	29.9	11.6	17.1	22.3	24.1	36.1	24.3	57.4	64.0	57.7	2.1	1.2
	その他	289	128	99	87	50	41	82	77	107	79	175	181	189	43	3
	100.0	44.3	34.3	30.1	17.3	14.2	28.4	26.6	37.0	27.3	60.6	62.6	65.4	14.9	1.0	
わからない	492	148	83	130	47	76	78	110	131	111	259	261	208	10	23	
	100.0	30.1	16.9	26.4	9.6	15.4	15.9	22.4	26.6	22.6	52.6	53.0	42.3	2.0	4.7	

(2) 姫路市が若者にとって魅力的なまちになるために、もっとも重要だと思われることはなんですか（問 15 - 2）

- 性別・年齢とのクロス集計
 - ・ 女性の 20 歳代では「東京など大都市と比べ安い生活費」、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が高くなっており、男性の 30 歳代では「充実した医療・福祉」の回答割合が低くなっている。
- 職業とのクロス集計
 - ・ 「農林漁業、その他家族従事者」の場合、「特色ある農林水産業や伝統的な地場産業」の回答割合が高く、自営業（商工サービス、自由業等）、臨時、パートの場合、「起業家支援、魅力ある雇用」の回答割合が全体よりやや高くなっている。
 - ・ また、学生（大学、専門学校等）では「便利な公共交通」、「にぎやかな中心市街地」の回答割合が高くなっている。
- 居住年数とのクロス集計
 - ・ 居住年数が 5 年未満、5～10 年未満の場合、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が高く、「充実した医療・福祉」の回答割合が低くなっている。
 - ・ 居住年数が 10～20 年未満の場合、「にぎやかな中心市街地」の回答割合が高くなっている。
- 問 1（愛着を感じるか）とのクロス集計
 - ・ 愛着度では大きな差異はみられない。
- 問 8（姫路市内での居住を勧めたいか）とのクロス集計
 - ・ 姫路市内への居住の推奨度では大きな差異はみられないが、姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいかについて「思う」と回答した場合、「起業家支援、魅力ある雇用」の回答割合が全体よりやや高く、「思わない」と回答した場合、「便利な公共交通」、「充実した医療・福祉」の回答割合が全体よりやや高くなっている。
- 問 14（重要だと思う地域活動）とのクロス集計
 - ・ 重要だと思う地域活動として、「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」と回答した場合、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が高く、「観光に関するボランティア」と回答した場合、「充実した医療・福祉」の回答割合が全体より低くなっている。
- 問 18（アピールすべき姫路の魅力）とのクロス集計
 - ・ アピールすべき姫路の魅力として、「大規模工場・先端技術などの産業力」と回答した場合は「起業家支援、魅力ある雇用」の回答割合が高くなっている。
- 問 19（行政サービス水準と市民負担）とのクロス集計
 - ・ 「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」と回答した場合、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が全体よりやや高くなっている。

図表Ⅳ－22 属性別にみた若者にとって魅力的なまちになるためにもっとも重要なこと

		調査数	起業家支援、魅力ある雇用	特色ある農林水産業や伝統的な地場産業	多くの集客が見込まれるイベント	外国人を対象にした観光戦略	スポーツなどによる健康づくり	ワーク・ライフ・バランス	若者のまちづくりへの参画	東京など大都市と比べ安い生活費	にぎやかな中心市街地	便利な公共交通	充実した医療・福祉	充実した教育・子育て環境	その他	無回答
全体		4835	591	181	165	47	42	282	186	279	304	402	746	840	60	710
		100.0	12.2	3.7	3.4	1.0	0.9	5.8	3.8	5.8	6.3	8.3	15.4	17.4	1.2	14.7
男性	10歳代	85	9	2	6	1	3	2	2	7	19	8	5	14	3	4
		100.0	10.6	2.4	7.1	1.2	3.5	2.4	2.4	8.2	22.4	9.4	5.9	16.5	3.5	4.7
	20歳代	145	20	6	9	4	2	7	7	8	22	11	12	26	3	8
		100.0	13.8	4.1	6.2	2.8	1.4	4.8	4.8	5.5	15.2	7.6	8.3	17.9	2.1	5.5
	30歳代	173	19	6	3	2	0	15	9	11	16	15	13	49	2	13
		100.0	11.0	3.5	1.7	1.2	0.0	8.7	5.2	6.4	9.2	8.7	7.5	28.3	1.2	7.5
	40歳代	299	32	14	13	9	0	21	9	29	20	25	39	55	7	26
		100.0	10.7	4.7	4.3	3.0	0.0	7.0	3.0	9.7	6.7	8.4	13.0	18.4	2.3	8.7
50歳代	316	51	7	15	2	4	19	11	27	27	22	42	50	5	34	
	100.0	16.1	2.2	4.7	0.6	1.3	6.0	3.5	8.5	8.5	7.0	13.3	15.8	1.6	10.8	
60歳代	391	48	23	9	2	3	19	20	17	22	21	74	71	3	59	
	100.0	12.3	5.9	2.3	0.5	0.8	4.9	5.1	4.3	5.6	5.4	18.9	18.2	0.8	15.1	
70歳代以上	509	60	28	14	7	9	18	28	17	20	49	106	52	6	95	
	100.0	11.8	5.5	2.8	1.4	1.8	3.5	5.5	3.3	3.9	9.6	20.8	10.2	1.2	18.7	
女性	10歳代	93	5	4	7	1	2	7	3	9	19	8	7	10	1	10
		100.0	5.4	4.3	7.5	1.1	2.2	7.5	3.2	9.7	20.4	8.6	7.5	10.8	1.1	10.8
	20歳代	166	14	1	12	2	2	11	5	20	21	19	4	39	2	14
		100.0	8.4	0.6	7.2	1.2	1.2	6.6	3.0	12.0	12.7	11.4	2.4	23.5	1.2	8.4
	30歳代	350	29	8	15	5	2	26	4	22	23	19	42	115	3	37
		100.0	8.3	2.3	4.3	1.4	0.6	7.4	1.1	6.3	6.6	5.4	12.0	32.9	0.9	10.6
	40歳代	451	55	10	23	2	1	46	9	26	20	39	70	96	11	43
		100.0	12.2	2.2	5.1	0.4	0.2	10.2	2.0	5.8	4.4	8.6	15.5	21.3	2.4	9.5
50歳代	491	60	17	12	5	1	45	18	24	26	48	85	80	4	66	
	100.0	12.2	3.5	2.4	1.0	0.2	9.2	3.7	4.9	5.3	9.8	17.3	16.3	0.8	13.4	
60歳代	531	81	21	13	0	2	28	23	23	23	36	99	90	3	89	
	100.0	15.3	4.0	2.4	0.0	0.4	5.3	4.3	4.3	4.3	6.8	18.6	16.9	0.6	16.8	
70歳代以上	742	98	29	13	4	8	14	36	35	23	72	133	84	6	187	
	100.0	13.2	3.9	1.8	0.5	1.1	1.9	4.9	4.7	3.1	9.7	17.9	11.3	0.8	25.2	
職業	農林漁業、その他家族従事者	34	2	10	2	0	0	0	1	0	2	2	4	6	0	5
		100.0	5.9	29.4	5.9	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	5.9	5.9	11.8	17.6	0.0	14.7
	自営業 (商工サービス、自由業等)	325	47	17	10	3	1	14	12	15	14	42	43	47	6	54
		100.0	14.5	5.2	3.1	0.9	0.3	4.3	3.7	4.6	4.3	12.9	13.2	14.5	1.8	16.6
	会社、官公署などに勤務 (臨時、パート除く)	1350	163	46	54	21	6	106	41	105	111	99	167	277	20	134
		100.0	12.1	3.4	4.0	1.6	0.4	7.9	3.0	7.8	8.2	7.3	12.4	20.5	1.5	9.9
	臨時、パート	853	122	16	32	5	5	62	22	54	47	72	129	167	6	114
		100.0	14.3	1.9	3.8	0.6	0.6	7.3	2.6	6.3	5.5	8.4	15.1	19.6	0.7	13.4
	家事専業	649	70	24	17	2	3	40	35	30	30	40	106	136	8	108
		100.0	10.8	3.7	2.6	0.3	0.5	6.2	5.4	4.6	4.6	6.2	16.3	21.0	1.2	16.6
	学生(大学、専門学校等)	100	4	4	6	1	3	5	4	7	24	16	4	14	3	5
		100.0	4.0	4.0	6.0	1.0	3.0	5.0	4.0	7.0	24.0	16.0	4.0	14.0	3.0	5.0
中学生、高校生	125	11	4	10	2	4	6	5	12	25	11	5	18	3	9	
	100.0	8.8	3.2	8.0	1.6	3.2	4.8	4.0	9.6	20.0	8.8	4.0	14.4	2.4	7.2	
無職	1202	149	52	29	9	16	38	57	49	37	106	254	154	11	241	
	100.0	12.4	4.3	2.4	0.7	1.3	3.2	4.7	4.1	3.1	8.8	21.1	12.8	0.9	20.0	
その他	108	11	4	4	2	0	8	5	4	8	10	18	12	2	20	
	100.0	10.2	3.7	3.7	1.9	0.0	7.4	4.6	3.7	7.4	9.3	16.7	11.1	1.9	18.5	
居住年数	5年未満	198	22	10	4	6	3	7	5	12	20	18	19	50	1	21
		100.0	11.1	5.1	2.0	3.0	1.5	3.5	2.5	6.1	10.1	9.1	9.6	25.3	0.5	10.6
	5年～10年未満	188	13	3	8	5	1	8	2	13	16	14	13	61	4	27
		100.0	6.9	1.6	4.3	2.7	0.5	4.3	1.1	6.9	8.5	7.4	6.9	32.4	2.1	14.4
	10～20年未満	536	50	16	24	9	7	37	19	33	62	47	56	105	9	62
	100.0	9.3	3.0	4.5	1.7	1.3	6.9	3.5	6.2	11.6	8.8	10.4	19.6	1.7	11.6	
20年以上	3854	498	151	128	26	28	229	158	219	202	318	650	620	45	582	
	100.0	12.9	3.9	3.3	0.7	0.7	5.9	4.1	5.7	5.2	8.3	16.9	16.1	1.2	15.1	

図表Ⅳ－23 項目別にみた若者にとって魅力的なまちになるためにもっとも重要なこと①

		調査数	起業家支援、魅力ある雇用	特色ある農林水産業や伝統的な地場産業	多くの集客が見込まれるイベント	外国人を対象にした観光戦略	スポーツなどによる健康づくり	ワーク・ライフ・バランス	若者のまちづくりへの参画	東京など大都市と比べ安い生活費	にぎやかな中心市街地	便利な公共交通	充実した医療・福祉	充実した教育・子育て環境	その他	無回答
全体		4835 100.0	591 12.2	181 3.7	165 3.4	47 1.0	42 0.9	282 5.8	186 3.8	279 5.8	304 6.3	402 8.3	746 15.4	840 17.4	60 1.2	710 14.7
居住 姫路を勧めるのか	感じる	2655 100.0	344 13.0	97 3.7	99 3.7	26 1.0	26 1.0	141 5.3	100 3.8	153 5.8	185 7.0	192 7.2	415 15.6	446 16.8	28 1.1	403 15.2
	やや感じる	1318 100.0	153 11.6	58 4.4	42 3.2	14 1.1	9 0.7	80 6.1	57 4.3	77 5.8	66 5.0	116 8.8	193 14.6	264 20.0	16 1.2	173 13.1
	どちらとも言えない	409 100.0	39 9.5	16 3.9	13 3.2	3 0.7	3 0.7	34 8.3	16 3.9	25 6.1	23 5.6	47 11.5	64 15.6	65 15.9	6 1.5	55 13.4
	あまり感じない	290 100.0	36 12.4	4 1.4	7 2.4	2 0.7	3 1.0	19 6.6	7 2.4	14 4.8	21 7.2	33 11.4	44 15.2	43 14.8	8 2.8	49 16.9
	感じない	77 100.0	9 11.7	3 3.9	1 1.3	2 2.6	0 0.0	5 6.5	4 5.2	6 7.8	7 9.1	9 11.7	11 14.3	11 14.3	1 1.3	8 10.4
	思う	804 100.0	117 14.6	32 4.0	39 4.9	6 0.7	11 1.4	33 4.1	34 4.2	46 5.7	47 5.8	57 7.1	111 13.8	132 16.4	8 1.0	131 16.3
やや思う	1048 100.0	146 13.9	34 3.2	37 3.5	8 0.8	8 0.8	70 6.7	28 2.7	66 6.3	72 6.9	82 7.8	159 15.2	214 20.4	9 0.9	115 11.0	
どちらとも言えない	1633 100.0	184 11.3	65 4.0	57 3.5	22 1.3	15 0.9	101 6.2	74 4.5	96 5.9	101 6.2	128 7.8	239 14.6	309 18.9	18 1.1	224 13.7	
あまり思わない	735 100.0	81 11.0	25 3.4	20 2.7	2 0.3	5 0.7	49 6.7	33 4.5	33 5.9	43 6.8	50 9.5	70 15.0	110 15.8	17 2.3	114 15.5	
思わない	323 100.0	32 9.9	13 4.0	6 1.9	5 1.5	0 0.0	17 5.3	9 2.8	15 4.6	26 8.0	36 11.1	56 17.3	44 13.6	7 2.2	57 17.6	
重要な地域活動	お祭りや運動会などの地域行事	1870 100.0	257 13.7	78 4.2	78 4.2	14 0.7	22 1.2	102 5.5	90 4.8	94 5.0	135 7.2	130 7.0	256 13.7	354 18.9	21 1.1	239 12.8
	環境美化や自然環境保護活動	1761 100.0	254 14.4	76 4.3	45 2.6	19 1.1	18 1.0	126 7.2	74 4.2	87 4.9	103 5.8	127 7.2	253 14.4	324 18.4	20 1.1	235 13.3
	防災活動	2408 100.0	318 13.2	83 3.4	73 3.0	20 0.8	15 0.6	167 6.9	94 3.9	126 5.2	135 5.6	190 7.9	398 16.5	416 17.3	23 1.0	350 14.5
	防犯活動	2203 100.0	286 13.0	64 2.9	69 3.1	18 0.8	11 0.5	145 6.6	85 3.9	118 5.4	137 6.2	185 8.4	372 16.9	392 17.8	23 1.0	298 13.5
	人権教育・啓発活動	417 100.0	61 14.6	15 3.6	9 2.2	3 0.7	3 0.7	25 6.0	22 5.3	18 4.3	25 6.0	31 7.4	62 14.9	81 19.4	6 1.4	56 13.4
	子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動	2232 100.0	296 13.3	66 3.0	62 2.8	15 0.7	11 0.5	122 5.5	81 3.6	119 5.3	112 5.0	164 7.3	392 17.6	452 20.3	26 1.2	314 14.1
	子ども安全パトロールなど学校の安全対策	1983 100.0	229 11.5	54 2.7	66 3.3	16 0.8	15 0.8	130 6.6	72 3.6	122 6.2	117 5.9	144 7.3	284 14.3	464 23.4	21 1.1	249 12.6
	観光に関するボランティア	345 100.0	41 11.9	12 3.5	17 4.9	15 4.3	2 0.6	18 5.2	15 4.3	14 4.1	34 9.9	39 11.3	34 9.9	66 19.1	6 1.7	32 9.3
	青少年の育成活動	606 100.0	95 15.7	26 4.3	13 2.1	3 0.5	1 0.2	47 7.8	32 5.3	21 3.5	35 5.8	37 6.1	76 12.5	132 21.8	9 1.5	79 13.0
	文化や芸術、教養などの普及活動	724 100.0	98 13.5	34 4.7	19 2.6	7 1.0	5 0.7	38 5.2	31 4.3	32 4.4	58 8.0	56 7.7	94 13.0	131 18.1	12 1.7	109 15.1
	その他	87 100.0	9 10.3	2 2.3	2 2.3	0 0.0	2 2.3	6 6.9	3 3.4	6 6.9	6 6.9	5 5.7	8 9.2	10 11.5	12 13.8	16 18.4

図表Ⅳ－24 項目別にみた若者にとって魅力的なまちになるためにもっとも重要なこと②

	調査数	起業家支援、魅力ある雇用	特色ある農林水産業や伝統的な地場産業	多くの集客が見込まれるイベント	外国人を対象にした観光戦略	スポーツなどによる健康づくり	ワーク・ライフ・バランス	若者のまちづくりへの参画	東京など大都市と比べ安い生活費	にぎやかな中心市街地	便利な公共交通	充実した医療・福祉	充実した教育・子育て環境	その他	無回答	
全体	4835	591	181	165	47	42	282	186	279	304	402	746	840	60	710	
	100.0	12.2	3.7	3.4	1.0	0.9	5.8	3.8	5.8	6.3	8.3	15.4	17.4	1.2	14.7	
アピールすべき姫路の魅力	50万人を超える人口規模	423	48	12	21	4	8	28	17	28	33	27	68	64	7	58
		100.0	11.3	2.8	5.0	0.9	1.9	6.6	4.0	6.6	7.8	6.4	16.1	15.1	1.7	13.7
	新幹線や道路網などの交通環境	1362	192	52	42	14	5	90	49	76	97	104	186	275	13	167
		100.0	14.1	3.8	3.1	1.0	0.4	6.6	3.6	5.6	7.1	7.6	13.7	20.2	1.0	12.3
	姫路城などの歴史遺産	3861	478	138	141	40	27	229	153	220	263	304	593	727	41	507
		100.0	12.4	3.6	3.7	1.0	0.7	5.9	4.0	5.7	6.8	7.9	15.4	18.8	1.1	13.1
	海・山・川など豊かな自然	1465	198	68	52	12	15	90	65	74	72	109	202	292	17	199
		100.0	13.5	4.6	3.5	0.8	1.0	6.1	4.4	5.1	4.9	7.4	13.8	19.9	1.2	13.6
	駅や道路など整備された街並み	683	71	18	21	11	10	34	32	44	50	49	119	98	7	119
		100.0	10.4	2.6	3.1	1.6	1.5	5.0	4.7	6.4	7.3	7.2	17.4	14.3	1.0	17.4
	大規模工場・先端技術などの産業力	465	94	13	14	5	4	28	23	29	23	32	54	77	4	65
		100.0	20.2	2.8	3.0	1.1	0.9	6.0	4.9	6.2	4.9	6.9	11.6	16.6	0.9	14.0
	地場の農産物や魚介類など食の豊かさ	1216	171	74	34	15	10	73	46	66	72	79	152	233	12	179
		100.0	14.1	6.1	2.8	1.2	0.8	6.0	3.8	5.4	5.9	6.5	12.5	19.2	1.0	14.7
	秋祭りなどの伝統行事	2048	266	75	76	16	22	119	99	120	135	145	328	369	18	260
		100.0	13.0	3.7	3.7	0.8	1.1	5.8	4.8	5.9	6.6	7.1	16.0	18.0	0.9	12.7
	人情味ある土地柄	786	105	27	24	6	8	58	30	43	39	58	129	129	3	127
	100.0	13.4	3.4	3.1	0.8	1.0	7.4	3.8	5.5	5.0	7.4	16.4	16.4	0.4	16.2	
充実した公共施設	424	48	11	12	3	5	20	15	17	27	38	77	66	4	81	
	100.0	11.3	2.6	2.8	0.7	1.2	4.7	3.5	4.0	6.4	9.0	18.2	15.6	0.9	19.1	
豊富な飲食店・商業施設	415	38	10	19	6	5	30	14	26	28	32	76	59	5	67	
	100.0	9.2	2.4	4.6	1.4	1.2	7.2	3.4	6.3	6.7	7.7	18.3	14.2	1.2	16.1	
良好な住環境	1034	139	29	30	10	5	73	45	60	67	58	161	188	13	156	
	100.0	13.4	2.8	2.9	1.0	0.5	7.1	4.4	5.8	6.5	5.6	15.6	18.2	1.3	15.1	
その他	97	10	4	5	2	0	5	0	6	5	6	7	23	7	17	
	100.0	10.3	4.1	5.2	2.1	0.0	5.2	0.0	6.2	5.2	6.2	7.2	23.7	7.2	17.5	
行政サービスと市民負担	現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない	636	89	23	18	11	8	43	30	26	35	53	82	142	7	69
		100.0	14.0	3.6	2.8	1.7	1.3	6.8	4.7	4.1	5.5	8.3	12.9	22.3	1.1	10.8
	行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである	3324	417	129	106	26	23	191	121	221	203	255	544	568	32	488
		100.0	12.5	3.9	3.2	0.8	0.7	5.7	3.6	6.6	6.1	7.7	16.4	17.1	1.0	14.7
	その他	286	35	13	7	4	0	18	10	13	24	33	29	52	18	30
	100.0	12.2	4.5	2.4	1.4	0.0	6.3	3.5	4.5	8.4	11.5	10.1	18.2	6.3	10.5	
わからない	469	39	16	28	3	8	24	21	15	37	57	78	65	3	75	
	100.0	8.3	3.4	6.0	0.6	1.7	5.1	4.5	3.2	7.9	12.2	16.6	13.9	0.6	16.0	

6. 高齢者に対する取組について

(1) 高齢者が地域でいきいきと活躍するために、重要だと思うことはなんですか (問 16 - 1)

■ 性別・年齢とのクロス集計

- ・ 男性の 50 歳代では「生涯学習ができる場所」、「暮らしについて気軽に相談できる場所」の回答割合が全体より低くなっているが、女性の 50 歳代では「生涯学習ができる場所」、「暮らしについて気軽に相談できる場所」、また「いつまでも働ける場所」、「地域貢献、社会貢献ができる機会」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 男性の 60～64 歳では「生涯現役のための健康づくり」の回答割合が全体より低くなっているが、女性の 60～64 歳では回答割合が全体より高くなっている。また、女性の 65～69 歳、70～74 歳では「安心して外出しやすいまち」の回答割合が高くなっている。

■ 世帯構成とのクロス集計

- ・ 単身世帯では、全体より「安心して外出しやすいまち」、「地域貢献、社会貢献ができる機会」、「子どもとの交流ができる機会」の回答割合が低くしており、「暮らしについて気軽に相談できる場所」の回答割合がやや高くなっている。

■ 居住年数とのクロス集計

- ・ 居住年数が 5 年未満の場合、「安心して外出しやすいまち」の回答割合が全体より低く、居住年数が 5～10 年未満、10～20 年未満の場合、「子どもとの交流ができる機会」の回答割合が全体より高くなっている。

■ 問 1（愛着を感じるか）とのクロス集計

- ・ 姫路への愛着を「感じない」と回答した場合、「安心して外出しやすいまち」、「子どもとの交流ができる機会」、「生涯現役のための健康づくり」の回答割合が全体より低くなっている。

■ 問 8（姫路市内での居住を勧めたいか）とのクロス集計

- ・ 姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいかについて「思う」と回答した場合、「生涯学習ができる場所」、「子どもとの交流ができる機会」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 一方、「思わない」と回答した場合、「安心して外出しやすいまち」、「生涯学習ができる場所」、「地域貢献、社会貢献ができる機会」および「生涯現役のための健康づくり」の回答割合が全体より低くなっている。

■ 問 12-1（地域活動への参加）とのクロス集計

- ・ 地域活動に「よく参加している」場合、「生涯学習ができる場所」、「地域貢献、社会貢献ができる機会」、「子どもとの交流ができる機会」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 一方で、「まったく参加していない」場合、「安心して外出しやすいまち」、「生涯現役のための健康づくり」の回答割合が全体より低くなっている。

■ 問 19（行政サービス水準と市民負担）とのクロス集計

- ・ 「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」と回答した場合、「地域貢献、社会貢献ができる機会」、「生涯学習ができる場所」の回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅳ－25 属性別にみた高齢者が地域でいきいきと活躍するために重要なこと(複数回答)

		調査数	安心して外出しやすいまち	いつまでも働ける場所	生涯学習ができる場所	地域貢献、社会貢献ができる機会	子どもとの交流ができる機会	暮らしについて気軽に相談できる場所	生涯現役のための健康づくり	その他	無回答
全体		4980 100.0	3046 61.2	2003 40.2	1219 24.5	1443 29.0	875 17.6	2026 40.7	2390 48.0	118 2.4	130 2.6
男性	10歳代	85 100.0	51 60.0	40 47.1	24 28.2	26 30.6	24 28.2	29 34.1	35 41.2	1 1.2	0 0.0
	20歳代	145 100.0	79 54.5	54 37.2	27 18.6	49 33.8	38 26.2	60 41.4	70 48.3	4 2.8	1 0.7
	30歳代	175 100.0	87 49.7	88 50.3	36 20.6	54 30.9	39 22.3	56 32.0	79 45.1	8 4.6	1 0.6
	40歳代	300 100.0	164 54.7	167 55.7	71 23.7	106 35.3	63 21.0	102 34.0	126 42.0	5 1.7	2 0.7
	50歳代	323 100.0	184 57.0	145 44.9	60 18.6	109 33.7	51 15.8	101 31.3	167 51.7	7 2.2	4 1.2
	60～64歳	167 100.0	100 59.9	73 43.7	42 25.1	49 29.3	21 12.6	61 36.5	68 40.7	5 3.0	1 0.6
	65～69歳	232 100.0	137 59.1	86 37.1	67 28.9	69 29.7	31 13.4	79 34.1	106 45.7	5 2.2	4 1.7
	70～74歳	201 100.0	127 63.2	60 29.9	48 23.9	51 25.4	12 6.0	64 31.8	101 50.2	7 3.5	7 3.5
	75歳以上	336 100.0	221 65.8	79 23.5	72 21.4	74 22.0	52 15.5	113 33.6	171 50.9	5 1.5	17 5.1
	女性	10歳代	94 100.0	63 67.0	41 43.6	21 22.3	26 27.7	30 31.9	44 46.8	44 46.8	2 2.1
20歳代		166 100.0	97 58.4	73 44.0	39 23.5	45 27.1	44 26.5	76 45.8	75 45.2	2 1.2	2 1.2
30歳代		352 100.0	222 63.1	173 49.1	89 25.3	119 33.8	114 32.4	154 43.8	181 51.4	11 3.1	4 1.1
40歳代		453 100.0	263 58.1	262 57.8	114 25.2	148 32.7	98 21.6	234 51.7	209 46.1	13 2.9	3 0.7
50歳代		494 100.0	304 61.5	277 56.1	148 30.0	182 36.8	99 20.0	232 47.0	251 50.8	20 4.0	4 0.8
60～64歳		250 100.0	160 64.0	88 35.2	73 29.2	81 32.4	35 14.0	114 45.6	136 54.4	2 0.8	4 1.6
65～69歳		293 100.0	197 67.2	89 30.4	72 24.6	72 24.6	31 10.6	132 45.1	153 52.2	4 1.4	8 2.7
70～74歳		317 100.0	212 66.9	87 27.4	80 25.2	89 28.1	32 10.1	133 42.0	160 50.5	5 1.5	12 3.8
75歳以上		479 100.0	316 66.0	84 17.5	123 25.7	129 16.9	65 10.9	232 43.0	234 45.9	13 2.1	28 5.6
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	541 100.0	299 55.3	194 35.9	119 22.0	129 23.8	65 12.0	232 42.9	234 43.3	13 2.4	28 5.2
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世帯)	1420 100.0	925 65.1	513 36.1	366 25.8	402 28.3	205 14.4	569 40.1	699 49.2	28 2.0	35 2.5
	親と子ども(二世帯)	2318 100.0	1403 60.5	1046 45.1	590 25.5	717 30.9	484 20.9	951 41.0	1134 48.9	58 2.5	29 1.3
	親と子どもと孫など(三世帯)	499 100.0	308 61.7	189 37.9	121 24.2	162 32.5	102 20.4	194 38.9	247 49.5	13 2.6	8 1.6
	その他	103 100.0	62 60.2	32 31.1	15 14.6	19 18.4	10 9.7	49 47.6	46 44.7	2 1.9	7 6.8
居住年数	5年未満	202 100.0	107 53.0	97 48.0	53 26.2	68 33.7	40 19.8	74 36.6	91 45.0	11 5.4	3 1.5
	5年～10年未満	189 100.0	116 61.4	87 46.0	47 24.9	57 30.2	44 23.3	81 42.9	92 48.7	5 2.6	2 1.1
	10～20年未満	539 100.0	305 56.6	250 46.4	128 23.7	180 33.4	126 23.4	218 40.4	250 46.4	17 3.2	7 1.3
	20年以上	3969 100.0	2475 62.4	1543 38.9	984 24.8	1129 28.4	657 16.6	1626 41.0	1938 48.8	82 2.1	97 2.4

図表Ⅳ－26 項目別にみた高齢者が地域でいきいきと活躍するために重要なこと(複数回答)

	調査数	安心して外出しやすいまち	いつまでも働ける場所	生涯学習ができる場所	地域貢献、社会貢献ができる機会	子どもとの交流ができる機会	暮らしについて気軽に相談できる場所	生涯現役のための健康づくり	その他	無回答	
全体	4980 100.0	3046 61.2	2003 40.2	1219 24.5	1443 29.0	875 17.6	2026 40.7	2390 48.0	118 2.4	130 2.6	
姫路への愛着	感じる	2720 100.0	1742 64.0	1057 38.9	744 27.4	840 30.9	516 19.0	1124 41.3	1384 50.9	51 1.9	58 2.1
	やや感じる	1345 100.0	798 59.3	578 43.0	303 22.5	392 29.1	223 16.6	549 40.8	625 46.5	30 2.2	21 1.6
	どちらとも言えない	433 100.0	247 57.0	177 40.9	77 17.8	91 21.0	72 16.6	179 41.3	184 42.5	17 3.9	23 5.3
	あまり感じない	300 100.0	168 56.0	128 42.7	60 20.0	76 25.3	43 14.3	119 39.7	125 41.7	13 4.3	8 2.7
	感じない	82 100.0	37 45.1	33 40.2	16 19.5	22 26.8	9 11.0	30 36.6	33 40.2	5 6.1	6 7.3
	思う	818 100.0	541 66.1	338 41.3	245 30.0	261 31.9	197 24.1	323 39.5	400 48.9	15 1.8	17 2.1
居住を勧めたいのか	やや思う	1058 100.0	646 61.1	465 44.0	287 27.1	353 33.4	223 21.1	439 41.5	542 51.2	23 2.2	7 0.7
	どちらとも言えない	1670 100.0	1065 63.8	660 39.5	386 23.1	466 27.9	254 15.2	690 41.3	822 49.2	36 2.2	34 2.0
	あまり思わない	749 100.0	432 57.7	313 41.8	177 23.6	228 30.4	120 16.0	301 40.2	359 47.9	22 2.9	18 2.4
	思わない	344 100.0	172 50.0	145 42.2	63 18.3	69 20.1	45 13.1	135 39.2	130 37.8	15 4.4	20 5.8
	地域活動状況への	よく参加している	750 100.0	482 64.3	295 39.3	224 29.9	282 37.6	179 23.9	274 36.5	373 49.7	19 2.5
ときどき参加している	1735 100.0	1111 64.0	717 41.3	448 25.8	530 30.5	338 19.5	698 40.2	900 51.9	32 1.8	24 1.4	
あまり参加していない	1437 100.0	895 62.3	585 40.7	338 23.5	374 26.0	203 14.1	605 42.1	695 48.4	36 2.5	22 1.5	
まったく参加していない	1000 100.0	533 53.3	399 39.9	206 20.6	255 25.5	151 15.1	437 43.7	416 41.6	31 3.1	52 5.2	
行政サービスと市民負担	現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない	641 100.0	393 61.3	249 38.8	188 29.3	224 34.9	126 19.7	233 36.3	317 49.5	15 2.3	4 0.6
	行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである	3365 100.0	2124 63.1	1425 42.3	829 24.6	980 29.1	586 17.4	1425 42.3	1667 49.5	59 1.8	28 0.8
	その他	289 100.0	158 54.7	124 42.9	93 32.2	120 41.5	61 21.1	99 34.3	156 54.0	36 12.5	3 1.0
	わからない	492 100.0	300 61.0	168 34.1	82 16.7	95 19.3	82 16.7	229 46.5	210 42.7	8 1.6	18 3.7

(2) 高齢者が地域でいきいきと活躍するために、もっとも重要だと思われることは
なんですか（問 16 - 2）

■ 性別・年齢とのクロス集計

- ・ 男性の 70～74 歳、75 歳以上および女性の 60～64 歳代では、全体より「生涯現役のための健康づくり」の回答割合が高くなっているが、女性の 40 歳代では低くなっている。
- ・ 男性の 40 歳代では「地域貢献、社会貢献ができる機会」の回答割合が全体より高く、「安心して外出しやすいまち」の回答割合が全体より低くなっている。
- ・ 男性の 30 歳代、40 歳代、女性の 40 歳代、50 歳代では「いつまでも働ける場所」の回答割合が全体より高くなっている。

■ 世帯構成とのクロス集計

- ・ 単身世帯では、全体より「暮らしについて気軽に相談できる場所」の回答割合が高く、「安心して外出しやすいまち」の回答割合がやや低くなっている。

■ 居住年数とのクロス集計

- ・ 居住年数が 5～10 年未満の場合、全体より「生涯現役のための健康づくり」の回答割合が低く、「地域貢献、社会貢献ができる機会」の回答割合がやや高くなっている。

■ 問 1（愛着を感じるか）とのクロス集計

- ・ 愛着度では大きな差異はみられないが、愛着を「感じる」と回答した場合、「生涯現役のための健康づくり」の回答割合が全体よりやや高く、「感じない」と回答した場合は、全体より「暮らしについて気軽に相談できる場所」の回答割合がやや高く、「いつまでも働ける場所」の回答割合がやや低くなっている。

■ 問 8（姫路居住を勧めたいか）とのクロス集計

- ・ 姫路市内への居住の推奨度では大きな差異はみられないが、姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいかについて「思わない」と回答した場合、「安心して外出しやすいまち」の回答割合が全体よりやや低くなっている。

■ 問 12-1（地域活動への参加）とのクロス集計

- ・ 地域活動への参加状況では大きな差異はみられないが、地域活動に「よく参加している」場合、全体より「地域貢献、社会貢献ができる機会」の回答割合がやや高く、「いつまでも働ける場所」の回答割合がやや低くなっている。
- ・ また、「まったく参加していない」場合、全体より「暮らしについて気軽に相談できる場所」の回答割合がやや高く、「安心して外出しやすいまち」の回答割合がやや低くなっている。

■ 問 19（行政サービス水準と市民負担）とのクロス集計

- ・ 「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」と回答した場合、「地域貢献、社会貢献ができる機会」の回答割合が全体よりやや高くなっている。

図表Ⅳ－27 属性別にみた高齢者が地域でいきいきと活躍するためにもっとも重要なこと

		調査数	安心して外出しやすいまち	いつまでも働ける場所	生涯学習ができる場所	地域貢献、社会貢献ができる機会	子どもとの交流ができる機会	暮らしについて気軽に相談できる場所	生涯現役のための健康づくり	その他	無回答
全体		4850 100.0	1380 28.5	824 17.0	163 3.4	457 9.4	98 2.0	676 13.9	895 18.5	71 1.5	286 5.9
男性	10歳代	85 100.0	23 27.1	13 15.3	4 4.7	6 7.1	4 4.7	13 15.3	20 23.5	0 0.0	2 2.4
	20歳代	144 100.0	42 29.2	21 14.6	3 2.1	20 13.9	6 4.2	18 12.5	29 20.1	3 2.1	2 1.4
	30歳代	174 100.0	41 23.6	44 25.3	6 3.4	23 13.2	6 3.4	16 9.2	27 15.5	4 2.3	7 4.0
	40歳代	298 100.0	69 23.2	68 22.8	9 3.0	44 14.8	7 2.3	38 12.8	47 15.8	4 1.3	12 4.0
	50歳代	319 100.0	95 29.8	70 21.9	6 1.9	35 11.0	7 2.2	29 9.1	60 18.8	6 1.9	11 3.4
	60～64歳	166 100.0	50 30.1	32 19.3	5 3.0	19 11.4	1 0.6	21 12.7	27 16.3	3 1.8	8 4.8
	65～69歳	228 100.0	62 27.2	41 18.0	10 4.4	22 9.6	5 2.2	24 10.5	48 21.1	4 1.8	12 5.3
	70～74歳	194 100.0	58 29.9	24 12.4	10 5.2	15 7.7	0 0.0	20 10.3	52 26.8	5 2.6	10 5.2
	75歳以上	319 100.0	93 29.2	29 9.1	11 3.4	26 8.2	7 2.2	41 12.9	77 24.1	3 0.9	32 10.0
女性	10歳代	92 100.0	39 42.4	13 14.1	4 4.3	3 3.3	7 7.6	9 9.8	14 15.2	1 1.1	2 2.2
	20歳代	164 100.0	49 29.9	33 20.1	4 2.4	17 10.4	6 3.7	21 12.8	27 16.5	2 1.2	5 3.0
	30歳代	348 100.0	107 30.7	63 18.1	12 3.4	30 8.6	14 4.0	50 14.4	52 14.9	6 1.7	14 4.0
	40歳代	450 100.0	106 23.6	121 26.9	16 3.6	52 11.6	9 2.0	70 15.6	52 11.6	7 1.6	17 3.8
	50歳代	490 100.0	121 24.7	109 22.2	14 2.9	54 11.0	9 1.8	72 14.7	78 15.9	12 2.4	21 4.3
	60～64歳	246 100.0	70 28.5	30 12.2	6 2.4	20 8.1	3 1.2	40 16.3	63 25.6	1 0.4	13 5.3
	65～69歳	285 100.0	90 31.6	29 10.2	11 3.9	22 7.7	2 0.7	47 16.5	59 20.7	2 0.7	23 8.1
	70～74歳	305 100.0	91 29.8	37 12.1	7 2.3	29 9.5	2 0.7	49 16.1	63 20.7	2 0.7	25 8.2
	75歳以上	452 100.0	145 32.1	30 6.6	24 5.3	19 4.2	3 0.7	84 18.6	84 18.6	6 1.3	57 12.6
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	513 100.0	131 25.5	77 15.0	14 2.7	36 7.0	7 1.4	103 20.1	93 18.1	9 1.8	43 8.4
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世帯)	1385 100.0	418 30.2	209 15.1	49 3.5	131 9.5	21 1.5	185 13.4	252 18.2	17 1.2	103 7.4
	親と子ども(二世帯)	2289 100.0	632 27.6	440 19.2	83 3.6	231 10.1	51 2.2	301 13.1	419 18.3	32 1.4	100 4.4
	親と子どもと孫など(三世帯)	491 100.0	148 30.1	75 15.3	12 2.4	53 10.8	14 2.9	55 11.2	95 19.3	10 2.0	29 5.9
	その他	96 100.0	30 31.3	10 10.4	4 4.2	3 3.1	3 3.1	18 18.8	21 21.9	2 2.1	5 5.2
居住年数	5年未満	199 100.0	52 26.1	37 18.6	8 4.0	20 10.1	6 3.0	27 13.6	30 15.1	9 4.5	10 5.0
	5年～10年未満	187 100.0	55 29.4	33 17.6	8 4.3	23 12.3	2 1.1	25 13.4	25 13.4	3 1.6	13 7.0
	10～20年未満	532 100.0	145 27.3	107 20.1	18 3.4	54 10.2	16 3.0	68 12.8	87 16.4	10 1.9	27 5.1
	20年以上	3872 100.0	1110 28.7	637 16.5	129 3.3	358 9.2	73 1.9	545 14.1	743 19.2	49 1.3	228 5.9

図表Ⅳ－28 項目別にみた高齢者が地域でいきいきと活躍するためにもっとも重要なこと

	調査数	安心して外出しやすいまち	いつまでも働ける場所	生涯学習ができる場所	地域貢献、社会貢献ができる機会	子どもとの交流ができる機会	暮らしについて気軽に相談できる場所	生涯現役のための健康づくり	その他	無回答	
全体	4850 100.0	1380 28.5	824 17.0	163 3.4	457 9.4	98 2.0	676 13.9	895 18.5	71 1.5	286 5.9	
姫路への愛着	感じる	2662 100.0	766 28.8	419 15.7	86 3.2	264 9.9	49 1.8	347 13.0	543 20.4	27 1.0	161 6.0
	やや感じる	1324 100.0	368 27.8	263 19.9	50 3.8	132 10.0	28 2.1	182 13.7	213 16.1	22 1.7	66 5.0
	どちらとも言えない	410 100.0	114 27.8	69 16.8	12 2.9	32 7.8	9 2.2	74 18.0	68 16.6	10 2.4	22 5.4
	あまり感じない	292 100.0	85 29.1	51 17.5	9 3.1	20 6.8	7 2.4	50 17.1	41 14.0	7 2.4	22 7.5
	感じない	76 100.0	21 27.6	10 13.2	4 5.3	5 6.6	3 3.9	14 18.4	13 17.1	4 5.3	2 2.6
居住を勧めたいのか	思う	801 100.0	235 29.3	138 17.2	28 3.5	78 9.7	19 2.4	93 11.6	153 19.1	6 0.7	51 6.4
	やや思う	1051 100.0	288 27.4	194 18.5	40 3.8	124 11.8	21 2.0	134 12.7	184 17.5	16 1.5	50 4.8
	どちらとも言えない	1636 100.0	472 28.9	277 16.9	47 2.9	133 8.1	31 1.9	241 14.7	318 19.4	21 1.3	96 5.9
	あまり思わない	731 100.0	215 29.4	124 17.0	21 2.9	76 10.4	13 1.8	98 13.4	128 17.5	15 2.1	41 5.6
	思わない	324 100.0	78 24.1	58 17.9	14 4.3	26 8.0	10 3.1	53 16.4	52 16.0	9 2.8	24 7.4
地域活動への参加状況	よく参加している	745 100.0	213 28.6	110 14.8	25 3.4	94 12.6	20 2.7	93 12.5	139 18.7	11 1.5	40 5.4
	ときどき参加している	1711 100.0	495 28.9	283 16.5	64 3.7	167 9.8	35 2.0	207 12.1	339 19.8	20 1.2	101 5.9
	あまり参加していない	1415 100.0	413 29.2	247 17.5	45 3.2	106 7.5	18 1.3	213 15.1	261 18.4	23 1.6	89 6.3
	まったく参加していない	948 100.0	243 25.6	182 19.2	28 3.0	89 9.4	25 2.6	157 16.6	154 16.2	17 1.8	53 5.6
行政サービスと市民負担	現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない	637 100.0	171 26.8	94 14.8	22 3.5	87 13.7	13 2.0	87 13.7	126 19.8	9 1.4	28 4.4
	行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである	3337 100.0	957 28.7	602 18.0	113 3.4	294 8.8	64 1.9	473 14.2	603 18.1	33 1.0	198 5.9
	その他	286 100.0	67 23.4	42 14.7	13 4.5	48 16.8	4 1.4	26 9.1	54 18.9	24 8.4	8 2.8
	わからない	474 100.0	153 32.3	67 14.1	11 2.3	19 4.0	13 2.7	78 16.5	95 20.0	5 1.1	33 7.0

7. 子育てしやすい環境に対する取組について

(1) 安心して子育てしやすい環境にするために、重要だと思うことはなんですか (問 17 - 1)

- 性別・年齢とのクロス集計
 - ・ 女性の 20 歳代では男性の 20 歳代より「医療機関が近くにあること」、「子育てについて気軽に相談できる場所」の回答割合が高くなっている。
 - ・ 女性の 50 歳代では男性の 50 歳代より「地域や子育て世代間のネットワークづくり」、「子育てについて気軽に相談できる場所」の回答割合が高く、女性の 40 歳代、50 歳代では「学校環境・保育等の充実」、「防犯など子どもの安全安心」の回答割合が男性より高くなっている。
- 世帯構成とのクロス集計
 - ・ 二世帯世帯、三世帯世帯では「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」の回答割合が高くなっている。一方で、単身世帯では「学校環境・保育等の充実」、「防犯など子どもの安全安心」、「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」、および「子どもが遊べる公園などの整備」の回答割合が全体より低くなっている。
- 居住年数とのクロス集計
 - ・ 居住年数が 5 年未満、5～10 年未満の場合、「防犯など子どもの安全安心」、「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」、「子どもが遊べる公園などの整備」の回答割合が全体より高くなっている。
- 問 1（愛着を感じるか）とのクロス集計
 - ・ 姫路への愛着を「あまり感じない」と回答した場合、全体より「学校環境・保育等の充実」、「地域や子育て世代間のネットワークづくり」、「子育てについて気軽に相談できる場所」の回答割合が低くなっている。また、愛着を「感じない」と回答した場合、「医療機関が近くにあること」の回答割合が全体より低くなっている。
- 問 5（住みやすさ）とのクロス集計
 - ・ 「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」の回答割合に大きな差異はみられないが、「住みにくい」と回答した場合は、「学校環境・保育等の充実」、「防犯など子どもの安全安心」などの回答割合が全体より低くなっている。
- 問 8（姫路市内での居住を勧めたいか）とのクロス集計
 - ・ 姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいかについて「思う」と回答した場合、「地域や子育て世代間のネットワークづくり」の回答割合が全体より高く、「やや思う」と回答した場合、「学校環境・保育等の充実」の回答割合が高くなっている。
- 問 12-1（地域活動への参加）とのクロス集計
 - ・ 地域活動に「よく参加している」場合、「学校環境・保育等の充実」、「地域や子育て世代間のネットワークづくり」の回答割合が全体より高くなっている。
 - ・ 一方で、「まったく参加していない」場合、「学校環境・保育等の充実」、「地域や子育て世代間のネットワークづくり」の回答割合が全体より低くなっている。
- 問 19（行政サービス水準と市民負担）とのクロス集計
 - ・ 「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」と回答した場合、「学校環境・保育等の充実」、「地域や子育て世代間のネットワークづくり」の回答割合が全体より高くなっている。

図表Ⅳ－29 属性別にみた安心して子育てしやすい環境にするために重要なこと(複数回答)

		調査数	学校環境・保育等の充実	防犯など子どもの安全安心	子育ての経済的負担(医療・教育)が軽い	子どもが遊べる公園などの整備	医療機関が近くにあること	地域や子育て世代間のネットワークづくり	子育てについて気軽に相談できる場所	その他	無回答
全体		4980 100.0	3206 64.4	2878 57.8	3157 63.4	1736 34.9	2477 49.7	1127 22.6	1729 34.7	77 1.5	214 4.3
男性	10歳代	85 100.0	60 70.6	44 51.8	57 67.1	39 45.9	50 58.8	20 23.5	25 29.4	0 0.0	0 0.0
	20歳代	145 100.0	104 71.7	88 60.7	106 73.1	66 45.5	63 43.4	33 22.8	43 29.7	4 2.8	2 1.4
	30歳代	175 100.0	124 70.9	114 65.1	137 78.3	86 49.1	96 54.9	45 25.7	58 33.1	4 2.3	1 0.6
	40歳代	300 100.0	192 64.0	181 60.3	215 71.7	130 43.3	140 46.7	57 19.0	85 28.3	4 1.3	5 1.7
	50歳代	323 100.0	208 64.4	177 54.8	221 68.4	84 26.0	140 43.3	83 25.7	87 26.9	5 1.5	9 2.8
	60歳代	399 100.0	258 64.7	199 49.9	262 65.7	99 24.8	204 51.1	80 20.1	133 33.3	2 1.0	12 3.0
	70歳代以上	537 100.0	289 53.8	255 47.5	281 52.3	141 26.3	235 43.8	105 19.6	158 29.4	6 1.1	48 8.9
女性	10歳代	94 100.0	74 78.7	57 60.6	65 69.1	52 55.3	55 58.5	24 25.5	44 46.8	2 2.1	1 1.1
	20歳代	166 100.0	119 71.7	123 74.1	127 76.5	87 52.4	96 57.8	61 36.7	71 42.8	4 2.4	0 0.0
	30歳代	352 100.0	260 73.9	257 73.0	287 81.5	209 59.4	192 54.5	95 27.0	138 39.2	9 2.6	3 0.9
	40歳代	453 100.0	325 71.7	305 67.3	332 73.3	178 39.3	220 48.6	106 23.4	168 37.1	14 3.1	4 0.9
	50歳代	494 100.0	348 70.4	320 64.8	316 64.0	169 34.2	252 51.0	143 28.9	208 42.1	7 1.4	6 1.2
	60歳代	543 100.0	367 67.6	307 56.5	345 63.5	164 30.2	280 51.6	130 23.9	212 39.0	6 1.1	21 3.9
	70歳代以上	796 100.0	425 53.4	409 51.4	360 45.2	211 26.5	406 51.0	131 16.5	275 34.5	7 0.9	75 9.4
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	541 100.0	290 53.6	272 50.3	270 49.9	145 26.8	247 45.7	110 20.3	200 37.0	12 2.2	45 8.3
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世帯)	1420 100.0	887 62.5	811 57.1	847 59.6	450 31.7	716 50.4	309 21.8	503 35.4	16 1.1	64 4.5
	親と子ども(二世帯)	2318 100.0	1599 69.0	1420 61.3	1602 69.1	911 39.3	1193 51.5	552 23.8	783 33.8	37 1.6	52 2.2
	親と子どもと孫など(三世帯)	499 100.0	329 65.9	284 56.9	342 68.5	178 35.7	226 45.3	127 25.5	183 36.7	7 1.4	18 3.6
	その他	103 100.0	60 58.3	54 52.4	56 54.4	33 32.0	57 55.3	17 16.5	36 35.0	3 2.9	11 10.7
居住年数	5年未満	202 100.0	136 67.3	134 66.3	139 68.8	84 41.6	106 52.5	54 26.7	69 34.2	3 1.5	8 4.0
	5年～10年未満	189 100.0	128 67.7	124 65.6	131 69.3	98 51.9	99 52.4	45 23.8	73 38.6	6 3.2	5 2.6
	10～20年未満	539 100.0	370 68.6	311 57.7	364 67.5	233 43.2	283 52.5	122 22.6	190 35.3	9 1.7	6 1.1
	20年以上	3969 100.0	2536 63.9	2279 57.4	2488 62.7	1305 32.9	1961 49.4	898 22.6	1377 34.7	57 1.4	174 4.4

図表Ⅳ－30 項目別にみた安心して子育てしやすい環境にするために重要なこと(複数回答)

		調査数	学校環境・保育等の充実	防犯など子どもの安全安心	子育ての経済的負担(医療・教育)が軽い	子どもが遊べる公園などの整備	医療機関が近くにあること	地域や子育て世代間のネットワークづくり	子育てについて気軽に相談できる場所	その他	無回答
全体		4980	3206	2878	3157	1736	2477	1127	1729	77	214
		100.0	64.4	57.8	63.4	34.9	49.7	22.6	34.7	1.5	4.3
姫路への愛着	感じる	2720	1823	1638	1719	959	1356	680	983	31	100
		100.0	67.0	60.2	63.2	35.3	49.9	25.0	36.1	1.1	3.7
	やや感じる	1345	870	769	901	484	686	279	445	29	44
		100.0	64.7	57.2	67.0	36.0	51.0	20.7	33.1	2.2	3.3
	どちらとも言えない	433	256	219	259	146	212	81	157	11	35
		100.0	59.1	50.6	59.8	33.7	49.0	18.7	36.3	2.5	8.1
あまり感じない	300	162	169	179	100	160	50	87	2	13	
	100.0	54.0	56.3	59.7	33.3	53.3	16.7	29.0	0.7	4.3	
感じない	82	50	44	49	25	31	17	30	3	5	
	100.0	61.0	53.7	59.8	30.5	37.8	20.7	36.6	3.7	6.1	
姫路の住みやすさ	住みやすい	1758	1148	1023	1044	620	871	422	631	25	79
		100.0	65.3	58.2	59.4	35.3	49.5	24.0	35.9	1.4	4.5
	まあ住みやすい	2231	1484	1323	1497	790	1115	513	766	30	78
		100.0	66.5	59.3	67.1	35.4	50.0	23.0	34.3	1.3	3.5
	どちらとも言えない	553	319	313	338	177	289	112	188	13	35
		100.0	57.7	56.6	61.1	32.0	52.3	20.3	34.0	2.4	6.3
やや住みにくい	282	172	152	187	106	130	54	94	5	6	
	100.0	61.0	53.9	66.3	37.6	46.1	19.1	33.3	1.8	2.1	
住みにくい	110	60	51	69	31	49	16	35	2	7	
	100.0	54.5	46.4	62.7	28.2	44.5	14.5	31.8	1.8	6.4	
居住を路内でのみか	思う	818	545	482	511	294	426	226	309	15	25
		100.0	66.6	58.9	62.5	35.9	52.1	27.6	37.8	1.8	3.1
	やや思う	1058	747	650	712	400	535	252	391	16	18
		100.0	70.6	61.4	67.3	37.8	50.6	23.8	37.0	1.5	1.7
	どちらとも言えない	1670	1100	999	1117	596	850	382	576	19	58
		100.0	65.9	59.8	66.9	35.7	50.9	22.9	34.5	1.1	3.5
あまり思わない	749	472	416	471	257	361	155	238	16	33	
	100.0	63.0	55.5	62.9	34.3	48.2	20.7	31.8	2.1	4.4	
思わない	344	182	178	190	104	160	54	111	4	26	
	100.0	52.9	51.7	55.2	30.2	46.5	15.7	32.3	1.2	7.6	
地域活動への参加状況	よく参加している	750	533	447	501	276	397	214	245	16	19
		100.0	71.1	59.6	66.8	36.8	52.9	28.5	32.7	2.1	2.5
	ときどき参加している	1735	1175	1031	1138	666	895	418	612	26	46
		100.0	67.7	59.4	65.6	38.4	51.6	24.1	35.3	1.5	2.7
	あまり参加していない	1437	915	816	910	471	699	319	523	18	55
		100.0	63.7	56.8	63.3	32.8	48.6	22.2	36.4	1.3	3.8
まったく参加していない	1000	567	568	598	315	468	173	344	16	64	
	100.0	56.7	56.8	59.8	31.5	46.8	17.3	34.4	1.6	6.4	
市民負担	現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない	641	452	358	406	232	314	193	242	5	11
		100.0	70.5	55.9	63.3	36.2	49.0	30.1	37.8	0.8	1.7
	行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである	3365	2212	2022	2233	1186	1708	751	1184	45	81
		100.0	65.7	60.1	66.4	35.2	50.8	22.3	35.2	1.3	2.4
	その他	289	195	171	202	117	152	80	100	20	7
	100.0	67.5	59.2	69.9	40.5	52.6	27.7	34.6	6.9	2.4	
わからない	492	290	272	258	165	245	84	168	7	30	
	100.0	58.9	55.3	52.4	33.5	49.8	17.1	34.1	1.4	6.1	

(2) 安心して子育てしやすい環境にするために、もっとも重要だと思われることは
なんですか（問 17 - 2）

- 性別・年齢とのクロス集計
 - ・ 男性の 20 歳代から 50 歳代では「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」の回答割合が高くなっている。
 - ・ 女性の 20 歳代では「防犯など子どもの安全安心」の回答割合が、30 歳代では「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」の回答割合が全体より高くなっている。
- 世帯構成とのクロス集計
 - ・ 単身世帯では、全体より「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」の回答割合が低く、「医療機関が近くにあること」の回答割合がやや高くなっている。
 - ・ 二世帯世帯、三世帯世帯では「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」の回答割合が全体よりやや高くなっている。
- 居住年数とのクロス集計
 - ・ 居住年数が 5 年未満では「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」の回答割合が、5～10 年未満では「学校環境・保育等の充実」の回答割合が全体より高くなっている。
- 問 1（愛着を感じるか）とのクロス集計
 - ・ 姫路への愛着を「あまり感じない」と回答した場合、全体より「学校環境・保育等の充実」の回答割合が低く、「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」の回答割合がやや高くなっている。
- 問 5（住みやすさ）とのクロス集計
 - ・ 「住みにくい」、「やや住みにくい」と回答した場合、「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」の回答割合が高く、「住みにくい」と回答した場合は、「医療機関が近くにあること」の回答割合も全体より高くなっている。
- 問 8（姫路市内での居住を勧めたいか）とのクロス集計
 - ・ 姫路市内での居住の推奨度による大きな差異はみられないが、姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいかについて「思う」と回答した場合、「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」の回答割合が全体よりやや低く、「思わない」と回答した場合は、「子育てについて気軽に相談できる場所」の回答割合が全体よりやや高くなっている。
- 問 12-1（地域活動への参加）とのクロス集計
 - ・ 地域活動への参加状況に大きな差異はみられないが、地域活動に参加しているほど、「学校環境・保育等の充実」の回答割合が高く、「防犯など子どもの安全安心」の回答割合が低くなっている。
- 問 19 とのクロス集計
 - ・ 「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」と回答した場合、「学校環境・保育等の充実」の回答割合が高くなっている。

図表Ⅳ－31 属性別にみた安心して子育てしやすい環境にするためにもっとも重要なこと

		調査数	学校環境・保育等の充実	防犯など子どもの安全安心	子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い	子どもが遊べる公園などの整備	医療機関が近くにあること	地域や子育て世代間のネットワークづくり	子育てについて気軽に相談できる場所	その他	無回答
全体		4766 100.0	1094 23.0	848 17.8	1583 33.2	151 3.2	348 7.3	178 3.7	271 5.7	36 0.8	257 5.4
男性	10歳代	85 100.0	21 24.7	12 14.1	32 37.6	6 7.1	7 8.2	4 4.7	2 2.4	0 0.0	1 1.2
	20歳代	143 100.0	30 21.0	27 18.9	58 40.6	8 5.6	5 3.5	4 2.8	3 2.1	4 2.8	4 2.8
	30歳代	174 100.0	32 18.4	28 16.1	86 49.4	5 2.9	5 2.9	5 2.9	7 4.0	0 0.0	6 3.4
	40歳代	295 100.0	56 19.0	52 17.6	120 40.7	11 3.7	19 6.4	10 3.4	17 5.8	3 1.0	7 2.4
	50歳代	314 100.0	76 24.2	57 18.2	120 38.2	9 2.9	15 4.8	11 3.5	12 3.8	2 0.6	12 3.8
	60歳代	387 100.0	94 24.3	52 13.4	143 37.0	13 3.4	27 7.0	13 3.4	24 6.2	2 0.5	19 4.9
	70歳代以上	489 100.0	110 22.5	86 17.6	134 27.4	20 4.1	58 11.9	21 4.3	25 5.1	3 0.6	32 6.5
女性	10歳代	93 100.0	24 25.8	16 17.2	26 28.0	6 6.5	8 8.6	1 1.1	7 7.5	2 2.2	3 3.2
	20歳代	166 100.0	37 22.3	39 23.5	56 33.7	4 2.4	3 1.8	9 5.4	9 5.4	2 1.2	7 4.2
	30歳代	349 100.0	90 25.8	60 17.2	142 40.7	7 2.0	8 2.3	12 3.4	11 3.2	1 0.3	18 5.2
	40歳代	449 100.0	116 25.8	79 17.6	165 36.7	10 2.2	23 5.1	13 2.9	20 4.5	8 1.8	15 3.3
	50歳代	488 100.0	113 23.2	100 20.5	156 32.0	17 3.5	24 4.9	22 4.5	32 6.6	3 0.6	21 4.3
	60歳代	522 100.0	135 25.9	87 16.7	166 31.8	7 1.3	30 5.7	25 4.8	36 6.9	2 0.4	34 6.5
	70歳代以上	721 100.0	139 19.3	140 19.4	163 22.6	24 3.3	98 13.6	26 3.6	60 8.3	4 0.6	67 9.3
世帯構成	単身世帯（一人暮らし）	496 100.0	91 18.3	99 20.0	132 26.6	16 3.2	56 11.3	19 3.8	43 8.7	5 1.0	35 7.1
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど（一世帯）	1356 100.0	311 22.9	247 18.2	431 31.8	36 2.7	106 7.8	55 4.1	76 5.6	8 0.6	86 6.3
	親と子ども（二世帯）	2266 100.0	549 24.2	389 17.2	804 35.5	79 3.5	136 6.0	77 3.4	119 5.3	17 0.8	96 4.2
	親と子どもと孫など（三世帯）	481 100.0	108 22.5	86 17.9	171 35.6	14 2.9	24 5.0	23 4.8	26 5.4	3 0.6	26 5.4
	その他	92 100.0	22 23.9	12 13.0	30 32.6	2 2.2	12 13.0	1 1.1	4 4.3	2 2.2	7 7.6
居住年数	5年未満	194 100.0	42 21.6	35 18.0	80 41.2	6 3.1	10 5.2	4 2.1	7 3.6	1 0.5	9 4.6
	5年～10年未満	184 100.0	53 28.8	25 13.6	62 33.7	4 2.2	12 6.5	6 3.3	10 5.4	3 1.6	9 4.9
	10～20年未満	533 100.0	123 23.1	83 15.6	185 34.7	24 4.5	44 8.3	18 3.4	29 5.4	4 0.8	23 4.3
	20年以上	3795 100.0	864 22.8	693 18.3	1245 32.8	114 3.0	274 7.2	149 3.9	220 5.8	27 0.7	209 5.5

図表Ⅳ－32 項目別にみた安心して子育てしやすい環境にするためにもっとも重要なこと

		調査数	学校環境・保育等の充実	防犯など子どもの安全安心	子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い	子どもが遊べる公園などの整備	医療機関が近くにあること	地域や子育て世代間のネットワークづくり	子育てについて気軽に相談できる場所	その他	無回答
全体		4766 100.0	1094 23.0	848 17.8	1583 33.2	151 3.2	348 7.3	178 3.7	271 5.7	36 0.8	257 5.4
姫路への愛着	感じる	2620 100.0	630 24.0	499 19.0	819 31.3	74 2.8	181 6.9	104 4.0	148 5.6	9 0.3	156 6.0
	やや感じる	1301 100.0	291 22.4	213 16.4	471 36.2	44 3.4	94 7.2	49 3.8	70 5.4	18 1.4	51 3.9
	どちらとも言えない	398 100.0	87 21.9	63 15.8	136 34.2	16 4.0	33 8.3	15 3.8	24 6.0	4 1.0	20 5.0
	あまり感じない	287 100.0	51 17.8	50 17.4	107 37.3	11 3.8	24 8.4	8 2.8	16 5.6	2 0.7	18 6.3
	感じない	77 100.0	20 26.0	12 15.6	25 32.5	1 1.3	7 9.1	2 2.6	7 9.1	2 2.6	1 1.3
姫路の住みやすさ	住みやすい	1679 100.0	403 24.0	324 19.3	505 30.1	43 2.6	120 7.1	68 4.1	105 6.3	8 0.5	103 6.1
	まあ住みやすい	2153 100.0	503 23.4	375 17.4	751 34.9	71 3.3	150 7.0	74 3.4	108 5.0	18 0.8	103 4.8
	どちらとも言えない	518 100.0	105 20.3	90 17.4	172 33.2	17 3.3	43 8.3	21 4.1	34 6.6	6 1.2	30 5.8
	やや住みにくい	276 100.0	61 22.1	40 14.5	108 39.1	15 5.4	15 5.4	11 4.0	14 5.1	3 1.1	9 3.3
	住みにくい	103 100.0	17 16.5	14 13.6	40 38.8	3 2.9	13 12.6	1 1.0	6 5.8	1 1.0	8 7.8
居住を勧めたいのか	思う	793 100.0	185 23.3	155 19.5	228 28.8	23 2.9	64 8.1	35 4.4	47 5.9	6 0.8	50 6.3
	やや思う	1040 100.0	257 24.7	188 18.1	347 33.4	30 2.9	60 5.8	48 4.6	63 6.1	6 0.6	41 3.9
	どちらとも言えない	1612 100.0	367 22.8	297 18.4	575 35.7	41 2.5	101 6.3	53 3.3	82 5.1	9 0.6	87 5.4
	あまり思わない	716 100.0	164 22.9	107 14.9	257 35.9	34 4.7	60 8.4	21 2.9	29 4.1	9 1.3	35 4.9
	思わない	318 100.0	63 19.8	48 15.1	107 33.6	12 3.8	30 9.4	5 1.6	29 9.1	3 0.9	21 6.6
地域活動への参加状況	よく参加している	731 100.0	184 25.2	121 16.6	248 33.9	32 4.4	43 5.9	33 4.5	29 4.0	5 0.7	36 4.9
	ときどき参加している	1689 100.0	402 23.8	294 17.4	544 32.2	50 3.0	130 7.7	64 3.8	100 5.9	13 0.8	92 5.4
	あまり参加していない	1382 100.0	306 22.1	246 17.8	468 33.9	43 3.1	95 6.9	59 4.3	78 5.6	9 0.7	78 5.6
	まったく参加していない	936 100.0	195 20.8	182 19.4	320 34.2	26 2.8	74 7.9	21 2.2	64 6.8	9 1.0	45 4.8
行政サービスと市民負担	現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない	630 100.0	195 31.0	92 14.6	198 31.4	18 2.9	29 4.6	33 5.2	38 6.0	2 0.3	25 4.0
	行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである	3284 100.0	714 21.7	601 18.3	1156 35.2	96 2.9	237 7.2	111 3.4	183 5.6	17 0.5	169 5.1
	その他	282 100.0	71 25.2	47 16.7	96 34.0	11 3.9	12 4.3	16 5.7	8 2.8	13 4.6	8 2.8
	わからない	462 100.0	94 20.3	100 21.6	112 24.2	21 4.5	49 10.6	15 3.2	35 7.6	4 0.9	32 6.9

8. 姫路の魅力について

(1) アピールすべき姫路の魅力はなんですか（問 18）

■ 世帯構成とのクロス集計

- ・ 単身世帯では「姫路城などの歴史遺産」、「海・山・川など豊かな自然」、「新幹線や道路網などの交通環境」および「良好な住環境」の回答割合が全体より低くなっている。
- ・ 三世帯世帯では「海・山・川など豊かな自然」、「人情味ある土地柄」の回答割合が全体よりやや高くなっている。

■ 居住年数とのクロス集計

- ・ 居住年数が5年未満の場合、全体より「新幹線や道路網などの交通環境」、「豊富な飲食店・商業施設」の回答割合が高くなっているが、「秋祭りなどの伝統行事」、「良好な住環境」、「人情味ある土地柄」の回答割合は低くなっている。

■ 問1（愛着を感じるか）とのクロス集計

- ・ 姫路への愛着を「感じる」と回答した場合は、「秋祭りなどの伝統行事」、「人情味ある土地柄」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 「どちらとも言えない」、「あまり感じない」、「感じない」と回答した場合は、全体より各項目の回答割合が低くなっている。

■ 問5（住みやすさ）とのクロス集計

- ・ 「住みやすい」と回答した場合は、「秋祭りなどの伝統行事」、「新幹線や道路網などの交通環境」、「良好な住環境」および「人情味ある土地柄」の回答割合が全体より高くなっている。
- ・ 「どちらとも言えない」、「やや住みにくい」、「住みにくい」と回答した場合は、全体より各項目の回答割合が低くなっている。

図表Ⅳ－33 属性・項目別にみたアピールすべき姫路の魅力

	調査数	姫路城などの歴史遺産	秋祭りなどの伝統行事	海・山・川など豊かな自然	新幹線や道路網などの交通環境	地場の農産物や魚介類など食の豊富さ	良好な住環境	人情味ある土地柄	駅や道路など整備された街並み	大規模工場・先端技術などの産業力	50万人を超える人口規模	充実した公共施設	豊富な飲食店・商業施設	その他	無回答	
全体	4980 100.0	3903 78.4	2070 41.6	1481 29.7	1369 27.5	1222 24.5	1042 20.9	794 15.9	689 13.8	466 9.4	427 8.6	425 8.5	416 8.4	99 2.0	238 4.8	
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	541 100.0	382 70.6	205 37.9	133 24.6	109 20.1	114 21.1	85 15.7	83 15.3	61 11.3	39 7.2	38 7.0	42 7.8	16 3.0	44 8.1	
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど(一世代)	1420 100.0	1100 77.5	566 39.9	474 33.4	388 27.3	397 28.0	324 22.8	253 17.8	233 16.4	146 10.3	137 9.6	147 10.4	130 9.2	57 4.0	
	親と子ども(二世帯)	2318 100.0	1902 82.1	1002 43.2	665 28.7	700 30.2	547 23.6	490 21.1	341 14.7	313 13.5	213 9.2	180 7.8	181 7.8	198 8.5	47 2.0	81 3.5
	親と子どもと孫など(三世帯)	499 100.0	398 79.8	225 45.1	169 33.9	136 27.3	118 23.6	114 22.8	95 19.0	59 11.8	50 10.0	55 11.0	43 8.6	35 7.0	7 1.4	17 3.4
	その他	103 100.0	70 68.0	40 38.8	27 26.2	29 28.2	27 26.2	17 16.5	11 10.7	12 11.7	8 7.8	11 10.7	8 7.8	7 6.8	5 4.9	13 12.6
	居住年数	5年未満	202 100.0	163 80.7	60 29.7	56 27.7	77 38.1	47 23.3	30 14.9	16 7.9	29 14.4	26 12.9	13 6.4	14 6.9	31 15.3	4 2.0
5年～10年未満	189 100.0	150 79.4	66 34.9	52 27.5	59 31.2	47 24.9	35 18.5	21 11.1	23 12.2	17 9.0	15 7.9	18 9.5	14 7.4	5 2.6	6 3.2	
10～20年未満	539 100.0	417 77.4	232 43.0	148 27.5	156 28.9	105 19.5	102 18.9	69 12.8	61 11.3	34 6.3	47 8.7	44 8.2	52 9.6	16 3.0	19 3.5	
20年以上	3969 100.0	3130 78.9	1686 42.5	1218 30.7	1068 26.9	1006 25.3	863 21.7	678 17.1	566 14.3	381 9.6	349 8.8	344 8.7	314 7.9	71 1.8	179 4.5	
姫路への愛着	感じる	2720 100.0	2237 82.2	1297 47.7	942 34.6	832 30.6	752 27.6	692 25.4	593 21.8	467 17.2	298 11.0	304 11.2	279 10.3	253 9.3	40 1.5	78 2.9
	やや感じる	1345 100.0	1082 80.4	515 38.3	352 26.2	347 25.8	324 24.1	233 17.3	134 10.0	142 10.6	101 7.5	80 5.9	77 5.7	103 7.7	23 1.7	52 3.9
	どちらとも言えない	433 100.0	298 68.8	139 32.1	92 21.2	87 20.1	71 16.4	59 13.6	27 6.2	40 9.2	36 8.3	16 3.7	33 7.6	25 5.8	14 3.2	40 9.2
	あまり感じない	300 100.0	185 61.7	71 23.7	58 19.3	63 21.0	44 14.7	34 11.3	18 6.0	21 7.0	20 6.7	13 4.3	22 7.3	25 8.3	13 4.3	34 11.3
	感じない	82 100.0	43 52.4	13 15.9	12 14.6	16 19.5	9 11.0	7 8.5	5 6.1	7 8.5	3 3.7	6 7.3	5 6.1	1 1.2	9 11.0	13 15.9
	姫路の住みやすさ	住みやすい	1758 100.0	1418 80.7	837 47.6	583 33.2	588 33.4	474 27.0	507 28.8	389 22.1	325 18.5	183 10.4	206 11.7	191 10.9	193 11.0	22 1.3
まあ住みやすい	2231 100.0	1810 81.1	916 41.1	669 30.0	597 26.8	568 25.5	434 19.5	320 14.3	291 13.0	216 9.7	170 7.6	173 7.8	158 7.1	34 1.5	97 4.3	
どちらとも言えない	553 100.0	378 68.4	178 32.2	124 22.4	102 18.4	98 17.7	53 9.6	45 8.1	38 8.1	39 7.1	27 4.9	31 5.6	32 5.8	19 3.4	51 9.2	
やや住みにくい	282 100.0	209 74.1	103 36.5	69 24.5	56 19.9	56 19.9	27 9.6	28 9.9	19 6.7	19 6.7	17 6.0	17 6.0	20 7.1	8 2.8	17 6.0	
住みにくい	110 100.0	61 55.5	18 16.4	22 20.0	19 17.3	12 10.9	13 11.8	8 7.3	10 9.1	5 4.5	5 4.5	6 5.5	7 6.4	14 12.7	9 8.2	

9. 行政サービスについて

(1) 今後、人口減少が続くと、市役所が提供する行政サービス（公共施設の運営やごみ処理、上下水道など）の水準を維持することが困難になることも予想されます。行政サービス水準、市民負担（税や使用料など）についてあなたの考えに近いものはどれですか（問 19）

■ 世帯構成とのクロス集計

- ・ 世帯構成による大きな差異はみられないが、三世帯世帯では「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」の回答割合が全体よりやや高くなっている。

■ 居住年数とのクロス集計

- ・ 居住年数が5年未満、10～20年未満の場合、「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」の回答割合が全体より低く、20年以上の場合で「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」の回答割合が全体よりやや高くなっている。

■ 職業とのクロス集計

- ・ 臨時、パート、家事専業の場合、「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」の回答割合が高くなっている。
- ・ 学生（大学、専門学校等）および中学生、高校生では、全体より「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」の回答割合が低く、「わからない」の回答割合が高くなっている。

■ 問 19 の回答別にみた問 9（現状の満足度・今後の重要性）の上位 10 施策

- ・ 現状の満足度において、上位 3 施策は同じであるが、「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」と回答した場合は、「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」と回答した場合に比べて、「姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化」、「防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実」の施策の順位が高く、「保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実」や「都市景観の創出など都市空間の形成」が上位 10 施策に入っている。
- ・ 今後の重要性において、「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」と回答した場合、「保育サービスの充実など子育て支援の推進」、「姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用」の施策の順位が高く、「ごみの減量化など循環型社会の形成」が上位 10 施策に入っている。

図表Ⅳ－34 属性別にみた行政サービスと市民負担について

		調査数	えめ現在の行政サービス水準を維持するた てもならば、使用料などの市民負担が増	行政サービス水準を見直すこと、使 用料などの市民負担が増えないよう にするべきである	その他	わからない	無回答
全 体		4980 100.0	641 12.9	3365 67.6	289 5.8	492 9.9	193 3.9
世帯構成	単身世帯(一人暮らし)	541 100.0	81 15.0	350 64.7	28 5.2	55 10.2	27 5.0
	夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど (一世代)	1420 100.0	184 13.0	966 68.0	83 5.8	135 9.5	52 3.7
	親と子ども(二世代)	2318 100.0	304 13.1	1573 67.9	146 6.3	230 9.9	65 2.8
	親と子どもと孫など(三世代)	499 100.0	51 10.2	360 72.1	24 4.8	47 9.4	17 3.4
	その他	103 100.0	11 10.7	71 68.9	4 3.9	11 10.7	6 5.8
	居住年数	5年未満	202 100.0	32 15.8	123 60.9	11 5.4	28 13.9
5年～10年未満		189 100.0	29 15.3	121 64.0	14 7.4	18 9.5	7 3.7
10～20年未満		539 100.0	76 14.1	336 62.3	32 5.9	81 15.0	14 2.6
20年以上		3969 100.0	497 12.5	2744 69.1	230 5.8	356 9.0	142 3.6
職業	農林漁業、その他家族従事者	34 100.0	9 26.5	19 55.9	2 5.9	3 8.8	1 2.9
	自営業 (商工サービス、自由業等)	331 100.0	44 13.3	220 66.5	24 7.3	34 10.3	9 2.7
	会社、官公署などに勤務 (臨時、パート除く)	1359 100.0	220 16.2	914 67.3	121 8.9	83 6.1	21 1.5
	臨時、パート	862 100.0	84 9.7	643 74.6	36 4.2	76 8.8	23 2.7
	家事専業	661 100.0	65 9.8	483 73.1	30 4.5	66 10.0	17 2.6
	学生(大学、専門学校等)	101 100.0	17 16.8	62 61.4	3 3.0	17 16.8	2 2.0
	中学生、高校生	125 100.0	19 15.2	58 46.4	6 4.8	40 32.0	2 1.6
	無職	1270 100.0	151 11.9	841 66.2	54 4.3	142 11.2	82 6.5
	その他	112 100.0	20 17.9	63 56.3	10 8.9	13 11.6	6 5.4

図表Ⅳ－35 問19の回答別にみた姫路市の施策に対する現状の満足度(上位10項目)

1:現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない(N=641)

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.83	1
2	⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.64	2
3	⑳ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.54	3
4	㉒ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.38	6
5	㉔ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.38	7
6	㉖ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.34	5
7	⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.34	8
8	㉘ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.33	4
9	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	3.32	13
10	㉚ 都市景観の創出など都市空間の形成	3.30	11

2:行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである(N=3365)

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.67	1
2	⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.52	2
3	⑳ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.35	3
4	㉘ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.25	4
5	㉖ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.23	5
6	㉚ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.22	6
7	㉔ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.21	7
8	⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.19	8
9	㉞ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.19	9
10	⑲ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.17	10

図表Ⅳ－36 問19の回答別にみた姫路市の施策に対する今後の重要性(上位10項目)

1:現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない(N=641)

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.50	1
2	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.43	5
3	㉞ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.43	3
4	㉠ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.39	2
5	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.37	4
6	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.36	7
7	⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	4.35	9
8	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.33	6
9	㉔ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.32	8
10	㉚ こみの減量化など循環型社会の形成	4.25	12

2:行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである(N=3365)

順位	施策の主な内容	平均得点	全体順位
1	③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.46	1
2	⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.40	4
3	㉠ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.40	2
4	㉞ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.38	3
5	⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.32	6
6	② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.31	5
7	① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.30	7
8	㉔ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.29	8
9	㉘ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.23	10
10	⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	4.23	9

V. 調査結果(自由記述)

(1) あなたの姫路のイメージをどのようなことでも自由にご記入ください(問2)

- ・ 姫路城や城に関する回答が多く、「姫路城が美しい」といった良いイメージに加え、「姫路城しかない」といった回答もみられた。また、「田舎すぎず、都会すぎずちょうどよい」や、「祭り」に関する回答、近年の駅周辺の整備に関する回答もみられた。
- ・ KH Coder¹を用いて、回答の中でそれぞれの語がどのような文脈で使用されているか分析したところ、「姫路城」は「観光」や「世界遺産」といった語と使用されている。また、「災害が少ない」、「交通の便が良い」、「ガラが悪い」といった文脈の回答が多かった。

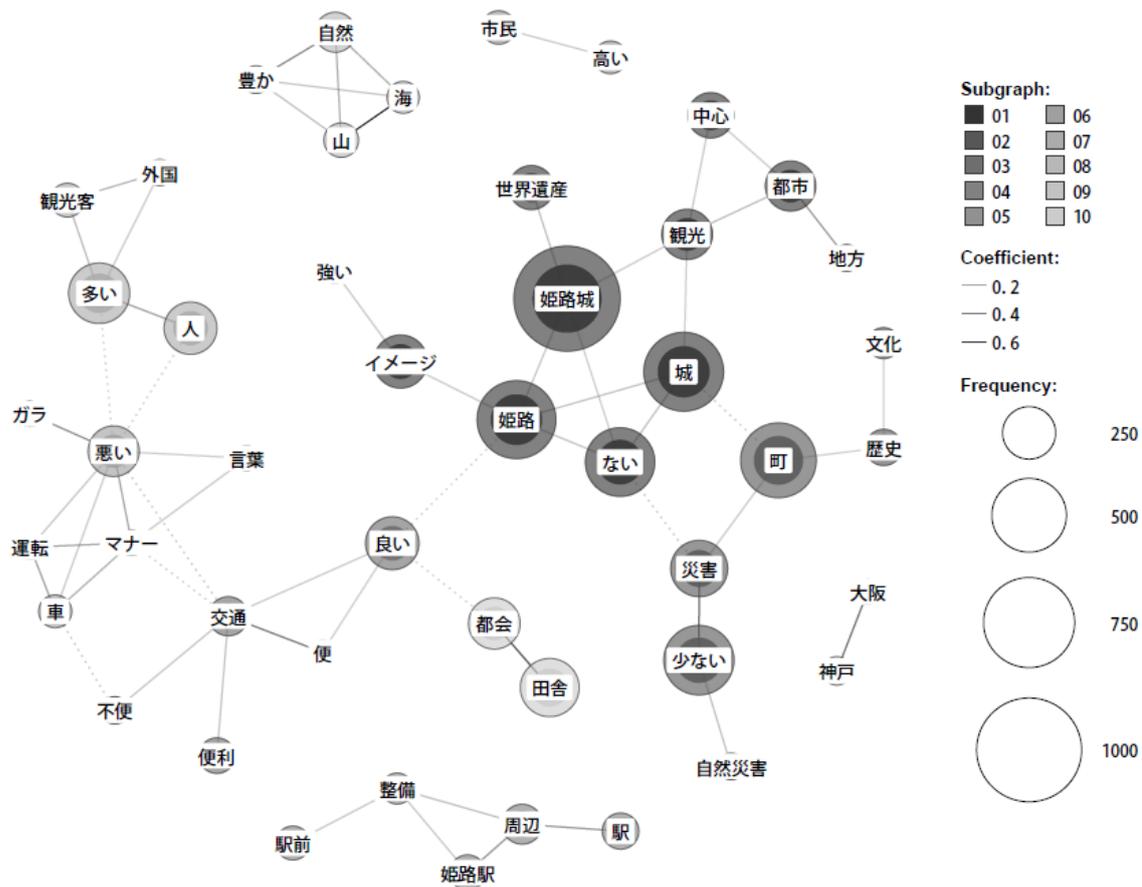
図表 V - 1 問2における代表的な回答(回答数 3203)

カテゴリー	主な回答
姫路城・観光	姫路城が美しい、お城がきれい、お城が自慢
	姫路城(お城)しかない、姫路城以外の観光地がない
	観光都市、外国人観光客が多い
都市構造	田舎すぎず、都会すぎずちょうどよい
	田舎
	中途半端
自然環境	海、山があり、自然に恵まれている
	自然災害が少ない
	温暖な気候
マナー・気質	人情味あふれる地域、人が優しい
	言葉遣いが悪い
	運転マナーが悪い
	ガラが悪い
利便性	交通の便がよい、新幹線がとまる
	車がないと生活しにくい、交通の便が悪い
イベント	秋祭り、けんか祭り、祭りが盛んで活気がある
活性化	駅周辺が整備され、便利できれい
	駅前だけ発展している
全般	住みやすい
	のんびり
	播州弁
	城下町

(注)記載の回答数は、「特になし」、「なし」等の回答数を除外した数である。

¹ KH Coder とは、テキスト型(文章型)データを統計的に分析するためのフリーソフトウェアである(<http://khcoder.net/>)。本調査では、KH Coder (version 3. Alpha.14)を使用した。

図表 V - 2 問2の回答における頻出語の共起関係(一緒に使用される頻度が高い語との関係)を示した図



(注)KH Coder の「共起ネットワーク」を用いて作成

凡例の見方について

Subgraph:よく一緒に使用される語のグループ分けを示し、今回であれば 10 のグループ(まとまり)があることを示す。

Coefficient:線の濃さにより、語同士のつながりの強さを示しており、色が濃いほど、つながりが強い。破線は、異なる Subgraph(グループ)に属する語同士のつながりを示す。

Frequency:語の出現頻度を円の大ききで示す。

なお、この図では、語や Subgraph の布置された位置よりも線で結ばれているかどうかということに意味がある。

(注)イメージを問う設問であることから、名詞、形容詞、形容動詞を対象とした。

(2) 今後、姫路市が目指すべき将来像やまちづくりのあり方などについて、ご意見等がありましたら自由にご記入ください。

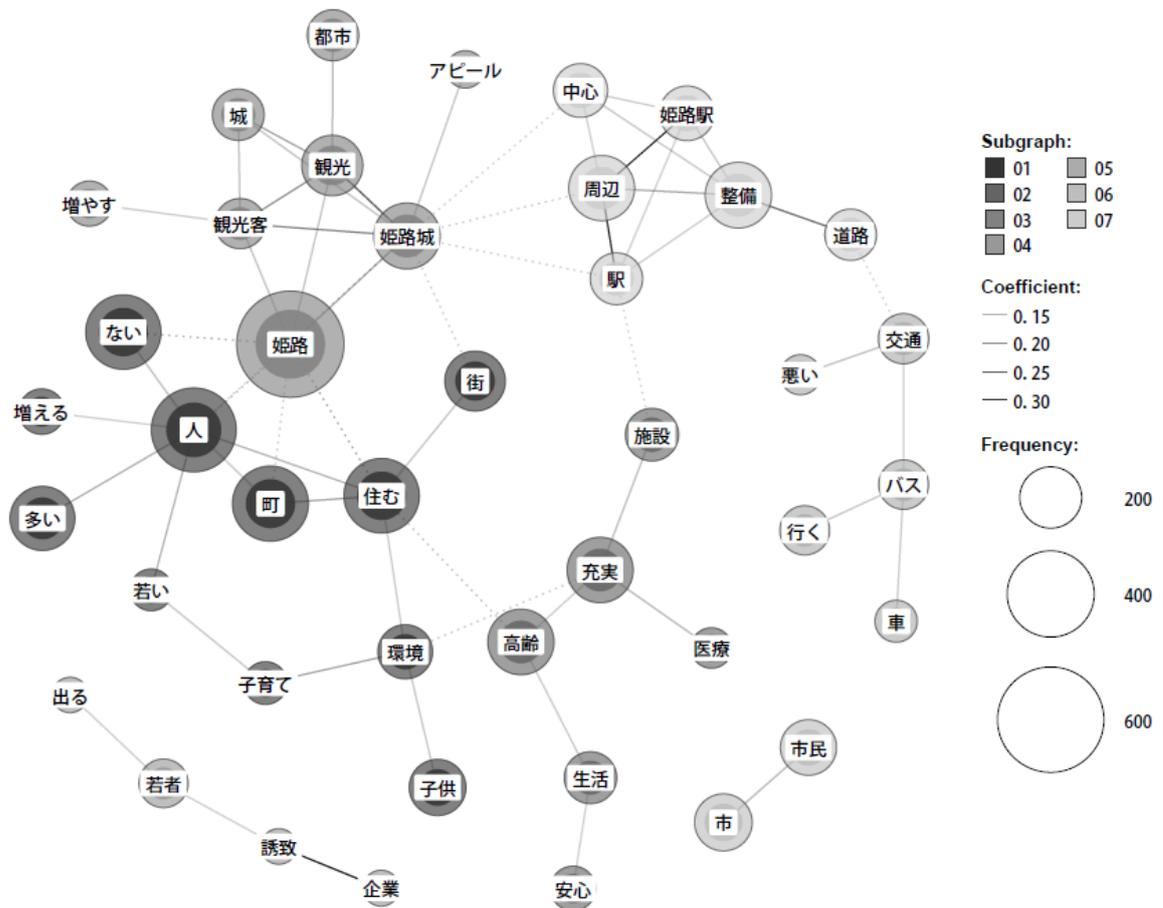
- ・「市中心部だけでなく、市全体が活性化できるように」や「姫路城に続く商店街の活性化」など姫路駅周辺に関する意見が多くみられた。また、子どもの医療費負担軽減などの子育て環境に関する意見や、若者の雇用環境に関する意見などがみられた。
- ・回答の中でそれぞれの語がどのような文脈で使用されているかについて、KH Coder を用いて、一緒に使用される頻度の高い語を調べることで分析したところ、「姫路」は「姫路駅周辺の整備」といった文脈の回答が多かったことがわかる。また、図より「子育て」、「医療」、「福祉」の充実に関する回答や、「企業誘致」といった文脈の回答が多かった。

図表 V - 3 自由記述における代表的な意見(回答数 1690)

カテゴリー	内容
姫路駅周辺	姫路市中心部だけでなく、周辺の市町村と協力して、姫路市全体が活性化出来る様に公共交通網の整備をして、周辺の住民が姫路市へ入りやすい様にする(自家用車を使用しなくても)。現状は姫路駅周辺のみ便利になっている感が強い。
	姫路駅前のお店の閉店時間が早すぎる。駅前だけでも夜、時間がつぶせるよう行ける場所(お店)が欲しい。夜は寂しい。尾道が夜にぎわっているのに驚いた。駅～お城間の夜をもっとにぎやかにできないか。
	姫路駅前はどこもきれいになってよいと思うが、お城までつづく商店街も大切にされたら、町の雰囲気にあたかみが出ると思う。新旧がうまく共存する町になってくれればと思う。
観光	観光客が姫路城以外にも興味をもてるような場所、食事、ここにしかないものを発見して、滞在してもらえそうな事を考えていくべき。
	観光場所のPRの強化と、それぞれの場所への交通の利便性をはかる。また、親切な案内や分かりやすい表示もさらに必要である。また、姫路の特産物を使った飲食店を充実させることも大事。
高齢者	高齢者にやさしい町づくりをお願いする。バスの本数が少なすぎる。車がないと生活できない。高齢になったらどうするか、いつまでも免許返納ができない、車がなくても住みやすい町に。
	高齢者の粗大ゴミを出す場所を考えてほしい。
子育て	子育てがしやすい町であってほしい。幼児にも医療費がいるのには、他市から転入した知人がすごく驚いていた。子どもの友人・夫の知人の子どもと、結婚して新居を明石市に決める人が多い。やはり、子育てしやすい町というのが決め手の理由らしい。
	市内全域の学校にエアコンを設置する(熱中症対策)とか、通学路には防犯カメラを設置などに、力を入れていただくと親としては安心できる。市外に生まれている方も、姫路で子育てしたいと思ってもらえる。駅前の整備も大事であるが、こういった所にもお金を使ってほしい。
若者	若者の雇用環境の向上など、若い世代が住みやすいまちづくり
	若い世代が都市へ移住しなくても、生活できるように、魅力ある大企業や大型商業施設・企業誘致、集客できるイベント、街づくり
医療	医療費の負担軽減、子どもの医療の補助の所得制限をなくしてほしい。
自治会活動等	地域のつながり、地域活動について、今のライフスタイルに合った、参加しやすいかたちを検討すべき。
	自治会活動あつての元気な町づくりが出来ていると思う
災害	近年、自然災害が多く発生している。災害に備え、災害に強い街づくりをしてほしい。
	自然災害に備えて、側溝河川等の整備が必要なのではと思っている。
環境	まだまだゴミが目立つ。姫路城という国宝を持ちながら、ポイ捨ては相変わらず。ゴミ収集においても、プラの袋に平気で新聞紙、ダンボールが入っていても回収され、リサイクルとは名ばかり。その為、全て生ゴミとして捨てる人が多い。
市民窓口サービス	公共料金、市民税が高い。税金の無駄をなくしてほしい。市職員の削減の取組。
	市役所へ行ったときの対応が悪かった。お客様がたくさん待っているのに、対応しているスタッフが少なく、とても時間がかかった。対策をすぐに考えてほしい。
	老人が増える時代、子供が少なくなっていく時代、姫路市役所一カ所に集中するのではなく、市民の声が届く事務所を増やし、職員の数を増やさずできるのではないかな。
	行政の手続きや説明をスマホやインターネットにまかせすぎないで丁寧に親切に対応してほしい。

(注) 記載の回答数は、「特になし」、「なし」、「問2に記載」等の回答数を除外した数である。

図表 V - 4 自由記述における頻出語の共起関係(一緒に使用される頻度が高い語との関係)を示した図



(注)KH Coder の「共起ネットワーク」を用いて作成

凡例の見方について

Subgraph:よく一緒に使用される語のグループ分けを示し、今回であれば7のグループ(まとまり)があることを示す。

Coefficient:線の濃さにより、語同士のつながりの強さを示しており、色が濃いほど、つながりが強い。破線は、異なるSubgraph(グループ)に属する語同士のつながりを示す。

Frequency:語の出現頻度を円の大ききで示す。

なお、この図では、語やSubgraphの布置された位置よりも線で結ばれているかどうかということに意味がある。

I. 本調査の目的と実施概要

1. 本調査の目的

姫路市まちづくりのための有識者アンケート調査は、新たな総合計画の策定にあたり、市政にかかわりが深く、姫路市内外に在住する各種審議会・懇話会の委員や自治会・婦人会の有識者に対して、姫路市の特性や課題、将来像について意見を伺うために実施した。

2. 調査実施概要

(1) 調査対象者

対象者：658名 内訳：学識者（各種審議会委員、ふるさと懇話会）…551名
地域団体（各種団体の長）…107名

(2) 調査票配布・回収方法

郵送により調査票を配布・回収（希望者はwebから調査票をダウンロード）。なお、督促葉書を送付することにより回収率の向上を図った。

(3) 調査期間

平成30年8月29日（水）発送～9月21日（金）〆切

(4) 調査内容

【学識者】

1. 回答者の属性（居住地、性別、年齢、専門分野）
2. 居住地域と姫路市の違いについて（姫路市の住みよさ、姫路市及び居住地域の優れている行政サービス、他市区町村の取組）
3. 姫路市の課題について
4. 今後の姫路のまちづくりにとって必要な取組について
5. 行政サービスの水準と市民負担について
6. 将来像やまちづくりのあり方などに関する自由意見

【地域団体】

1. 回答者の属性（居住地、性別、年齢）
2. 住みやすさや定住意向について（姫路の住みよさ、定住意向、生活満足度、姫路市内での居住の勧め）
3. 所属する地域団体の活動について
4. 今後の姫路のまちづくりにとって必要な取組について
5. 行政サービスの水準と市民負担について
6. 将来像やまちづくりのあり方などに関する自由意見

(5) 回収率

	学識者	地域団体	前回 (H18.9)
発送数	551 票	107 票	514 票
回収数	259 票	91 票	353 票
有効回収率	47.0%	85.0%	68.7%

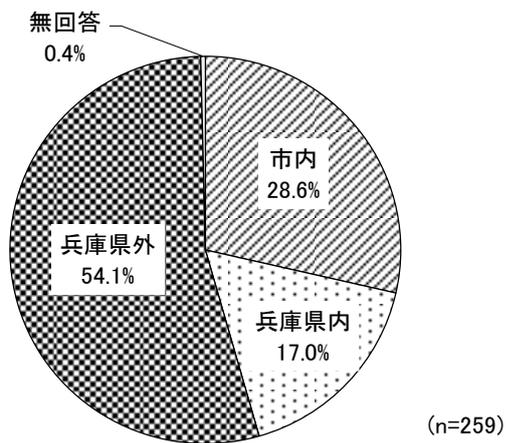
(6) 集計結果の記載について

本調査において算出した割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。また、属性別集計表の2行目の「全体」の調査数については、列方向の項目では、無回答数が除外されているため、行方向の合計を示している。なお、複数回答の設問に関しては、属性別集計表の2行目の「全体」の調査数はアンケート回答者総数となっている。

II. 回答者の属性(学識者)

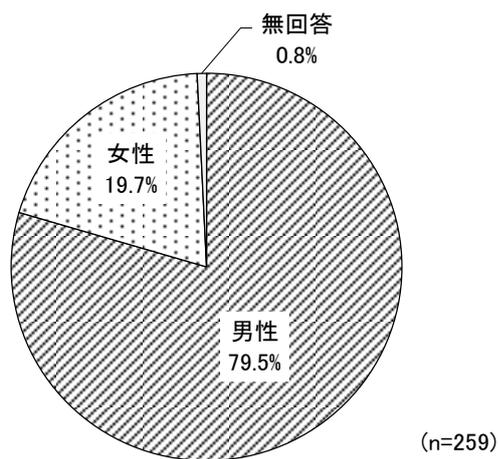
1. 居住地(F1)

図表Ⅱ－1 居住地



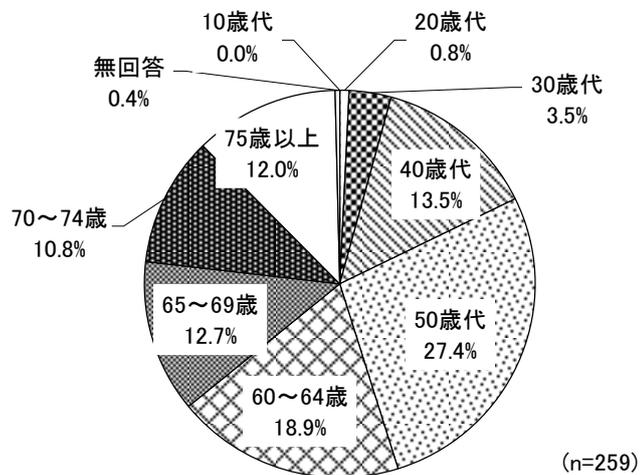
2. 性別(F2)

図表Ⅱ－2 性別



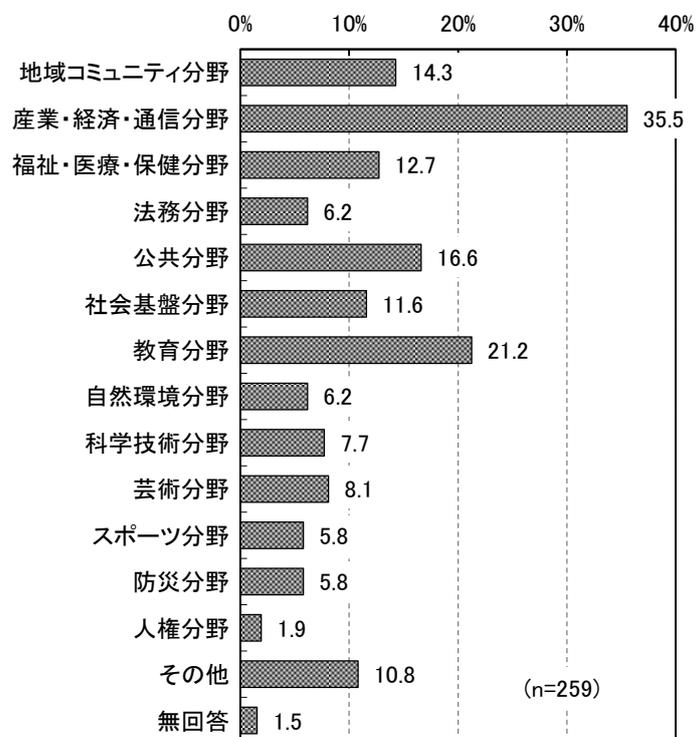
3. 年齢(F3)

図表Ⅱ－3 年齢



4. 専門分野(F4)

図表Ⅱ－4 専門分野(複数回答)



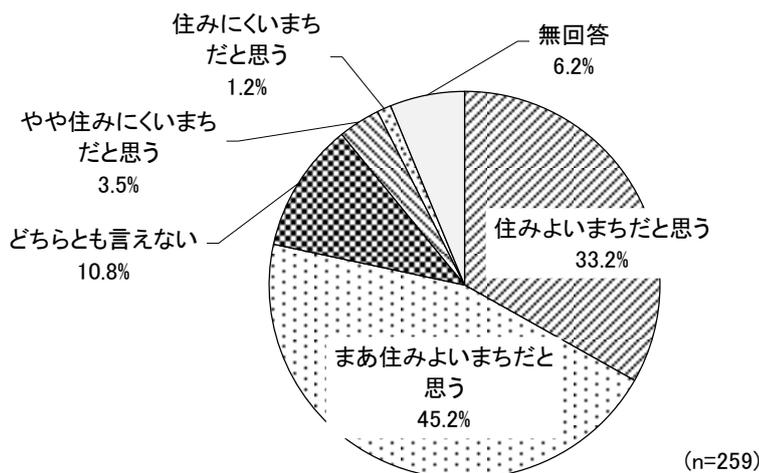
III. 調査結果(学識者)

1. 現在の居住地域と姫路市との違いについて

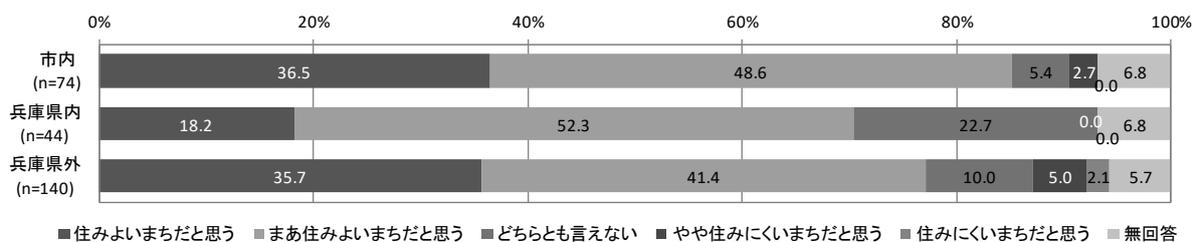
(1) 姫路市は住みよいまちだと思いますか (問 1)

- 全体傾向
 - ・「まあ住みよいまちだと思う」を含めると、75%以上が「住みよいまちだと思う」と回答している。
 - ・一方、「やや住みにくいまちだと思う」を含めて、「住みにくいまちだと思う」という回答の割合は5%未満となっている。
- 居住地別傾向
 - ・居住地別にみた場合、市内在住者では「住みよいまちだと思う」、「まあ住みよいまちだと思う」の回答割合が85.1%ともっとも高く、兵庫県内在住者では、70.5%と市内、県外在住者よりやや低くなっている。一方で、兵庫県内在住者では「住みにくいまちだと思う」、「やや住みにくいまちだと思う」の回答がともに0%であった。

図表Ⅲ－1 姫路市は住みよいまちだと思うか



図表Ⅲ－2 居住地別にみた姫路市は住みよいまちだと思うか

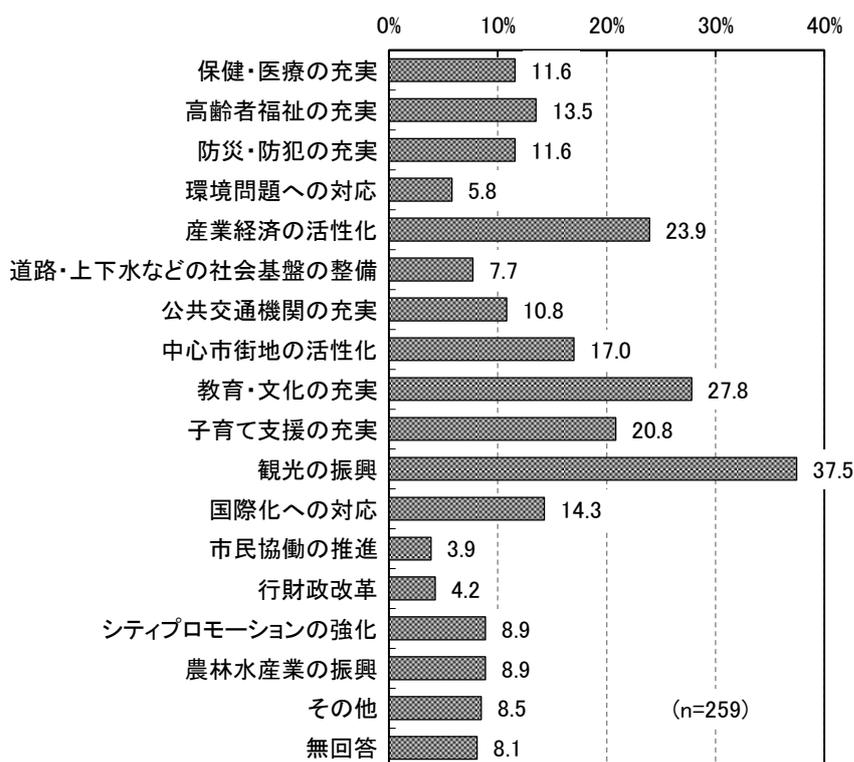


2. 姫路市の課題について

(1) 姫路市が今後、力を入れていくべき点はどれだと思いますか。選択した項目について右欄に具体的な内容をご記入ください（問5）

- 全体傾向
 - ・「観光の振興」との回答割合が37.5%でもっとも高く、次いで「教育・文化の充実」が27.8%、「産業経済の活性化」が23.9%となっている。
- 居住地別傾向
 - ・市内在住者では、全体より「子育て支援の充実」、「保健・医療の充実」、「農林水産業の振興」の回答割合が高く、「観光の振興」、「国際化への対応」の回答割合は低くなっている。
 - ・兵庫県内在住者では、全体より「観光の振興」、「高齢者福祉の充実」の回答割合が高く、「産業経済の活性化」などの回答割合が低くなっている。
 - ・兵庫県外在住者では、全体より「国際化への対応」の回答割合が高くなっている。

図表Ⅲ－3 今後力を入れていくべき点(複数回答)



図表Ⅲ－４ 居住地別にみた今後力を入れていくべき点(複数回答)

	調査数	保健・医療の充実	高齢者福祉の充実	防災・防犯の充実	環境問題への対応	産業経済の活性化	道路・上下水などの社会基盤の整備	公共交通機関の充実	中心市街地の活性化	教育・文化の充実	子育て支援の充実	観光の振興	国際化への対応	市民協働の推進	行財政改革	シティプロモーションの強化	農林水産業の振興	その他	無回答
全体	259 100.0	30 11.6	35 13.5	30 11.6	15 5.8	62 23.9	20 7.7	28 10.8	44 17.0	72 27.8	54 20.8	97 37.5	37 14.3	10 3.9	11 4.2	23.0 8.9	23.0 8.9	22 8.5	21.0 8.1
市内	74 100.0	13 17.6	6 8.1	10 13.5	5 6.8	20 27.0	9 12.2	6 8.1	12 16.2	24 32.4	24 32.4	19 25.7	5 6.8	1 1.4	2 2.7	4.1 5.5	11 14.9	3 4.1	4 5.4
兵庫県内	44 100.0	5 11.4	9 20.5	5 11.4	1 2.3	6 13.6	4 9.1	4 9.1	9 20.5	10 22.7	6 13.6	19 43.2	5 11.4	2 4.5	4 9.1	1 2.3	1 2.3	1 13.6	6 13.6
兵庫県外	140 100.0	12 8.6	19 13.6	14 10.0	8 5.7	36 25.7	7 5.0	18 12.9	23 16.4	38 27.1	24 17.1	59 42.1	27 19.3	7 5.0	5 3.6	19 13.6	11 7.9	13 9.3	11 7.9

(注) 上段:件数、下段:割合。なお、全体の割合よりも5ポイント以上高くなっている箇所は背景を灰色に太字、全体の割合よりも5ポイントよりも低い箇所は背景黒に白字としている。ただし、計算上5ポイントを上回る、あるいは下回るもののみ色付けを行っているため、小数点第2位を四捨五入している関係上、表中で5ポイント高くなっている、あるいは低くなっている場合も色がついていない場合がある。以下同様。

図表Ⅲ－ 5 今後力を入れていくべき点の具体的内容一覧

分野	内容
保健・医療の充実	子育て世代への医療費サポートや高齢者に対する交通利便性のサポート
	高齢者の医療・福祉の充実
	乳幼児の予防接種などの無料化(定期接種以外も)
	暮らしやすい街づくり
	郊外(いなか等)に医者を置く。スーパーを作る
	高度技術を持った医療対策、病院の整備
	健康がとにかく一番大切だから最優先
	・在宅医療・地域巡回等アウトリーチの充実
	・福祉(子育て・障害・介護)分野との連携・一本化
	県立病院の新設にあたり、医療の分野でも姫路市のユニークな施策を打ち出す(市民の疫学調査、観察研究など医学アカデミアとの協働など)
高齢者福祉の充実	人が集まる為には、安心して暮らせること=医療が充実していること
	先進医療研究機関の誘致を考えましょう。それがない限り姫路は医師の出稼ぎの街であり続けます
	自動車免許返納をしても通院・買物等の足を確保して不自由しないシステムの構築(例:タクシー会社と協定して安価に利用できる設定、NPO法人による移動支援 等)
	福祉の事業所における資質向上(わんずまざー以降、監査機能の充実は図られているが、保育所・特養等におけるサービス機能向上に向けた指導の充実)。障害者施設も含めて
	・高齢者の健康診断や予防接種は無料
	・バス・地下鉄など無料(ある収入以下の場合)
	シニア生活を支える老人施設(公共・民間)の多様なニーズに対応した計画的増設と対応人材の確保
	高齢化への傾倒はさけて通れません。65歳いや今は75歳か。福祉の充実を図ってください
	高齢者の医療・福祉の充実
	高齢者の移動手段(タクシー・バスなど)
防災・防犯の充実	高齢者の福祉が、後進の育成等に役立つ時がいずれくる
	高齢者の社会参加や健康指導を通じて、元気な高齢者がいきいきと暮らす町づくりを目指す
	市民に親しまれる警察、消防であってほしい。地元自衛隊との親密な関係
	市民はもちろんですが、観光集客を考えるならば、外来者のための防災対策も検討する必要があるように思います
	自然災害の激化(風水害・地震など)への備えとして、河川・下水等のインフラ整備、防災拠点の強化
	阪神大震災を間近に体験した街として、いつも備えはあると思いますが、常に機器にたよるだけでなく「人」が大切です
	インターネット(スマホ含む)+携帯回線(無線)+防災無線だけでは、停電時、全てアウトになりかねないので、放送波(V-Low波)も使った防災体制を考えた方がよい
	市民への防災意識の啓発。「自助」「共助」の意識の育成。ハザードマップの見直し。タイムライン防災計画の不断の改善
	これまでの常識が通用しない自然災害に対して
	建物の鉄筋コンクリート化
環境問題への対応	台風の大型化、ゲリラ豪雨等に伴う河川の氾濫等の防止対策の充実
	メガソーラー建設にかかる地域住民への理解を図る情報発信が不足している
	きれいな空気があるように、環境規制をしながら経済を活性化する。行政部門が不要に大きくならないようにする
	北部市域の集落周辺環境整備。特に集落周辺の里山林等は活用されず、民家・道路・田近くまで森林が整備されず、台風時に倒木等により困惑している
	活動が見えてこない
	禁煙の取組み。特に姫路駅北側の喫煙所の廃止(国際観光都市として失格)
自然エネルギー先進自治体の実現	
新日鉄があります。沿岸部に近代的な企業が工場等を。海があり、河川があり、高くないけれど緑の濃い山も。ぜひこれ以上の	

分野	内容
産業経済の活性化	企業の優遇
	”企業内公共産業団地”による新たな製造業企業の誘致
	姫路市においても、人口の高齢化・減少が懸念されるが、若い労働力の導入の為に産業活性化、雇用増が不可欠
	工業地域の拡大、用地の確保
	起業家(若手・女性・シニア)支援サポート ①場の提供②東京・大阪との連携③コンサル等
	大手企業の工場誘致。大型配送センターの誘致
	優良な企業を誘致し、雇用の充実を図る。地域の特性を生かして、高い付加価値を創出し、地域の事業者等に経済波及効果を及ぼす
	産業経済レベルの高さを更に向上させる。ハイレベルな企業を支援できる施設が必要
	姫路市への企業誘致
	ベンチャーが育つインキュベーターを創設すること。特に今姫路にはない新しい産業の芽を育成すること
	ものづくりを中心とした製造業に加え、デザイン、ITなどをうまく結びつけて新たな産業を創出していく取組
	用地の問題から従来型の産業誘致(工場誘致)は限界に近いと思う。地場産業は維持しつつもスタートアップの誘致等に取り組むべき
	優良企業の工場など企業誘致と、商業地域の活性化を図る必要(市税の増収策を図ること)
	大企業・中堅企業・理工系大学が立地している好条件を活かして、市独自の(本格的)産官学連携拠点を整備し、中小企業の技術力向上に取り組む
	中核都市として雇用を創出することが大切
	・創業支援のさらなる強化
・商店街の活性化	
本社機能の移転を回避させたり、工場を維持させるための税優遇策は必要	
播州の地場産業の復活	
きれいな空気があるように、環境規制をしながら経済を活性化する。行政部門が不要に大きくならないようにする	
若年起業を可能にする環境づくり・イノベーションを起こし得る企業の育成・誘致	
素材産業として皮革業が最近ではブランド化しつつあり、製品としての姫路ブランドの皮の確立を推進すると、世界的にも通じる産業となると思う。イタリアフレンチェのように	
道路・上下水などの社会基盤の整備	城北側エリアの住宅街エリアの歩道整備、用水路の暗渠化
	経済発展と人口増加を支える基盤整備が重要。道路では播磨臨海地域道路。適地があれば土地区画整理事業
	上下水はともかく、社会基盤の例が上下水と道路という認識ではダメ。さらに例えば教育などハードインフラだけでなく、ソフト(システム)インフラも大切に
	長期計画に沿ったインフラ整備が行なわれていること
	播磨臨海道路の早期実現と縦軸の交通アクセスの改善。老朽化する社会基盤の適切な管理・民間への委託
	道路整備のスピードが遅すぎる
	自転車用の道路の整備
	中心市街地を活性化して、商業を充実させる。そのための道路の整備をしておく。その中で観光を振興させる
	・バス路線の維持強化
	・ローカル鉄道支援(播但線等)
	大都市のように地下鉄網などは難しいので、バス等を中心とした公共交通システムの充実が活性化に必要
	市周縁部を走る神姫バスの料金が高く、負担一補助金になるでしょうか。バス停に雨よけ・日よけがなく、悪天候時は待つのがつらいため改善する
	JR姫路駅までの公共交通がバスしかない住民が多く、姫路駅までの移動時間の長さがネックとなり進学・就職に転居する人が多い。姫路競馬場などに拠点バスターミナルを設け、バスの効率化、高速化に取り組まなければ、人口流出はさらに続く可能性大
	姫路駅から姫路城までのアクセス。新幹線のぞみの増発(姫路発着)
	コンパクトシティ化、人口減少・高齢化社会、環境対応を見据え基幹道路に路面電車導入
	周辺部には鉄道網がある。だが市中心部内の交通アクセスをもっと充実させた方がいいと思います
	播磨臨海道路の早期実現
	市町村合併で広範囲に観光地が広がっていますが、アクセスが充分でなく、お客様をご案内してもつい姫路城だけとなってしまいます
	都交通機関の老人優遇バス制度
	シルバーバス(バスのシニア格安定期券)
	公共交通機関の充実(外国人旅行者の意見。姫路市内から少し山の方や他市町村に行くのがむずかしい)
	お城の観光だけでなく、名物料理等創作し、飲食業を中心として中心街の活性化
	郊外大店舗の抑制。中心地への駐車場の適正配置の強化
	姫路城の遺構の復元。姫路城博物館の建設などにより訪問客の増加を図り、にぎわいを取り戻す
	中心街がさびれてきていると感じる。活性化のためにもっと力を入れるべきだと思う
	姫路城～市役所までの直径内を商業ゾーンとして一体感を持たせた街づくりを行う
	夜の店の復活
	アーケード商店街は地方都市の中では充実している。ただ飲食店の集積が少ない。特に山電側から億への飲食店街が寂しい。分散させず、集中する手はないか
	畳座のようなにぎわいが、日頃からあちこちで見られるようなソフト施策の展開
	暮らしやすい街づくり
	ヤマトヤシキが閉店すると聞き、ますます中心部が寂しくなることを懸念。大規模チェーン店でなく、地場の資本の育成を一番のことですので、改修されているかもしれません
	リノベーションなど既存の建物を活用し、多くの資金をかけないまちづくり
	駅前商店街の近代化、若者向け店舗増加を更に。学校や商業施設の誘致。祭りの観光課による観光振興
	観光の振興と中心市街地活性化を連動
	姫路駅とお城を中心とした、歩いて20分程度の範囲の魅力がなければ、姫路市が人々・企業に選ばれることはない(選ばれているわけではない)ことを理解したうえでの政策樹立・実行が課題
	PFI・PPP(特にPPP)を最大限に取り入れて、姫路駅～姫路英賀保間、新駅～山電手柄駅のエリアを、手柄公園・モノレール軌道後・中央卸売市場跡を拠点に活性化
	姫路城周辺の城下町としての復元(例:住民の協力も必要だが、古い町並の保存、復活)これにより、城だけでなく、城周辺も散策できる見所・ルート設定⇒姫路滞在時間を増やす
	中心市街地を活性化して、商業を充実させる。そのため道路の整備をしておく。その中で観光を振興させる

分野	内容
教育・文化の充実	小・中・高校生への歴史教育(特に兵庫五国から現在までの)により、姫路の魅力を理解し、地域への愛着の心を育む。音楽や芸術のフェスティバル(長期的)
	大学の誘致(若者に魅力のある街作り)
	学校へのエレベーター設置(避難所対策も含め)
	高校の魅力化、小学校を拠点とした地域コミュニティの活性化、アートを活かしたまちづくり etc
	姫路の人々と密着して文化を充実させる。オープンガーデン、オープンライブラリーなど
	複数の専門学校の誘致。得に若い女性を呼び込むことで魅力あるショップ・飲食店の増加につながる。その際、市が生徒のために寮を建設することをおすすめします(異業種交流につながる。遠隔地から生徒を集める)
	ル・ボン音楽祭のような催しを増やし、姫路市＝文化都市のブランドを鮮明にする
	教育環境の充実(施設面・教育内容)。歴史教育による郷土意識の醸成
	・大学教育充実 ・姫路西高の県内トップ校化支援
	美術、文学等と並んで音楽についてもハード(箱)にとどまらず、ソフト面の充実を
	"地域人教育"による人材サイクル構築(一度進学・就職で姫路を離れてもいつか戻って地域の担い手となる人材づくり)
	教育は地域の宝です。もっと予算を投入するべき。考え、行動できる市民を育てましょう!
	教育が充実⇒若い世代が集まる⇒人材確保⇒企業が集まりやすい(身近な例ですが、加西で働いている人は小野市に住んでいる。小野は教育レベル高いから)
	子供達の知育、徳育、体育を地域ぐるみで支援する仕組みの構築
	授業の機械化。スポーツ・体験科目などの設備化が大変であろうが、子どもは市や国の宝
	将来の見直し(教育政策・方針)に沿った教育改革等の実施
	先日、30年ぶりに水族館を訪れたが、昔に比べ特色がなくなった。全体的に古しい、老朽化が目立つ。廃止しても良いのでは?
	小・中学校の適正基準にともなう統廃合の是非について納得のいく説明責任
	教育機会の確保や教育水準の維持向上を図る。家庭の経済事情にかかわらず、必要な教育を受けられるよう、社会全体で教育費を適切に負担していく
	大学の少なさはやむを得ないとして、幼児～中等教育をレベルアップしてエリート養成に注力する
	姫路駅前の交通が便利なところは、病院よりも中央図書館などの教育的公共施設を作るべきだと思います
	もっと都市部にPRする文化を強く発信したほうが良いと思う
	教育の充実により子育てしやすい街との周知・広報—大学まで。姫路城、書写山のみならず、姫路市外の文化施設との連携
	「子育て」にも若い力の定着が必要です。若者の入れる教育機関の充実、育成に思い切った投資しましょう
	文化遺産を生徒・児童にもっと自覚させて、自ら発信できるようにさせてほしい
	都市の品格は市民の文化度である。大学、その他の教育機関をフルに活用して、若者から高齢者まで楽しく学べるスキームを作る
	歴史・文化の積極的発信と活用
	教育・文化水準の低い所で子供を育てたい親はいないはず。将来世代を担う子供を世に送り出すためにも、水準を高め、維持することがかせない
	学校への空調機の配備
	大学等、高等教育支援。読書推進
明石市が保育料ゼロなどで、ヤング層を集めている。姫路は公私立の教育レベルの充実を図り、多方面で優秀な子どもを育てられる環境を充実させてほしいかがか	
子育て支援の充実	本格的な人口減少時代に向けて、若いファミリーが子育てしやすい環境(保育料の優遇など)にするべき
	先頭を走る必要はなく、周辺自治体の良い策を採用すれば十分
	子供が育てやすい環境⇒若い世代が集まる⇒人材が集まる
	保育における行政指導(徹底した)。「認可」する際にヒアリングを実施する(事前書類審査を点数化する)
	活力ある街づくりのために、病児保育も含む保育施設の充実
	特色ある具体的な支援策を行うことを望みます。これまで少し欠けていたような気がします(いわゆる高齢者向け支援に比べ)
	乳幼児医療・保育環境・病児保育等の一時預かりなど、核家族世帯を前提とした共働きの子育て世代に対する支援・相談体制
	待機児童問題が存在する限り、子育て支援策は不十分と言わざるを得ない。今こそ"子は宝"の実践が必要
	給食費無償化(子育て支援、若い世代の呼び込み)
	教育費・医療費の無償化
	子孫が増えて定住するのは、地域繁栄の源泉
	子育て支援施設(姫路版)を目玉として発信する。他都市との違いを明確化し、国内外に発信する
	人口増加策は最重要のテーマです。比較的ゆとりある財政と聞いておりますので、他自治体を上回る支援策を要望します
	人口を増やすことが姫路市の発展となる
	待機児童、働く母親への補助
	将来の街(市)の活性化を担保する早目の取組み。保育所、幼稚園、魅力ある学習プログラム
	ITの発達で遠隔地の仕事ができる時代。あとは担い手(若者)が住みやすい定着しやすい環境として、教育・保育・医療の無償化で差別化
	・虐待対応から虐待防止への転換
	・子どもの支援から子育て家族の支援の充実
	子育ては、すべて無料化するべき。保育所の充実と教育者のレベルUPを!
	明石市が保育料ゼロなどで、ヤング層を集めている。姫路は公私立の教育レベルの充実を図り、多方面で優秀な子どもを育てられる環境を充実させてほしいかがか
	福祉の事業所における資質向上(監査機能の充実は図られているが、保育所・特養等におけるサービス機能向上に向けた指導の充実)。障害者施設も含めて
	暮らしやすい街づくり
	姫路の高校生が大学等を経て姫路で就職した場合に返済不要となる奨学金の創設
	教育・文化の充実の施策により、他地域から移住する若い家族が増える
	元気な町に。元気な若者がいる町にするのが大事。若い方が子育てしやすい環境をつくる
	次世代の育成のため、子育て支援は重要
人口増が基本対策だと思います	

分野	内容
観光の振興	・滞在型観光の推進 ・姫路城に依存しない観光振興
	姫路城周辺(大手前公園等)公共の土地に城下町風の宿泊施設を設けて可処分所得の多い観光客を誘致する
	ホテルがない。城しかない
	お城に関してストーリーをつくる。野里や(お夏清十郎)、お菊の井戸にまつわるルート・観光を考慮(検討)する。夢前(七福神巡り)の提案
	姫路城と市内の農業振興をもっと上手に繋げる取組み、食による「おもてなし」、道の駅を作りましょう!
	姫路市の強みはやはり、城を中心とする観光だと思う。体験型の観光を充実させる。外国語の表示を増やすといった観光施設の充実が必要
	姫路城周辺のみならず、魅力ある観光地、宿泊施設の整備(通過都市では淋しい)
	家島で魚を釣る・カマボコを作る・回転焼を焼く・書写山に泊まる・雪彦山に登る等々、体験型の観光コンテンツを宿泊業界・交通業界等と開発する
	姫路市の観光行政は「姫路城一本足戦略」であるため、国民への関心が一定程度伸びても、その後頭打ちになっている。日本全体的な視点からの認知度も頭打ち。これを打開するため、姫路の食の魅力を引き出すにはどうか。播州平野の米、酒、瀬戸内海の魚、揖保川のそうめん等候補は多い。食の魅力がないと人はそこへ動かない
	姫路城を中心に東は播但線、南は新幹線、西は琴陵中学校、北は城北小学校までの範囲は二階建を越える建築は禁止すべし。この範囲内の国道2号線は掘り返して、中堀を復元すべし
	宿泊客の増加のため(西播磨の拠点)、ホテルの誘致。国際シンポジウムができるホテル等の整備
	インバウンド客への更なる働きかけ。SNS等の有効利用。城以外の「アイコン」を作り上げる
	姫路城観光客の街なか観光への誘導、宿泊客の増大。このためにはストリートや面的な歴史・文化・食文化の再整備・再構築を行う(10年程度のスパンで計画)
	お城や書写山以外に、体験型のレジャー施設や工場や水産や農産品を絡めた「コト」と観光・レジャー企画
	姫路に滞在して観光してもらうための個性的な宿泊施設を設ける
	自衛隊の活用(見学、観光の一環)
	姫路城を中心に歴史と文化、物づくりや食べ物等をセットにした参加型の観光ルートの設定。駅周辺での音楽を中心とした参加型のパフォーマンス活動を推進する。(ピアノを置いたり)
	姫路城周辺の城下町としての復元(例:住民の協力も必要だが、古い町並の保存、復活)これにより、城だけでなく、城周辺も散歩できる見所・ルート設定⇒姫路滞在時間を増やす
	西日本・四国のマラソン大会との連携。街中での公開演奏・路上演奏の可能なスペース・振興
	世界遺産である姫路城のPRがさらに必要だと思います。特に海外への発信力を強化すべきです
	外国人観光客がリピートしてくれるような、体験型のイベント・アトラクションをやしてほしい
	優れた観光資源がありますので、更なる振興の可能性があると考えます。現状、活かされていないように思います
	女性の視点をきちんと取り入れた観光政策の拡充(女性に好まれない観光地は国際的にも集客力を減らしている)
	安富町・夢前町は豊富な森林があり、これら豊かな自然環境を活用した森林レクリエーション施設整備を行い都市との交流促進を図るとともに活性化を推進する
	姫路城+αの観光が必要。滞在・体験型の観光を播磨圏域の資源を活用して盛り上げていく必要あり
	京都と並ぶ位の観光客誘致。街自体が活性化する
	姫路城を核とした観光の振興。特に外国人観光客をターゲットにした取組
	姫路城を中心としたプロモーションに加えて播磨地区独特の秋祭り(けんか祭りのみならず)の魅力プロジェクト的に広めていく。名古屋基地の特徴を生かし、インドを中心にアジア各国・都市との交流・連携を促進する。シニア生活を支える老人施設(公共・民間)の多様なニーズに対応した計画的増設と対応人材の確保
	世界遺産の姫路城だけでなく、家島の海洋観光地としての振興を図ること
	外国人観光客の受入促進(フェリー・新幹線)。関西圏(京都・大阪)とのアクセス向上
	姫路市は超一流ですが、プラスアルファの取組でインバウンド需要を増やすべき
	姫路城を核とするインバウンド増大策が必要。観光資源の発掘、ブラッシュアップ、振興策の徹底検討
	来訪者がいくら増加しても、収入が伸びなくては、真なる観光事業になりません。集客・収入の策(恒常化と増)こそ課題である
	姫路城のみならず姫路全体で観光集客ができる取組み。姫路駅前からの開発でなく、みゆき通り全体の活性化が必要
外国人観光客がどんどん来るようにして、観光産業を振興。行政としても、色々な支援が考えられるのではないかと	
あまりにも姫路城に頼りすぎている。しかも姫路城までの導線が機能していない。もっと広域に考えるべきでないか	
姫路城周辺に城下町の雰囲気を感じられる通り、和風旅館などを作り滞在型観光を推進する	
日帰りの観光客が多すぎる。宿泊したいと思う宿泊や飲食を考えないといけないと思う	
お城以外の観光資源の活用を。広島に移動するついでに立ち寄る姫路という新聞記事が出ていたが、食の部分でも自慢できるものが多いので、活用すべきと思う(冬のカキとか)	
観光データベースの整備とビッグデータの活用。市全域・播磨広域でのエアーマネジメント(PCDAサイクルの確立)	
世界遺産をもっと対外的に発信させてほしい	
日本一の姫路城があります。ヨーロッパの城とは違う。世界一の姫路城です。(インバウンド)かけがえのない観光資源です。大切に	
急速に進むサイバー社会化に対応して、フィジカル・サイバー両空間を融合した先導的な観光システムを開発・整備する拠点を構築する	
中心市街地を活性化して、商業を充実させる。そのため道路の整備をしておく。その中で観光を振興させる	

分野	内容
国際化への対応	<p>姫路城には外国人観光客がたくさん訪れるのに、姫路という街には国際的なイメージがまるでない</p> <p>日本初のユネスコ世界遺産を持つ姫路市を国際都市により一層充実させるためのPRや、教育・文化・環境・産業等総合的なvisionを出していただきたいと考えます</p> <p>外国企業の誘致。国際的なハイテクセンター</p> <p>私の友人は姫路城へ来ながら一流ホテルがないため、大阪・岡山に行きます。残念です</p> <p>外国人観光客が増えた割に、町中で英語表記が少ない</p> <p>訪日観光客への通訳・サインージ・アプリ等、滞在サポート策の準備</p> <p>インフォメーションセンターの数を増やす</p> <p>世界文化遺産を擁する都市として、国際的な「発信」に、さらに力を入れるべきだと思います</p> <p>高校への留学生の受入れを推進。国際フェスティバルの更なる推進。商店やレストランにおいて外国語による会話力の向上。外国語による標示を増やす。(諸外国の文化を紹介と参加型プログラムの推進。例: 特にアジアを中心に「ベトナムフェスティバル」とか)</p> <p>国際化は世界共通の流れ。交流のための方法・設備の工夫が必要</p> <p>教育・文化・子育て支援の取組みを、国際的なカンファレンス(研究大会)を開催して公開するなど</p> <p>行政・市民ともに外国人との間の壁(心理的にも)をなくす努力、草の根の交流が、実現するような取り組みが必要と考えます。国境を超えるインターンシップ、年齢関係なしのホームステイ、学校や企業の対外相互交流などいかがでしょうか</p> <p>国内外へのアピール。観光を中心とした国際社会への広報活動</p> <p>スタートアップ誘致は日本企業に限るべきではない。外国人が移住事業に携われる環境整備。観光(インバウンド)にも繋がるはず</p> <p>姫路市の強みはやはり、城を中心とする観光だと思ふ。体験型の観光を充実させる。外国語の表示を増やすといった観光施設の充実が必要</p> <p>国際化にすぐにも対処(お城・キャッスル・国際会議・国際大会を開催)</p> <p>名古屋基地の特徴を生かし、インドを中心にアジア各国・都市との交流・連携を促進する。シニア生活を支える老人施設(公共・民間)の多様なニーズに対応した計画的増設と対応人材の確保</p> <p>日本一の姫路城があります。ヨーロッパの城とは違う。世界一の姫路城です。(インバウンド)かけがえのない観光資源です。大切に</p>
市民協働の推進	<p>公共サービスの担い手となるNPOの育成・支援及びそれを可能とする市職員の育成ならびに行政内部組織改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政への市民参加 ・ボランティア活動支援 <p>安心・安全な豊かな暮らしを第一義に考え、市民協働が行政中心で推進するか、基本構想の基盤条件が必要である</p> <p>リアルタイムでの情報発信の強化による市民意識の喚起</p> <p>行政への市民の関心をより一層高めるべきだと思います</p> <p>言葉本来の意味でもデモクラシーの確立</p>
行財政改革	<p>現時の財政下で、真に重要且つ不可欠な行政網要(骨太の方針)を立て、現状の見直し、行政案件の選択と集中こそ(人口減、過疎あり)</p> <p>担当部署以外の職員の意識改革がまだまだ必要だと思います</p> <p>デジタルテクノロジー(クラウド・AI等)のフル活用による「役所仕事」の超効率化</p> <p>常に改革の方針を示して、ミッションに応じた改革を実施していることを審議委員、市民等にアピールする</p> <p>子、孫にまで借金を背負わせない。国より先にやりぬく</p> <p>きれいな空気があるように、環境規制をしながら経済を活性化する。行政部門が不要に大きくならないようにする</p>
シティプロモーションの強化	<p>姫路市のブランドイメージが弱い(お城がほとんど)。新しい姫路市のブランディングを行い、ふるさと納税や広報活動を通じて認知向上を図る</p> <p>東京や大阪で観光PR・産品PRのイベントを展開。その際、在京、在阪のTV局、新聞に事前に案内を出しPR協力を求める</p> <p>姫路城以外の魅力づくり、発信</p> <p>姫路発祥・姫路オリジナルの文化イベント等を全国区のエンタメ業界等と連携して大々的に打ち出す(親しみ易いB級文化が良い)</p> <p>NHKその他民放で姫路の出来事が取り上げられることは、無いことはないが、大変少ない。姫路よりも総合的魅力が少ないと思われる都市が頻繁に出てくるのが実態。マスコミへの働きかけ強化が大事。その為にも「姫路城一本足戦略」では伸び悩み懸念</p> <p>姫路のよさ(歴史と文化が豊富、求人が多い、平地が多い、自然災害が少ない)を全国にアピールして、姫路城以外の現代の姫路市のイメージアップを図る</p> <p>世界遺産××(エックス)で世界に向けた発信</p> <p>新幹線が姫路に止まることを知らない人は多い。また、秋祭りは地元ではあんなに盛り上がるのに、中央では全く知られていない。ユネスコの文化遺産からも漏れた</p> <p>市の魅力を効果的、戦略的に国内外に発信し、世界中から人を呼び込み、賑わいを創出する</p> <p>姫路にしかないもののPR・魅力の発信。「ここだけ、今だけ、あなただけ」</p> <p>姫路が災害の少ない街で、播磨の中心(要衝)であることの宣伝。国内外へ姫路の存在感を高めるための物語による発信</p> <p>姫路城を中心としたプロモーションに加えて播磨地区独特の秋祭り(けんか祭りのみならず)の魅力プロジェクト的に広めていく</p> <p>海外・首都圏等における露出・観光・移住関連のPR</p> <p>観光大使等の有効活用</p>
農林水産業の振興	<p>地産地消の日条例設定後の市民に対するPR不足(知らない人が多数)。農水は国の礎</p> <p>例えば、播磨灘前ドレの魚を活かした高校生レストランの試行 of 三重県相可高校、北海道三笠高校</p> <p>北部地域の豊富な森林資源を有効に活用するため、伐期を迎えた森林を伐採、植栽、育林を行い森林を災害に強い森林に更新する循環型林業を目指す</p> <p>姫路の強みであるゆたかな田園地域を活かす特色ある農林水産業への再編</p> <p>人間が生きる限り「食」は大切です。地元優先の農業・漁業・畜産業を大切にしてください</p> <p>観光・商業地だけでなく、一次産業の活力にも力を入れる必要がある</p>

分野	内容
その他	海岸部をもっと自然に戻して欲しい
	私の実家は現在空家です。活用してほしい
	1～17は、どれもそれなりに大事。しかし東京一極集中という日本の産業構造の中で、何らかの強力な魅力がないと、一地方都市のポジションになってしまう可能性がある。既存の産業ではなく、新たな産業を起こせるような施策が必要ではないか。幸い、大学など研究機関もある
	高齢者の働ける町づくり
	「Smart Wellness City」37都道府県74区市町が参加。遅れないように参加すべき。Smart Wellness City首長研究会の活動
	コンパクトシティ推進(福岡市のような街づくり)
	ノラ猫やノラ犬等動物愛護を基本に共生できる仕組み作り(迷惑している住民は多いと思います)
	町内会の祭りの参加・集金強要やゴミ当番廃止などの改善・市民ボランティア代(有償)など。市外住民の受入拡大には閉鎖的な地域性の改選が重要
	「健康・ヘルスケア」スポーツ、食など含め「健康・ヘルスケア」分野への取組。人口減少、高齢化となっても活力を失わないため
	<ul style="list-style-type: none"> ・プロフェッショナルスポーツの誘致、手柄山エリアスポーツ施設の再整備 ・公共交通機関整備との連動
	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー(交通・コミュニケーション)を中心としたまちづくり ・障害福祉(子ども・高齢者・発達障害・認知症を含む)の充実

3. 人口減少の緩和と姫路市の活力を維持していくために必要な取組等について

(1) 姫路市が若者にとって魅力的なまちになるために、重要、もっとも重要だと思うことはなんですか（問6-1、6-2）

■ 全体傾向

- ・ 重要なこととしては、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が59.5%でもっとも高く、次いで「起業家支援、魅力ある雇用」が54.4%、「便利な公共交通」が36.3%となっている。
- ・ もっとも重要なこととしては、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が24.5%でもっとも高く、次いで「起業家支援、魅力ある雇用」が20.1%、「にぎやかな中心市街地」が9.2%となっている。

■ 居住地別傾向

- ・ 重要なこととしては、市内在住者では、全体より「充実した教育・子育て環境」、「充実した医療・福祉」、「便利な公共交通」などの回答割合が高く、「外国人を対象にした観光戦略」の回答割合は低くなっている。兵庫県内在住者では、全体より「若者のまちづくりへの参画」の回答割合が高く、「起業家支援、魅力ある雇用」、「多くの集客が見込まれるイベント」、「東京など大都市と比べ安い生活費」の回答割合が低くなっている。兵庫県外在住者では、全体より「外国人を対象にした観光戦略」の回答割合が高く、「充実した医療・福祉」の回答割合は低くなっている。
- ・ もっとも重要なこととしては、市内在住者では、全体より「充実した教育・子育て環境」の回答割合が高く、「起業家支援、魅力ある雇用」の回答割合はやや低くなっている。兵庫県内在住者では、全体より「にぎやかな中心市街地」、「東京など大都市と比べ安い生活費」の回答割合が高く、兵庫県外在住者では、全体の傾向と似ているが、全体より「起業家支援、魅力ある雇用」の回答割合がやや高くなっている。

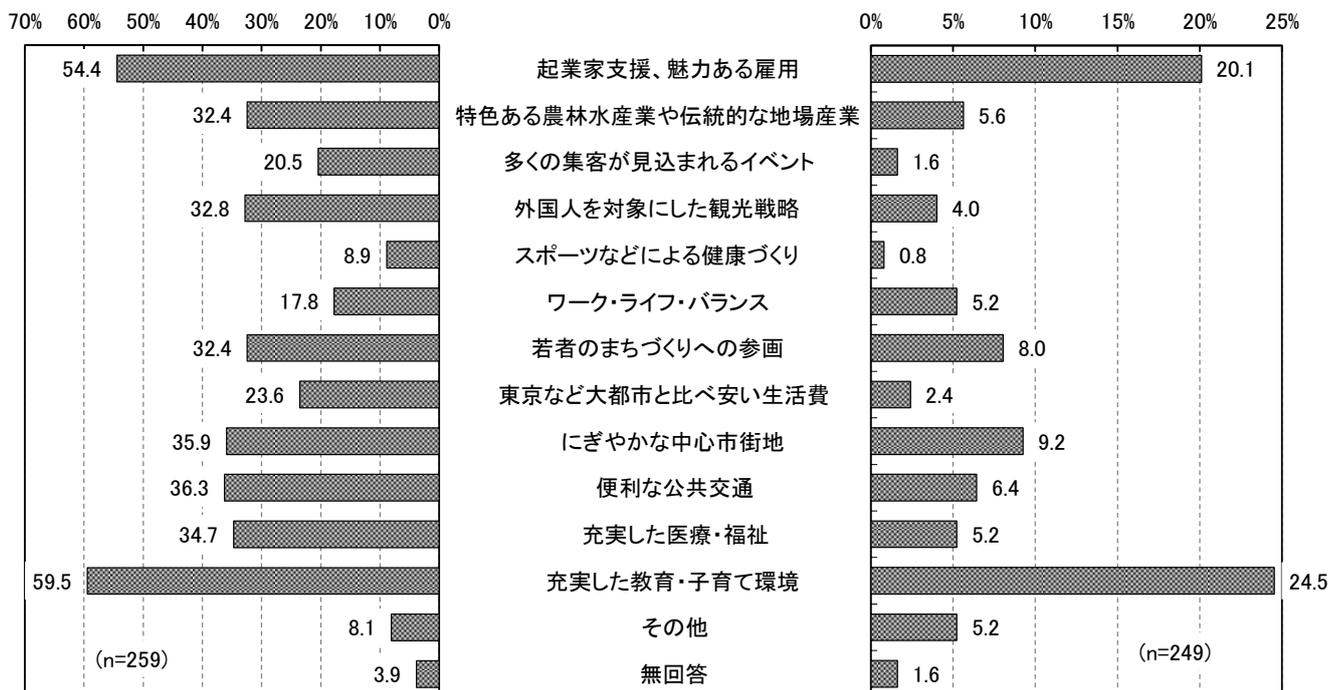
■ 市民アンケートとの比較

- ・ 重要なこととして、学識者アンケートでは「起業家支援、魅力ある雇用」（市民40.9%）、「外国人を対象にした観光戦略」（市民12.3%）、「にぎやかな中心市街地」（市民24.4%）の回答割合が高くなっている。一方で、「充実した医療・福祉」（市民61.6%）、「便利な公共交通」（市民55.1%）の回答割合が低くなっている。
- ・ もっとも重要なこととして、学識者アンケートでは「起業家支援、魅力ある雇用」（市民12.2%）、「若者のまちづくりへの参画」（市民3.8%）の回答割合が高くなっている。一方で、「充実した医療・福祉」（市民15.4%）の回答割合が低くなっている。

図表Ⅲ－ 6 若者にとって魅力的なまちになるために重要なこと

(重要なこと (複数回答))

(もっとも重要なこと)



図表Ⅲ－ 7 居住地別にみた若者にとって魅力的なまちになるために重要なこと(複数回答)

	調査数	起業家支援、魅力ある雇用	特色ある農林水産業や伝統的な地場産業	多くの集客が見込まれるイベント	外国人を対象にした観光戦略	スポーツなどによる健康づくり	ワーク・ライフ・バランス	若者のまちづくりへの参画	東京など大都市と比べ安い生活費	にぎやかな中心市街地	便利な公共交通	充実した医療・福祉	充実した教育・子育て環境	その他	無回答
全体	259 100.0	141 54.4	84 32.4	53 20.5	85 32.8	23 8.9	46 17.8	84 32.4	61 23.6	93 35.9	94 36.3	90 34.7	154 59.5	21 8.1	10 3.9
市内	74 100.0	37 50.0	22 29.7	19 25.7	16 21.6	8 10.8	15 20.3	25 33.8	22 29.7	30 40.5	35 47.3	36 48.6	50 67.6	5 6.8	3 4.1
兵庫県内	44 100.0	21 47.7	15 34.1	6 13.6	13 29.5	5 11.4	9 20.5	19 43.2	8 18.2	14 31.8	14 31.8	16 36.4	26 59.1	2 4.5	2 4.5
兵庫県外	140 100.0	83 59.3	47 33.6	28 20.0	56 40.0	10 7.1	22 15.7	39 27.9	31 22.1	49 35.0	45 32.1	37 26.4	77 55.0	14 10.0	5 3.6

図表Ⅲ－８ 居住地別にみた若者にとって魅力的なまちになるためにもっとも重要なこと

	調査数	起業家支援、魅力ある雇用	特色ある農林水産業や伝統的な地場産業	多くの集客が見込まれるイベント	外国人を対象にした観光戦略	スポーツなどによる健康づくり	ワーク・ライフ・バランス	若者のまちづくりへの参画	東京など大都市と比べ安い生活費	にぎやかな中心市街地	便利な公共交通	充実した医療・福祉	充実した教育・子育て環境	その他	無回答
全体	249 100.0	50 20.1	14 5.6	4 1.6	10 4.0	2 0.8	13 5.2	20 8.0	6 2.4	23 9.2	16 6.4	13 5.2	61 24.5	13 5.2	4 1.6
市内	71 100.0	11 15.5	7 9.9	2 2.8	1 1.4	0 0.0	5 7.0	3 4.2	1 1.4	7 9.9	3 4.2	3 4.2	23 32.4	3 4.2	2 2.8
兵庫県内	42 100.0	8 19.0	3 7.1	0 0.0	1 2.4	0 0.0	1 2.4	5 11.9	3 7.1	6 14.3	1 2.4	4 9.5	9 21.4	1 2.4	0 0.0
兵庫県外	135 100.0	31 23.0	4 3.0	2 1.5	8 5.9	2 1.5	7 5.2	12 8.9	2 1.5	10 7.4	12 8.9	5 3.7	29 21.5	9 6.7	2 1.5

(2) 高齢者が地域でいきいきと活躍するために、重要、もっとも重要だと思うことはなんですか
(問 7 - 1、7 - 2)

■ 全体傾向

- ・ 重要なこととしては、「地域貢献、社会貢献ができる機会」の回答割合が 62.5%でもっとも高く、次いで「生涯現役のための健康づくり」が 51.4%、「安心して外出しやすいまち」、「いつまでも働ける場所」が 47.1%となっている。
- ・ もっとも重要なこととしては、「地域貢献、社会貢献ができる機会」が 31.2%でもっとも多く、次いで「いつまでも働ける場所」が 22.4%、「安心して外出しやすいまち」が 18.8%となっている。

■ 居住地別傾向

- ・ 重要なこととしては、市内在住者では、全体より「安心して外出しやすいまち」、「いつまでも働ける場所」などの回答割合が高く、「生涯学習ができる場所」の回答割合は低くなっている。兵庫県内在住者では、全体より「安心して外出しやすいまち」の回答割合が高く、「いつまでも働ける場所」、「生涯現役のための健康づくり」の回答割合が低くなっている。兵庫県外在住者では、全体より「安心して外出しやすいまち」の回答割合が低くなっている。
- ・ もっとも重要なこととしては、市内在住者では、全体より「いつまでも働ける場所」の回答割合が高くなっている。兵庫県内在住者では、全体より「生涯現役のための健康づくり」、「暮らしについて気軽に相談できる場所」の回答割合が高く、「地域貢献、社会貢献ができる機会」、「いつまでも働ける場所」の回答割合が低くなっている。兵庫県外在住者では、全体の傾向と似ているが、全体より「地域貢献、社会貢献ができる機会」の回答割合がやや高くなっている。

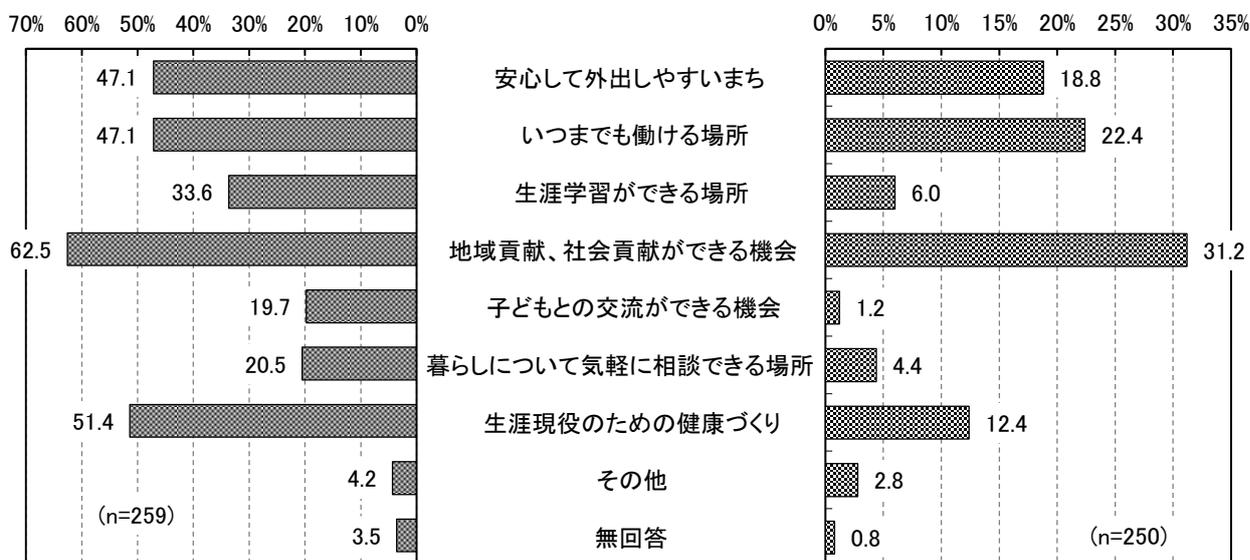
■ 市民アンケートとの比較

- ・ 重要なこととして、学識者アンケートでは「地域貢献、社会貢献ができる機会」(市民 29.0%)、「生涯学習ができる場所」(市民 24.5%)の回答割合が高くなっている。一方で、「安心して外出しやすいまち」(市民 61.2%)の回答割合が低くなっている。
- ・ もっとも重要なこととして、学識者アンケートでは「地域貢献、社会貢献ができる機会」(市民 9.4%)の回答割合が高くなっている。一方で、「安心して外出しやすいまち」(市民 28.5%)、「暮らしについて気軽に相談できる場所」(市民 13.9%)の回答割合が低くなっている。

図表Ⅲ－ 9 高齢者が地域で活躍するために重要なこと

(重要なこと (複数回答))

(もっとも重要なこと)



図表Ⅲ－ 10 居住地別にみた高齢者が地域で活躍するために重要なこと(複数回答)

	調査数	安心して外出しやすいまち	いつまでも働ける場所	生涯学習ができる場所	地域貢献、社会貢献ができる機会	子どもとの交流ができる機会	暮らしについて気軽に相談できる場所	生涯現役のための健康づくり	その他	無回答
全体	259	122	122	87	162	51	53	133	11	9
	100.0	47.1	47.1	33.6	62.5	19.7	20.5	51.4	4.2	3.5
市内	74	41	41	21	46	15	19	42	3	2
	100.0	55.4	55.4	28.4	62.2	20.3	25.7	56.8	4.1	2.7
兵庫県内	44	23	15	15	29	9	11	20	2	2
	100.0	52.3	34.1	34.1	65.9	20.5	25.0	45.5	4.5	4.5
兵庫県外	140	58	66	50	86	27	23	70	6	5
	100.0	41.4	47.1	35.7	61.4	19.3	16.4	50.0	4.3	3.6

図表Ⅲ－ 11 居住地別にみた高齢者が地域で活躍するためにもっとも重要なこと

	調査数	安心して外出しやすいまち	いつまでも働ける場所	生涯学習ができる場所	地域貢献、社会貢献ができる機会	子どもとの交流ができる機会	暮らしについて気軽に相談できる場所	生涯現役のための健康づくり	その他	無回答
全体	250 100.0	47 18.8	56 22.4	15 6.0	78 31.2	3 1.2	11 4.4	31 12.4	7 2.8	2 0.8
市内	72 100.0	15 20.8	20 27.8	2 2.8	20 27.8	0 0.0	1 1.4	10 13.9	2 2.8	2 2.8
兵庫県内	42 100.0	9 21.4	7 16.7	2 4.8	10 23.8	0 0.0	5 11.9	8 19.0	1 2.4	0 0.0
兵庫県外	135 100.0	23 17.0	29 21.5	10 7.4	48 35.6	3 2.2	5 3.7	13 9.6	4 3.0	0 0.0

(3) 安心して子育てしやすい環境にするために、重要、もっとも重要だと思うことはなんですか
(問 8 - 1、8 - 2)

■ 全体傾向

- ・ 重要なこととしては、「学校環境・保育等の充実」の回答割合が 72.6%でもっとも高く、次いで「子育ての経済的負担(医療・教育)が軽い」が 60.2%、「地域や子育て世代間のネットワークづくり」が 42.1%となっている。
- ・ もっとも重要なこととしては、「学校環境・保育等の充実」の回答割合が 35.4%でもっとも高く、次いで「子育ての経済的負担(医療・教育)が軽い」が 30.9%、「地域や子育て世代間のネットワークづくり」が 12.2%となっている。

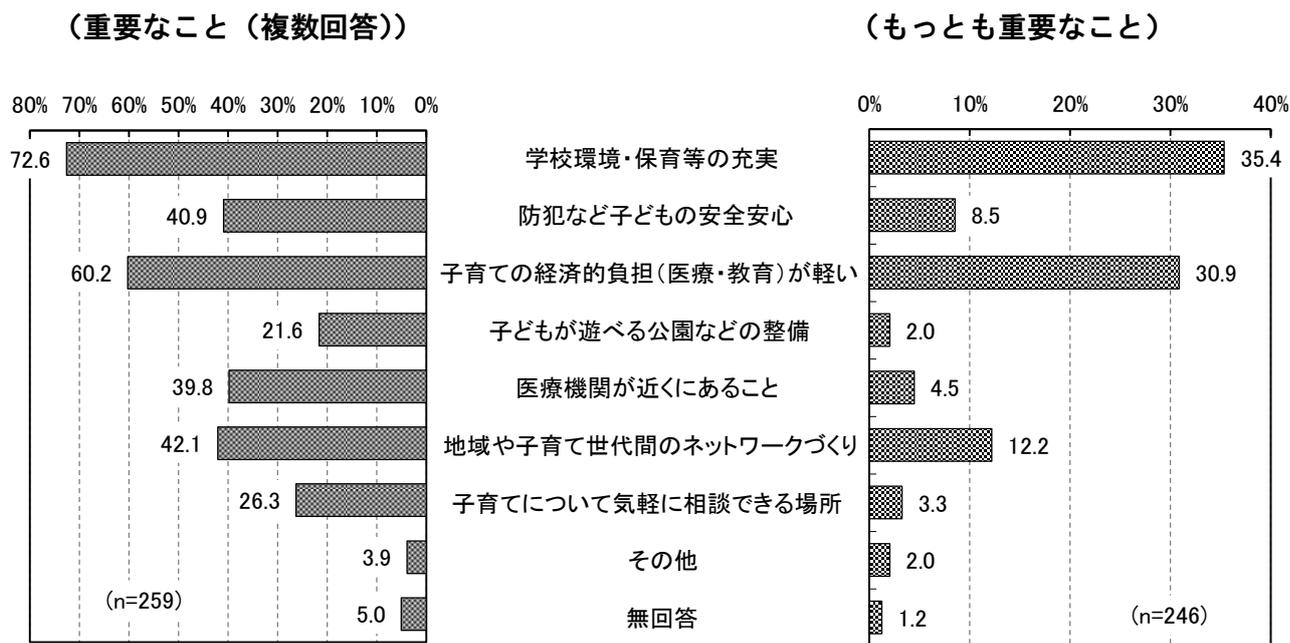
■ 居住地別傾向

- ・ 重要なこととしては、市内在住者では、全体より「子育ての経済的負担(医療・教育)が軽い」、「防犯など子どもの安全安心」、「医療機関が近くにあること」の回答割合が高く、「地域や子育て世代間のネットワークづくり」の回答割合は低くなっている。兵庫県内在住者では、全体より「地域や子育て世代間のネットワークづくり」、「子育てについて気軽に相談できる場所」の回答割合が高く、「医療機関が近くにあること」の回答割合が低くなっている。兵庫県外在住者では、全体より「子育ての経済的負担(医療・教育)が軽い」の回答割合が低くなっている。
- ・ もっとも重要なこととしては、市内在住者では、全体より「子育ての経済的負担(医療・教育)が軽い」の回答割合が高く、「学校環境・保育等の充実」の回答割合が低くなっている。兵庫県内在住者では、全体より「子育ての経済的負担(医療・教育)が軽い」、「地域や子育て世代間のネットワークづくり」の回答割合が高くなっている。兵庫県外在住者では、全体より「学校環境・保育等の充実」の回答割合が高く、「子育ての経済的負担(医療・教育)が軽い」の回答割合が低くなっている。

■ 市民アンケートとの比較

- ・ 重要なこととして、学識者アンケートでは「地域や子育て世代間のネットワークづくり」(市民 22.6%)の回答割合が高くなっている。一方で、「防犯など子どもの安全安心」(市民 57.8%)、「医療機関が近くにあること」(市民 49.7%)、「子育てについて気軽に相談できる場所」(市民 34.7%)の回答割合が市民アンケートと比べて低くなっている。
- ・ もっとも重要なこととして、学識者アンケートでは「学校環境・保育等の充実」(市民 23.0%)、「地域や子育て世代間のネットワークづくり」(市民 3.7%)の回答割合が高くなっている。一方で、「防犯など子どもの安全安心」(市民 17.8%)の回答割合が低くなっている。

図表Ⅲ－12 安心して子育てしやすい環境にするために重要なこと



図表Ⅲ－13 居住地別にみた安心して子育てしやすい環境にするために重要なこと(複数回答)

	調査数	学校環境・保育等の充実	防犯など子どもの安全安心	子育ての経済的負担(医療・教育)が軽い	子どもが遊べる公園などの整備	医療機関が近くにあること	地域や子育て世代間のネットワークづくり	子育てについて気軽に相談できる場所	その他	無回答
全体	259 100.0	188 72.6	106 40.9	156 60.2	56 21.6	103 39.8	109 42.1	68 26.3	10 3.9	13 5.0
市内	74 100.0	54 73.0	37 50.0	59 79.7	14 18.9	36 48.6	27 36.5	20 27.0	1 1.4	2 2.7
兵庫県内	44 100.0	32 72.7	17 38.6	26 59.1	10 22.7	13 29.5	25 56.8	16 36.4	2 4.5	2 4.5
兵庫県外	140 100.0	101 72.1	51 36.4	70 50.0	32 22.9	54 38.6	57 40.7	32 22.9	7 5.0	9 6.4

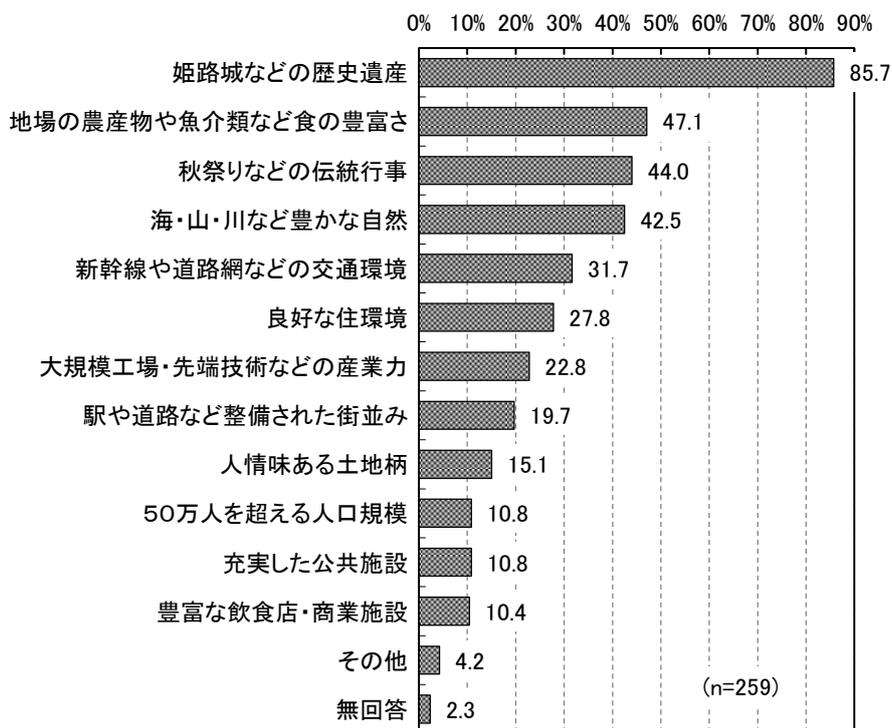
図表Ⅲ－14 居住地別にみた安心して子育てしやすい環境にするためにもっとも重要なこと

	調査数	学校環境・保育等の充実	防犯など子どもの安全安心	子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い	子どもが遊べる公園などの整備	医療機関が近くにあること	地域や子育て世代間のネットワークづくり	子育てについて気軽に相談できる場所	その他	無回答
全体	246 100.0	87 35.4	21 8.5	76 30.9	5 2.0	11 4.5	30 12.2	8 3.3	5 2.0	3 1.2
市内	72 100.0	17 23.6	8 11.1	33 45.8	0 0.0	4 5.6	6 8.3	3 4.2	0 0.0	1 1.4
兵庫県内	42 100.0	14 33.3	1 2.4	17 40.5	0 0.0	0 0.0	8 19.0	1 2.4	0 0.0	1 2.4
兵庫県外	131 100.0	56 42.7	12 9.2	25 19.1	5 3.8	7 5.3	16 12.2	4 3.1	5 3.8	1 0.8

(4) アピールするべき姫路の魅力はなんですか（問9）

- 全体傾向
 - ・「姫路城などの歴史遺産」の回答割合が85.7%でもっとも多く、次いで「地場の農産物や魚介類など食の豊富さ」が47.1%、「秋祭りなどの伝統行事」が44.0%となっている。
- 居住地別傾向
 - ・市内在住者では、全体より「良好な住環境」、「新幹線や道路網などの交通環境」の回答割合が高く、「駅や道路など整備された街並み」の回答割合は低くなっている。
 - ・兵庫県内在住者では、全体より「地場の農産物や魚介類など食の豊富さ」の回答割合が高く、「姫路城などの歴史遺産」、「海・山・川など豊かな自然」などの回答割合が低くなっている。
 - ・兵庫県外在住者では、全体より「新幹線や道路網などの交通環境」、「良好な住環境」の回答割合が低くなっている。
- 市民アンケートとの比較
 - ・学識者アンケートでは「地場の農産物や魚介類など食の豊富さ」（市民24.5%）、「海・山・川など豊かな自然」（市民29.7%）、「大規模工場・先端技術などの産業力」（市民9.4%）の回答割合が高くなっている。

図表Ⅲ－15 アピールするべき姫路の魅力(複数回答)



図表Ⅲ－16 居住地別にみたアピールすべき姫路の魅力(複数回答)

	調査数	姫路城などの歴史遺産	地域の農産物や魚介類など食の豊富さ	秋祭りなどの伝統行事	海・山・川など豊かな自然	新幹線や道路網などの交通環境	良好な住環境	大規模工場・先端技術などの産業力	駅や道路など整備された街並み	人情味ある土地柄	50万人を超える人口規模	充実した公共施設	豊富な飲食店・商業施設	その他	無回答
全体	259 100.0	222 85.7	122 47.1	114 44.0	110 42.5	82 31.7	72 27.8	59 22.8	51 19.7	39 15.1	28 10.8	28 10.8	27 10.4	11 4.2	6 2.3
市内	74 100.0	63 85.1	33 44.6	31 41.9	33 44.6	30 40.5	30 40.5	19 25.7	10 13.5	10 13.5	9 12.2	7 9.5	5 6.8	2 2.7	1 1.4
兵庫県内	44 100.0	33 75.0	24 54.5	17 38.6	16 36.4	15 34.1	14 31.8	7 15.9	8 18.2	9 20.5	2 4.5	8 18.2	5 11.4	3 6.8	1 2.3
兵庫県外	140 100.0	125 89.3	65 46.4	66 47.1	60 42.9	37 26.4	28 20.0	32 22.9	33 23.6	20 14.3	16 11.4	13 9.3	17 12.1	6 4.3	4 2.9

4. 行政サービスの水準と市民負担について

(1) 今後、人口減少が続くと、市役所が提供する行政サービス（公共施設の運営やごみ処理、上下水道など）の水準を維持することが困難になることも予想されます。行政サービス水準、市民負担（税や使用料など）についてあなたの考えに近いものはどれですか（問 10）

■ 全体傾向

- ・「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」と「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」が共に 35.5%となっている。

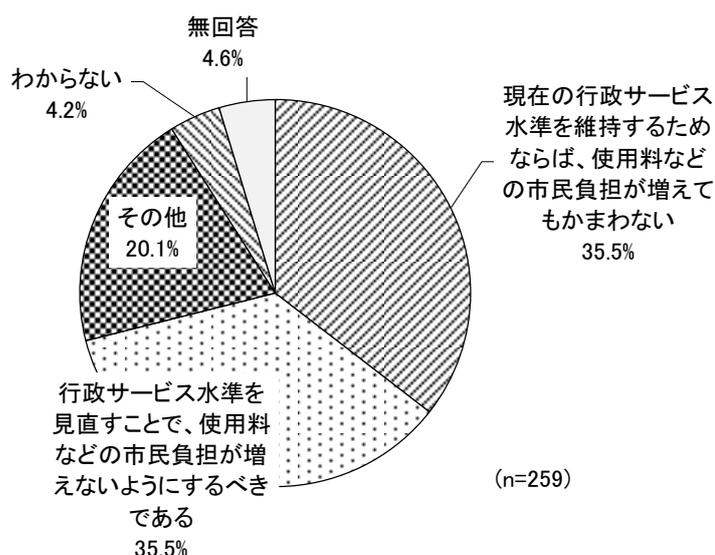
■ 居住地別傾向

- ・市内在住者では、全体より「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」の回答割合が高くなっている。
- ・兵庫県内在住者では、全体の傾向と似ているが、「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」の回答割合がやや高くなっている。
- ・兵庫県外在住者では、全体より「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」の回答割合がやや高く、「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」の回答割合が低くなっている。

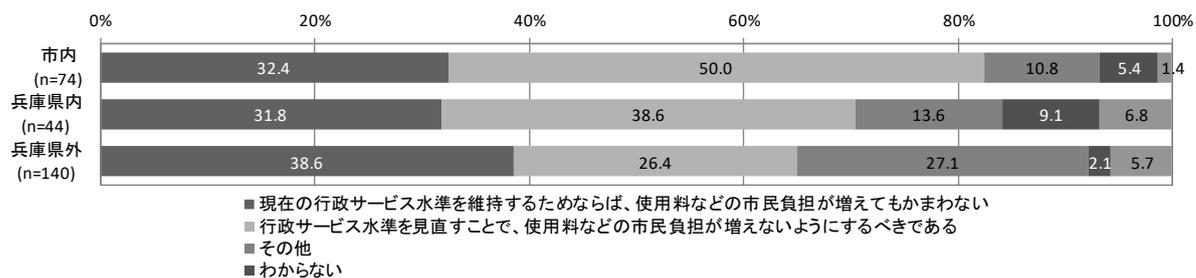
■ 市民アンケートとの比較

- ・学識者アンケートでは「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」（市民 12.9%）、の回答割合が高く、「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」（市民 67.6%）の回答割合が低くなっている。

図表Ⅲ－17 行政サービス水準、市民負担について



図表Ⅲ－18 居住地別にみた行政サービス水準、市民負担について



5. 自由記述

(1) 姫路市が優れていると感じる行政サービスや取組をご記入ください（問2）

①ふれあいと賑わいある 協働・交流都市

【市民活動】

- ・ 市民が行政に参加をしている。市役所と市民が近い
- ・ 地域コミュニティとの連携
- ・ 市民の自主的な街の美化活動
- ・ 地域コミュニティがしっかりしている
- ・ 地域における老人会、子供会等のシステム
- ・ ゴミ処理場建設認可の際の周辺住民との合意形成
- ・ 公民館が小学校校区毎に設置され、地域との結びつきが強いこと
- ・ 幼稚園・小学校区と自治会の一体化
- ・ 自治会（町内会）の活力が維持されている。地元の発想を大事にしている

【観光】

- ・ 姫路城を中心に観光への取組は優れていると感じる
- ・ 姫路城マラソンは、他のマラソン大会よりもおもてなし感が高くなっていると思います
- ・ 姫路城を中核とした観光分野、文化財活動。姫路城改修時の対応もよかった
- ・ 観光客への情報提供。新たな観光資源の発掘
- ・ 観光に力を入れている
- ・ 観光、子育て支援
- ・ 観光が重点化されている
- ・ 地元の資源を活かすべく観光分野に力を入れています、弊害や地域のイメージ、市民への影響を考えた上で、取り組んでおられるところ
- ・ 姫路城を中心とした観光サービス
- ・ 観光（姫路城）
- ・ 姫路城を中心に観光客へのサービス、誘致は良いと思う
- ・ 姫路城を中心とした観光分野、サービス
- ・ 観光資源に恵まれている
- ・ 観光の振興
- ・ 姫路城マラソンや女子サッカーチームのクラブ創設は、スポーツをてこととして、地域振興・街づくりにつながる可能性が大きく、その取組は優れている
- ・ 姫路城を中心に観光に対し力が入ってきたと実感します
- ・ 観光資源（城 その他）の活用
- ・ 大手前公園でのイベントの開催
- ・ 自然と文化、産業と町のにぎわいなどを背景に取り組んでいる文化行政、観光行政などが積極的で良い
- ・ 街が美しいと感じる。やはり城を中心とした観光立地の街なので整備が良くできている方に属すると思う

【交流・連携】

- ・ 政令市昇格はうまく行かなかったが、周辺市町村との連携中枢都市圏や、播磨臨海地域道路網協議会などの活動は将来の政令市実現に向けて有意義

- ・ 多文化共生
- ・ 周辺市町村との連携

②風格と活力ある 歴史文化・産業都市

【産業】

- ・ 創業支援・研究開発（ものづくり関係）
- ・ 地域や産業界と近いイメージがあり、周辺の市町と連携して地域全体を活性化させる取組をしている所
- ・ 姫路産の食品ブランド構築
- ・ 企業誘致・育成に尽力されている
- ・ 産業の振興
- ・ 雇用安定の為の企業誘致活動
- ・ 自然と文化、産業と町のにぎわいなどを背景に取り組んでいる文化行政、観光行政などが積極的で良い

【歴史文化・市民文化】

- ・ 姫路城をめぐる施策
- ・ 世界遺産の強みを生かし、各種取組強化に繋げているところ
- ・ バイオリンコンサート
- ・ 国宝（姫路城）に関する環境
- ・ 石見市政の下で城の改修、駅前再開発など市の玄関が見違えるように改善されたこと。市長のリーダーシップによる所が大とみている。東京、大阪に流出した”頭脳”たちとのコミュニケーションの頻度をもっと上げれば良い
- ・ お城周辺の整備・清掃
- ・ 文化施設が充実している
- ・ 動物園と水族館が両方あり、美術館や天文科学館まである
- ・ 世界文化遺産姫路城とその周辺の整備
- ・ 立地や観光資源などで恵まれているのが姫路市の良さ
- ・ 文化・スポーツ分野の支援
- ・ 文化施設が充実しており、世代を超えて楽しむことができる
- ・ 平和資料館を建設し、平和の大切さを伝えていること
- ・ 手柄山遊園地（市民プール・水族館はよく利用させて頂いています）・姫路城がある
- ・ 自然と文化、産業と町のにぎわいなどを背景に取り組んでいる文化行政、観光行政などが積極的で良い
- ・ 文化情報誌をはじめ美術館、文学館、工芸館の各広報で拝見しています。市民参加を含めて充実した企画で、毎回大勢の方が活躍しておられる様子に敬意を表します
- ・ 文化（世界遺産）があること
- ・ 歴史や伝統に関係する分野へのサービスや取組は優れていると感じる
- ・ 歴史や文化を市民の生活にうまく結びついている（例えば、祭り）
- ・ 文化財をいかしたフィルムコミッションなど
- ・ 美術館・文学館・水族館・動物園などの充実した公共施設
- ・ 姫路城を中核とした観光分野、文化財活動。姫路城改修時の対応もよかった
- ・ お城周辺の景観形成・設備配置（美術館・動物園など）

- ・ 世界遺産姫路城のPR活動
- ・ 教育・文化系施設については充実していると感じる
- ・ 姫路城の整備、好古園・動物園・美術館・博物館等が配備されていること
- ・ 姫路城を中心とした整備もよく取り組んでいる様に思う
- ・ 姫路城等歴史遺産の保存
- ・ 現在市内には住んでいませんが、広報ひめじや、帰省した際の知人の話などから、市行政をはじめ各地区行事や多彩なイベントも盛んに催されており、概して他市に比べても生活しやすい、文化水準の高い生活が営まれている印象を受けます

【市政運営・広報】

- ・ 特記すべきようなサービスがあるわけではないが、「何か足りない」と感じることがほとんどない。幅広い行政サービスが提供されている点
- ・ 市役所での職員の対応が親身だ
- ・ この種のヒヤリング・アンケートを数多く行っておられるので、風通しの良い行政と感じています
- ・ 役所の支所がデパートにもあり、手続きが便利だった
- ・ 朝早くから夜まであいている支所がある
- ・ 地域（地元）に根づいた地域包括支援センターの活動
- ・ 中堅都市としてバランスのとれた行政サービスを行っている
- ・ 行政システムがしっかりしている。ただ、縦割り過ぎる
- ・ 休日に山陽百貨店の出張所で行政サービスを受けられる
- ・ 戸籍取得など、最新のIT技術を導入して大阪のコンビニで出力できるようにしているサービスはありがたいです
- ・ 市役所等の職員の方々の対応が素晴らしく気持ちが良い
- ・ 駅前市役所の開設など、利用者の利便性を重視した取組は、優れているように思う
- ・ 市民無料相談があること。FM ゲンキの取組
- ・ 市政報告等、広報活動が充実している
- ・ アプリやインスタグラムの導入など ICT を積極的に活用していることが優れています
- ・ 住民ひとりひとりに細やかなサービスを提供している（高齢者への配慮）
- ・ 広報「ひめじ」による広報活動。FM ゲンキによる市長の行政情報の発信
- ・ 広報の充実
- ・ ICT を活用し、行政情報分析基盤を構築し、分析データを活用した施策を市政に反映し、最適な市民サービスを提供しようと試みているところ
- ・ 市民への情報発信が積極的に行なわれている
- ・ 広報を見る限り、様々なイベントや制度を通じて市役所が働きかけて住民の一体感を育てようと努力されていると感じる
- ・ 市からの情報発信が適切である
- ・ 行政情報提供の充実、中長期的な目標を有識者・市民の声を聞きながら、毎年見直しを実施（市民に寄りそっている）
- ・ 休日の窓口対応

- ・ 姫路市政のニュースを配信するアプリがある点。市の歳出・入について分かりやすく解説した資料が公開されている点
- ・ 現在市内には住んでいませんが、広報ひめじや、帰省した際の知人の話などから、市行政をはじめ各地区行事や多彩なイベントも盛んに催されており、概して他市に比べても生活しやすい、文化水準の高い生活が営まれている印象を受けます
- ・ 住民に関する情報等のビッグデータを活用した政策立案・評価
- ・ 広報ひめじが素晴らしい (24 ページ)。内容がくわしく、市民の目線で、また理解を得る努力がみえます
- ・ 広報が上手
- ・ 姫路市以外の地で生活している人への情報提供がよい
- ・ ローカルテレビ WINK による市民への情報提供
- ・ 行政の窓口がいろいろな地区にある
- ・ 文化財をいかしたフィルムコミッションなど
- ・ 対外的な発信について以前とくらべて格段に飛躍してきていると思います
- ・ 各種イベントの積極的告知。日・祝対応の行政サービス (山陽百貨店)
- ・ 駅等に設置してある機器で住民票等の書類が取得できる
- ・ 情報発信

③やさしさと信頼に満ちた 教育・福祉都市

【福祉・医療】

- ・ 高齢者福祉について①高齢者バス等優待乗車助成事業②高齢者施設優待券交付事業③すこやかセンターを中心とした健康づくり支援プログラム④安心サポーター制度
- ・ 障害福祉について①障害者のスポーツへの参加を積極的に支援
- ・ 近隣の市町村にない急病センターがある
- ・ 介護保険の支給申請
- ・ 社会福祉・教育に重点がおかれている
- ・ 高齢者福祉
- ・ 高齢者へのサービスは比較的充実していると思う
- ・ 姫路城を中心とした整備もよく取り組んでいる様に思う
- ・ 子どもの医療費が無料である
- ・ 近隣市町村よりも福祉サービスのメニューが多い
- ・ 成年後見支援活動
- ・ 住民ひとりひとりに細やかなサービスを提供している (高齢者への配慮)
- ・ 子育て支援
- ・ 大型医療
- ・ 高齢福祉優待カードを 65 歳から配布され生涯現役に役立つ等、今も多くの事で優れている市であると思います
- ・ ルネス花北を中心とする障害児の療育
- ・ 民間委託による地域包括支援センターの体制
- ・ 子ども・子育て支援の取組
- ・ 子育てにも注力されている
- ・ 高齢者に配慮した行政を維持しようと努めている

【教育】

- ・ 教育・子育てについて、国の施策を実行するのが早い
- ・ 教育・文化系施設については充実していると感じる
- ・ 学校教育
- ・ 社会福祉・教育に重点がおかれている
- ・ 市立3校を持つ高校教育
- ・ 小中一貫教育標準カリキュラムを活用した取組

【生涯学習・スポーツ】

- ・ 生涯学習・社会教育関係の充実
- ・ 高齢者大学等高齢者福祉のうち、特に生涯学習・生きがいに係る行政サービス全般
- ・ 生涯学習の機会が多いこと
- ・ 姫路城マラソンや女子サッカーチームのクラブ創設は、スポーツをてこととして、地域振興・街づくりにつながる可能性が大きく、その取組は優れている

④自然豊かで快適な 環境・利便都市

【都市空間】

- ・ まち全体が明るく、美しく感じます
- ・ 社会基盤整備に着実に取り組んでいる（特に姫路駅周辺）
- ・ 姫路駅前再開発

【環境】

- ・ 月2回の資源ゴミの回収
- ・ ゴミの分別収集
- ・ 清潔さ
- ・ 生活ゴミの収集では、収集日が祝祭日であっても回収して頂けるのはありがたいと思います。（過去赴任先の自治体では不可であったので）ただ、野鳥を含めた小型鳥獣対策として、回収ステーションの整備ができればなお良いと感じます
- ・ きれいな町
- ・ 姫路駅周辺の再開発で賑わいが増えてきたと思う。若い人が多くなってきた。ポイ捨ても減っていると思う

【防災・防犯】

- ・ 消費者 苦情処理 啓発
- ・ 自然災害が少ない（万一を予想して手を尽くしているから？）。昔のものを大事にしながら、新しいことを活かそうとしている

【都市整備】

- ・ 再活性化の試み
- ・ 姫路駅周辺整備
- ・ まち全体が明るく、美しく感じます
- ・ 社会基盤整備に着実に取り組んでいる（特に姫路駅周辺）

- ・市内の主要道路の幅の広さに感心します。(市民生活、防災等に関する事は、外の人間としては判断できませんが)
- ・鉄道(公共交通)が充実
- ・姫路駅中心部の開発
- ・中心市街地の活性化
- ・最近訪れると、駅前を中心に整備が図られ、広い空間が特長となっている。城までの歩道も広く快適に歩ける。半面、街のにぎわい、楽しさという点でもものたりない。歩道に屋台的なショップや食べ物屋、小イベントなどを展開すれば楽しいのでは
- ・道路等ハードものの整備
- ・市街地の整備
- ・姫路城を核とした都心部の魅力向上のみならず、山間部や島諸部での活性化にも取り組もうとして共存を目指している点
- ・最近では駅前のトランジットモールの整備
- ・インフラ整備。特に中心市街地
- ・駅前の大改造。新駅の設置(はりま勝原など)。お城周辺の景観形成・設備配置(美術館・動物園など)
- ・計画的都市再生計画の立案と実行
- ・駅前開発、県立病院うまくいくと良いですね
- ・高架事業等、駅周辺整備が進み、コンパクトで美しい街だと思う。中心部と周辺部のメリハリがついており、行政もていねいに対応しているように思う
- ・姫路駅周辺の再開発で賑わいが増えてきたと思う。若い人が多くなってきた
- ・ポイ捨ても減っていると思う
- ・都市としてサイズが良い。駅前の街づくりが良い(行政サービス等は利用していないためわからない)
- ・ホテル等建築審議会による風紀・景観の維持・促進
- ・中心市街でも自転車シェアリング(姫ちゃり)
- ・街づくり ・公営住宅の整備 ・インフラ整備
- ・道路が整備されている
- ・姫路駅前の再開発など地域振興に直結する事業に官民あげて取り組んで成果を出しているところ
- ・「姫ちゃり」の推進
- ・姫路市内の道路整備
- ・姫路城周辺の街並みが美しい
- ・姫路城など歴史的な建造物、郊外の田園地帯、市街地が良くマッチしている
- ・まちづくり・バリアフリー関係がすぐれていると感じます。実家の最寄駅も跨線橋を経由せず上り下り両方のホームに行けるようになりました
- ・街が美しいと感じる。やはり城を中心とした観光立地の街なので整備が良くできている方に属すると思う
- ・基幹道路の整備状況、市川・夢前川の堤防整備 ・姫路城周辺の景観・環境整備 ・JR 姫路駅付近の整備
- ・鉄道の連続立体交差や姫路駅周辺の整備などの都市基盤施設の整備
- ・街づくりと連携した駅周辺整備
- ・中心市街地等の環境整備

- ・ 仏舎利塔の納骨堂は市民の皆さんが喜んでいる。姫路駅から姫路城に 50 メートル舗装の道路を大手前に造り先見の明があって立派であると思います
- ・ 駅周辺地区再開発の際、駅前の一等地をタクシーの休憩場にできなかったこと
- ・ 姫路駅前、駅周辺の整備が非常に優れている。利便性も向上した

【市政全般・その他】

- ・ 県立病院の駅前誘致に見られる県との結びつき
- ・ 市長の考え方に柔軟性がある
- ・ 姫路市は合併して北部（安富・夢前）の農山村地帯を含み、この地域の活性化が課題となっているが、現在活性化に向け協議を積極的に進めていただいているところは良いと思っている
- ・ 行政サービス、取組は不知。自然（災害の少なさ）がすばらしい
- ・ 関東地方に住む者にとって、姫路市は地方中核都市として、特色のある存在感・発信力を有しているとの印象があります。先日の台風 20 号の上陸には心配しましたが、市内に多数の中小河川があるにも関わらず、被災報道がなかったことに驚いています
- ・ まちづくり（長期的視点）
- ・ 地の利を生かしたイベントが計画され、実施されている
- ・ 中核都市であり、生活に必要な機関およびサービスが揃っている
- ・ とにかく食べ物はうまい。東京の高級焼肉より。姫路のホルモン、お好み焼き、たこ焼きは PR すべき

(2) 姫路市外の方のみお聞きします。お住まいの地域が優れていると感じる行政サービスや取組をご記入ください（問3）

①ふれあいと賑わいある 協働・交流都市

【市民活動】

- ・ 近くのケアプラーザがサークル活動に無料で使える。ただし、年2回のボランティア活動に参加することが条件
- ・ 地域ごとの地域活動拠点（区民センターなどの整備と当該地域活動）
- ・ 公民館イベントが多い
- ・ 市民協働を担うNPOの育成・支援
- ・ 市民・NPOを巻き込んだ諸活動

【観光】

- ・ 観光資源がないのに努力している
- ・ 観光客（インバウンドも含む）への取組。2019年ラグビーW杯に向けての種々の取組が活発化している。今までに大きな大会を招致してきた経験が寄与していると思う
- ・ 居住地は外来観光客が著しく増加しており、これらが基因で活気が出てきている
- ・ 私は貴市琴丘高校卒業のあと上京。都庁と区役所の勤務。住所は八王子市。海がありません。人口は姫路市とほぼ同じ。市制100年。高尾山599メートルがミシュラン3ツ星。これをハイキングや登山などうまく利用しています

【交流・連携】

- ・ 多文化との共生
- ・ 市報が月2回あって、外国人用に英語・中国語・スペイン語が用意されている（外国語は月1回）

②風格と活力ある 歴史文化・産業都市

【産業】

- ・ 人口が多いこともあり、各駅に商店街が成立している（姫路は、姫路駅中心となっており、それ以外の地域の利便性は十分ではない）
- ・ 都市圏には及びませんが（大きな）法人の存在が、地域を多少なりとも支援しているところ
- ・ 起業家の支援など、手厚い！？他とあまり比較したことはありませんが
- ・ 中山間地域の振興。農林水産業の担い手確保支援等
- ・ 公共機関を含めて、様々な国内外の文化（音楽・演劇・美術・博物館他）・セミナー・大学キャンパス・企業（起業）等へのアクセスが良く、生活を豊かに、また仕事を進めていくうえでの環境が充実している
- ・ 商店街活性化支援
- ・ 農業の振興と福祉事業の連携（農地を活用した障害者の就労支援など）
- ・ 本社機能誘致のトップセールス

【歴史文化・市民文化】

- ・ 芸術振興
- ・ 城下町を生かした秋祭りや時代祭を実施している

- ・ 駅直結の文化ホールがある（兵庫県立芸術文化センター）
- ・ 文化活動に力を入れている
- ・ 文化的刺激を与える企画が多い
- ・ 文化活動、スポーツ振興の多様性（対象住民、コースの種類）。時代の流れを敏感に取り入れた内容の活動展開
- ・ 文化
- ・ 地元大学（日大商学部）との連携による文化活動行事
- ・ 公共機関を含めて、様々な国内外の文化（音楽・演劇・美術・博物館他）・セミナー・大学キャンパス・企業（起業）等へのアクセスが良く、生活を豊かに、また仕事を進めていくうえでの環境が充実している
- ・ 美術館等の活用
- ・ 教育・文化等イベントが多いこと
- ・ 市民農園、コンサート

【市政運営・広報】

- ・ 12月28日も役所は仕事をしています
- ・ 水道料金が廉価・地域（町）の歴史について情報提供（パンフ等）
- ・ 生活情報が豊富
- ・ 区役所の出張所における機能充実（証明書の発行以外の業務も実施）
- ・ 広報、情報発信
- ・ 豊中市では市役所の職員をパソナにアウトソースしています。サービスがよいように感じます
- ・ 各地域毎に区民センター（出張所）があり、諸手続・証明書交付など住民に至便であること（IT時代に乗るべし、一端末とし中枢ネットワーク活用）。また町づくりの提案や区民サービスの窓口が常設されていること（2～3人の職員常駐）。各自治会との連携も然り
- ・ 居住している地域の地公体では、民間と同列には比較出来ないが、行政運営において、よりビジネスマインドがあり、収支にも厳しい印象がある。住民に選ばれる町づくり、愛着をもってもらえる町づくりを意識している
- ・ 区役所や都庁からの活動連絡がきめ細かい。新聞への広報版織り込み、WEBによる周知活動
- ・ 区役所出張所（行政サービスコーナー）が最寄駅前に有り、平日は19時迄、週末も開いていて便利
- ・ 図書館などの公共施設の整備・行政窓口の電子化
- ・ 行政サービスコーナーの充実・コンビニでも各種証明書が取得可能
- ・ 市立図書館をPFI事業で整備運営し、格段にサービス水準が向上した
- ・ 在住の市では住民票、印鑑登録証明書の文書料金が安い
- ・ 医療福祉分野で、特に区役所の窓口対応が親身に相談に乗ってもらえる
- ・ （以前住んでいた東京都世田谷区との比較です）納税手続の際の窓口が充実・区役所の出張所が多く諸手続が便利

③やさしさと信頼に満ちた 教育・福祉都市

【福祉・医療】

- ・ 保育所の充実
- ・ 福祉等

- ・ 医療福祉分野で、特に区役所の窓口対応が親身に相談に乗ってもらえる
- ・ シルバーパス（高齢者の交通費軽減）制度
- ・ 福祉、高齢者対策など
- ・ 比較はできませんが、例えば、小学生（もしくは中学生）まで医療費負担が無い自治体は若い夫婦にとってアピール大だと思います
- ・ （東京都杉並区）育児支援
- ・ 0～15歳までのこどもの医療費が所得制限なく補助される。（0～2歳：入院外来無料、3歳～中学3年：入院無料、外来1日400円まで月800円まで）
- ・ 姫路との比較は不可能ですが、都内は福祉の水準が高くなっているようです
- ・ 高齢者の健康診断や予防接種は無料。バス・地下鉄など無料（ある収入以下の場合）
- ・ 中学校卒業まで医療費無料（所得制限なし） ・ 中2で全員ピロリ菌検査実施 ・ こうのとりバス（妊婦さんのバス運賃が100円）
- ・ 保育、幼児療育の行政的指導がすぐれている。（保育の質はそれほど異ならない）
- ・ ガン健診などの無料化
- ・ 児童医療の無償化（15歳）
- ・ 子育て支援（但し他の部門は遅れている）
- ・ 保健・医療がゆきとどいている
- ・ 障害者の福祉
- ・ 待機児童がおらず、3人目の子供に対し支援を手厚くすることで、出生率の向上を図っている
- ・ 学童保育が充実しており、各小学校区に小学校の敷地内にある
- ・ 子育て世代包括センターがある
- ・ 無料に近いがん検診がよく整備されている
- ・ 土・日・夜の対応がある病院である（公立病院ではないが）
- ・ 中学生まで医療費助成（姫路市もあるようですが）
- ・ 高齢者に対する生涯学習の機会の提供など
- ・ 千葉県では県レベル、各市レベルで子育て支援を行っています。特に松戸市、流山市では、子育てにやさしい町を全面的に打ち出して、人口流入も増加しているとのこと
- ・ 福祉が優れていると聞いています
- ・ 高齢者福祉施設、分散配置
- ・ 子育て支援
- ・ 幼児教育・保育の無償化
- ・ 大病院の数が圧倒的に東京は多いこと
- ・ 充実した医療、高齢者対策
- ・ 高齢者については定期健康診断に注意を払っている（他の地域と比べより優れているかは不明）
- ・ 生活サービス（介護、医療など）
- ・ 大阪府交野市ですが、高齢者向けの文教活動が盛んです
- ・ 待機児童への取組
- ・ 農業の振興と福祉事業の連携（農地を活用した障害者の就労支援など）
- ・ 遠隔地自治体と連携した高齢者住宅整備

- ・ 70 歳以上の公共交通機関の優待パスカード（姫路市でも導入済みでしょうか）。老人の健康維持

【教育】

- ・ 人材育成
- ・ 公共機関を含めて、様々な国内外の文化（音楽・演劇・美術・博物館他）・セミナー・大学キャンパス・企業（起業）等へのアクセスが良く、生活を豊かに、また仕事を進めていくうえでの環境が充実している
- ・ 幼児教育・保育の無償化
- ・ 学校教育への関心度が高くなっている。又、子育て環境整備
- ・ 図書館など教育サービス
- ・ 教育・文化等イベントが多い事
- ・ 図書館の充実など文教分野に市が積極的に取り組み、若者の学びを地域が後押ししている点
- ・ 子ども・若者向けの施策
- ・ 教育環境が良い（大学が多い・教育水準が高くなっている）
- ・ 図書館は充実していると思います
- ・ 図書館も夜 21 時まで営業

【生涯学習・スポーツ】

- ・ 文化活動、スポーツ振興の多様性（対象住民、コースの種類）。時代の流れを敏感に取り入れた内容の活動展開
- ・ 高齢者に対する生涯学習の機会の提供など
- ・ プール等のスポーツの場確保・市民を対象にした講座（市内大学と連携）
- ・ スポーツ振興
- ・ 河川敷等を活用して市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる施設を積極的に整備している
- ・ 細かいことですが、総合体育館の利用予約が、卓球台 1 台、バトミントンコート 1 面から可能です。事前に登録しておけばネットから予約ができて、運動の習慣づけや小グループの懇親に役立っています。既に姫路市でも実施しているかもわかりませんが
- ・ 大阪府交野市ですが、高齢者向けの文教活動が盛んです
- ・ 生涯学習施設の充実
- ・ 公園・スポーツ施設
- ・ 地域スポーツクラブ
- ・ 気軽に利用できる公園・緑道（散歩・ジョギング）・温水プール・銭湯・公園。球技可能なエリアがあり、子どもでにぎわっている

④自然豊かで快適な 環境・利便都市

【環境】

- ・ きれいな街づくり
- ・ ゴミの処理
- ・ （以前住んでいた東京都世田谷区との比較です）粗大ゴミの回収回数が多い
- ・ 森林の保護

- ・ ゴミ袋の有料化や減量対策は力の入り方が異なります（やり方は良し悪しありますが）
- ・ ゴミをあさるカラスが減りました
- ・ 環境対策（資源循環等）
- ・ 地球温暖化に対する市民への啓発
- ・ 環境未来都市構想。国際的な会議がたくさん行われている
- ・ 環境保全に積極的に取り組んでいる

【防災・防犯】

- ・ 災害リスクが高まった時のスピーカーによる放送。区役所 WEB による速報携帯メールやスマホによる雨量、川の水位、警報の速報
- ・ 防災
- ・ 警察の数が多。夜の見回りとか、23 区内はかなり多く目立つ。治安の不安は感じない
- ・ 地域の防災意識向上・防災教育（東日本大震災が起きたことによりますが）
- ・ 治安が良い
- ・ 震災後、中学校のブロック塀を直ちに作り壊すなど、住民の安全対策を考えている
- ・ きめ細やかな防災の連絡・段取り
- ・ 地域防災
- ・ 安全・安心見守りネットワーク事業
- ・ 安心して歩ける街（治安・防犯）

【都市整備】

- ・ コミュニティバスの運営
- ・ 鉄道会社との連携による公共交通サービスの向上
- ・ 充実した公共交通
- ・ 電柱撤去・地下化
- ・ コミュニティバス路線が充実
- ・ 街づくり（規制緩和、各種優遇）
- ・ 公共交通サービス
- ・ 公園や緑が多い
- ・ 交通のアクセス
- ・ 交通の便利さ
- ・ 都内でも緑化率や公園の多さなどトップクラスの田園都市となっている点
- ・ 東京は動きやすい街です。地下鉄他都内の交通網は世界の大都市のなかでも優れていると感じます
- ・ 電車・バスの便が良い。警察署も近いし県立病院も移転してくる
- ・ コミュニティバス網など公共交通へのサポート
- ・ 広島市内は6つの大きな川が流れていますが、岸辺の整備が素晴らしい。100m 道路の両側の並木も植付面積が広く、緑が充実している。姫路の駅前～城への通りも広く歩き易いが、さらに緑の厚み加わるといい
- ・ 公園整備
- ・ さいたま新都心エリアの活性化
- ・ 気軽に利用できる公園・緑道（散歩・ジョギング）・温水プール・銭湯・公園。

- ・ 公園・スポーツ施設
- ・ 都心の再開発やまち作りにおいて、優れていると思います
- ・ コミュニティバスが市内全域に運行している
- ・ 当地は、車さえあれば生活には便利な地であるが、通勤以外の公共交通は主にバスであり、姫路と同様である。民間の住宅・商業開発をうまく誘導しているように思う
- ・ 駅の公共自転車置き場の整備
- ・ 100円バス（どこの自治体にもあるでしょうが）
- ・ 市中の緑化、街路樹の整備、公共交通
- ・ 公共交通網の充実
- ・ バス、電車が高齢者に優しい
- ・ 首都圏の郊外都市と比べるのも変だが、公共交通（バス）のきめ細やかさ本数が圧倒的に多いこと。帰省してバスの本数が減っていることに驚いた
- ・ 習志野市において実施した JR 津田沼駅南口地区の土地区画整理事業。低利用地を整備することで、民間の活力を利用して、無電柱の良好な都市環境と若者を中心とする大幅な人口増を実現している
- ・ 京都は土地柄、市バスが充実していて、交通の便が良いです。また、混雑回避の為、バス停に人を配置し、登下車を誘導してくれています
- ・ 公共交通機関の充実。マイカー離れの促進
- ・ 公園整備
- ・ バス停留所の整備、時間表示、雨天の対策

【市政全般・その他】

- ・ 図書館、文化・スポーツ施設が近くにある他、イベント等ソフト事業が充実（姫路市はソフト部分が弱いのでは？ハード面の整備ばかりが目立っている）
- ・ 地域独自のイメージを再構築した地域ブランドによる内需型のまちづくり（エリアマネジメント）
- ・ 市内にいくつもの拠点がある・市内の差が少ない
- ・ 伝統的なハコモノ行政から脱却し、人中心のサービスを展開している
- ・ 町がキレイ
- ・ 利便性
- ・ 芦屋市は小さい街で、行政サービスの規定・規制が作りやすいこともあり、「芦屋ブランド」を守るための条例が多数ある。建物の高さ規制、屋外広告物条例、生活環境保全条例（パチンコ店なし等）。姫路ブランドとは、の再考を
- ・ 将来見通しに関する研究会の実施
- ・ 政令指定都市であることから、スピード感を持って先進的な取組をしている所
- ・ 東京 23 区内ですが都心にも近く、ゆったりとしているところ
- ・ 東京都に隣接している調布市は私鉄の運営に依る電車・バスが充実しており、私鉄の駅ごとにスポーツ・音楽の公共施設あるいは特徴のある商店街などそれぞれに若者の姿・子育て中夫婦の姿・老人の姿が多く見られます
- ・ 横浜は海を大事にしている
- ・ 小さい町ならではであるが、顔の見える関係性が築かれていること
- ・ 市の昔からのイメージをそれなりではあるが、大切にし、域外の人たちの期待にも対応する方向での施設整備に努めていること。地道なインフラ整備をそれなりにかもしれないが継続していること
- ・ 地域活性化

(3) 他市区町村において今後の姫路のまちづくりの参考になるような取組がありましたら、ご記入ください（問4）

① ふれあいと賑わいある 協働・交流都市

今後のまちづくりの参考になる取組		市区町村
市民活動	区民まつりや商店街等と区役所（行政）がコラボや援助（智恵や金銭）を協力して行うイベントが多い	
	①チーム〇〇の典型は「播州の祭り」です。祭りの「連中」とまでいかななくても、その地域地域の”氏神様祭り”などで地域コミュニティが作られると安心安全な市になると思う⇒”しかけ”が大切	
	ボランティア活動支援 行政への市民参加	
	たくさんの市民の健康向上・維持をめざして、支所ごとに公民館・スポーツ施設も配置してあることでしょう。加えて、八王子における高尾山のようなハイキングの可能な山があればと考えます	八王子市
観光	・郊外で、田舎を売りにした農家（漁家）民泊を推進してはどうか ・高山の街並み、篠山の街並みなど、あえて古いものを積極的に売りにする	高山市 篠山市
	姫路城周辺の古い町屋を民泊施設としてリノベーションする	京都市
	入湯税の使いみちを観光協会（観光予算として）へバックしている	
	一流ホテルの誘致	
	現住地近くに国宝・石清水八幡宮や桜の名所「背割堤」などがありますが、京都・宇治・伏見などと連携した観光キャンペーンを行っています。JRや山陽電車と連携して周辺観光地と共同キャンペーンをされることを期待します	
	彦根市の彦根城周辺の街並み整備を見倣っていただきたい	彦根市
	1.横浜/ジャズプロムナード 2.松本/斉藤（現小沢）記念フェスティバル	横浜市 松本市
	小豆島などオリーブだけでなくアート色も出したり、世界から人が集まるイベントの開催	小豆島
	認知度向上や市民のモチベーション等の観点で、例えば毎年全国ニュースで取り上げられるような恒例行事のさらなる露出に力を入れる（姫路城・秋祭り・海行事等）（京都の大文字送り火・祇園祭などのように、恒例の全国ニュース題材になるように）	京都市
	先年合併した家島を中心とした海の観光開発を積極的に行い、観光アピールしてはどうか	
	アートフェスティバル・イベント（フェス・トライアスロン）主催～長岡・小豆島等	長岡市 小豆島
	篠山市のまちまるごとホテル構想。城下町古民家再生ホテル	篠山市
	相鉄・南万騎が原・交通広場でない、人のための広場を整備。自由ヶ丘・緑道沿い等に多数のベンチを設置 赤レンガの再生や市街地の歩道レイアウト（車の速度抑制）など、観光周遊バス・赤いくつも良い	横浜市
	伊勢神宮（伊勢市）そばの「おかげ横丁」のような恒常的な設置	伊勢市
「かっぱ」に係る様々な取組	福崎町	

	街並みを整備しつつ、魅力ある観光資源の創出に取り組んでいる事例として、倉吉市、松本市、長野市等がある	倉吉市 松本市 長野市
	海外富裕層向けの観光	
	京都のような観光の魅力をつくる	京都
・ 連携 ・ 交流	外国語表示という点では福岡市が充実している	福岡市
	大分県の“アジア太平洋大学”、その姫路バージョンの実現はできないか。“国際観光都市姫路、若人の街姫路”の建設	大分県
	都市部と北部地域との交流を促進	

② 風格と活力ある 歴史文化・産業都市

今後のまちづくりの参考になる取組		市区町村
・ 産業	西脇市の農産物ブランド化	西脇市
	1. 福岡市・大阪市などの起業家支援への取組（インキュベーションの場の提供）	福岡市 大阪市
	瀬戸内海に面した温暖な気候、海・山・川など自然の豊かさの一方で、交通も比較的便利。東京や大阪など大都市の問題を補完できる立地首都圏の起業家にとってのリモートオフィスの訴求をすべき（例：白浜市など）	白浜市
	家庭に居て働く意欲をもつ女性の再就職のためのワンステップ相談（京都府のマザーズジョブカフェなど）	京都府
	リノベーションによる商店街の活性化（小倉魚町・尾道・岡山問屋町など）	北九州市 尾道市 岡山市
	浜松市→姫路市と同じく、ものづくり産業の集積があり、加えてベンチャー育成に積極的に取り組んでいる	浜松市
	創業支援の強化	
	姫路駅前にテレワーク用の共有ワーキングスペースを作る	
	大阪のような経済の活性化	大阪
	若い起業家を中心とした町づくり、村づくり	
・ 歴史文化 ・ 市民文化	認知度向上や市民のモチベーション等の観点で、例えば毎年全国ニュースで取り上げられるような恒例行事のさらなる露出に力を入れる（姫路城・秋祭り・海行事等）（京都の大文字送り火・祇園祭などのように、恒例の全国ニュース題材になるように）（再掲）	京都市
	・八戸ポータルミュージアムはっち、八戸ブックセンター（青森県八戸市）・マルカガーデン（鹿児島市）	八戸市 鹿児島市
	北海道のよさこいソーラン祭。若者が熱狂できるイベント作りとして良いと思う。姫路の秋祭り（けんか祭りをはじめとする屋台やだんじり）お城まつりなど企画を一新することで若い世代が中心になれるように変革し、市外からの参入も促す	北海道
	わいわいコンテナ	佐賀市
	昔ながらの町名、地名は残し、なぜその名が付いているのかを想像、勉強し歴史を感じられるようにしたい	
	民度を上げる（文化施設、コンサートホール、美術館、歴史博物館 etc）	
歴史的遺産をいかした街づくり。具体的にどの都市というわけではなく江戸時代風の街なみづくりで観光客を呼びこめるのでは		

	市民が一丸となって盛り上がる踊りを考察して、二日間街中を練っている	
市政運営・広報	小野市の市職員の育成	小野市
	ふるさと納税にもっと積極的に取り組めばいいと思う	
	昨日(8/30)、TVで観たのですが、移住者に補助金出すというのがありました	
	ふるさと納税の返礼品を、もっと魅力的なものにしてほしい	
	自治会、老人会等任せでなく、常に市民に便利なセンターを設け、市が地域に密着し、行政が届く体制、声が直接届く窓口があるとよいと思う(非居住で具体的には分かりませんが)	
	沼津市の「ラブサンシャイン」と連携したシティプロモーション	沼津市
	神戸市の場合、国際交流や市民への広報担当の職員として外国籍の人材を活用しているようです。人材のダイバーシティを推進する	神戸市
	老朽化した施設を閉め、効率的な財政へと移行しているところが増えてきた。姫路も変わるべきでは？	
	市長による情報発信(Twitter)	
	ふるさと納税の魅力向上	
	各備し物の入館料・入場料・参加料その他いろいろ、市民優先の料金設定などの姿勢が大切だと思います。常に市民が優しい気持ちでいてくださることです	

③ やさしさと信頼に満ちた 教育・福祉都市

今後のまちづくりの参考になる取組		市区町村
福祉・医療	高齢者に対する配慮が行き届いていること	
	姫路市で実施されているか不明ですが、 1.年1回のがん検診等の支援サービス 2.高齢者の学びの場の提供	
	子育て世代へのサポートの充実が必要。教育費や医療費の補助や無償化。特に所得制限なくやっていくことが重要	
	高齢者の健康診断や予防接種は無料。バス・地下鉄など無料(ある収入以下の場合)	
	保育についての行政指導を強めるようにしてほしい。地域住民の気持ちを考えるあまり、本来の行政的指導がゆがめられていると思うことがある	
	高齢者対策として元気な人が、趣味などを通じて集まる機会を多く持てるような取組。高齢者が活気づくと街が賑わうと思います	
	小学校校区内に1箇所のごども食堂の開設(ボランティア応援のための場所の提供)	
	住民への5年毎の健康診断通知	
	(姫路の現状を知りませんが)生活困窮者支援	
	東京世田谷区の産後ケア事業(宿泊)	世田谷区
	娘夫婦が住む東京都江戸川区では、子供の医療体制が充実しています。日曜・夜間診療体制の外、医療費についても、負担数百円程度のこととのようです	江戸川区
	子どもから高齢者までの総合相談窓口の一元化・コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の設置	
	医療制度を中心にした高齢者福祉	
	保育園などの充実など子育てに力をさらに入れる	

	子供の医療費中学まで無料（入院含） ・ 小学校で放課後の子供あずかり（無料）	
	子育ての充実	
	地域における高齢者の乗合タクシー等のサービス	
教育	大分県の”アジア太平洋大学”、その姫路バージョンの実現はできないか。”国際観光都市姫路、若人の街姫路”の建設（再掲）	大分県
	宍粟市の学校給食	宍粟市
	松山市が行っている図書サービス（離島にも移動図書館を提供している）	松山市
	小中学生の給食無償化	
	大学の誘致	
	①給食費無償化（子育て支援、若い世代の呼び込み） ②学校へのエレベーター設置（避難所対策も含めて）	
	1. 小中学校にエアコンの導入 2. 保育園などの充実など子育てに力をさらに入れる	
	さいたま市、たつの市、札幌市などの電子書籍サービス	さいたま市 たつの市 札幌市
	福島県会津若松市が策定した「あいづっこ」宣言です。青少年の健全な育成のために会津地方の伝統的な思いを取りまとめたもので、街にも掲示され、ホームページにも掲載されています	会津若松市
	学費無料（小・中・高） ・ 子供の増加 ・ 若者のUターン	
	グローバル人材の育成、教育補助・支援	
	子育て世代へのサポートの充実が必要。教育費や医療費の補助や無償化。特に所得制限なくやっていくことが重要	
	大学キャンパスの誘致	大阪府内各市
	地域人教育・学輪 IIDA	長野県飯田市
生涯学習・スポーツ	仙台市で「スポーツの力を活用した街づくり」と題して、ショッピングセンターにスポーツ体験棟を併設して、アイスリンクをオープンしている。また、フットボールパーク施設やアウトドア施設も新設し、いろいろなスポーツが身近に楽しめる街づくりをしている	仙台市
	たくさんの市民の健康向上・維持をめざして、支所ごとに公民館・スポーツ施設も配置してあることでしょう。加えて、八王子における高尾山のようなハイキングの可能な山があればと考えます 周辺市民の協働で対処できれば、なお良しです（再掲）	八王子市
	地域における中高年者を対象として健康づくりのための「健康サポーター」の養成。サポーターは中高齢が資格を取得	
	夢追塾（旧生涯現役夢追塾）	北九州市
	高齢者対策として元気な人が、趣味などを通じて集まる機会を多く持てるような取組。高齢者が活気づくと街が賑わうと思います（再掲）	
	姫路駅を中心・拠点とするような循環バス（安価なもの）—観光等にも	

④ 自然豊かで快適な 環境・利便都市

今後のまちづくりの参考になる取組		市区町村
環 境	環境未来都市構想	
	公立学校の緑化、再生・自然エネルギーの導入	
防 災 ・ 防 犯	①消防庁による各公民館での災害時対抗訓練。小学生が放水訓練、母親がAEDの使用訓練、その他基礎的知識の紹介。焼き鳥等の屋台も出すので、地域は楽しみにしている	
	②警察署が不審人物現れた時に速報で地域に携帯電話、スマホで知らせている。小学生等の被害が速報され、地域ぐるみで地域の安全確保運動が自然に高まる。昨日のおれおれ詐欺や自転車泥棒の発生が詳しくすぐ周知されている	
	加古川市が最近導入したV-Low マルチメディア放送（地上波放送）によるV-alertは災害に強いよう導入する自治体が増えているらしいです。姫路は、電波と有線（ネット等）を複合した二重、三重の防災体制を取るべきだと思う	加古川市
	災害時の市の対応として、街の清掃が迅速になされたり、被災者の方への対応については、今回の大阪の台風や大雨の際の市の対応を参考に、更に対策を講じてくだされば幸いです	
	防災・減災に向けた地域整備	
都 市 整 備	公共交通機関では、広島には路面電車と次世代交通機関、バス、JRがあるが、ばらばらで中途半端。ネットワークになっていない。反面教師として参考にしてほしい	広島
	北部地域のコミュニティバスの運行	
	上記と関連しますが、姫路市の規模であれば、市内の公共の交通にもう少しアイデアがほしい（かつてのモノレールは成功しなかったようですが、線路位置を熟慮して何か作るべきと思います）	
	相鉄・南万騎が原・交通広場でない、人のための広場を整備。自由ヶ丘・緑道沿い等に多数のベンチを設置 赤レンガの再生や市街地の歩道レイアウト（車の速度抑制）など、観光周遊バス・赤いくつも良い（再掲）	横浜市
	交通の便利さ（姫路城周辺だけのバスでは不便）。室津やたつの市、福岡や夢前などのバスを、もとへもどす（退化している）	
	自転車置き場の整備。違法駐輪のとりしまり強化	
	BRT・LRTを活用したまちづくり	宇都宮市等
	コミュニティバスの充実	加古川市
	習志野市において実施した JR 津田沼駅南口地区の土地区画整理事業。低利用地を整備することで、民間の活力を利用して、無電柱の良好な都市環境と若者を中心とする大幅な人口増を実現している	
	街並みを整備しつつ、魅力ある観光資源の創出に取り組んでいる事例として、倉吉市、松本市、長野市等がある（再掲）	倉吉市 松本市 長野市
	道路網の整備・開発	
	バリアフリー化の推進	
	パークマネジメント（大阪城公園・天王寺公園）	大阪市
	ランドバンク（鶴岡市）、空き家再生（尾道市）、自動運転電動カート（輪島市）	鶴岡市 尾道市 輪島市
歩道の整備（特に城北側地区）		

(4) 今後、姫路市が目指すべき将来像やまちづくりのあり方などについて、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

■ 全体傾向

- ・ KH Coder を用いて頻出語を調べたところ、自由記述においては、「観光」や「姫路城」といった語が多くみられ、観光分野に関する意見が多い。
- ・ また、「歴史」については「歴史が豊か」といった意見、「自然」については、「自然が豊か」という意見とともに、「自然災害が少ない」といった意見もみられた。

図表Ⅲ－19 自由記述における頻出語上位 150 語

順位	抽出語	出現回数
1	姫路	95
2	都市	40
3	街	30
3	観光	30
3	姫路城	30
6	地域	27
7	人	25
7	文化	25
9	人口	22
9	整備	22
11	市	21
11	中心	21
11	必要	21
14	産業	20
14	若者	20
16	行政	19
16	魅力	19
18	周辺	18
19	活性	17
19	市民	17
19	良い	17
22	町	16
23	多い	15
24	高齢	14
24	自然	14
24	住む	14
24	歴史	14
28	アピール	13
29	環境	12
29	減少	12
29	城	12
32	教育	11
32	施策	11
32	施設	11
35	意見	10
35	活用	10
35	少ない	10
35	生活	10
39	持つ	9
39	社会	9
39	豊か	9
39	誘致	9
43	企業	8
43	見る	8
43	交通	8
43	作る	8
43	重要	8
43	対応	8
43	地方	8
43	面	8

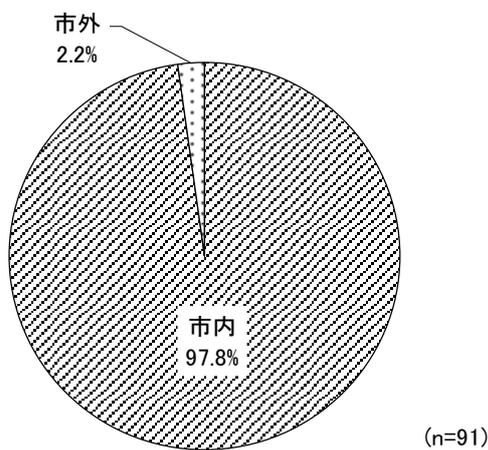
順位	抽出語	出現回数
43	力	8
52	アンケート	7
52	意識	7
52	拠点	7
52	計画	7
52	充実	7
52	場所	7
52	新しい	7
52	進める	7
52	人々	7
52	増える	7
52	他	7
52	大切	7
52	東京	7
52	発信	7
52	目指す	7
52	離れる	7
68	維持	6
68	育成	6
68	確保	6
68	期待	6
68	国際	6
68	資源	6
68	実現	6
68	若い	6
68	振興	6
68	神戸	6
68	人材	6
68	図る	6
68	大学	6
68	地区	6
68	特色	6
68	望む	6
68	目	6
85	サービス	5
85	バランス	5
85	遺産	5
85	海	5
85	外	5
85	街並み	5
85	関係	5
85	帰る	5
85	強化	5
85	見える	5
85	雇用	5
85	向上	5
85	高い	5
85	子育て	5
85	市街地	5
85	思える	5

順位	抽出語	出現回数
85	自治体	5
85	取り組む	5
85	住民	5
85	出来る	5
85	食	5
85	世界	5
85	世代	5
85	設置	5
85	全国	5
85	存在	5
85	滞在	5
85	大阪	5
85	大都市	5
85	地元	5
85	定着	5
85	日本	5
85	入る	5
85	年	5
85	発展	5
85	変化	5
85	有効	5
85	来る	5
123	コンパクト	4
123	駅	4
123	駅前	4
123	課題	4
123	回答	4
123	開発	4
123	活かす	4
123	願う	4
123	企画	4
123	機関	4
123	起業	4
123	京都	4
123	協力	4
123	経営	4
123	現状	4
123	個性	4
123	古い	4
123	公共	4
123	効率	4
123	向ける	4
123	工夫	4
123	広い	4
123	合併	4
123	参加	4
123	姿	4
123	子供	4
123	市外	4
123	市内	4

IV. 回答者の属性(地域団体)

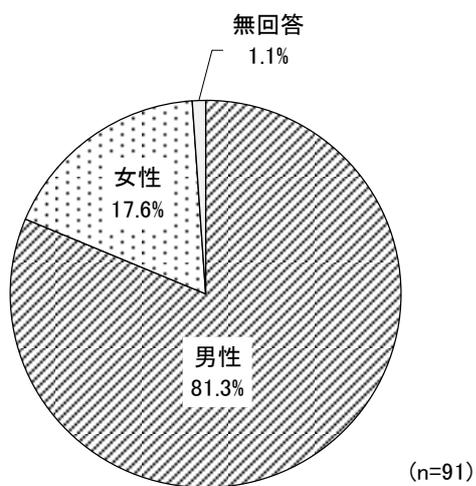
1. 居住地(F1)

図表IV－1 居住地



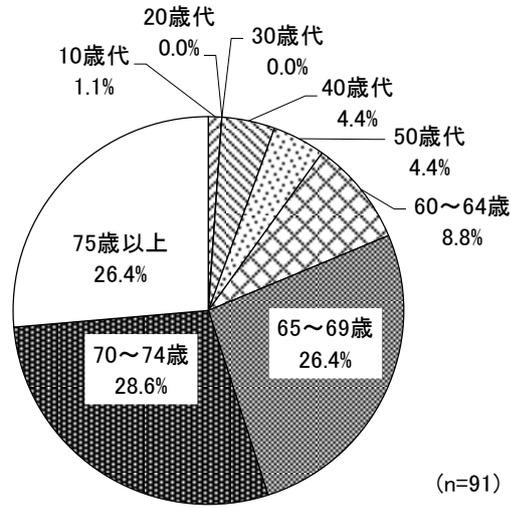
2. 性別(F2)

図表IV－2 性別



3. 年齢(F3)

図表IV-3 年齢



V. 調査結果(地域団体)

1. あなたの暮らしなどについて ※市内在住の方のみ

(1) 今の姫路は住みやすいと思いますか (問1)

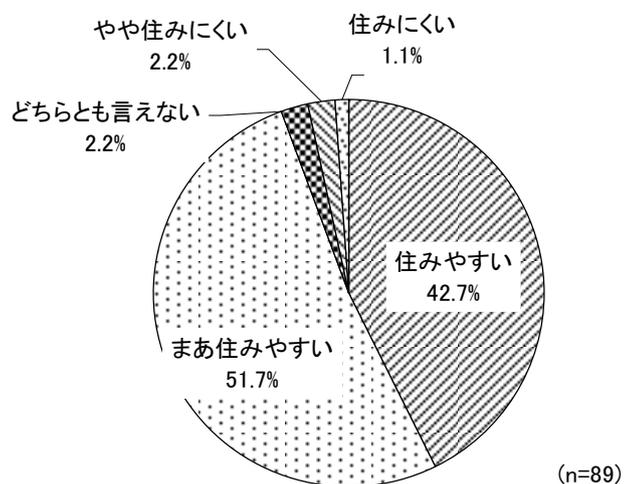
■ 全体傾向

- ・「まあ住みやすい」を含めると、90%以上が「住みやすい」と回答している。
- ・一方、「やや住みにくい」を含めて、「住みにくい」という回答の割合は4%未満となっている。

■ 市民アンケートとの比較

- ・地域団体アンケートでは「住みやすい」(市民35.3%)、「まあ住みやすい」(市民44.8%)の回答割合が高く、「やや住みにくい」を含めた「住みにくい」の回答割合が低くなっている。

図表V-1 姫路市は住みやすいと思うか

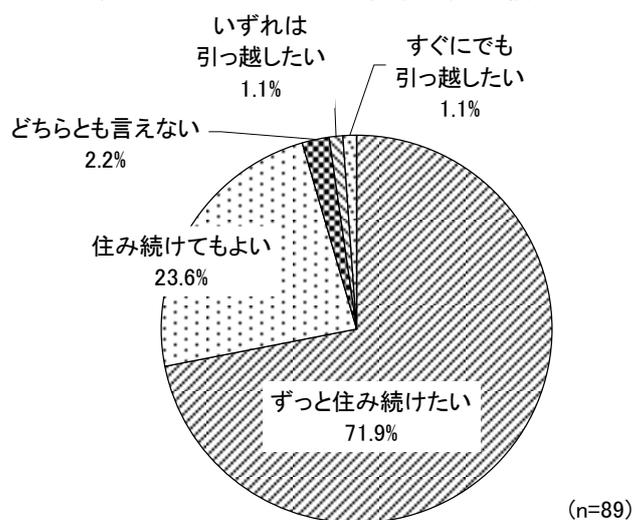


※2名が市外在住であったため、問1～4のサンプル数はn=89である。

(2) これからも姫路に住み続けたいですか（問 2）

- 全体傾向
 - ・ 「住み続けてもよい」を含めると、95%以上が「住み続けたい」と回答している。
 - ・ 一方、「いずれは引っ越したい」を含めて、「引っ越したい」という回答の割合は3%未満となっている。
- 市民アンケートとの比較
 - ・ 地域団体アンケートでは「ずっと住み続けたい」（市民 46.9%）の回答割合が高くなっている。

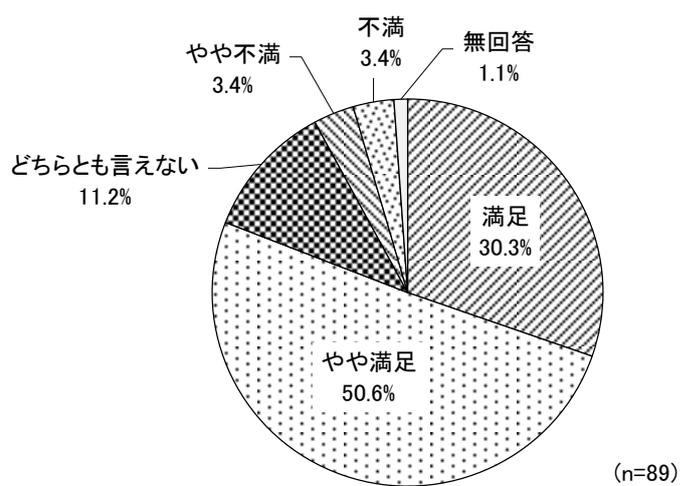
図表 V - 2 これからも姫路に住み続けたいか



(3) 総合的にみて今の姫路市における生活に満足していますか（問3）

- 全体傾向
 - ・ 「やや満足」を含めると、80%以上が「満足」と回答している。
 - ・ 一方、「やや不満」を含めて、「不満」という回答の割合は7%未満となっている。
- 市民アンケートとの比較
 - ・ 地域団体アンケートでは「やや満足」を含めた「満足」の回答割合が高く、「やや不満」（市民12.3%）の回答割合が低くなっている。

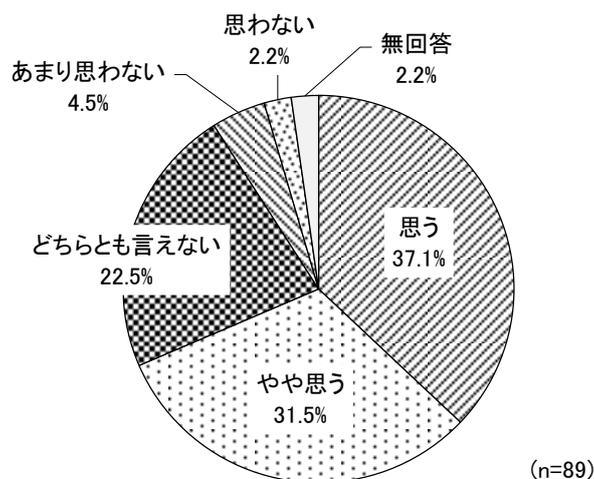
図表V－3 今の姫路市における生活に満足しているか



(4) 姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいと思いますか（問4）

- 全体傾向
 - ・ 「やや思う」を含めると、68.6%が「思う」と回答している。
 - ・ 一方、「あまり思わない」を含めて、「思わない」という回答の割合は7%未満となっている。
- 市民アンケートとの比較
 - ・ 地域団体アンケートでは「やや思う」を含めた「思う」の回答割合が高く、「あまり思わない」を含めた「思わない」の回答割合が低くなっている。

図表V－4 姫路市内での居住を勧めたいと思うか



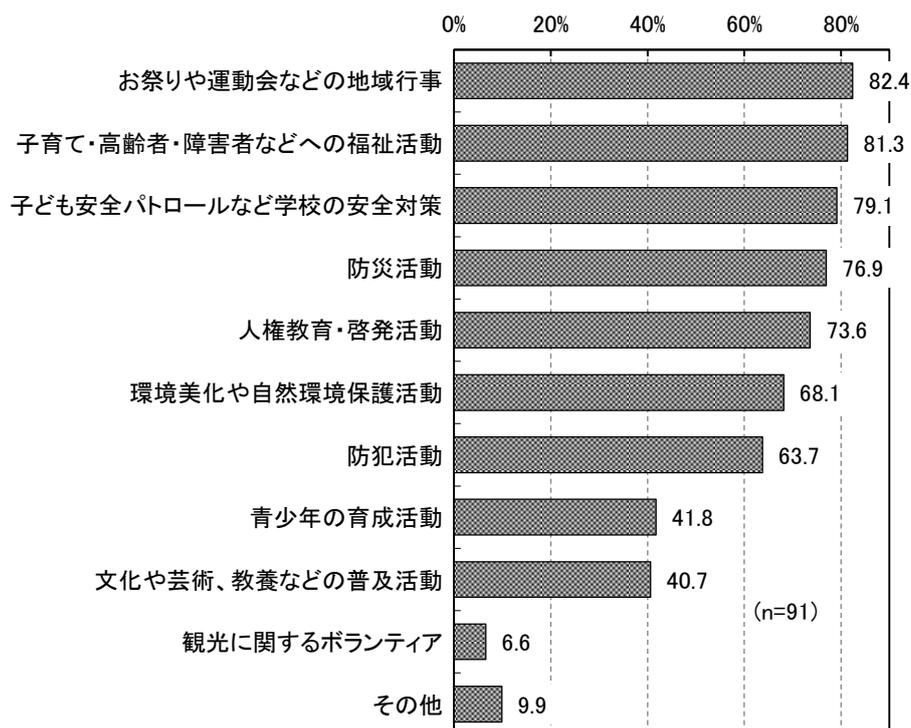
2. あなたが所属する団体の地域における活動等について

(1) あなたの団体の地域における活動はなんですか（問5）

■ 全体傾向

- ・「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合が82.4%でもっとも高く、次いで「子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動」が81.3%、「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」が79.1%となっている。

図表 V - 5 あなたの団体の地域における活動はなにか（複数回答）

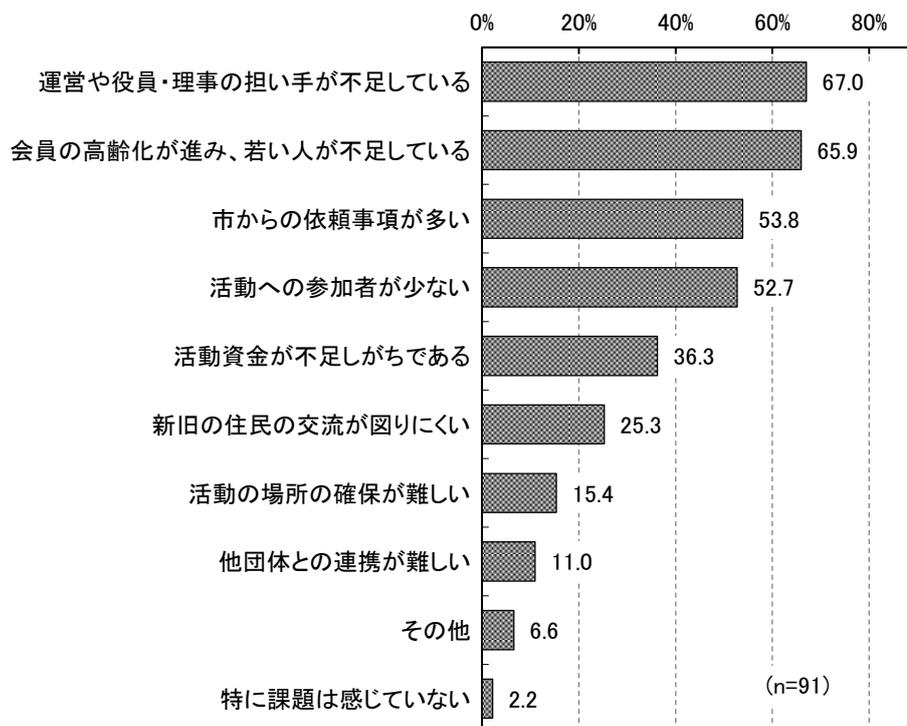


(2) あなたの団体が活動を行ううえで、現在感じている課題はなんですか（問 7-1）

■ 全体傾向

- ・「運営や役員・理事の担い手が不足している」の回答割合が 67.0%でもっとも高く、次いで「会員の高齢化が進み、若い人が不足している」が 65.9%、「市からの依頼事項が多い」が 53.8%となっている。

図表 V - 6 あなたの団体が活動を行ううえで、現在感じている課題（複数回答）

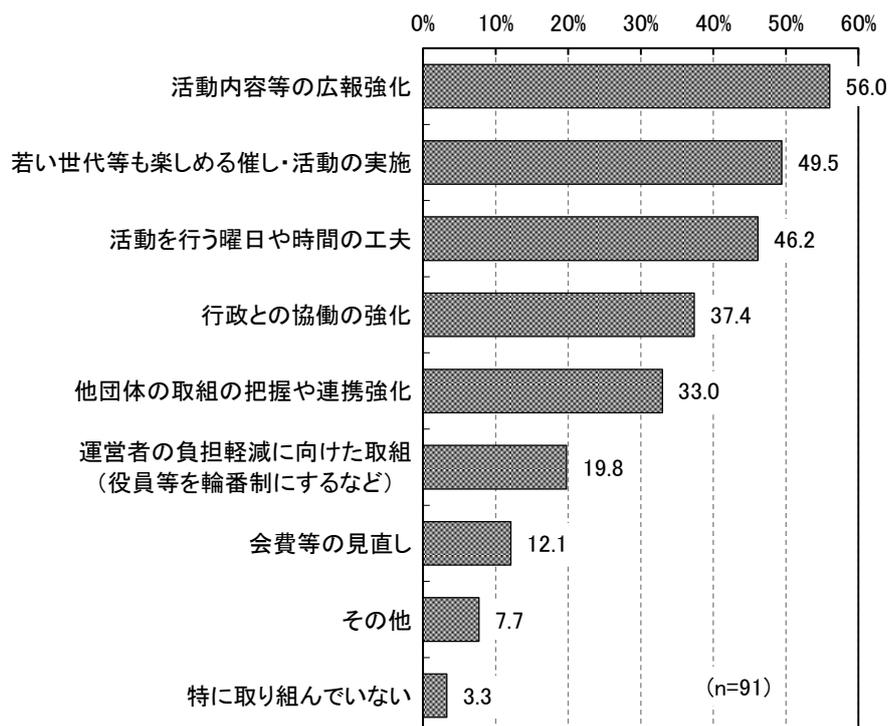


(3) 問 7-1 で回答した課題を解決するために、現在行っている取組はなんですか
(問 7-2)

■ 全体傾向

- ・「活動内容等の広報強化」の回答割合が 56.0%でもっとも高く、次いで「若い世代等も楽しめる催し・活動の実施」が 49.5%、「活動を行う曜日や時間の工夫」が 46.2%となっている。

図表 V - 7 課題を解決するために、現在行っている取組(複数回答)

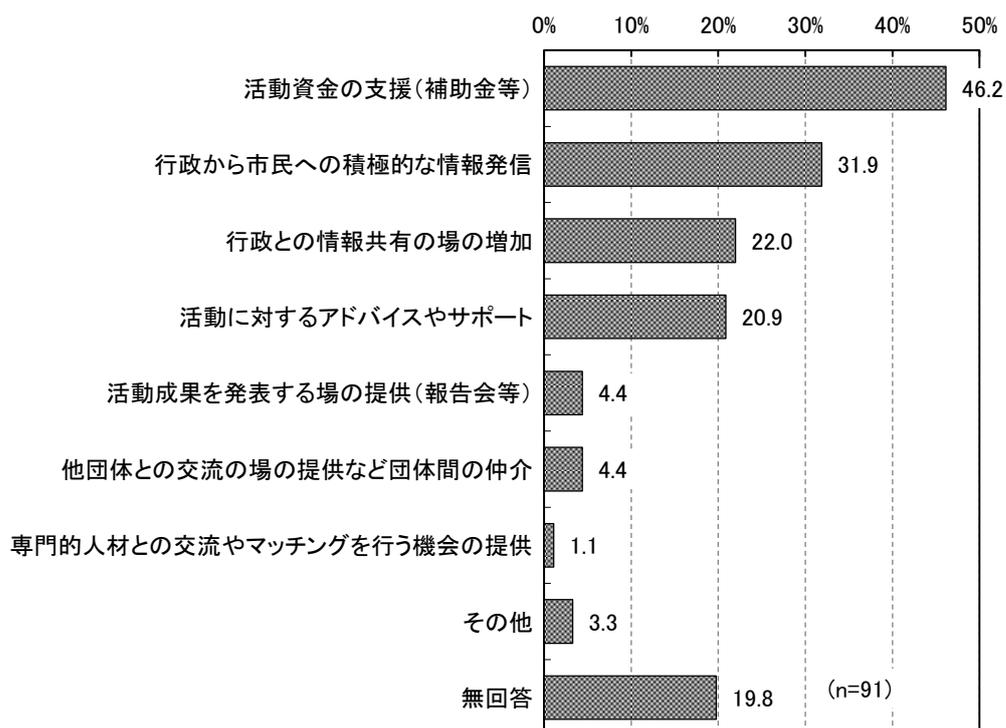


(4) あなたの団体の活動維持や課題解決のために、行政に求める支援はなんですか
(問 8)

■ 全体傾向

- ・「活動資金の支援（補助金等）」の回答割合が 46.2%でもっとも高く、次いで「行政から市民への積極的な情報発信」が 31.9%、「行政との情報共有の場の増加」が 22.0%となっている。

図表 V - 8 活動維持や問題解決のために、行政に求める支援（複数回答）



3. 人口減少の緩和と姫路市の活力を維持していくために必要な取組等について

(1) 姫路市が若者にとって魅力的なまちになるために、重要、もっとも重要だと思うことはなんですか
(問 9-1、問 9-2)

■ 全体傾向

- ・ 重要なこととしては、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が 79.1%でもっとも高く、次いで「充実した医療・福祉」が 70.3%、「若者のまちづくりへの参画」が 57.1%となっている。
- ・ もっとも重要なこととしては、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が 24.2%でもっとも高く、次いで「起業家支援、魅力ある雇用」、「若者のまちづくりへの参画」が 13.2%、「特色ある農林水産業や伝統的な地場産業」 9.9%となっている。

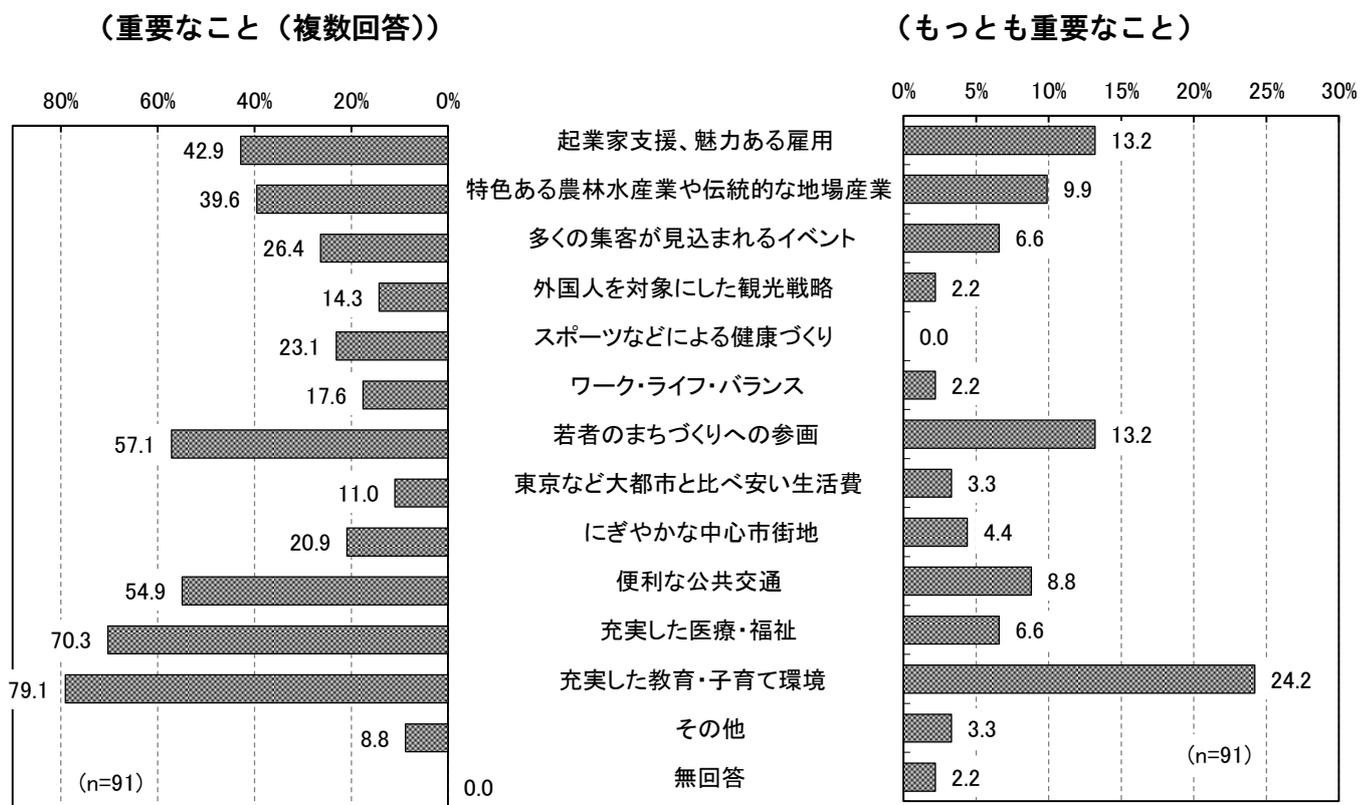
■ 市民アンケートとの比較

- ・ 重要なこととして、地域団体アンケートでは「充実した教育・子育て環境」(市民 56.2%)、「若者のまちづくりへの参画」(市民 24.2%)、「特色ある農林水産業や伝統的な地場産業」(市民 23.6%)の回答割合が高くなっている。一方で、「東京など大都市と比べ安い生活費」(市民 33.7%)の回答割合が低くなっている。
- ・ もっとも重要なこととして、地域団体アンケートでは「充実した教育・子育て環境」(市民 17.4%)、「若者のまちづくりへの参画」(3.8%)の回答割合が高くなっている。一方で、「充実した医療・福祉」(市民 15.4%)の回答割合が低くなっている。

■ 学識者アンケートとの比較

- ・ 重要なこととして、地域団体アンケートでは「充実した医療・福祉」(学識者 34.7%)および「若者のまちづくりへの参画」(学識者 32.4%)の回答割合が高くなっている。一方で、「起業家支援、魅力ある雇用」(学識者 54.4%)の回答割合が低くなっている。
- ・ もっとも重要なこととして、学識者アンケートと同様に「充実した教育・子育て環境」(学識者 24.5%)の回答割合が高くなっているが、地域団体アンケートでは「にぎやかな中心市街地」(学識者 9.2%)の回答割合が低く、「特色ある農林水産業や伝統的な地場産業」(学識者 5.6%)の回答割合が高くなっている。

図表 V - 9 若者にとって魅力的なまちになるために重要なこと



(2) 高齢者が地域でいきいきと活躍するために、重要、もっとも重要だと思うことはなんですか
(問 10-1、問 10-2)

■ 全体傾向

- ・ 重要なこととしては、「生涯現役のための健康づくり」の回答割合が 69.2%でもっとも高く、次いで「地域貢献、社会貢献ができる機会」が 67.0%、「安心して外出しやすいまち」が 64.8%となっている。
- ・ もっとも重要なこととしては、「安心して外出しやすいまち」、「生涯現役のための健康づくり」の回答割合が 23.1%でもっとも高く、次いで「地域貢献、社会貢献ができる機会」が 20.9%、「いつまでも働ける場所」が 15.4%となっている。

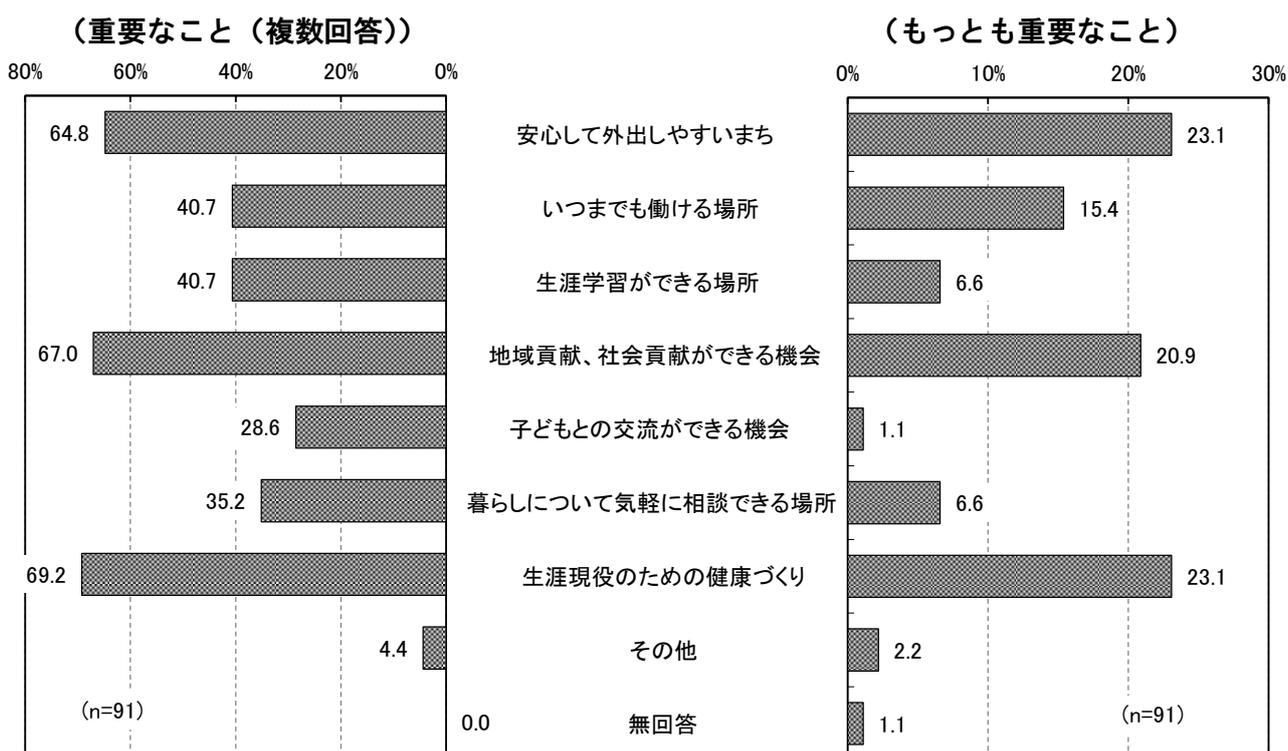
■ 市民アンケートとの比較

- ・ 重要なこと、もっとも重要なことともに、地域団体アンケートでは「地域貢献、社会貢献ができる機会」(市民：重要なこと 29.0%、もっとも重要なこと 9.4%)、「生涯現役のための健康づくり」(市民：重要なこと 48.0%、もっとも重要なこと 18.5%) の回答割合が高くなっている。一方で、「暮らしについて気軽に相談できる場所」(市民：重要なこと 40.7%、もっとも重要なこと 13.9%) の回答割合が低くなっている。

■ 学識者アンケートとの比較

- ・ 重要なことでは、学識者アンケートと同様の項目の回答が多いが、地域団体アンケートでは「いつまでも働ける場所」(学識者 47.1%) の回答割合が低くなっている。
- ・ もっとも重要なこととして、地域団体アンケートでは「生涯現役のための健康づくり」(学識者 12.4%) の回答割合が高く、「いつまでも働ける場所」(学識者 22.4%) の回答割合が低くなっている。

図表 V - 10 高齢者が地域で活躍するために重要なこと



(3) 安心して子育てしやすい環境にするために、重要、もっとも重要だと思うことはなんですか
(問 11-1、問 11-2)

■ 全体傾向

- 重要なこととしては、「学校環境・保育等の充実」の回答割合が 81.3%でもっとも高く、次いで「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」が 71.4%、「防犯など子どもの安全安心」、「医療機関が近くにあること」が 49.5%となっている。
- もっとも重要なこととしては、「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」の回答割合が 30.8%でもっとも高く、次いで「学校環境・保育等の充実」が 26.4%、「防犯など子どもの安全安心」が 15.4%となっている。

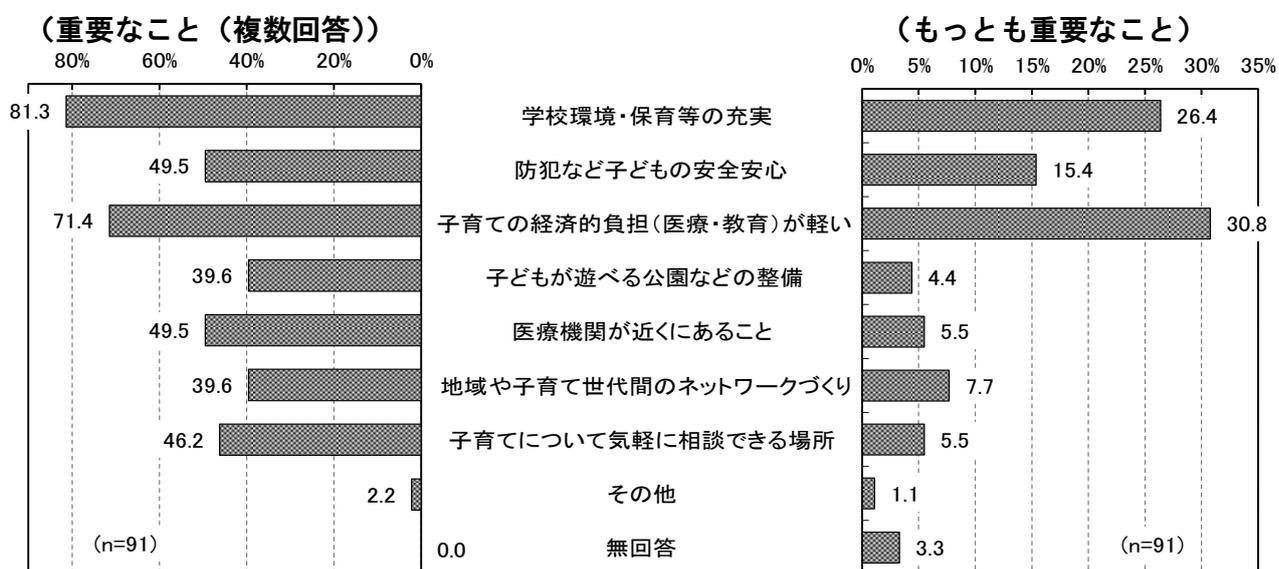
■ 市民アンケートとの比較

- 重要なこととして、地域団体アンケートでは「学校環境・保育等の充実」（市民 64.4%）、「地域や子育て世代間についてのネットワークづくり」（市民 22.6%）、「子育てについて気軽に相談できる場所」（市民 34.7%）の回答割合が高くなっている。一方で、「防犯など子どもの安全安心」（市民 57.8%）の回答割合が低くなっている。
- もっとも重要なこととして、市民アンケートの回答傾向と似ているが、地域団体アンケートでは「地域や子育て世代間についてのネットワークづくり」（市民 3.7%）の回答割合が高くなっている。一方で、「防犯など子どもの安全安心」（市民 17.8%）の回答割合がやや低くなっている。

■ 学識者アンケートとの比較

- 重要なこととして、地域団体アンケートでは「防犯など子どもの安全安心」（学識者 40.9%）、「医療機関が近くにあること」（学識者 39.8%）や「子育てについて気軽に相談できる場所」（学識者 26.3%）の回答割合が高くなっている。
- もっとも重要なこととして、地域団体アンケートでは「防犯など子どもの安全安心」（学識者 8.5%）の回答割合が高く、「地域や子育て世代間のネットワークづくり」（学識者 12.2%）の回答割合が低くなっている。

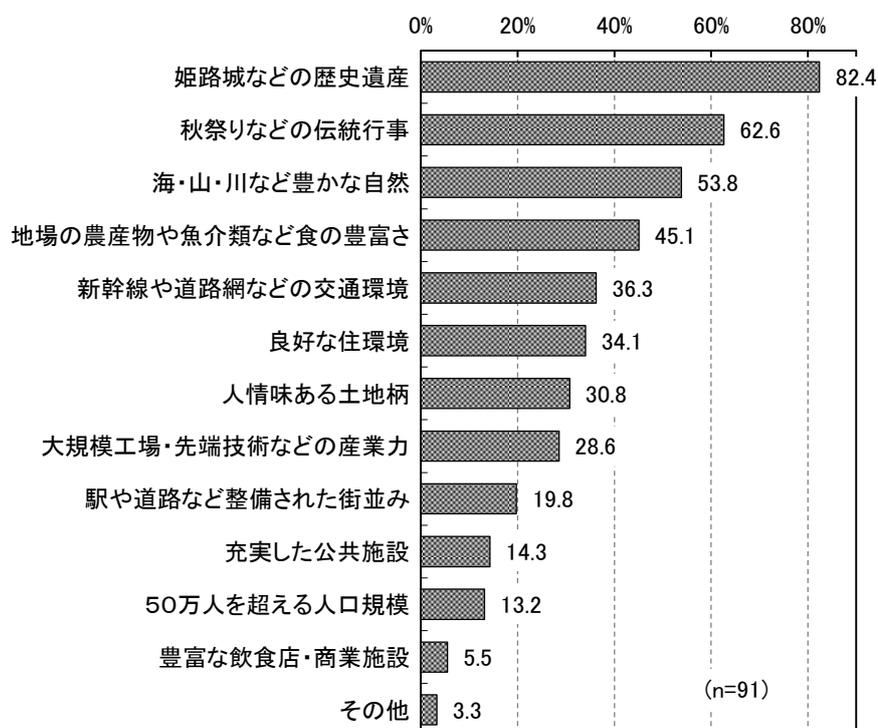
図表V－11 子育てしやすい環境にするために重要なこと



(4) アピールすべき姫路の魅力はなんですか（問 12）

- 全体傾向
 - ・「姫路城などの歴史遺産」の回答割合が82.4%でもっとも高く、次いで「秋祭りなどの伝統行事」が62.6%、「海・山・川など豊かな自然」が53.8%となっている。
- 市民アンケートとの比較
 - ・上位3項目は同じであるが、「秋祭りなどの伝統行事」（市民41.6%）、「海・山・川など豊かな自然」（市民29.7%）、「地場の農産物や魚介類など食の豊富さ」（市民24.5%）の回答割合が高くなっている。
- 学識者アンケートとの比較
 - ・地域団体アンケートでは「秋祭りなどの伝統行事」（学識者44.0%）、「海・山・川など豊かな自然」（学識者42.5%）、「人情味ある土地柄」（学識者15.1%）の回答割合が高くなっている。

図表 V - 12 アピールすべき姫路の魅力（複数回答）



4. 行政サービスの水準と市民負担について

(1) 今後、人口減少が続くと、市役所が提供する行政サービス（公共施設の運営やごみ処理、上下水道など）の水準を維持することが困難になることも予想されます。行政サービス水準、市民負担（税や使用料など）についてあなたの考えに近いものはどれですか（問 13）

■ 全体傾向

- ・「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにすべきである」の回答割合が 65.9%でもっとも高く、次いで「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」が 23.1%となっている。

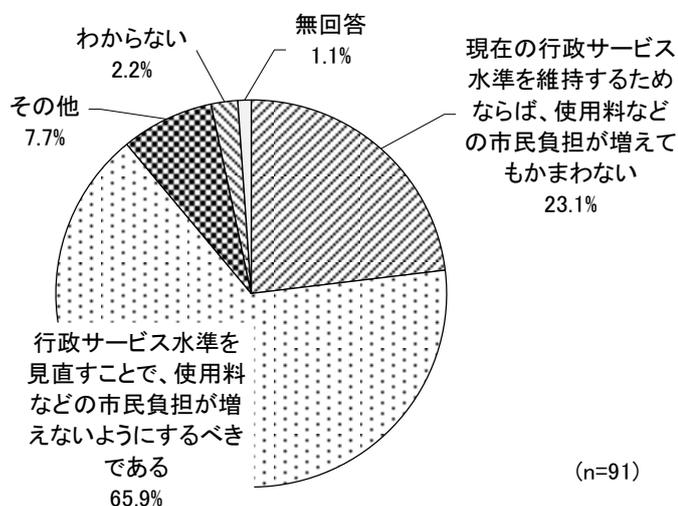
■ 市民アンケートとの比較

- ・地域団体アンケートでは「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」（市民 12.9%）の回答割合が高く、「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにすべきである」（市民 67.6%）の回答割合は大きな違いはない。

■ 学識者アンケートとの比較

- ・地域団体アンケートでは「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにすべきである」（学識者 35.5%）の回答割合が高くなっている。

図表 V - 13 行政サービス水準、市民負担について



5. 自由記述

(1) あなたの団体において、現在取り組めていないが、今後取り組んでいきたい活動がありましたら、具体的にご記入ください（問6）

【地域活動の活性】

- ・ 地域の行事に参加する人が少なくなっている
- ・ 地域のつながりを大切にしたいと思います
- ・ 行事に参加する人が少なくなり、次世代のリーダーがいない
- ・ 地区のますますの一体化のため、総社の伝統的祭に、より多くの人の参加ができる工夫をしたい
- ・ 校区全体での夏まつり
- ・ 私達より若い方達の団体への参加状況や、関心が弱いように思います
- ・ 校区団体の全体会議を年度初に行い、協力体制の構築
- ・ まちづくり指定されたが、活動がほとんどできていない。平成30年後期以降、重点的に活動を進め、自治会を活発にしてゆく
- ・ 校区学区単位で祭り以外でもっとコミュニケーションが取れる行事があれば。あるにはあるのですが、各種団体の役員だけが参加しているように思えます
- ・ 婦人会の見直し、老人クラブの見直し、社会福祉の見直し
- ・ 地域の全年齢層が参加できる行事（盆おどり、運動会）
- ・ 子供・学生（小学生）・高齢者の料理教室では食の大切さ等を一緒に学んでいますが、高校・大学生、若い世代の料理教室、社会人などの幅広い年齢の方にも一緒に出来る機会を持ちたい

【地域住民の交流・地域活性化】

- ・ 地域の繋がりが弱くなってきている。人と人のコミュニティ関係をつくり上げていく取組を目指したい
- ・ 地域住民の気軽な交流活動（町別に）
- ・ 姫路の中山間地域の活性化
- ・ 北部の中山間地域は、少子高齢化が進み、人口が減少している中、豊かな自然を生かした賑わいのある自然活用型、野外集客施設ができれば雇用も発生し過疎地も活性化すると思っております
- ・ 連合自治会長になって初めてわかったことは、姫路市等行政から送られてくる文書等が多く、手元にそれを置いています、公民館の近くに部屋を設けてもらい、そこをコミュニティ作りの中心にしていきたい
- ・ 地域の皆さんとの交流

【防災】

- ・ 異常気象が多発している。豪雨時の浸水対策
- ・ 本格的な防災訓練。町単位では数ヶ所実施しているが、全体的なものは無し
- ・ 単位自治会の公民館の耐震化等防災力の向上
- ・ 安全・安心なまちづくりに向けて、防犯・防災についての活動

【福祉】

- ・ 身体障害者や老人対策等、生活弱者が住みやすいコミュニティの充実した地域づくりを進めていきたい

- ・ 高齢者の足の確保（コミュニティバス等）
- ・ 高齢者・障害者にとって外出しやすい、バリアフリー・地域道路。姫路中心部は改造されているが、中心外にも
- ・ 生活支援検討会議を設定する→プロジェクトグループを編成
- ・ 障害者の社会参加の充実（社会的障壁の除去 etc）
- ・ 精神障害当事者や家族からの相談
- ・ 老人福祉、特に孤独死の防止、認知症対策
- ・ 高齢者。健康維持に向けての活動
- ・ 少子高齢化対策の総合的な対策
- ・ 老人クラブの育成

【教育・若者支援】

- ・ 若い人の居住を勧めたい
- ・ 人材育成、並びに教育力・教養の高揚
- ・ 校区内子供達の活動支援。子供会の育成
- ・ 青少年の活動支援。青年団（18～25 才）活動を支援。校区内の青少年が将来的に郷土を愛し活性化させる希望から
- ・ 小学校区の見直しについて。少子化が急速に進み全学年 1 クラス化、一方マンモス校化、これの平準化に取り組みたい
- ・ 若者が活動しやすく、住みたい町として注目されるような活動
- ・ 全ての子どもに平等に教育が受けられる環境改善。保護者のための啓発活動（SNS、防犯等）
- ・ 子ども会の育成

【空き家対策】

- ・ 空き家・空き地の改善※地元に住んでもらうことの対策のひとつ
- ・ 空き家・空き地の有効活用（市の支援のもとで）

【産業・雇用】

- ・ 農業従事者の後継者づくり
- ・ 地域経済に寄与する活動。地元企業への就職活動支援

【文化】

- ・ 文化音楽活動。音楽が原因でトラブルになった事は全世界を見てもない
- ・ 文化、歴史等旧家、旧跡などの PR、掲示板
- ・ 文化活動の推進（文化祭・音楽会などの開催）
- ・ 歴史遺産の発掘、資料化、紹介施設の整備、広報

【その他】

- ・ 新たに入居された外国人のサポート
- ・ 京見山（裏山）の整備。神社の修理
- ・ 姫路には観光スポットとして①姫路城②名古山霊苑③書写山があるが、これに加えて峰相地区には「白鳥城」がある。更に林田地区には「ゆたりん」、「三木家」（旧家）等がある。観光スポットとして「白鳥城」、「ゆたりん」、「旧家・三木家」の一連観光ルートを設立出来ればと考えている
- ・ 連合自治会の法人化（取り組みはじめ）

(2) 今後、姫路市が目指すべき将来像やまちづくりのあり方などについて、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

■ 全体傾向

- ・ KH Coder を用いて頻出語を調べたところ、自由記述において、もっとも多く使用されたのは「地域」であり、「高齢」や「整備」といった語もみられ、高齢者分野に関する意見が多く、高齢者の生活の充実に関する意見がみられた。
- ・ また、「中心」、「整備」、「周辺」といった語が結び付いており、市中心や姫路駅周辺の整備が進んだことに関連する意見がみられた。

図表 V - 14 自由記述における頻出語上位 150 語

順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数
1	地域	32	40	図る	4	92	花火	2
2	必要	15	40	推進	4	92	過疎	2
2	姫路	15	40	都市	4	92	解決	2
4	行政	13	40	努力	4	92	海	2
4	高齢	13	40	姫路城	4	92	皆さん	2
6	整備	12	56	サービス	3	92	管理	2
7	中心	11	56	街	3	92	観点	2
8	環境	10	56	確保	3	92	含める	2
8	周辺	10	56	学校	3	92	希望	2
8	充実	10	56	健康	3	92	規模	2
8	人口	10	56	検討	3	92	救急	2
12	施策	9	56	減少	3	92	経済	2
12	自然	9	56	交通	3	92	継続	2
12	人	9	56	交流	3	92	建設	2
15	安心	8	56	合併	3	92	県外	2
15	子ども	8	56	災害	3	92	見る	2
15	市	8	56	作る	3	92	現状	2
15	市民	8	56	山	3	92	交通網	2
15	社会	8	56	産業	3	92	効果	2
15	生活	8	56	子育て	3	92	向ける	2
21	開発	7	56	指導	3	92	工夫	2
21	教育	7	56	持つ	3	92	広い	2
21	施設	7	56	少子	3	92	困る	2
21	若者	7	56	進める	3	92	困難	2
25	出来る	6	56	人材	3	92	最低	2
25	対策	6	56	跡地	3	92	祭り	2
25	大切	6	56	多い	3	92	山間	2
25	道路	6	56	対応	3	92	市街	2
25	福祉	6	56	大事	3	92	市町村	2
25	利用	6	56	地元	3	92	思える	2
31	育成	5	56	提供	3	92	実施	2
31	活性	5	56	働く	3	92	車	2
31	観光	5	56	姫路	3	92	車いす	2
31	住む	5	56	保全	3	92	取組	2
31	進む	5	56	豊か	3	92	手段	2
31	地区	5	56	北部	3	92	宿泊	2
31	町	5	56	有効	3	92	小学校	2
31	文化	5	56	誘致	3	92	少ない	2
31	良い	5	56	来る	3	92	上下水道	2
40	安全	4	56	理解	3	92	情報	2
40	活用	4	56	例	3	92	振興	2
40	企業	4	92	お願い	2	92	人間	2
40	空き家	4	92	インフラ	2	92	世代	2
40	公園	4	92	クラブ	2	92	政策	2
40	向上	4	92	スピード	2	92	切る	2
40	支援	4	92	センター	2	92	設置	2
40	若い	4	92	マネジメント	2	92	増える	2
40	住民	4	92	案件	2	92	増やす	2
40	場	4	92	依頼	2	92	増加	2
40	場所	4	92	意味	2	92	大変	2

I. 本調査の目的と実施概要

1. 本調査の目的

姫路市まちづくりのための職員アンケート調査は、新たな総合計画の策定にあたり、直接市政運営に携わる本市職員を対象に、総合計画や本市の課題および今後のまちづくりのあり方について意見を伺うために実施した。

2. 調査実施概要

(1) 調査対象者

全職員（特別職、非常勤嘱託職員、臨時的任用職員を除く）3,960名

(2) 調査票配布・回収方法

インターネットによる入力（一部の所属においては調査票（紙）による配布・回収）

(3) 調査期間

平成30年10月25日（木）～11月20日（火）

(4) 調査内容

1. 回答者の属性（居住地、性別、年齢、所属、職種、身分）
2. 姫路市の施策に対する充実度・重要性について
3. 地方が直面する課題等について
4. 新市の一体性の進捗について
5. 行政サービスの水準と市民負担について
6. ふさわしい都市像やキャッチフレーズについて
7. 地域ブロックについて
8. 総合計画（ふるさと・ひめじプラン2020）について
9. 次期総合計画策定について
10. 次期総合計画の策定や進捗管理に関する自由意見

(5) 回収率

	今回	前回（H18.10）
発送数	3,960票	3,857票
回収数	3,593票	3,473票
有効回収数	3,593票	3,469票
有効回収率	90.7%	89.9%

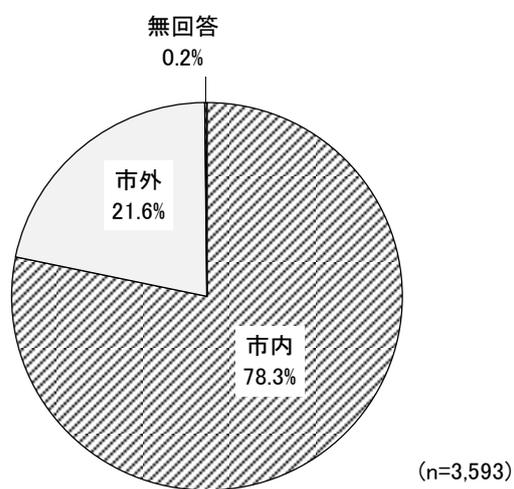
(6) 集計結果の記載について

本調査において算出した割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

II. 回答者の属性

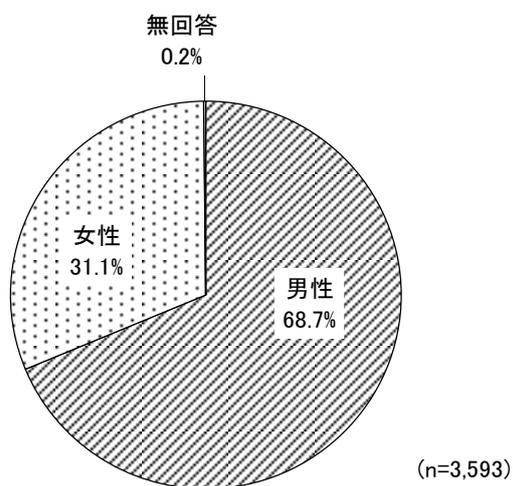
1. 居住地域(F1)

図表Ⅱ－1 居住地域



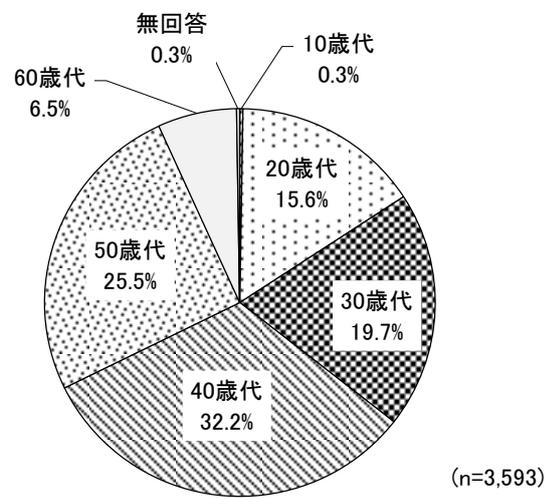
2. 性別(F2)

図表Ⅱ－2 性別



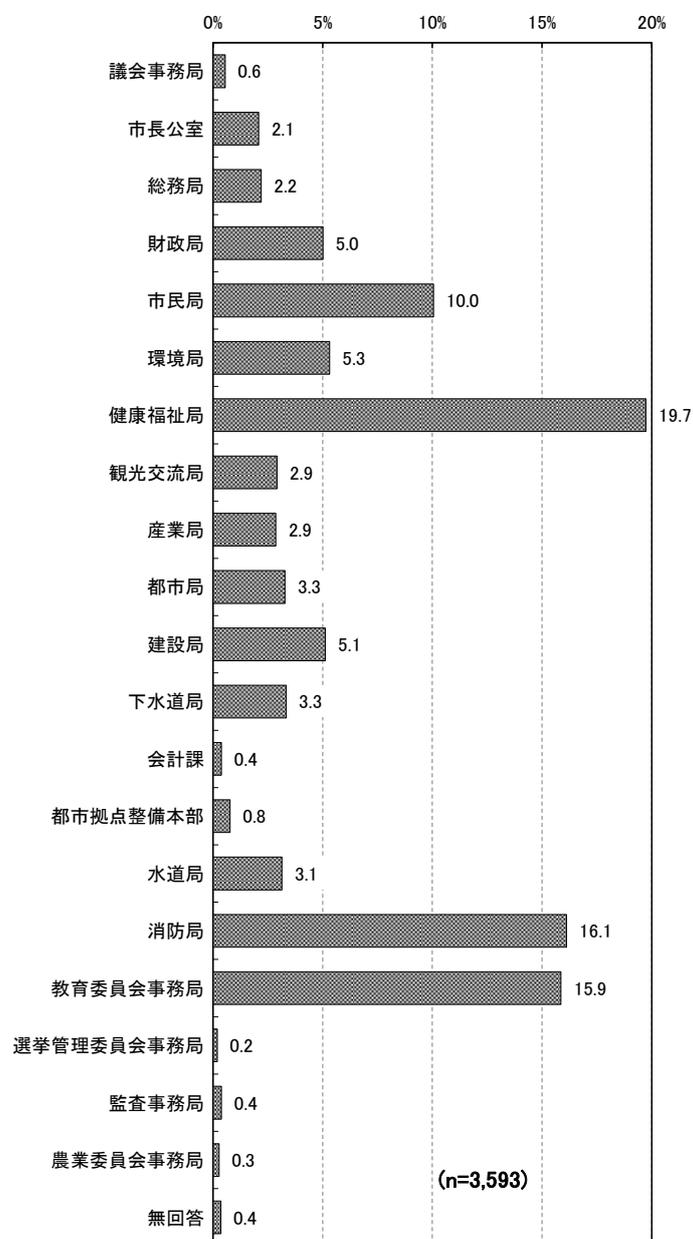
3. 年齢(F3)

図表Ⅱ－3 年齢



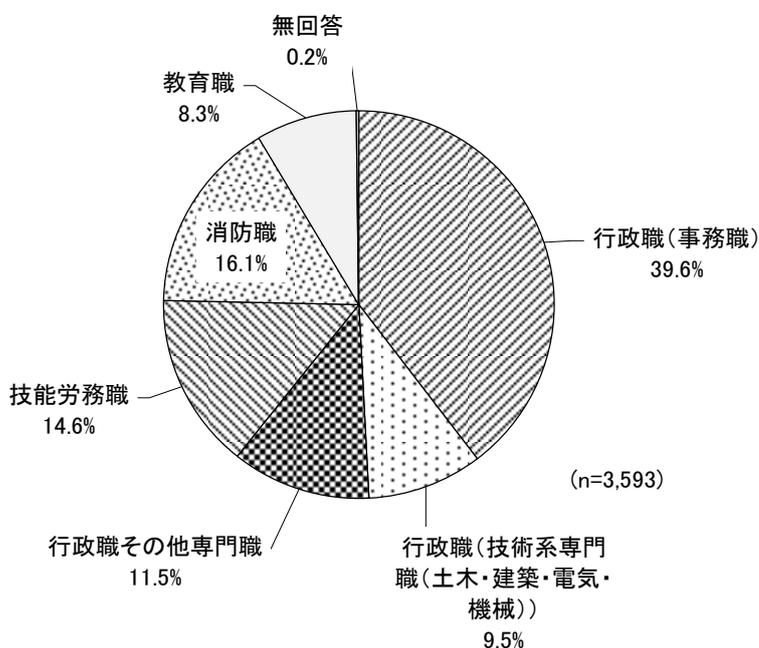
4. 所属(F4)

図表Ⅱ－4 所属



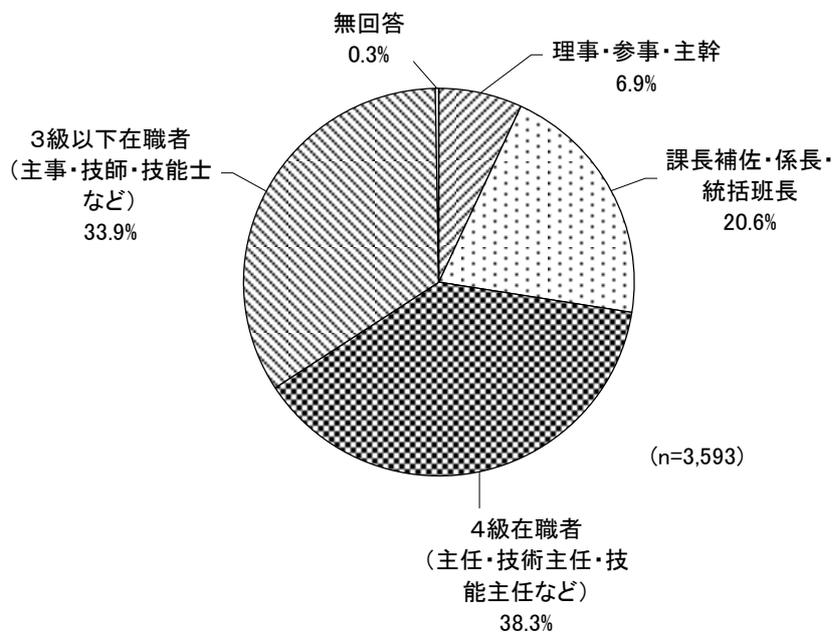
5. 職種 (F5)

図表Ⅱ－5 職種



6. 身分 (F6)

図表Ⅱ－6 身分



III. 調査結果

1. 姫路市の施策について

(1) 施策の充実度と、今後の重要性をお答えください (問 1)

① 施策の充実度

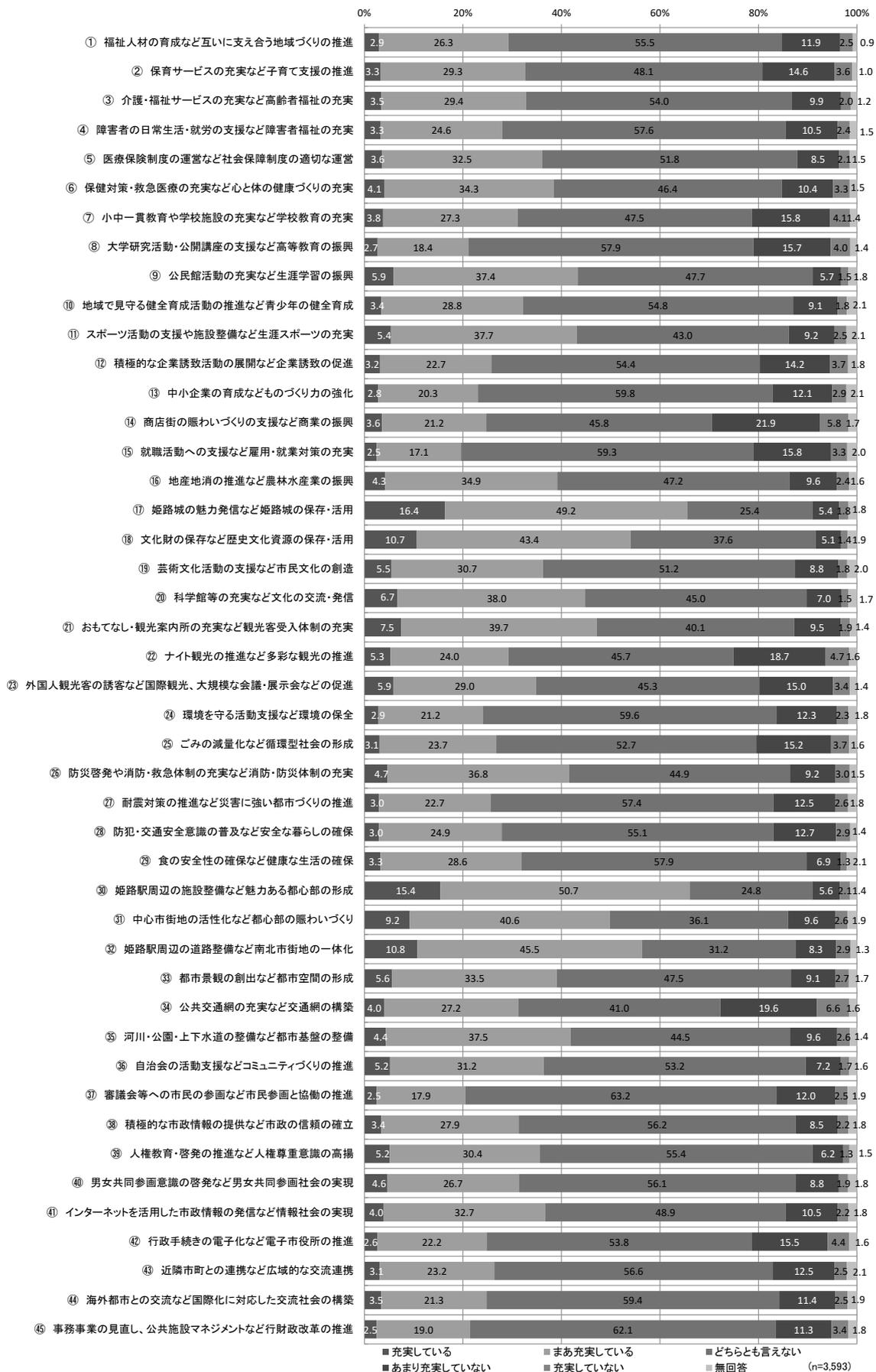
■ 全体傾向

- ・ 「充実している」、「まあ充実している」の回答割合が高い施策は順に、「③⑩姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成」(66.1%)、「①⑦姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用」(65.6%)、「③②姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化」(56.3%)となっている。
- ・ 充実度の平均得点が高い施策は順に、「①⑦姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用」(3.74点)、「③⑩姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成」(3.73点)、「①⑧文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用」(3.58点)となっている。
- ・ 一方、「充実していない」、「あまり充実していない」の回答割合が高い施策は順に、「①④商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興」(27.7%)、「③④公共交通網の充実など交通網の構築」(26.2%)、「②②ナイト観光の推進など多彩な観光の推進」(23.4%)となっている。
- ・ 充実度の平均得点が高い施策は順に、「①④商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興」(2.95点)、「①⑤就職活動への支援など雇用・就業対策の充実」(3.00点)、「①⑧大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興」(3.00点)となっている。

■ 市民アンケートとの比較

- ・ 市民アンケートでは「③②姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化」の「満足」、「やや満足」の回答割合が36.1%であったが、職員アンケートでは「充実している」、「まあ充実している」の回答割合が56.3%と高くなっている。平均得点の上位3施策は市民アンケートの満足度と同じである。
- ・ 「充実していない」、「あまり充実していない」の回答割合が高い上位3施策は市民アンケートと同様であるが、平均得点が3番目に低くなっている施策として、市民アンケートでは「①②積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進」(2.86点)であり、職員アンケートでは「①⑤就職活動への支援など雇用・就業対策の充実」(3.00点)、「①⑧大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興」(3.00点)となっている。

図表Ⅲ－１ 項目別にみた施策の充実度(回答割合)



図表Ⅲ－２ 施策の充実度(平均得点)(市民アンケート「現状の満足度」との比較)

設問項目	職員 充実度	市民 満足度
① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	3.15	3.02
② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	3.14	3.03
③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	3.23	3.03
④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	3.16	2.96
⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	3.27	3.06
⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	3.26	3.14
⑦ 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	3.11	3.03
⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	3.00	2.99
⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.41	3.20
⑩ 地域で見守る健全育成活動の推進など青少年の健全育成	3.23	3.09
⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など生涯スポーツの充実	3.35	3.10
⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	3.08	2.86
⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	3.08	2.90
⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.95	2.72
⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	3.00	2.78
⑯ 地産地消の推進など農林水産業の振興	3.29	3.01
⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.74	3.69
⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.58	3.53
⑲ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.30	3.17
⑳ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.42	3.24
㉑ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.42	3.19
㉒ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.06	3.00
㉓ 外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進	3.19	3.08
㉔ 環境を守る活動支援など環境の保全	3.10	3.03
㉕ ごみの減量化など循環型社会の形成	3.07	3.11
㉖ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.32	3.23
㉗ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	3.11	3.01
㉘ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	3.13	3.07
㉙ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.26	3.27
㉚ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.73	3.37
㉛ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	3.45	3.15
㉜ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.54	3.24
㉝ 都市景観の創出など都市空間の形成	3.31	3.15
㉞ 公共交通網の充実など交通網の構築	3.02	2.93
㉟ 河川・公園・上下水道の整備など都市基盤の整備	3.32	3.09
㊱ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.32	3.12
㊲ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.06	3.00
㊳ 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	3.22	3.04
㊴ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.33	3.08
㊵ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.24	3.05
㊶ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.26	3.04
㊷ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.03	3.04
㊸ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.12	3.04
㊹ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.12	3.04
㊺ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	3.06	2.95

② 今後の重要性

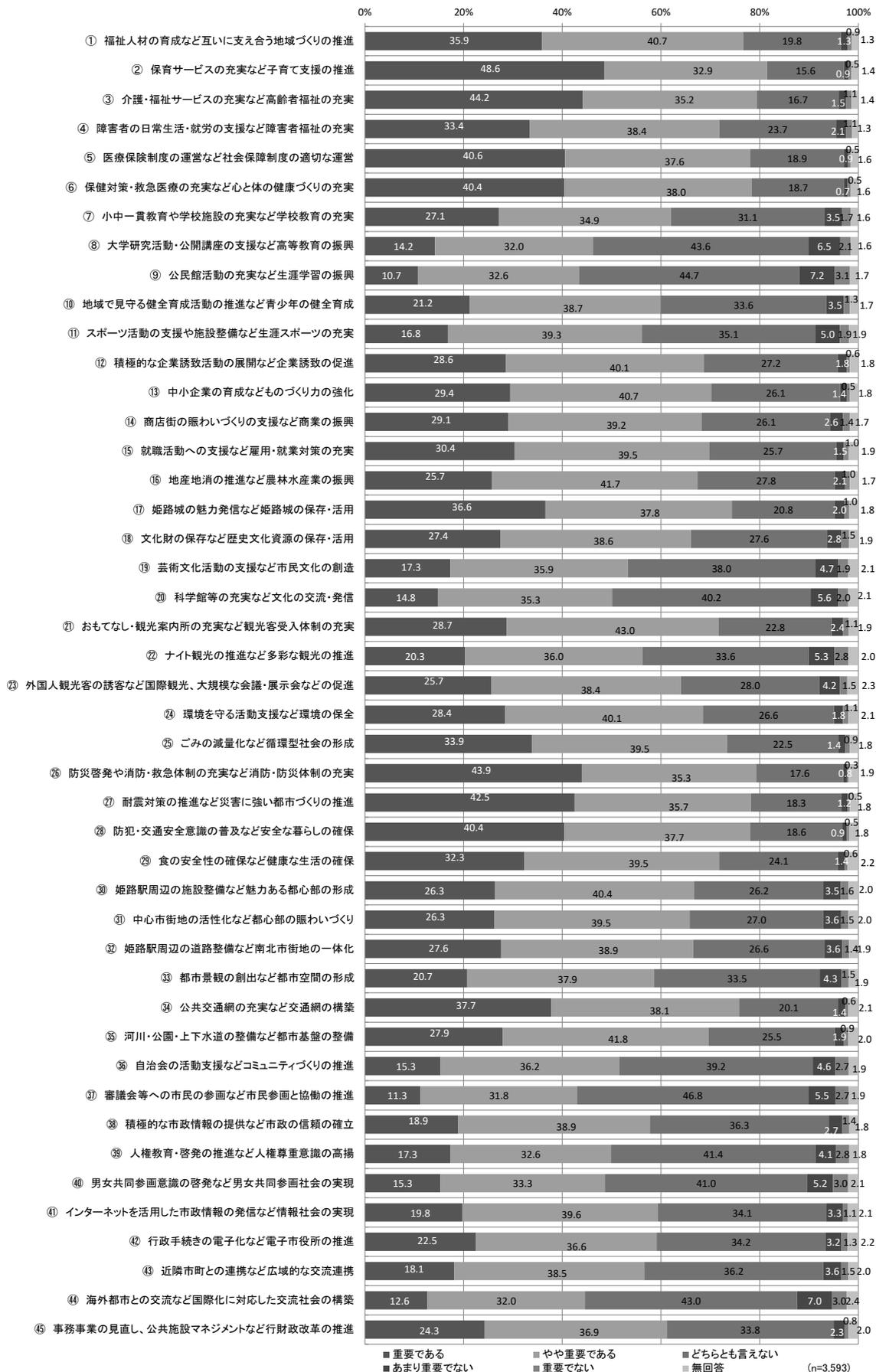
■ 全体傾向

- ・ 「重要である」、「やや重要である」の回答割合が高い施策は順に、「②保育サービスの充実など子育て支援の推進」(81.5%)、「③介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実」(79.4%)、「⑯防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実」(79.2%)となっている。
- ・ 重要性の平均得点が高い施策は順に、「②保育サービスの充実など子育て支援の推進」(4.30点)、「⑯防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実」(4.24点)、「③介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実」(4.22点)となっている。
- ・ 一方、「重要でない」、「あまり重要でない」の回答割合が高い施策は順に、「⑨公民館活動の充実など生涯学習の振興」(10.3%)、「⑭海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築」(10.0%)、「⑧大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興」(8.6%)となっている。
- ・ 重要性の平均得点が低い施策は順に、「⑨公民館活動の充実など生涯学習の振興」(3.42点)、「⑰審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進」(3.44点)、「⑭海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築」(3.45点)となっている。

■ 市民アンケートとの比較

- ・ 市民アンケートでは「③介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実」の「重要である」、「やや重要である」の回答割合が80.3%ともっとも高かったが、職員アンケートでは「②保育サービスの充実など子育て支援の推進」がもっとも高く、平均得点においてももっとも高くなっている。
- ・ 市民アンケートでは「⑳ナイト観光の推進など多彩な観光の推進」において「重要でない」、「あまり重要でない」の回答割合が9.2%ともっとも高かったが、職員アンケートでは「⑳ナイト観光の推進など多彩な観光の推進」は上位3施策には含まれず、「⑧大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興」が含まれている。また、市民アンケートでは平均得点が3番目に低い施策が「㉑男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現」(3.48点)であったが、職員アンケートでは下位3施策には含まれず、代わりに「⑨公民館活動の充実など生涯学習の振興」が含まれている。

図表Ⅲ－３ 項目別にみた今後の重要性(回答割合)



図表Ⅲ－４ 施策の重要性(平均得点)(市民アンケート「今後の重要性」との比較)

設問項目	職員 重要性	市民 重要性
① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.11	4.29
② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.30	4.31
③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.22	4.44
④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	4.02	4.14
⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.19	4.37
⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.19	4.31
⑦ 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	3.83	3.95
⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	3.50	3.65
⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.42	3.58
⑩ 地域で見守る健全育成活動の推進など青少年の健全育成	3.76	3.87
⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など生涯スポーツの充実	3.65	3.70
⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	3.96	3.88
⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	3.99	3.99
⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	3.94	3.99
⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	3.99	4.15
⑯ 地産地消の推進など農林水産業の振興	3.91	3.95
⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	4.09	4.22
⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.89	4.06
⑲ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.63	3.65
⑳ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.56	3.64
㉑ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.98	3.96
㉒ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.67	3.58
㉓ 外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進	3.84	3.73
㉔ 環境を守る活動支援など環境の保全	3.95	4.10
㉕ ごみの減量化など循環型社会の形成	4.06	4.18
㉖ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.24	4.28
㉗ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.21	4.37
㉘ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.19	4.38
㉙ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.04	4.22
㉚ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.88	4.02
㉛ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	3.87	3.91
㉜ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.89	3.93
㉝ 都市景観の創出など都市空間の形成	3.73	3.70
㉞ 公共交通網の充実など交通網の構築	4.13	4.18
㉟ 河川・公園・上下水道の整備など都市基盤の整備	3.96	4.12
㊱ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.58	3.55
㊲ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.44	3.38
㊳ 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	3.72	3.68
㊴ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.59	3.52
㊵ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.54	3.48
㊶ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.75	3.55
㊷ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.78	3.63
㊸ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.70	3.58
㊹ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.45	3.42
㊺ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	3.83	3.65

③ 施策の充実度と、今後の重要性の4象限マトリックス分析

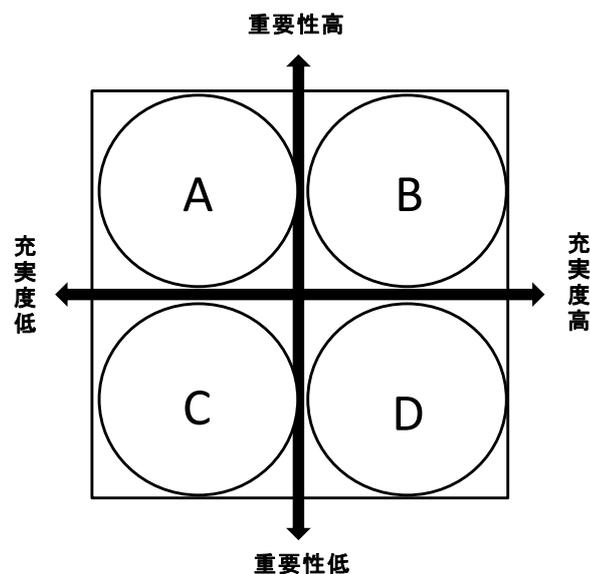
ア. 分析方法

充実度と重要性の4象限マトリックス分析の結果、各施策は下図のように4つの象限に分けられることとなる。

「充実度は低く重要性が高い施策（A）」は今後重点的に実施し、「充実度も重要性も高い施策（B）」は継続実施することが求められる。また、「充実度も重要性も低い施策（C）」は事業手法や事業規模等の大幅な見直し、「充実度は高く重要性は低い施策（D）」は当初の目的はほぼ達成されたものとして、事業展開のあり方等の検討が求められる。

なお、これらの結果はあくまでアンケートから得られたものであり、実際の施策の実施環境は社会経済状況の変化などで他の多様な要因を念頭において検討することが必要となる。ここでは、市政運営に直接関わる職員の目からみた評価であり、今後の施策展開の参考とするものである。

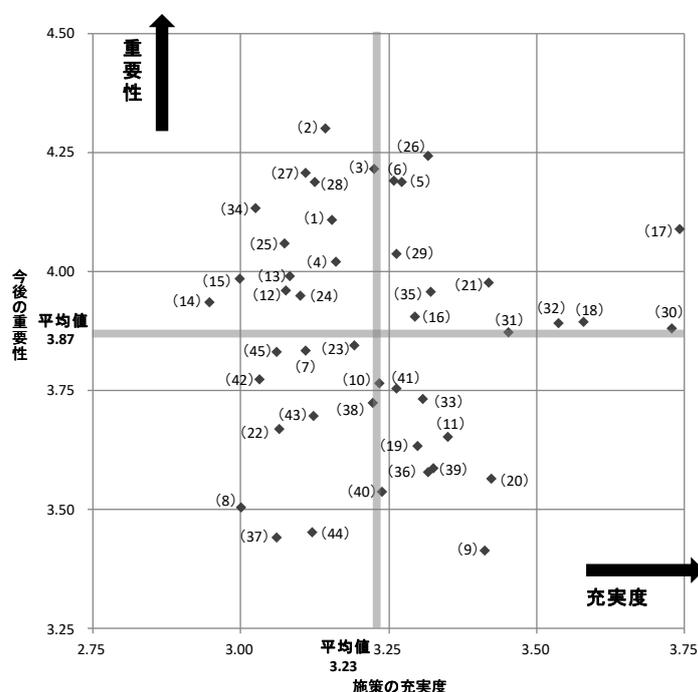
図表Ⅲ－5 施策の充実度と、今後の重要性の4象限マトリックス



イ. 分析結果

分析結果は下図のとおりであり、充実度が低く、重要性が高いことから今後重点的に実施すべきものであると考えられるのは、「②保育サービスの充実など子育て支援の推進」、「⑫積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進」、「⑬中小企業の育成などものづくり力の強化」、「⑭商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興」、「⑮就職活動への支援など雇用・就業対策の充実」、「⑳ごみの減量化など循環型社会の形成」、「㉗耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進」、「㉔公共交通網の充実など交通網の構築」などであり、産業や福祉、防災分野の施策など概ね市民アンケートと同様の結果であるが、環境分野については、市民アンケートよりも職員アンケートにおいて、今後重点的に実施すべきものと位置づけられている。

図表Ⅲ－ 6 施策の充実度と、今後の重要性の4象限マトリックス分析の結果



施策の主な内容	象限	施策の主な内容	象限
① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	A	㉔ 環境を守る活動支援など環境の保全	A
② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	A	㉕ ごみの減量化など循環型社会の形成	A
③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	A	㉖ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	B
④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	A	㉗ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	A
⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	B	㉘ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	A
⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	B	㉙ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	B
⑦ 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	C	㉚ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	B
⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	C	㉛ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	B
⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	D	㉜ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	B
⑩ 地域で見守る健全育成活動の推進など青少年の健全育成	D	㉝ 都市景観の創出など都市空間の形成	D
⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など生涯スポーツの充実	D	㉞ 公共交通網の充実など交通網の構築	A
⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	A	㉟ 河川・公園・上下水道の整備など都市基盤の整備	B
⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	A	㊱ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	D
⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	A	㊲ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	C
⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	A	㊳ 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	C
⑯ 地産地消の推進など農林水産業の振興	B	㊴ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	D
⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	B	㊵ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	D
⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	B	㊶ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	D
⑲ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	D	㊷ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	C
⑳ 科学館等の充実など文化の交流・発信	D	㊸ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	C
㉑ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	B	㊹ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	C
㉒ ナイト観光の推進など多様な観光の推進	C	㊺ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	C
㉓ 外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進	C		

2. 業務を取り巻く状況に対する意識について

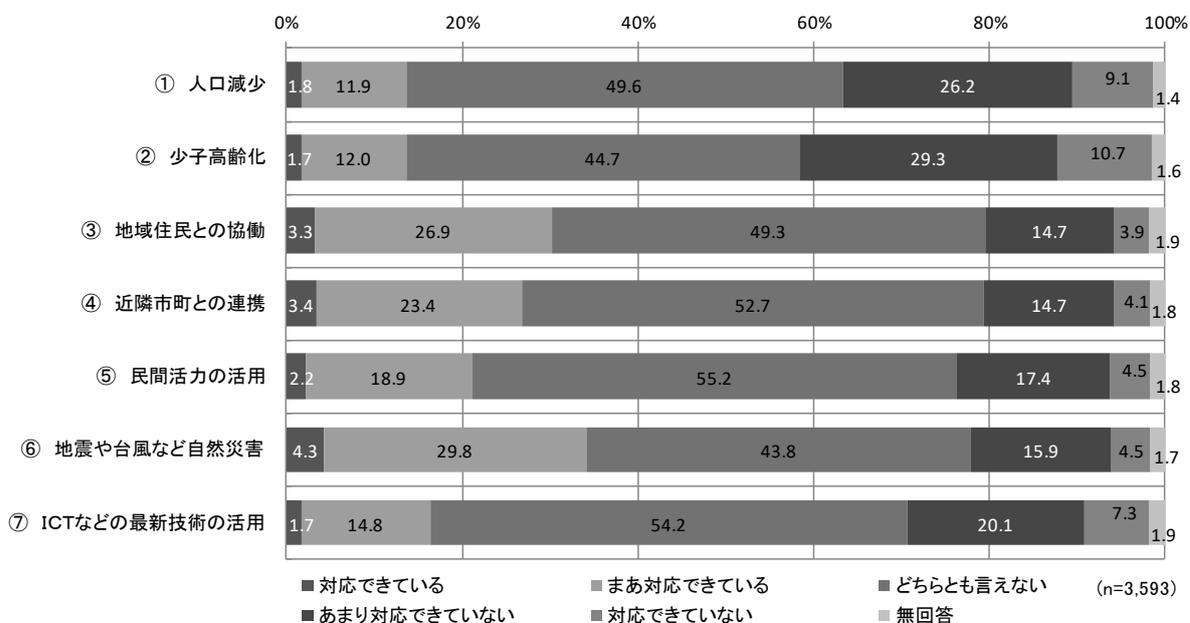
(1) あなたが業務を進める中で、人口減少や少子高齢化の進行など、地方が直面している課題等について、どのように感じていますか (問2)

① 現在の市の対応度

■ 全体傾向

- ・ 「対応できている」、「まあ対応できている」の回答割合が高い項目は順に、「⑥地震や台風などの自然災害」(34.1%)、「③地域住民との協働」(30.2%)、「④近隣市町との連携」(26.8%)となっている。
- ・ 一方、「対応できていない」、「あまり対応できていない」の回答割合が高い項目は順に、「②少子高齢化」(40.0%)、「①人口減少」(35.3%)、「⑦ICTなどの最新技術の活用」(27.4%)となっている。

図表Ⅲ－7 現在の市の対応度

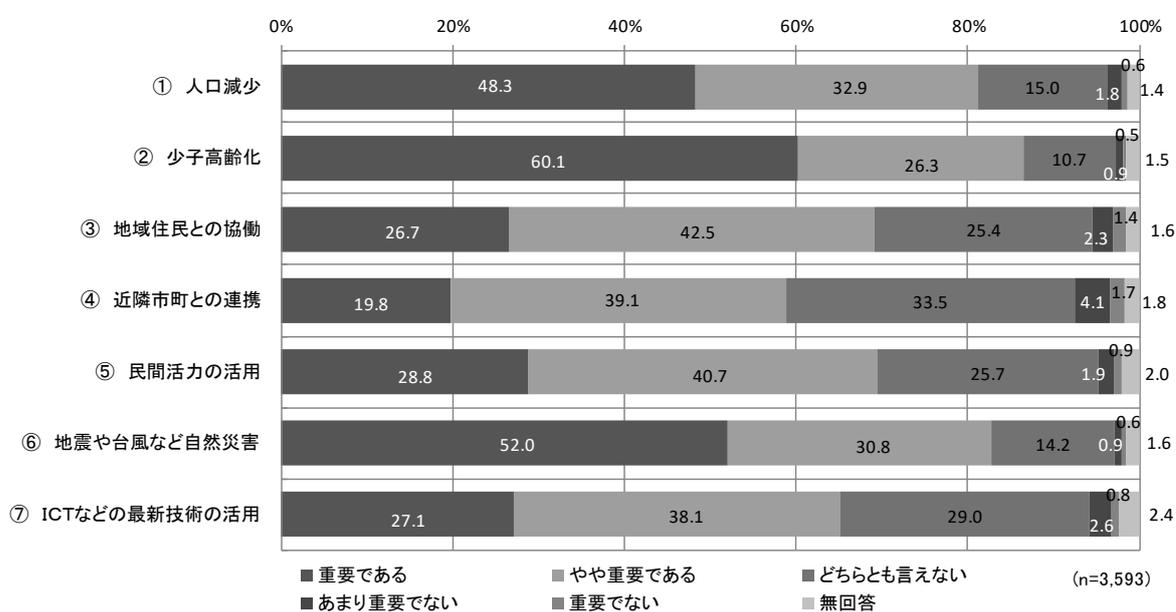


② 今後 10 年間の重要度

■ 全体傾向

- ・「重要である」、「やや重要である」の回答割合が高い項目は順に、「②少子高齢化」(86.4%)、「⑥地震や台風などの自然災害」(82.8%)、「①人口減少」(81.2%)となっている。
- ・一方、「重要でない」、「あまり重要でない」の回答割合が高い項目は順に、「④近隣市町との連携」(5.8%)、「③地域住民との協働」(3.7%)、「⑦ICTなどの最新技術の活用」(3.4%)となっている。

図表Ⅲ－ 8 今後 10 年間の重要度

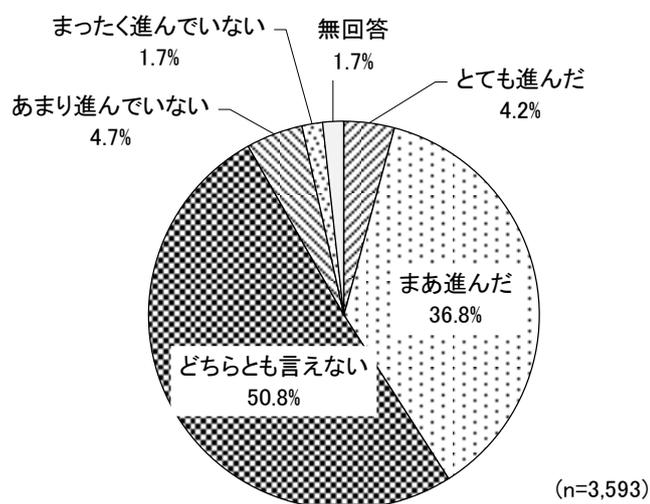


(2) 合併して 12 年が経過しましたが新市の一体性の進み具合について、あなたの考えに近いものはどれですか (問 3-1・3-2)

■ 全体傾向

- ・「どちらとも言えない」の回答割合が 50.8%でもっとも高く、次いで「まあ進んだ」が 36.8%、「あまり進んでいない」が 4.7%となっている。
- 「あまり進んでいない」、「まったく進んでいない」と回答した理由 (問 3-2)
 - ・どの地域のどのような施策において「あまり進んでいない」、「まったく進んでいない」と感じるかを伺ったところ、主な回答として、「合併したメリットが実感できない」、「駅中心の整備は進んでいるが、周辺部へのケアができていない」、「北部地域のサービスが行き届いてない」、「夢前町や安富町との交通ネットワークが充実していない」との回答がみられた。

図表Ⅲ－ 9 新市の一体性の進み具合



(3) 行政サービス水準と市民負担について、あなたの考えに近いものはどれですか
(問 4-1)

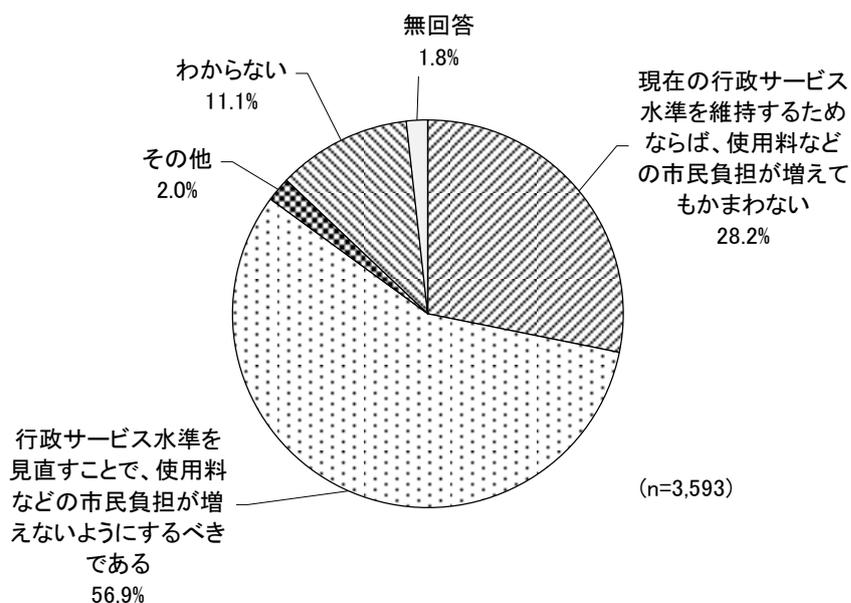
■ 全体傾向

- ・「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにすべきである」の回答割合が 56.9%でもっとも高く、次いで「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」が 28.2%、「わからない」が 11.1%となっている。

■ 市民アンケートとの比較

- ・職員アンケートでは「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」(市民 12.9%) の回答割合が高く、「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにすべきである」(市民 67.6%) の回答割合が低くなっている。

図表Ⅲ－10 行政サービス水準と市民負担



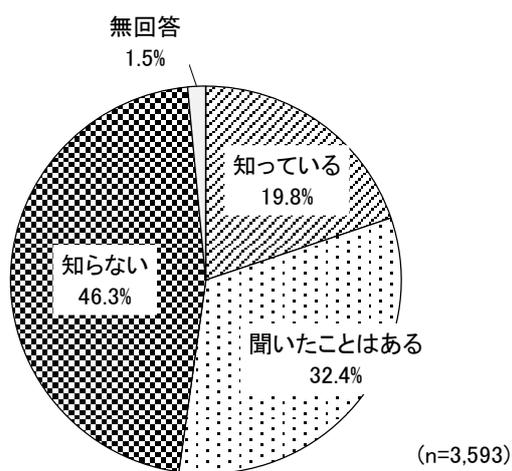
3. 地域ブロックについて

(1) 総合計画で設定されている地域ブロックを知っていますか (問6)

■ 全体傾向

- ・ 「知らない」の回答割合が46.3%でもっとも高く、次いで「聞いたことはある」が32.4%、「知っている」が19.8%となっている。

図表Ⅲ－11 総合計画で設定されている地域ブロックを知っているか

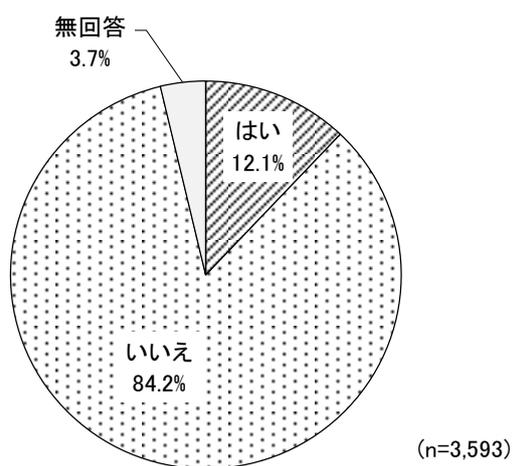


(2) 担当する業務に、地域ブロックを単位としているものはありますか (問 7-1)

■ 全体傾向

- ・ 「いいえ」の回答割合が84.2%と高く、「はい」が12.1%となっている。

図表Ⅲ－12 担当する業務に、地域ブロックを単位とするものがあるか

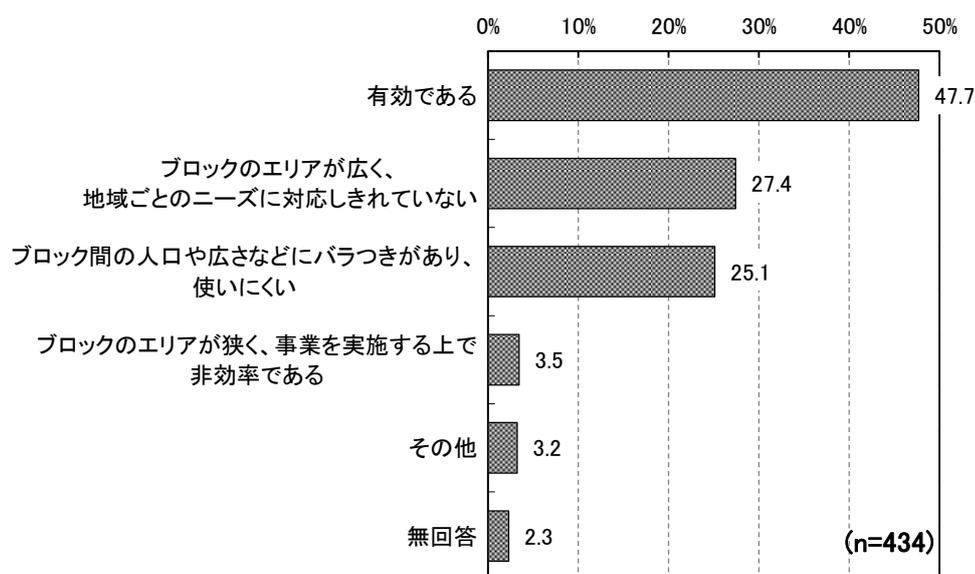


(3) 問 7-1 で「1 はい」と回答した方にお聞きします。地域ブロックを単位とする上で、業務上感じているご意見をお聞かせください（複数回答）（問 7-2）

■ 全体傾向

- ・「有効である」の回答割合が 47.7%でもっとも高く、次いで「ブロックのエリアが広く、地域ごとのニーズに対応しきれていない」が 27.4%、「ブロック間の人口や広さなどにバラつきがあり、使いにくい」が 25.1%となっている。

図表Ⅲ－13 地域ブロックを単位とする上で、業務上感じていること（複数回答）



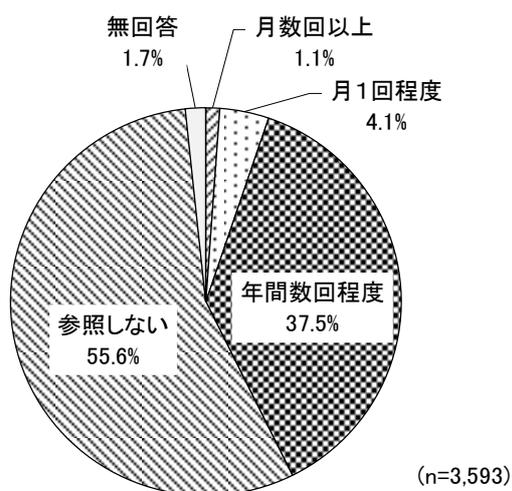
4. 総合計画(ふるさと・ひめじプラン2020)について

(1) 総合計画(実施計画含む)をどの程度参照しますか (問 8-1)

■ 全体傾向

- ・「参照しない」の回答割合が55.6%でもっとも高く、次いで「年間数回程度」が37.5%、「月1回程度」が4.1%となっている。

図表Ⅲ－14 総合計画を参照する頻度

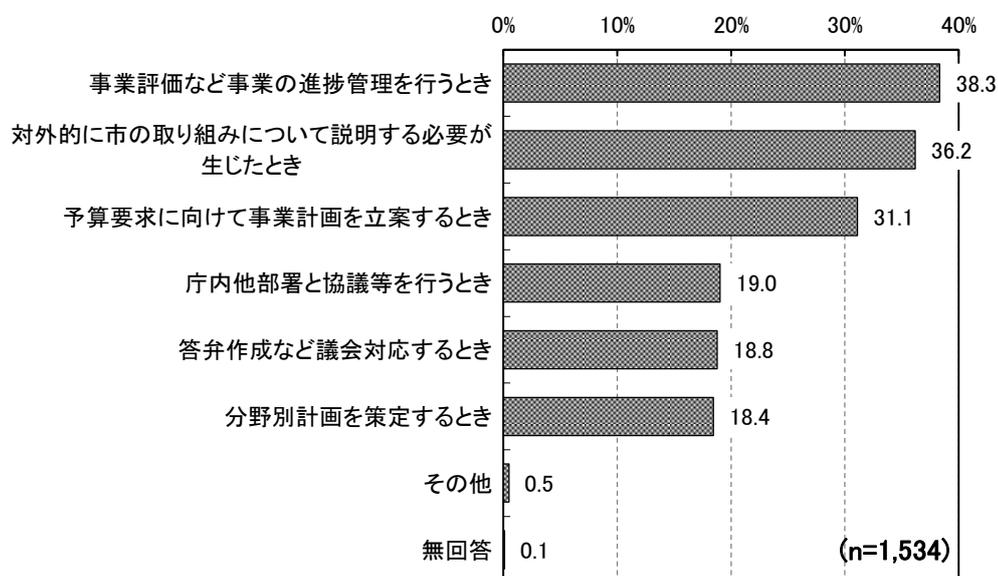


(2) 問 8-1 で「月数回以上」、「月 1 回程度」、「年間数回程度」と回答した方にお聞きします。どのようなときに総合計画を参照しますか（複数回答）（問 8-2）

■ 全体傾向

- ・「事業評価など事業の進捗管理を行うとき」の回答割合が 38.3%でもっとも高く、次いで「対外的に市の取り組みについて説明する必要があるとき」が 36.2%、「予算要求に向けて事業計画を立案するとき」が 31.1%となっている。

図表Ⅲ－15 どのようなときに総合計画を参照するか（複数回答）

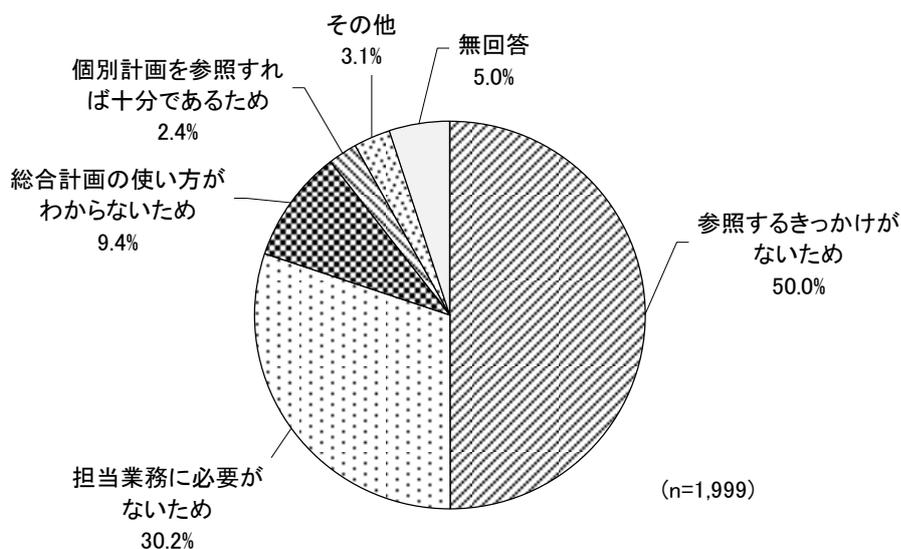


(3) 問 8-1 で「参照しない」と回答した方にお聞きします。総合計画を参照しない理由は何ですか (問 8-4)

■ 全体傾向

- ・「参照するきっかけがないため」の回答割合が 50.0%でもっとも高く、次いで「担当業務に必要なため」が 30.2%、「総合計画の使い方がわからないため」が 9.4%となっている。

図表Ⅲ－ 16 総合計画を参照しない理由



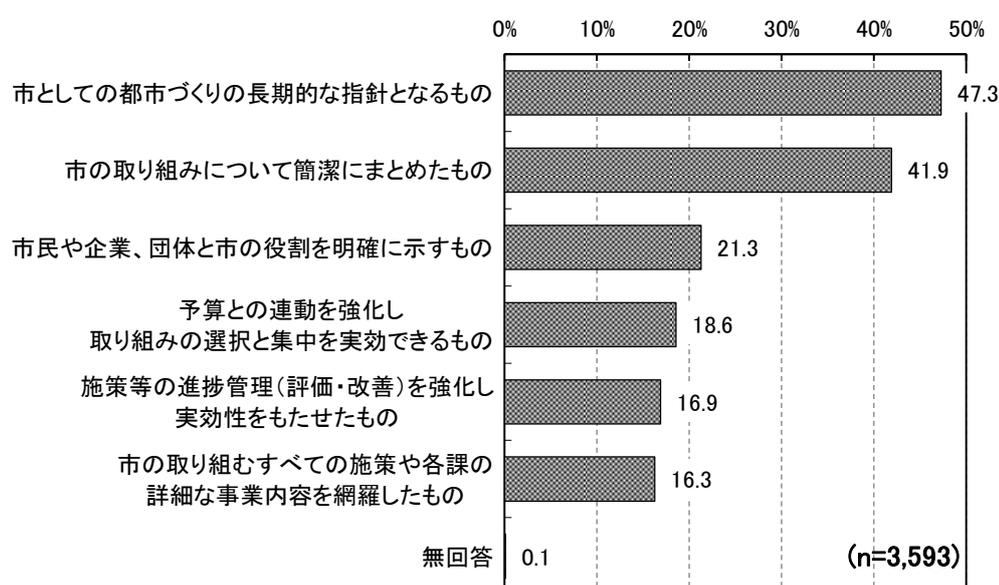
5. 次期総合計画策定に向けて

(1) 日々の業務を遂行するにあたり、どのような総合計画が望ましいと思いますか
(複数回答) (問9)

■ 全体傾向

- ・「市としての都市づくりの長期的な指針となるもの」の回答割合が47.3%でもっとも高く、次いで「市の取り組みについて簡潔にまとめたもの」が41.9%、「市民や企業、団体と市の役割を明確に示すもの」が21.3%となっている。

図表Ⅲ－17 どのような総合計画が望ましいか (複数回答)

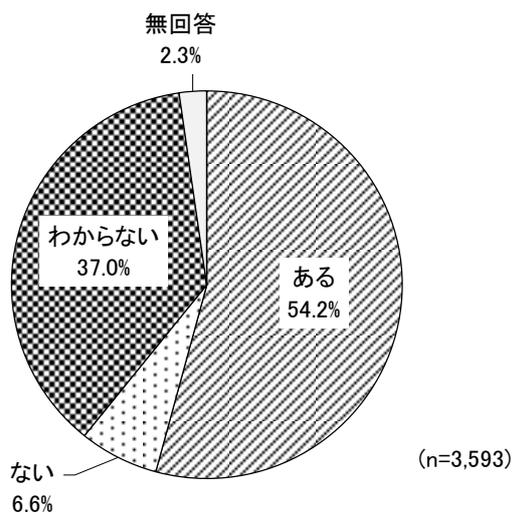


(2) 総合計画において、効果の低い事業を廃止・縮小・統合する仕組みを構築する必要はあると思いますか (問 10)

■ 全体傾向

- ・ 「ある」の回答割合が54.2%であり、次いで「わからない」が37.0%、「ない」が6.6%となっている。

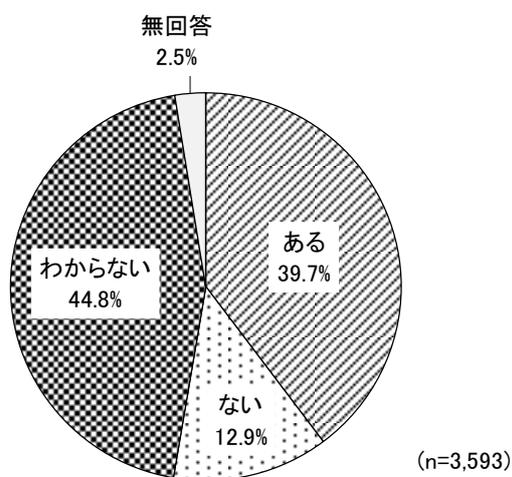
図表Ⅲ－18 効果の低い事業を廃止・縮小・統合する仕組みを構築する必要性



(3) 総合計画の進捗管理について外部評価を導入する必要があると思いますか
(問 11)

- 全体傾向
- ・ 「わからない」の回答割合が44.8%でもっとも高く、次いで「ある」が39.7%、「ない」が12.9%となっている。

図表Ⅲ－19 総合計画の進捗管理について外部評価を導入する必要性



6. 自由記述

(1) 本市の未来の姿を思い浮かべて、ふさわしい都市像やキャッチフレーズがあれば記入してください（問5）

■ 全体傾向

- ・「未来」、「歴史」といった語が多くみられ、「未来」は、「輝く未来」といったフレーズの回答が多い。また、「活気溢れる」、「笑顔で暮らせる」、「安心に暮らせる」や「世界に誇れる」といったフレーズが多い。

図表Ⅲ－20 問5の回答における頻出語上位150語

順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数
1	姫路	221	40	発展	7	86	大人	4
2	都市	141	40	美しい	7	86	大切	4
3	街	115	40	目指す	7	86	中核市	4
4	住む	84	40	良い	7	86	調和	4
5	未来	60	55	育つ	6	86	播磨	4
6	歴史	42	55	活かす	6	86	播磨	4
7	市民	33	55	観光	6	86	白鷺城	4
8	町	32	55	共生	6	86	発信	4
9	人	29	55	誇れる	6	86	利便	4
10	文化	28	55	考える	6	110	CITY	3
11	魅力	23	55	国際	6	110	HIMEJI	3
12	姫路城	21	55	産業	6	110	きれい	3
13	自然	20	55	子供	6	110	イチ	3
14	城	19	55	社会	6	110	グローバル	3
14	世界	19	55	若者	6	110	プラス	3
16	城下町	18	55	創造	6	110	育てる	3
17	安心	17	55	中心	6	110	育成	3
17	輝く	17	55	都会	6	110	穏やか	3
19	活力	16	55	白鷺	6	110	快適	3
20	活気	15	55	夢	6	110	外国	3
20	子ども	15	55	明るい	6	110	継承	3
20	笑顔	15	55	来る	6	110	減少	3
20	地域	15	73	医療	5	110	古い	3
24	優しい	14	73	可能	5	110	幸福	3
25	生活	13	73	希望	5	110	祭り	3
25	暮らせる	13	73	強い	5	110	思いやり	3
27	羽ばたく	12	73	幸せ	5	110	次世代	3
28	観光都市	11	73	持てる	5	110	自分	3
29	充実	10	73	持続	5	110	自立	3
29	伝統	10	73	新しい	5	110	実現	3
31	日本	9	73	世界遺産	5	110	若い	3
31	暮らす	9	73	創る	5	110	守る	3
31	豊か	9	73	中核都市	5	110	助け合う	3
34	安全	8	73	福祉	5	110	身の丈	3
34	溢れる	8	73	訪れる	5	110	世代	3
34	海	8	86	コンパクトシティ	4	110	政策	3
34	元気	8	86	一人ひとり	4	110	川	3
34	子育て	8	86	楽しい	4	110	地方	3
34	融合	8	86	感じる	4	110	賑わい	3
40	交流	7	86	環境	4	110	賑わう	3
40	行政	7	86	教育	4	110	日本一	3
40	高齢	7	86	誇り	4	110	播磨	3
40	山	7	86	誇る	4	110	白鷺	3
40	市	7	86	災害	4	110	姫路	3
40	思う	7	86	時代	4	110	風格	3
40	思える	7	86	集まる	4	110	防災	3
40	心	7	86	住民	4	110	無い	3
40	推進	7	86	人口	4	110	理想	3
40	生きる	7	86	多様	4	110	力	3
40	田舎	7	86	対策	4	150	GO	2

- (2) 新たな総合計画の策定及び進捗管理について、良いアイデアや今後力を入れるべき課題等がありましたら、どんな事でもかまいませんので是非ご記入ください
(自由記述)

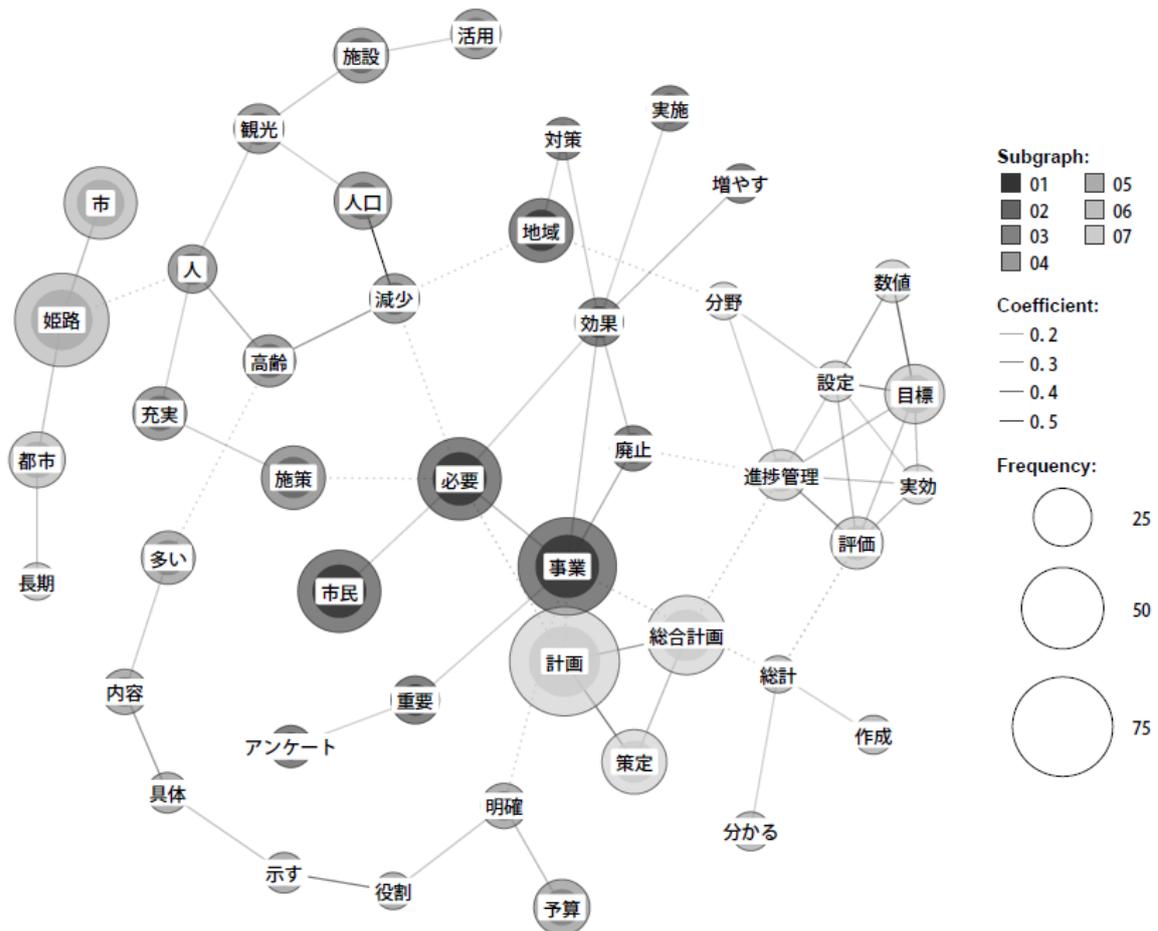
■ 全体傾向

- ・ KH Coder を用いて頻出語を調べたところ、「計画」、「事業」、「市民」といった語が多くみられた。また、「事業」は、「事業の廃止」といった文脈での回答が多く、「進捗管理」については、「進捗管理の評価」といった文脈での回答や、「数値目標」などとの文脈での回答が多くみられる。

図表Ⅲ－22 自由記述における頻出語上位 150 語

順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数
1	計画	90	45	分かる	11	85	中心	7
2	事業	72	45	良い	11	85	年	7
3	姫路	66	53	総計	10	85	福祉	7
4	市民	51	53	長期	10	85	変化	7
4	必要	51	53	分野	10	85	民間	7
6	総合計画	47	53	未来	10	106	育成	6
7	市	39	53	役割	10	106	可能	6
8	策定	31	58	アピール	9	106	外部	6
9	施策	30	58	イメージ	9	106	関係	6
9	地域	30	58	外国	9	106	議論	6
11	職員	28	58	検討	9	106	近隣	6
12	目標	26	58	構築	9	106	経済	6
13	人口	24	58	子育て	9	106	見直し	6
14	都市	23	58	支援	9	106	現状	6
14	予算	23	58	事務	9	106	個別	6
16	施設	22	58	持つ	9	106	効率	6
17	充実	21	58	社会	9	106	高い	6
17	多い	21	58	取り入れる	9	106	作る	6
19	高齢	20	58	大切	9	106	産業	6
19	評価	20	58	力	9	106	仕組み	6
21	進捗管理	19	71	アイデア	8	106	時代	6
22	活用	18	71	サービス	8	106	自分	6
22	観光	18	71	スポーツ	8	106	質	6
22	減少	18	71	ビジョン	8	106	集中	6
25	効果	17	71	意識	8	106	状況	6
25	行政	17	71	各課	8	106	進む	6
25	重要	17	71	客	8	106	進める	6
25	人	17	71	向上	8	106	人目	6
29	教育	16	71	住む	8	106	生活	6
30	実施	15	71	住民	8	106	増える	6
30	内容	15	71	縮小	8	106	長い	6
30	廃止	15	71	図る	8	106	低い	6
30	明確	15	71	発展	8	106	得る	6
34	目指す	14	71	保育	8	106	方向	6
35	アンケート	13	85	お願い	7	106	様々	6
35	意見	13	85	ブロック	7	106	理解	6
35	数値	13	85	課題	7	106	理想	6
35	対策	13	85	街	7	138	イベント	5
39	環境	12	85	活性	7	138	システム	5
39	企業	12	85	向ける	7	138	介護	5
39	具体	12	85	工夫	7	138	改革	5
39	示す	12	85	仕事	7	138	各部	5
39	設定	12	85	子供	7	138	活力	5
39	入れる	12	85	所管	7	138	簡潔	5
45	業務	11	85	少子	7	138	企画	5
45	作成	11	85	推進	7	138	見える	5
45	実効	11	85	世代	7	138	項目	5
45	取り組み	11	85	政策	7	138	国	5
45	増やす	11	85	全国	7	138	使う	5
45	対応	11	85	担当	7	138	視点	5

図表Ⅲ－23 自由記述における頻出語の共起関係(一緒に使用される頻度が高い語との関係)を示した図



(注)KH Coderの「共起ネットワーク」を用いて作成

凡例の見方について

Subgraph:よく一緒に使用される語のグループ分けを示し、今回であれば7のグループ(まとまり)があることを示す。

Coefficient:線の濃さにより、語同士のつながりの強さを示しており、色が濃いほど、つながりが強い。破線は、異なるSubgraph(グループ)に属する語同士のつながりを示す。

Frequency:語の出現頻度を円の大きさを示す。

なお、この図では、語やSubgraphの布置された位置よりも線で結ばれているかどうかということに意味がある。

調査票

I. 市民アンケート調査票

姫路市まちづくりのための市民アンケート

市民の皆様には、日頃から市政へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

現在、姫路市では、新たな総合計画の策定に向けて取り組んでいます。総合計画とは、これからの市のあるべき姿を描き、計画的な市政運営を進めていくための基本指針です。

全国的な課題でもある少子化による人口減少、高齢化を踏まえ、新たな総合計画に市民の皆様の声を反映していくため、このアンケートでは、市民の皆様が姫路のまちづくりについてどのように思われているか、広くご意見をうかがいます。実施にあたりましては、市内にお住まいの15歳以上の方から、無作為に10,000名を選ばせていただきました。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、皆様の貴重なご意見をお寄せいただきますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成30年（2018年）8月

姫路市長 石見 利勝

<ご回答にあたって>

- ・原則、ご本人（封筒の宛て名の方）がご回答ください。
※事情によりご本人が回答できない場合は、ご家族、代理の方がご回答ください。
- ・答えにくい項目がある場合は、空欄のまま次の項目にお進みください。
- ・この調査票は、**9月21日（金）**までに同封の返信用封筒に入れてご投函ください。（切手は不要です）
- ・返送いただいた調査票については、すべて統計的に処理するため、個人が特定されることはありません。
また、調査の目的以外には一切使用いたしません。
- ・アンケート調査票は下記 URL、もしくは右の QR コードからダウンロードして頂けます。
<http://www.murc.jp/sp/1808/himeji/shimin.html>
- ・記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



【お問い合わせ先】姫路市 市長公室 企画政策推進室 新総合計画担当

〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地

TEL 079-221-2594

FAX 079-221-2384

Eメール shinsoukei@city.himeji.lg.jp



あなたの姫路への愛着などについて、おたずねします。

問1 あなたは姫路に愛着を感じますか。（○印はひとつ）

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 感じる | 4 あまり感じない |
| 2 やや感じる | 5 感じない |
| 3 どちらとも言えない | |

問2 あなたの姫路のイメージをどのようなことでも自由にご記入ください。（自由記述）

あなたの日常生活の範囲について、おたずねします。

問3 下記の①から⑥の地域について、右ページの地図から「地域の番号」と「移動手段の記号」をそれぞれひとつずつご記入ください。

	地域の番号	移動手段の記号
① 食料品・日用品を購入する地域	<input type="text"/>	<input type="text"/>
② 服、かばん、電化製品等を購入する地域	<input type="text"/>	<input type="text"/>
③ 通勤・通学先がある地域	<input type="text"/>	<input type="text"/>
④ 外食する地域	<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑤ かかりつけの医療機関がある地域	<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑥ 文化・スポーツ・レクリエーション等で利用する地域	<input type="text"/>	<input type="text"/>

問4 普段の買い物でインターネット（ネット通販）を利用しますか。（○印はひとつ）

1 よく利用する	3 あまり利用しない
2 ときどき利用する	4 まったく利用しない

あなたの暮らしなどについて、おたずねします。

問5 今の姫路は住みやすいと思いますか。（○印はひとつ）

1 住みやすい	4 やや住みにくい
2 まあ住みやすい	5 住みにくい
3 どちらとも言えない	

問6 これからも姫路に住み続けたいですか。（○印はひとつ）

1 ずっと住み続けたい	4 いずれは引っ越したい
2 住み続けてもよい	5 すぐにでも引っ越したい
3 どちらとも言えない	

問7-1 ライフステージの変化等により、引っ越すとすれば、どの地域に引っ越したいですか。右ページの地図から「地域の番号」を姫路市内、姫路市外からそれぞれひとつずつ選んでください。

姫路市内で引っ越す場合	<input type="text"/>	姫路市外へ引っ越す場合	<input type="text"/>
-------------	----------------------	-------------	----------------------

問7-2 問7-1でその地域を選んだ理由はなんですか。下記よりひとつずつ選んでください。

姫路市内で引っ越す理由	姫路市外へ引っ越す理由
1 通勤・通学の都合	7 海・山・川などの豊かな自然環境
2 公共交通（電車、バス等）の利便性	8 出身地
3 日常生活（買い物・通院等）の利便性	9 まちのイメージ
4 親族との同居・近居	10 魅力的な市区町村等の取組
5 住宅事情（広さ・価格等）	【
6 子育て（学校、保育所等）環境	11 その他【

問8 姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいと思いますか。（○印はひとつ）

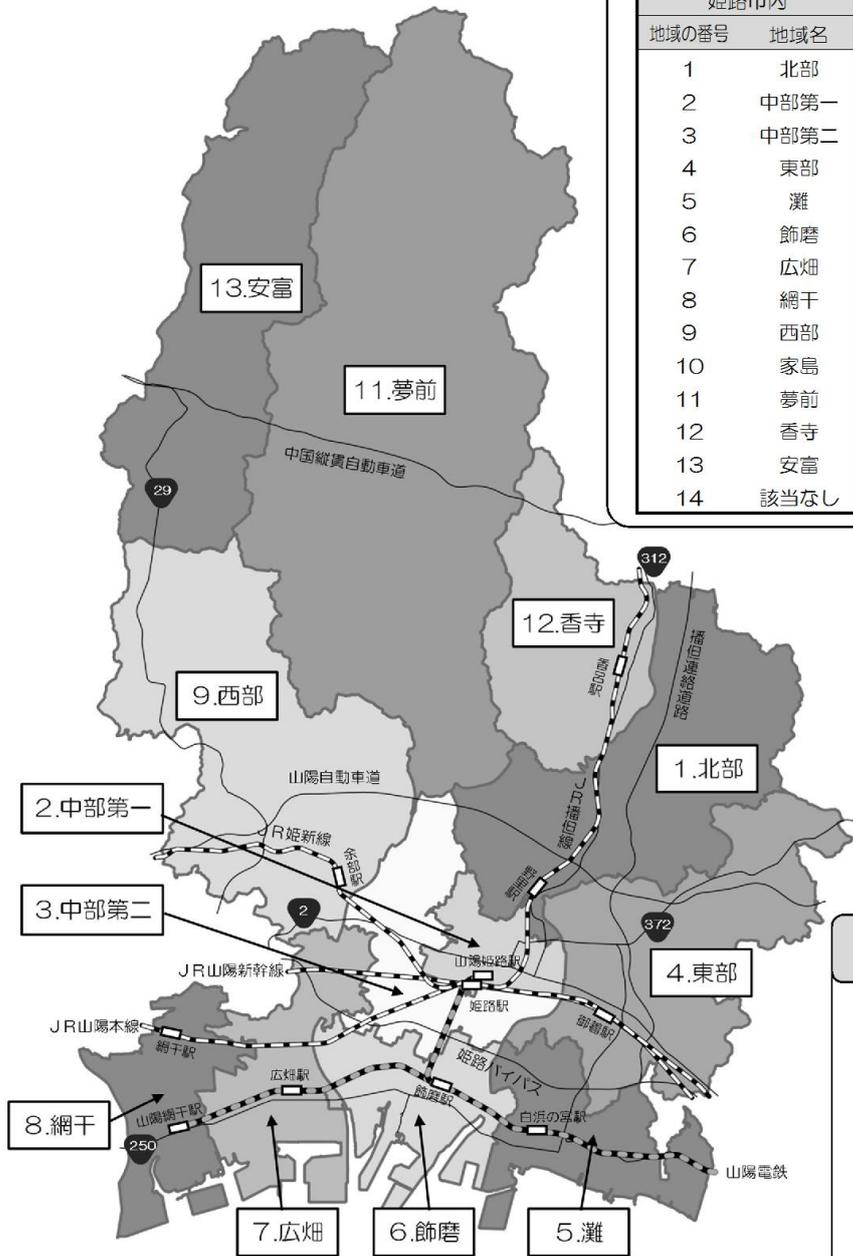
1 思う	4 あまり思わない
2 やや思う	5 思わない
3 どちらとも言えない	



2 ページの「問 3 の①～⑥」、「問 7-1」を回答する際にご覧ください。

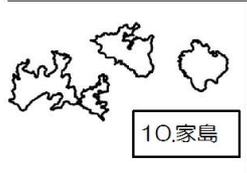
「地域の番号」はこちらから選んでください。

姫路市内		姫路市外	
地域の番号	地域名	地域の番号	地域名
1	北部	15	加古川市
2	中部第一	16	高砂市
3	中部第二	17	加西市
4	東部	18	福崎町
5	灘	19	市川町
6	飾磨	20	神河町
7	広畑	21	宍粟市
8	網干	22	たつの市
9	西部	23	太子町
10	家島	24	明石市
11	夢前	25	神戸市
12	香寺	26	その他(県内)
13	安富	27	兵庫県外
14	該当なし	28	該当なし



「移動手段の記号」はこちらから選んでください

移動手段の記号	移動手段
ア	徒歩
イ	自転車
ウ	自家用車
エ	バイク
オ	電車
カ	バス
キ	船
ク	その他



【参考】「地域の番号」と「大規模小売店舗」

地域の番号	施設の名称	地域の番号	施設の名称
2	山陽百貨店	1	イオン姫路店
2	ピオレ姫路	6	イオンモール姫路リバーシティー
3	イオンタウン姫路	8	イオンモール姫路大津

姫路市の施策に対する現状の満足度などについて、おたずねします。

問9 「あなたが日ごろ感じている現状の満足度」と、「まちづくり全体からみた今後の重要性」をお答えください。(○印はそれぞれひとつ)

 施策の主な内容	現状の満足度					今後の重要性				
	満足	やや満足	たがひたがひ満足	やや不満	不満	重要である	やや重要である	たがひたがひ重要	あまり重要でない	重要でない
① 福祉人材の育成など 互いに支え合う地域づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
② 保育サービスの充実など 子育て支援の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③ 介護・福祉サービスの充実など 高齢者福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④ 障害者の日常生活・就労の支援など 障害者福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤ 医療保険制度の運営など 社会保障制度の適切な運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥ 保健対策・救急医療の充実など 心と体の健康づくりの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦ 小中一貫教育や学校施設の充実など 学校教育の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など 高等教育の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑨ 公民館活動の充実など 生涯学習の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑩ 地域で見守る健全育成活動の推進など 青少年の健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など 生涯スポーツの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など 企業誘致の促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑬ 中小企業の育成など ものづくり力の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

 施策の主な内容	現状の満足度					今後の重要性				
	満足	やや満足	どちらかといえば満足しない	やや不満	不満	重要である	やや重要である	どちらかといえば重要でない	あまり重要でない	重要でない
⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など 商業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑮ 就職活動への支援など 雇用・就業対策の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑯ 地産地消の推進など 農林水産業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑰ 姫路城の魅力発信など 姫路城の保存・活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑱ 文化財の保存など 歴史文化資源の保存・活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑲ 芸術文化活動の支援など 市民文化の創造	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑳ 科学館等の充実など 文化の交流・発信	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉑ おもてなし・観光案内所の充実など 観光客受入体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉒ ナイト観光の推進など 多彩な観光の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉓ 外国人観光客の誘客など 国際観光、大規模な会議・展示会などの促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉔ 環境を守る活動支援など 環境の保全	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉕ ごみの減量化など 循環型社会の形成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉖ 防災啓発や消防・救急体制の充実など 消防・防災体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉗ 耐震対策の推進など 災害に強い都市づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

 施策の主な内容	現状の満足度					今後の重要性				
	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
⑳ 防犯・交通安全意識の普及など 安全な暮らしの確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉑ 食の安全性の確保など 健康な生活の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉒ 姫路駅周辺の施設整備など 魅力ある都心部の形成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉓ 中心市街地の活性化など 都心部の賑わいづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉔ 姫路駅周辺の道路整備など 南北市街地の一体化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉕ 都市景観の創出など 都市空間の形成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉖ 公共交通網の充実など 交通網の構築	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉗ 河川・公園・上下水道の整備など 都市基盤の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉘ 自治会の活動支援など コミュニティづくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉙ 審議会等への市民の参画など 市民参画と協働の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉚ 積極的な市政情報の提供など 市政の信頼の確立	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉛ 人権教育・啓発の推進など 人権尊重意識の高揚	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉜ 男女共同参画意識の啓発など 男女共同参画社会の実現	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉝ インターネットを活用した市政情報の発信など 情報社会の実現	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

II. 有識者アンケート調査票(学識者)

姫路市まちづくりのための有識者アンケート

日頃から市政へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

現在、姫路市では、新たな総合計画の策定に向けて取り組んでいます。総合計画とは、これからの市のあるべき姿を描き、計画的な市政運営を進めていくための基本指針です。

そこで、市政にかかわりの深い各種審議会・懇話会の委員や自治会・婦人会の有識者の皆様に姫路市の将来などについてのお考えやご意見を伺うため、アンケート調査をお願いすることといたしました。

何かとご多忙とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成30年(2018年)8月
姫路市長 石見 利勝

<ご回答にあたって>

- ・ご本人(封筒の宛て名の方)がご回答ください。
- ・この調査票は、9月21日(金)までに同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です)
- ・返送いただいた調査票については、すべて統計的に処理するため、個人が特定されることはありません。また、調査の目的以外には一切使用いたしません。
- ・アンケート調査票は下記 URL、もしくは右の QR コードからダウンロードして頂けます。
<http://www.murc.jp/sp/1808/himeji/yuushikisha.html>
- ・記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

<個人情報に関して>

- ・姫路市個人情報保護条例第9条第1項第4号の規定に基づき、審議会等を所管している部署から委員等の皆様のご氏名、ご住所の個人情報の提供を受け、アンケートを送付いたしましたので、その旨通知いたします。なお、提供を受けた個人情報は、審議会等開催当時のものとなっています。

【お問い合わせ先】姫路市 市長公室 企画政策推進室 新総合計画担当

〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地

TEL 079-221-2594

FAX 079-221-2384

Eメール shinsoukei@city.himeji.lg.jp



かんべえくん



姫路市キャラクター
しろまるひめ

問 3 姫路市外の方のみお聞きします。お住まいの地域が優れていると感じる行政サービスや取組をご記入ください。

問 4 他市区町村において今後の姫路のまちづくりの参考になるような取組がありましたら、ご記入ください。

姫路市の課題について、おたずねします。

問 5 姫路市が今後、力を入れていくべき点は次のうちどれだと思いますか。選択した項目について右欄に具体的な内容をご記入ください。

回答番号	具体的な内容

〔以下の選択肢から番号を選んで上記回答番号欄にご記入ください〕

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 保健・医療の充実 | 10 子育て支援の充実 |
| 2 高齢者福祉の充実 | 11 観光の振興 |
| 3 防災・防犯の充実 | 12 国際化への対応 |
| 4 環境問題への対応 | 13 市民協働の推進 |
| 5 産業経済の活性化 | 14 行財政改革 |
| 6 道路・上下水などの社会基盤の整備 | 15 シティプロモーションの強化 |
| 7 公共交通機関の充実 | 16 農林水産業の振興 |
| 8 中心市街地の活性化 | 17 その他 |
| 9 教育・文化の充実 | |



III. 有識者アンケート調査票(地域団体)

姫路市まちづくりのための有識者アンケート

日頃から市政へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

現在、姫路市では、新たな総合計画の策定に向けて取り組んでいます。総合計画とは、これからの市のあるべき姿を描き、計画的な市政運営を進めていくための基本指針です。

そこで、市政にかかわりの深い各種審議会・懇話会の委員や自治会・婦人会の有識者の皆様に姫路市の将来などについてのお考えやご意見を伺うため、アンケート調査をお願いすることといたしました。

何かとご多忙とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成30年(2018年)8月
姫路市長 石見利勝

<ご回答にあたって>

- ・ご本人(封筒の宛て名の方)がご回答ください。
- ・この調査票は、9月21日(金)までに同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です)
- ・返送いただいた調査票については、すべて統計的に処理するため、個人が特定されることはありません。また、調査の目的以外には一切使用いたしません。
- ・アンケート調査票は下記 URL、もしくは右の QR コードからダウンロードして頂けます。
<http://www.murc.jp/sp/1808/himeji/chiikidantai.html>
- ・記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



<個人情報に関して>

- ・姫路市個人情報保護条例第9条第1項第4号の規定に基づき、審議会等を所管している部署から委員等の皆様のご氏名、ご住所の個人情報の提供を受け、アンケートを送付いたしましたので、その旨通知いたします。なお、提供を受けた個人情報は、審議会等開催当時のものとなっています。

【お問い合わせ先】姫路市 市長公室 企画政策推進室 新総合計画担当

〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地

TEL 079-221-2594

FAX 079-221-2384

Eメール shinsoukei@city.himeji.lg.jp



かんべすくん



姫路市キャラクター
しろまるひめ

あなた自身のことについて、おたずねします。

F1 あなたのお住まいは。(○印はひとつ)

- | | |
|------|------|
| 1 市内 | 2 市外 |
|------|------|

F2 あなたの性別は。(○印はひとつ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F3 あなたの年齢は。(○印はひとつ)

- | | |
|---------|-----------|
| 1 10 歳代 | 6 60～64 歳 |
| 2 20 歳代 | 7 65～69 歳 |
| 3 30 歳代 | 8 70～74 歳 |
| 4 40 歳代 | 9 75 歳以上 |
| 5 50 歳代 | |

あなたの暮らしなどについて、おたずねします。※市内在住の方のみご回答ください

問1 今の姫路は住みやすいと思いますか。(○印はひとつ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 住みやすい | 4 やや住みにくい |
| 2 まあ住みやすい | 5 住みにくい |
| 3 どちらとも言えない | |

問2 これからも姫路に住み続けたいですか。(○印はひとつ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 ずっと住み続けたい | 4 いずれは引っ越したい |
| 2 住み続けてもよい | 5 すぐにでも引っ越したい |
| 3 どちらとも言えない | |

問3 総合的にみて今の姫路市における生活に満足していますか。(○印はひとつ)

- | | |
|-------------|--------|
| 1 満足 | 4 やや不満 |
| 2 やや満足 | 5 不満 |
| 3 どちらとも言えない | |

問4 姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいと思いますか。(○印はひとつ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 思う | 4 あまり思わない |
| 2 やや思う | 5 思わない |
| 3 どちらとも言えない | |

IV. 職員アンケート調査票

姫路市まちづくりのための職員アンケート

現在、企画政策推進室では、今後の行政運営の基本方針となる新たな総合計画の策定に向けて取り組んでいます。

その一環として、本市の行政サービス等に対する満足度をはじめ、目指すべき将来像、今後のまちづくりのあり方などについて、ご意見を伺うために、15歳以上の市民1万人を対象としたアンケートと有識者を対象としたアンケートを実施したところです。

これらの調査と並行して、直接、市政運営に携わる職員の皆様から、総合計画や本市の課題、今後のまちづくりのあり方等についてご意見を伺うため、職員アンケートを実施することとしました。

調査の趣旨にご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成30年（2018年）10月

企画政策推進室

<アンケート対象職員>

全職員（次の職員は除く：特別職、非常勤嘱託職員、臨時的任用職員）

<ご回答にあたって>

- ・回答は平成30年11月20日（火）までに、各課（室・所）ごとに回収のうえ、下記担当に提出してください。
- ・記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 姫路市 市長公室 企画政策推進室 新総合計画担当

TEL 079-221-2594

FAX 079-221-2384

Eメール shinsoukei@city.himeji.lg.jp



かんべえくん



姫路市キャラクター
しろまるひめ

あなた自身のことについて、おたずねします。

F1 お住まいの地域は。(○印はひとつ)

- | | |
|------|------|
| 1 市内 | 2 市外 |
|------|------|

F2 あなたの性別は。(○印はひとつ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F3 あなたの年齢は。(○印はひとつ)

- | | |
|--------|--------|
| 1 10歳代 | 4 40歳代 |
| 2 20歳代 | 5 50歳代 |
| 3 30歳代 | 6 60歳代 |

F4 あなたの所属は。(○印はひとつ)

- | | |
|---------|---------------|
| 1 議会事務局 | 11 建設局 |
| 2 市長公室 | 12 下水道局 |
| 3 総務局 | 13 会計課 |
| 4 財政局 | 14 都市拠点整備本部 |
| 5 市民局 | 15 水道局 |
| 6 環境局 | 16 消防局 |
| 7 健康福祉局 | 17 教育委員会事務局 |
| 8 観光交流局 | 18 選挙管理委員会事務局 |
| 9 産業局 | 19 監査事務局 |
| 10 都市局 | 20 農業委員会事務局 |

F5 あなたの職種は。(○印はひとつ)

- | |
|----------------------------|
| 1 行政職(事務職) |
| 2 行政職(技術系専門職(土木・建築・電気・機械)) |
| 3 行政職その他専門職 |
| 4 技能労務職 |
| 5 消防職 |
| 6 教育職 |

F6 あなたの身分は。(○印はひとつ)

- | |
|-------------------------|
| 1 理事・参事・主幹 |
| 2 課長補佐・係長・統括班長 |
| 3 4級在職者(主任・技術主任・技能主任など) |
| 4 3級以下在職者(主事・技師・技能士など) |

姫路市の施策について、おたずねします。

問1 施策の充実度と、今後の重要性をお答えください。

(○印はそれぞれひとつ)

 施策の主な内容	施策の充実度					今後の重要性				
	充実している	まあ充実している	どちらとも言えない	あまり充実していない	充実していない	非常に重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
① 福祉人材の育成など 互いに支え合う地域づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
② 保育サービスの充実など 子育て支援の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③ 介護・福祉サービスの充実など 高齢者福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④ 障害者の日常生活・就労の支援など 障害者福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤ 医療保険制度の運営など 社会保障制度の適切な運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥ 保健対策・救急医療の充実など 心と体の健康づくりの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦ 小中一貫教育や学校施設の充実など 学校教育の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など 高等教育の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑨ 公民館活動の充実など 生涯学習の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑩ 地域で見守る健全育成活動の推進など 青少年の健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など 生涯スポーツの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など 企業誘致の促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

 施策の主な内容	施策の充実度					今後の重要性				
	充実している	まあ充実している	どこかとも言いえない	あまり充実していない	充実していません	重要である	やや重要である	どこかとも言いえない	あまり重要でない	重要でない
⑬ 中小企業の育成など ものづくり力の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など 商業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑮ 就職活動への支援など 雇用・就業対策の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑯ 地産地消の推進など 農林水産業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑰ 姫路城の魅力発信など 姫路城の保存・活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑱ 文化財の保存など 歴史文化資源の保存・活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑲ 芸術文化活動の支援など 市民文化の創造	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑳ 科学館等の充実など 文化の交流・発信	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉑ おもてなし・観光案内所の充実など 観光客受入体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉒ ナイト観光の推進など 多彩な観光の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉓ 外国人観光客の誘客など 国際観光、大規模な会議・展示会などの促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉔ 環境を守る活動支援など 環境の保全	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉕ ごみの減量化など 循環型社会の形成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

 施策の主な内容	施策の充実度					今後の重要性				
	充実している	まあ充実している	どぎつどぎつと言えない	あまり充実していない	充実していない	重要である	やや重要である	どぎつどぎつと言えない	あまり重要でない	重要でない
⑳ 防災啓発や消防・救急体制の充実など 消防・防災体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉑ 耐震対策の推進など 災害に強い都市づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉒ 防犯・交通安全意識の普及など 安全な暮らしの確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉓ 食の安全性の確保など 健康な生活の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉔ 姫路駅周辺の施設整備など 魅力ある都心部の形成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉕ 中心市街地の活性化など 都心部の賑わいづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉖ 姫路駅周辺の道路整備など 南北市街地の一体化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉗ 都市景観の創出など 都市空間の形成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉘ 公共交通網の充実など 交通網の構築	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉙ 河川・公園・上下水道の整備など 都市基盤の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉚ 自治会の活動支援など コミュニティづくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉛ 審議会等への市民の参画など 市民参画と協働の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉜ 積極的な市政情報の提供など 市政の信頼の確立	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉝ 人権教育・啓発の推進など 人権尊重意識の高揚	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

 施策の主な内容	施策の充実度					今後の重要性				
	充実している	まあ充実している	どちらとも言えない	あまり充実していない	充実していない	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
④⑩ 男女共同参画意識の啓発など 男女共同参画社会の実現	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④⑪ インターネットを活用した市政情報の発信など 情報社会の実現	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④⑫ 行政手続きの電子化など 電子市役所の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④⑬ 近隣市町との連携など 広域的な交流連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④⑭ 海外都市との交流など 国際化に対応した交流社会の構築	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④⑮ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど 行財政改革の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

あなたの業務を取り巻く状況に対する意識について、おたずねします。

問2 あなたが業務を進める中で、人口減少や少子高齢化の進行など、地方が直面している課題等について、どのように感じていますか。(○印はそれぞれひとつ)

課題	現在の市の対応度					今後10年間の重要度				
	対応できている	まあ対応できている	どちらとも言えない	あまり対応できていない	対応できていない	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
①人口減少	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
②少子高齢化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③地域住民との協働	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

④近隣市町との連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤民間活力の活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥地震や台風など自然災害	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦ICTなどの最新技術の活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問3-1 合併して12年が経過しましたが新市の一体性の進み具合について、あなたの考えに近いものはどれですか。（○印はひとつ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 とても進んだ | 4 あまり進んでいない |
| 2 まあ進んだ | 5 まったく進んでいない |
| 3 どちらとも言えない | |

問3-2 問3-1で「4 あまり進んでいない」又は「5 まったく進んでいない」と回答した方へ、どの地域のどのような施策において、そう感じるか具体的な内容を記入してください。

問4-1 行政サービス水準と市民負担について、あなたの考えに近いものはどれですか。（○印はひとつ）

- | |
|--|
| 1 現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない |
| 2 行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである |
| 3 その他 |
| 4 わからない |

問4-2 問4-1で「3 その他」と回答した方へ、具体的な内容を記入してください。

問5 本市の未来の姿を思い浮かべて、ふさわしい都市像やキャッチフレーズがあれば記入してください。

--

地域ブロックについておたずねします。

問 6 あなたは総合計画で設定されている地域ブロックを知っていますか。(○印はひとつ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

問 7-1 あなたが担当する業務に、地域ブロックを単位としているものはありますか。(○印はひとつ)

- 1 はい
- 2 いいえ

問 7-2 問 7-1 で「1 はい」と回答した方にお聞きします。地域ブロックを単位とする上で、業務上感じているご意見をお聞かせください。(○印はいくつでも)

- 1 有効である
- 2 ブロックのエリアが広く、地域ごとのニーズに対応しきれていない
- 3 ブロックのエリアが狭く、事業を実施する上で非効率である
- 4 ブロック間の人口や広さなどにバラつきがあり、使いにくい
- 5 その他

問 7-3 問 7-2 で「5 その他」と回答した方へ、具体的な内容を記入してください。

総合計画（ふるさと・ひめじプラン 2020）について、おたずねします。

問 8-1 あなたは総合計画（実施計画含む）をどの程度参照しますか。(○印はひとつ)

- | | |
|-----------|----------|
| 1 月数回以上 | 3 年間数回程度 |
| 2 月 1 回程度 | 4 参照しない |

問 8-2 問 8-1 で 1～3 を回答した方にお聞きします。あなたはどのようなときに総合計画を参照しますか。(○印はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1 予算要求に向けて事業計画を立案するとき | 5 分野別計画を策定するとき |
| 2 対外的に市の取り組みについて説明する必要性が生じたとき | 6 答弁作成など議会対応するとき |
| 3 事業評価など事業の進捗管理を行うとき | 7 その他 |
| 4 庁内他部署と協議等を行うとき | |

問 8-3 問 8-2 で「7 その他」と回答した方へ、具体的な内容を記入してください。

問 8-4 問 8-1 で 4 と回答した方にお聞きします。総合計画を参照しない理由は何ですか。(○印はひとつ)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 担当業務に必要がないため | 4 参照するきっかけがないため |
| 2 個別計画を参照すれば十分であるため | 5 その他 |
| 3 総合計画の使い方がわからないため | |

問 8-5 問 8-4 で「5 その他」と回答した方へ、具体的な内容を記入してください。

次期総合計画策定に向けて、おたずねします。

問 9 日々の業務を遂行するにあたり、どのような総合計画が望ましいと思いますか。（○印はいくつでも）

- | |
|----------------------------------|
| 1 市としての都市づくりの長期的な指針となるもの |
| 2 市民や企業、団体と市の役割を明確に示すもの |
| 3 市の取り組みについて簡潔にまとめたもの |
| 4 市の取り組むすべての施策や各課の詳細な事業内容を網羅したもの |
| 5 施策等の進捗管理（評価・改善）を強化し実効性をもたせたもの |
| 6 予算との連動を強化し取り組みの選択と集中を実効できるもの |

問 10 総合計画において、効果の低い事業を廃止・縮小・統合する仕組みを構築する必要があると思いますか。（○印はひとつ）

- | |
|---------|
| 1 ある |
| 2 ない |
| 3 わからない |

問 11 総合計画の進捗管理について外部評価を導入する必要があると思いますか。（○印はひとつ）

- | |
|---------|
| 1 ある |
| 2 ない |
| 3 わからない |

最後に、新たな総合計画の策定及び進捗管理について、良いアイデアや今後力を入れるべき課題等がありましたら、どんな事でもかまいませんので是非ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

姫路市まちづくりのためのアンケート報告書
平成31年（2019年）3月

発行 姫路市
編集 姫路市 市長公室 企画政策推進室
〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地
TEL 079-221-2594
FAX 079-221-2384
E-mail shinsoukei@city.himeji.lg.jp